札幌農科大學教授　理學博士　松村松年著

日本千蟲圖解

巻之一

東京
警醒社書店

日本千蟲圖解巻之一

凡例

一、本書ハ本邦ニテ最モ普通ナル昆蟲千種ヲ撰ビ圖畫ヲ以テ之レヲ説明セリ、

一、圖畫ハ此道ニ最モ堪能ナルモノノ手ニ成リ著者ノ監督ノ下ニ描キタレバ大部ハ正確ナリ、但ダ本邦圖版業者ノ未ダ堪能ナラザルニ由リ原圖同様ノ圖版ヲ得ル能ハザリシハ遺憾トスル所ナリ、

一、本書ニ記載セル學名ノ如キハ著者ノ最モ勞セル所ニシテ其參考書ノ如キハ百數十ヲ越エ猶其不明ナリシモノハ更ニ歐米ノ先識ニ質シテ之レヲ確メタリ尙此内ニ數個ノ新種アリ此等ハ近日ノ内ニ發表スベシ、

一、總論ニハ本邦ニ産スル凡テノ蟲科ヲ説明シ本書ニ記載セル昆蟲ノ地位ヲ明ニセリ、

一、昆蟲目ノ分類法ハ昆蟲學ノ大家こむすとっく及ビぶらうえる兩氏ノ唱道説ヲ折衷セリ但ダ各目ノ分類法ニ至リテハ各專門家ノ所説ヲ採用セリ蓋シ米國ニ産スル昆蟲類ハ大ニ本邦産ノモノト異ナルヲ以テこむすとっく氏ノ分類法ハ到底本邦ニ適用スベクモアラズ故ニ鱗翅目ノ如キハ一昨年發表セラレタルすたうでんげる(獨)及ビれーべる(墺)氏ノ目錄ヲ參考トナシ其科ノ特性ニ至リテハ英ノはんぷそん氏ニ據レリ、鞘翅目ハ墺ノかんげるばうえるノ有名ナル著書ヲ參考トナシ膜翅目ハだらとーれノ目錄ニ基ケリ双翅目ノ如キハ昨年發表ノけるてーつ氏世界双翅類目錄ヲ參考トセリ尙毛翅目ハ英人まくらくらん氏ノ大著書ニ據リ有吻類ハ何ノほるばーと佛ノぴゆとーん兩氏ノ

著書ヲ參考セリ、

一、本書發表ニ就テハ内外諸友ノ補助ヲ得タルコト少ナカラズ其氏名ハ他日發表スベシ、

明治三十七年二月

札幌農學校昆蟲學教室ニ於テ　松村松年識

日本千蟲圖解卷之一

札幌農學校教授 理學博士 農學士 松村松年著

總論

昆蟲ハ節肢動物ノ一ニシテ一名之レヲ六脚蟲ト云フ、體ハ判然セル頭胸及ビ腹ノ三部ヨリ成ル、頭ハ複雜ナル構造ヲ有シ多クハ幾丁質ヲ以テ硬化ス、頭ニハ觸角、眼及ビ口アリ、眼ト眼トノ間ヲ額(Frons)ト云ヒ其直下ニアル小片ヲ額片(Clypeus)ト云フ額片ノ兩側ヲ頰(Gena)ト云ヒ、浮塵子ノ如キハ此間更ニ弦月形ノ小片ヲ有ス之レヲ頰片(Lora)ト云フ、以上四者ヲ合シテ顏(Facies)ト云フ、頭ノ上方ヲ頭頂(Vertex)ト云ヒ後方ヲ後頭(Occiput)ト云フ、後頭ノ延長シテ頸狀ヲ呈スルトキハ之レヲ頸(Collum)ト云ヒ口ノ下方ヲ咽喉(Gula)ト云フ、前端ニ口ヲ開キ後端ハ前胸ニ接ス、

觸角ハ一双ニシテ眼ノ間ニアルモノ普通ナレドモ亦其下方ニアルモノモ少ナカラズ、觸角ニハ種類多ク、末端ニ至ルニ從ヒ細小スルモノヲ鞭狀、各節稍々同徑ナルモノヲ糸狀、末端ニ至リテ次第ニ膨大セルモノヲ棍棒狀、鋸歯ノ切目アルモノヲ鋸歯狀、其一層切目ノ深キモノヲ櫛歯狀ト云フ、末端ニ至リ急ニ膨大シテ球形ヲナセルモノヲ球桿狀、各節ヨリ多數ノ小枝ヲ出スモノヲ羽狀ト云フ、此他鰓葉狀、膝狀、紡錘狀、杓子狀、扇狀、叉狀或ハ枝狀ノ如キハ昆蟲ニ稀ナラザル種類ナリ、尙種々ノ形狀ヲ呈シ、名稱ノ附シ難キモノヲ總稱シテ不正形ト云フ、

第一圖　みやまくはがた
(Platycerus maculifemoratus Motsch.)

(C) 頭部 (Caput)
(T) 胸部 (Thorax)
(A) 腹部 (Abdomen)
(1) 大腮 (Mandibula)
(2) 上唇 (Labrum)
(3) 小腮鬚 (Palpus maxillaris)
(4) 下唇鬚 (Palpus labiales)
(5) 舌 (Ligula)
(6) 觸角 (Antenna)
(7) 複眼 (Oculus compositus)
(8) 稜狀部 (Scutellum)
(9) 翅鞘 (Elytra)
(10) 前肢 (Pedes anticus)
(11) 中肢 (Pedes medius)
(12) 後肢 (Pedes posticus)
(a) 腿節 (Femur)
(b) 脛節 (Tibia)
(c) 跗節 (Tarsus)
(d) 爪 (Unguis)
(e) 小爪 (Empodium)

(著者原圖)

第二圖

(甲)おさむしノ頭部(下面)

(乙)こほろぎノ頭部(下面)

(ろいにす氏原圖)

(a) 觸角 (Antenna)
(b) 複眼 (Oculus compositus)
(c) 咽喉 (Gula)
(1) 下唇基節 (Submentum)
(2) 下唇莖節 (Mentum)
(3) 下唇鬚基 (Scapus)
(4) 下唇鬚 (Palpus labiales)
(5) 下唇外葉 (Galea)
(6) 下唇內葉 (Lacina)
(I) 小腮基節 (Cardo)
(II) 小腮莖節 (Stipes)
(III) 小腮內葉 (Lacina)
(IV) 小腮外葉 (Galea)
(V) 小腮鬚 (Palpus maxillaris)
(A) 大腮 (Mandibula)
(B) 上唇 (Labrum)
(C) 舌 (Ligula)

第三圖

(甲) 一種おさむしノ小腮

(a) 小腮鬚
(b) 小腮鬚基 (Palpiger)
(c) 外葉
(d) 內葉
(d′) 內葉鉤
(e) 小腮莖節
(f) 小腮基節

(乙) 同 下唇

(a) 下唇鬚
(b) 副舌 (Paraglossa)
(c) 舌
(d) 下唇莖節
(e) 下唇基節

(すみす氏原圖)

眼ニハ複眼、集眼及ビ單眼ノ別アリテ前者ハ小眼(Ommatidium)ノ集合ヨリ成リ其限界ノ普通六角形ヲナセルモノヲ云ヒ其數ノ多キモノハ三萬以上ニ達ス、集眼トハ小眼ノ集合ヨリ成リ恰モ複眼ノ如ク隆起スルモノアリト雖モ各、個々別々ニ分離セルヲ以テ複眼ト相識別スルコト難カラズ其數ノ多キモノハ六十以上ニ達ス、單眼ハ昆蟲ノ幼蟲若クハ成蟲複眼ノ中間ニアルモノナレドモ亦成蟲頭部ノ兩側ニアルモノアリ其ノ多キモノハ頭ノ兩側ニ二十個アリ、

口ハ複雜セルモノニシテ最上ニアルモノヲ上唇(Labrum)ト云ヒ其直下ノ兩側ニ各大齒アリ之レヲ大腮(Mandibula)ト云ヒ尚其下ニアルモノヲ小腮(Maxilla)ト云ヒ更ニ其下方ニアルモノヲ下唇(Labium)ト云フ、大腮ハ食物ヲ粉碎スルニ用ユ、小腮ハ小腮鬚、內葉、外葉、莖節及ビ基節ノ諸部ヨリ成リ其內基節及ビ莖節ハ往々癒着シテ區別ナシ難シ、內葉、外葉ハ種類ニヨリテ大ニ其ノ形狀ヲ異ニシ殊ニ外葉ヲ缺クモノ多シ小腮鬚ハ普通四節ナレドモ三節若クハ二節ナルコトアリ、小腮ハ食物ヲ採集スルニ用ユ、下唇ハ基節、莖節及ビ下唇鬚ヨリ成ル、此ノ外其ノ中央ニ舌又ハ副舌ヲ生ズルコトアリ、下唇鬚ハ三節ヲ常トシ時ニ四節、六節稀ニ一節ナルコトアリ、口ニハ咀嚼口(Mandibulata)ト吸收口(Haustellata)トノ二種アリテ時ニ又咀嚼並ニ吸收ニ適スルモノアリ、吸收口ト咀嚼口ト異ナル所ハ重ニ下唇莖節ヲ缺キ下唇及ビ小腮ノ延長シテ吸收管ニ變ジタルト、延長シタル舌ノ外更ニ副舌ノ發達セルノ二點ニアリ、胸部ハ三部ニ分ツコトヲ得ベシ、最モ前方ニ位スルモノヲ前胸(Prothorax)次ギヲ中胸(Mesothorax)最モ後ニアルモノヲ後胸(Metathorax)ト云フ、各胸環ノ上部ヲ背片(Notum)ト云ヒ側面ヲ側片(Pleura)下方ヲ胸片(Sternum)ト云フ、側片ニハ前板(Episternum)及ビ後板(Epimerum)アリ、又蜻蛉ノ如ク前胸ノ背片ニ長楕圓形ノ横隆起アリ之レヲ肩板(Scapulae)ト云ヒ其側片ノ下方ニ更ニ一

第四圖　おさむしノ胸腹

（ろいにす氏原圖）

(I) 背面

(1) 中胸背片 (Meso-notum)
(2) 稜狀部 (Scutellum)
(3) 中胸側片ノ前板 (Meso-episternum)
(4) 中胸側片ノ後板 (Meso-epimerum)
(5) 翅鞘ノ附着部
(6) 翅鞘 (Elytra)
(7) 後胸側片ノ前板 (Meta-episternum)
(8) 後胸側片ノ後板 (Meta-epimerum)
(9-15) 腹環節
(16) 尾節 (Pygidium)
(S) 氣門 (Stigmata)

(II) 腹面

(1) 中胸片 (Meso-sternum)
(3) 中胸側片ノ前板
(4) 中胸側片ノ後板
(5) 中肢ノ附着部 (Acetabulum)
(6) 後胸片 (Meta-sternum)
(7) 後胸側片ノ前板
(8) 後胸側片ノ後板
(9) 後肢ノ基節 (Coxa)
(10) 後肢ノ轉節 (Trochanter)
(11-16) 腹環節

小片アリ之レヲ副側片（Parapleura）ト云フ、中胸ノ背片ニハ棱狀部（Scutellum）ト稱シテ三角形ノ小片ヲ有スルモノ多シ胸部ニハ普通二双ノ氣門、二双ノ翅及ビ三双ノ脚アリ、前胸ニアルモノヲ前肢、中胸ニアルモノヲ中肢、後胸ニアルモノヲ後肢ト云フ、肢ハ基節、轉節、腿節、脛節、及ビ跗節ノ五部ヨリ成リ普通跗節端ニ爪アリ、尙爪ノ間ニ更ニ小爪若クハ吸盤ヲ有スルモノ多シ、胸環ノ兩側ニ於テ中胸ト後胸ト相接スル處、及ビ後胸ト腹部ト相接スル處ニ各一双ノ氣門アリ、中胸ト後胸トニハ各一双ノ翅アリテ前胸ニアルモノヲ前翅ト云ヒ、後胸ニアルモノヲ後翅ト云フ、翅ノ前方ヲ前緣ト云ヒ、後方ヲ後緣、外方ヲ外緣ト云ヒ、體ニ附着セル部分ヲ翅底ト云フ、

腹部ハ十節ナレドモ多クハ癒合シテ其數ヲ減ズ最後ニアル關節ヲ尾節ト云フ各節ノ兩側ニハ普通氣門アレドモ尾節ニ之レヲ缺ク、

昆蟲內部ノ構造ハ種類ニヨリ大ニ其趣ヲ異ニスレドモ先ヅ其重要ナルモノハ消化器、呼吸器、血管組織、神經系、脂肪體及ビ筋肉組織ナリトス、消化器ハ口部ニ始マリ肛門ニ終ハル一本ノ細長管ニシテ其發達セル昆蟲ニアリテハ先ヅ三區ニ分ツコトヲ得ベシ、第一ヲ口部區ト云ヒ、喉頭、食道、及ビ嗉道ノ三部ヨリ成ル第二ヲ消化區ト云ヒ、前胃（砂囊）及ビ乳糜室ヨリ成ル、第三ハ肛門區ニシテまるぴぎ氏管ヨリ肛門ニ至ル迄ヲ云ヒ、此ノ間ニ小腸、結腸及ビ直腸アリ、嗉囊ハ食物ノ貯藏塲ニシテ吸收口ヲ有スル蟲類ニアリテハ球形ニ膨大ス之レヲ特ニ吸胃ト云フ、前胃ハ食物ヲ壓搾スル塲所ニシテ其筋肉大ニ發達シ其內ニ種々ノ突起アリ、乳糜室ハ食草蟲類ノ胃腑ニ相當スルモノニシテ專ラ消化ノ機能ヲ主ドル、まるぴぎ氏管ハ迂廻セル細長管ニシテ彈力性ニ富ム一種ノ排泄器ニシテ其內ニ尿酸、尿酸曹達若クハ蓚酸石灰ノ結晶ヲ含有ス、管數ハ普通四個若クハ六個ヲ常トスレドモ蝗

蟲類ノ如キハ其數甚ダ多シ唾液線ハ食道ノ兩側ニ位シ甲蟲類ニ見ルコト稀ナレドモ直翅類及ビ半翅類ノ昆蟲ニアリテハ普通ナリ、此他直腸ニ相接シテ肛門腺ヲ有スルモノアリ、

昆蟲ノ呼吸器ハ氣門及ビ氣管ヨリ構成セラレ、氣門ハ體ノ兩側ニ位シ先ヅ袋狀ト管狀トノ二種ニ區別スルコトヲ得ベシ、氣門數ハ蟲類ニヨリテ大ニ異ナレドモ皆體節ヨリ少ナシ、氣門ニ連續シテ氣管アリ之レハ分支シテ體ノ諸部ニ至リ血ハ之レヨリ直接酸素ヲ吸收ス、氣管枝ノ終ハル處ニ氣胞アリテ飛翔ノ際輕カラシム、

昆蟲ノ血管組織ハ甚ダ簡單ナルモノニシテ高等動物ノ如ク循環ヲナサズ其血液ヲ運輸スル有樣ハ先ヅ體背部ノ中央ニ縱走セル長管アリ是レ高等動物ノ心臟ニ相當スルモノニシテ其後端ハ閉ヂ前端ハ大動脈管ヲナス、此心臟管ニ附着スル羽狀筋ノ收縮ニヨリテ起ル血液ノ脈波ハ心臟ヲ通ジテ單ニ前方ニ至リ細管トナリテ頭部ニ入ル、血ハ之レヨリ流レテ體内ヲ自在ニ運行ス、別ニ靜脈ト稱スベキモノナク不潔ノ血ハ體ノ諸部ヨリ一定ノ道ヲナシテ心臟管ノ凸凹アル外面ニ集來シ之レニ沿フテ流下シ其兩側ニアル瓣口ヨリ再ビ管中ニ入ル管ハ細長ニシテ多數ノ小室ヨリ成リ其數普通體ノ環節ト相等シ、瓣口ノ周圍ニハ數多ノ氣管枝アリテ血ハ直接酸素ト化合ス、昆蟲ノ血液ハ大低無色透明ナレドモ時ニ綠色、黃色、赤色、紫色、褐色　等ノ諸色アリ、又血球ニモ種類多クあみーば狀ヲナセルモノ、球形、卵形、若クハ梨形等アリテ稀ニ星形ヲナスモノモアリ、

生殖器ハ普通腹部ノ七、八節ニ位シ上方ニアリ雄蟲ノ生殖器ハ卵精、輸精管、貯精囊　射精管、陰莖及ビ粘液腺等ノ諸部ヨリ成リ、卵精ハ一双アリテ普通體ノ兩側ニ位シ一個乃至十二個ノ光澤アル塊球ヨリ成リ更ニ副卵精ト稱スルモノヲ有スルコトアリ。卵精ヨリ二條ノ細管ヲ發ス之レヲ輸精管

ト云フ、之レニ次デ膨大セル部分ヲ貯精囊ト云フ、射精管ハ甚ダ伸縮力ニ富ミ内部ハ幾丁質ヲ以テ蔽ハレ陰莖ニ至リテ終ハル、雌ノ生殖器ハ卵巣管、輸卵管、貯精囊、受精囊、陰道、及ビ膠腺ノ諸部ヨリ構成セラル

神經系ハ神經球、神經線及ビ交神經ノ三種ヨリ成リ神經球ハ腦、喉下神經球及ビ胸、腹神經球ヲ構成ス、神經線ハ以上ノ神經球ヲ連絡セル二條ノ神經幹ト神經球ヨリ起ル細神經線トヲ含ミ、交神經トハ普通腦及ビ喉下神經球ヨリ發スルモノニシテ前者ヨリ出ヅルモノハ觸角及ビ眼ニ至リ後者ヨリ出ヅルモノハ口部ニ至リテ口部筋ヲ管理ス、神經球ノ數ハ蟲ノ種類ニヨリテ大ニ異ナレドモ多クモ十二個ニ過ギズ即チ頭部ニ一個、胸部ニ三個及ビ腹部ニ八個アリ、然レドモ多クハ之レヨリ小數ノ神經球ヲ有シ又大ニ其趣ヲモ異ニセルモノアリ、蠅ノ如キハ胸、腹ノ神經球相合シテ一個トナリ、蜻蛉ハ胸部ニ三個、腹部ニ七個、密蜂ハ胸部ニ三個、腹部ニ四個、牙蟲ハ胸部ニ六個、腹部ニ二個等アリテ其數一ナラズ、

脂肪體ハ腹部ノ内面ニ附着シテ普通白色ヲ呈セル不正形ノ細胞組織ヲナセルモノヲ云フ、多角形ノ細胞ヨリ成リ其新ラシキモノハ有核ナレドモ老キモノハ核ヲ缺キ細胞ノ限界不明ナリ、往々其内ニ菱狀若クハ六角形ノ結晶體ヲ有ス其結晶體中ニ尿酸アリ血ハ之レヲ携ヘテまるぴぎ氏管ニ至リ更ニ之レニ吸收セラレテ後肛門ニ出ヅ脂肪體ノアル所ハ化學的變化ノ起ル中心ニシテ其分量ノ多少ハ蟲類壽命ノ長短ニ關ス、幼蟲ハ蛹化前甚ダシク其量ヲ增シ蛹期間ニ全ク之レヲ消耗ス、神經球、生殖器及ビ心臟管ノ周圍ニ最モ多シ、

筋肉組織ハ體ノ地位及ビ働作ノ如何ニヨリテ甚ダシク異狀ヲ呈スルモノニシテ即チ腹部ニアルモノ

ハ重ニ縱走セル並行ノ束把ヨリ成リ、脚部ニアルモノハ腱樣筋ノ附着スル方向ニ從ヒ細小トナル、飛翔性ノ蟲類ニ至リテハ脚翅筋共ニ鳥類ニ比スルモ敢テ劣ラザルモノアリ、今昆蟲ノ筋肉組織ヲ大別シテ頭部筋、胸部筋、脚部筋、翅部筋、腹部筋及ビ內臟筋ノ六トナス、此內最モ複雜ナルモノハ頭部筋ニシテ腹部筋ハ割合ニ單純ナリ、

昆蟲ハ總テ時季ニヨリテ其形態ヲ變ズ之レヲ變態ト云フ彈尾類若クハ蝨類ノ如ク卵ヨリ孵化シテヨリ成蟲ニ至ル迄變態セザルモノヲ不變態(Ametabola)ト云ヒ、蟬(セミ)・飛蝗(バッタ)・蟷螂(カマキリ)、蜉蝣(カゲロウ)、若クハ蠼螋(ハサミムシ)ノ如ク判然セル蛹期ヲ經過セザルモノヲ不完變態(Hemimetabola)ト云ヒ、甲蟲、蝶、蜂、若クハ蠅ノ如ク卵、幼蟲、蛹、及ビ成蟲ノ劃然タル四期ヲ經過スルモノヲ以テ完變態(Holometabola)ト云フ尙此外異形變態(Hypermetamorphosis)ト稱シ或昆蟲ノ退化シテ異樣ノ變態ヲナスモノアリ即チ撚翅蟲(チンシチウ)科、大花(オホハナ)蚤(ノミ)科、芫菁科、擬蟷螂(カマキリモドキ)科、介殼蟲科、及ビ或寄生蜂ノ經過スルモノニシテ少ナクモ六回乃至八回ノ變態ヲナスモノヲ云フ今地膽(ツチハンメウ)ニヨリテ其經過ヲ說明センニ初メ其卵子ヨリ孵化シタルトキハ六個ノ胸脚ヲ具ヘ二個ノ長キ觸角ト尾毛ヲ有スル活潑ノ幼蟲ナレドモ其一度蜂ノ巢ニ寄生シテ第一回ノ脫皮ヲ終ヘタルモノハ觸角及ビ尾毛ヲ脫シ胸脚ハ甚ダ小形トナル第二回ノ脫皮ト共ニ蛆ノ如ク圍蛹トナリ其內ニ蛆狀ノ幼蟲ヲ藏ス、之レヲ擬蛹(Pseudopupa)ト云フ、第三回ノ脫皮ヲ終ヘ再ビ六脚ヲ有スル幼蟲トナリ第四回ノ脫皮ヲ經テ甲蟲固有ノ裸蛹トナリ第五回ノ脫皮ヲ終ヘ初メテ成蟲トナルモノヲ云フ、

昆蟲ハ大概ハ卵生ナレドモ稀ニ胎生ナルコトアリ又普通雄蟲ノ精液ヲ受ケテ發生スレドモ單性生殖(Parthenogenesis)ト稱シ受精セズシテ發生スルモノアリ又蚜蟲ノ如キハ特別ノ生殖ヲナス、即チ春夏ハ

胎生ニシテ單性生殖ヲナシ晩夏ニハ有翅ノ雌ヲ生ジ雌雄アル卵子ヲ產ム之レヲ夏卵ト云フ之レヨリ孵化シ來ルノ幼蟲ハ成蟲トナリテ翅ヲ生ジ冬卵ヲ產ス此卵子ハ年內ニ孵化スルモノアレドモ多クハ其儘越年シ翌春ニ至リテ孵化ス、此ハ胎生兒ヲ產スルコト前ノ如シ、以上此生殖ヲ世代交番(Heterogenesis)ト云フ又癭蠅科ニ屬スルみあすてる若クハへてろぺざノ如ク蛆ノ時代ニ於テ胎生兒ヲ產スルコトアリ之レヲ幼產生殖(Paedogenesis)ト云フ、又避債蟲若クハ沒食子蜂ノ如ク精子ノ作用ヲ受ケタル卵子ヨリハ雄ヲ生ジ受精セザル卵子ヨリハ雌ヲ生ズルコトアリ、又蜜蜂ノ如ク受精シタル卵子ヨリハ雌蜂及ビ職蜂ヲ生ジ受精セザル卵子ヨリハ雄蜂ヲ生ズ以上此等ヲ偏生殖(Androgenesis)ト云フ、

幼蟲ハ種類ニヨリ大ニ其形狀ヲ異ニシ總テ無翅ナリ、本邦ニ於テ俗ニ烏蠋、蛄蟖、尺蠖、地蠶、螟蛉及ビ葉捲蟲ト稱スルモノハ多ク蝶蛾類ノ幼蟲ニシテ蠐螬、蝎、針金蟲、蛓ト稱スルモノハ重ニ甲蟲ノ幼蟲ヲ指スモノナリ其他蛆、水蠆、沙挼子、石蠶、螟蟲、髓蟲、黑蠋等ノ名稱ハ一種昆蟲ノ幼蟲期ニ外ナラズ以上此等ノ幼蟲ハ成蟲ト大ニ其趣ヲ異ニシ多少蠕蟲ニ類ス其大氣ニ接スルモノハ大概種々ノ彩色ヲ有シ其動植物ノ組織內ニアルモノハ概ネ白色ナリ、幼蟲ヲ分チテ普通左ノ五種トス、

第一、無頭無脚ナルモノ……………………蠅類ノ幼蟲、
第二、有頭無脚ナルモノ……………………蜂、天牛、象鼻蟲ノ幼蟲、
第三、有頭六脚ナルモノ……………………甲蟲類ノ幼蟲、
第四、有頭十脚乃至十六脚ナルモノ……………蝶蛾類ノ幼蟲、
第五、有頭十八脚乃至二十二脚ナルモノ…………鋸蜂ノ幼蟲、

蛹ニハ種類多シト雖モ先ヅ被蛹、裸蛹、及ビ圍蛹ノ三種ニ分ツコトヲ得ベシ被蛹(Pupa obtecta)トハ硬

皮ヲ以テ蓋ハレ、觸角、脚、翅等ノ判然セザルモノヲ云フ、即チ蝶、蛾ノ蛹ノ如キハ之ナリ、裸蛹(Pupa libera)トハ硬皮ヲ以テ蓋ハルヽコトナク觸角、翅、及ビ脚ノ判然セルモノヲ云フ即チ甲蟲、蜂ノ蛹ノ如キハ之レナリ、圍蛹(Pupa coarctata)ハ硬皮ヲ以テ蓋ハレタレドモ元來此被蓋ハ幼蟲ノ皮膚ノ硬化シ其儘殘留シタルモノナレバ被蛹トハ全ク其趣ヲ異ニセリ、即チ蠅ノ蛹ノ如キハ之レナリ、被蛹ニモ種類多ク、粉蝶ノ如ク一本ノ絹糸ヲ以テ自體ヲ縊リ蛹化スルモノアリ之レヲ帶蛹(Pupa succincta)ト云ヒ俗ニ之レヲお菊蟲ト云フ又蛺蝶(ヒオドシテフ)ノ如ク尾端ニテ垂下スルモノアリ之レヲ垂蛹(Pupa suspensa)ト云フ、尚此他絹糸ヲ以テ繭ヲ造リ蛹ヲ蓋ヒ又管中若クハ捲葉ノ内ニ薄繭ヲ造リ其内ニ蛹化スルモノアリ尚一種ノ膠液ヲ分泌シテ土窩ヲ造リ其内ニ蛹化スルモノモアルナリ、今蛹ヲ左ノ五種ニ區別ス、

第一、有繭被蛹……………………………………蛾類、

第二、有繭裸蛹……………………………………膜翅類ノ大部、脈翅類及ビ毛翅類、

第三、無繭被蛹……………………………………蝶類、食葉甲蟲類、及ビ双翅類ノ一部、

第四、無繭裸蛹……………………………………胡蜂、蜜蜂、及ビ甲蟲類ノ大部、

第五、圍蛹……………………………………………蠅類ノ大部、

成蟲トハ昆蟲最後ノ時期ニシテ即チ其生殖期ナリ、無脚ノ幼蟲モ成蟲期ニアリテハ悉ク六個ノ脚ヲ供ヘ二個乃至四個ノ翅ヲ生ズルニ至ル毫モ成長スルコトナシト雖モ蛹ヨリ羽化シタル當時ハ色淡ク時ノ經過ト共ニ濃色ヲ呈ス、其目的ハ單ニ子孫ノ繼續ニアリ、其目的ヲ達スルニ困難ヲ感ズルモノハ長壽命ヲ有シ口部ハ發達シ其蕃殖ニ容易ナルモノハ數時間ニシテ死シ口部ハ退化シテ食餌セズ、其内最モ壽命ノ短キモノハ蜉蝣(カゲロウ)ニシテ長クモ四五時間ニ過ギザルモノ多シ、其最モ壽命ノ長キモノ

ハ蟻ニシテ十三年ノ長キニ亘ルモノアリ、成蟲ハ多ク年ニ一回發生スレドモ亦二回三回ノ羽化期ヲ有スルモノアリ、是レ食物ノ如何ニヨルモノニシテ即チ草葉ヲ食スルモノハ其回數多ク喬木ノ嫩葉ヲ食スルモノハ概子一回ノ發生ヲナス、

昆蟲ノ彩色ハ凡テ生存上ノ必要ヨリ起リタルモノニシテ實に自然陶汰ノ結果ニ外ナラズ草間ニアル螽斯、蟷螂ハ緑色ヲ呈シ地上ニアル螻蛄、蟋蟀ハ暗褐ナリ、此等ノ彩色ハ則チ保護色ニシテ防禦又ハ攻擊ノ爲メ其周圍ニ似タルモノナリ、爰ニ擬態(Mimicry)ト稱スルモノアリ、是レ防禦又ハ攻擊ノ爲メ他ノ動物ニ似タル彩色ニシテ蜂ハ有毒ノ刺針ヲ有スルヲ以テ鳥類其他動物ノ襲擊ニ罹ルコト稀ナリ故ニ鱗翅類、双翅類及ビ椿象類ノ之レト同形ナルモノ多シ是レ蜂ニ擬ラハスノ體形ヲ有スルヲ以テ大ニ生存上ニ利益アリとらむし若クハ蛇ノ黃蜂ニ擬スルすかしすゞめノ花蜂ニ似タル、眼蠅ノ細腰蜂ニ類スル此等ハ皆擬態ノ適例ナリ、次ニ警戒色ト稱スルモノアリ、即チ蜂ノ如キ毒刺ヲ有スルモノ或ハ椿象、歩行蟲、瓢蟲ノ如キ臭液ヲ分泌スルモノ其他惡味ヲ帶ブル蛄蟖、烏蠋ノ如キハ他動物ノ食セザルヲ以テ可成外敵ニ表示スルノ必要ヨリ美色ヲ裝フヲ常トス是レ保護色ト正反對ニシテ黃蜂ノ顯著ナルあさぎまたら蝶ノ艶麗ナル或ハ蛄蟖ノ美色ヲ有シ長毛ヲ裝ヘル此等ハ全ク外敵ノ過テ食セザル樣彼等ヲ警戒スルノ彩色ト云フベシ、爰ニ又雌雄ニヨリ大ニ其彩色ヲ異ニセルモノアリ、之レヲ雌雄陶汰色ト云フ即チ彼ノ小紫蝶ノ如キ或ハ小灰蝶ノ如キ雌雄頗ル表翅ノ彩色ヲ異ニシ雄蟲ハ常ニ美麗ナリ爰ニ出格トモ稱スベキハ豹紋蝶ノ雌ニシテ此屬ニアリテハ雌ノ彩色遙ニ雄ヨリ美ナルニアリ、尙獨角仙若クハ鍬形蟲ノ如ク雌雄彩色ハ同樣ナレドモ頗ル頭部ノ形狀ヲ異ニシ雄ハ大形ノ武具ヲ有ス是レ亦雌雄陶汰ノ結果ニ外ナラズ、

昆蟲ニハ蟬ノ如ク眞正ノ發音器ヲ有スルモノ甚ダ稀ニシテ多クハ摩擦ニヨリテ發音ス、聒聒兒、蟋蟀、馬追蟲ノ如キハ右前翅ニ發音鏡アリテ左前翅ト相摩擦シテ發音ス、或ハ蝗螽・蟿螽、若クハ飛蝗ノ如ク翅ト翅ヲ打チ合セテ發音スルモノアリ、或ハなきいなごノ如ク翅ト脚トノ摩擦ニヨルモノアリ、或ハ飛蝗ノ如ク大腮ト大腮トノ摩擦ニヨリ或ハ茶柱蟲ノ如ク大腮ト他物トノ摩擦ニヨリ蚊、蠅、蜂、蜻蛉、ノ如キハ翅ノ運動ニヨリテ發音スルコトアレドモ其大聲ハ多ク胸部ノ氣門内ニアル小突起ニ歸スルモノニシテ其呼出ニ從ヒ空氣ノ之レニ觸レテ發音スルモノト云フベシ、尙此他、叩頭蟲、天牛、番死蟲ノ如キハ頭部ト胸部トノ摩擦ニヨリ、埋葬蟲、象鼻蟲ノ如キハ腹部ヲ翅鞘ニ摩擦セシメ、或蛾類ノ如キハ前翅及ビ胸部ニアル幾丁質性ノ突起若クハ附屬物ヲ有シ飛翔ノ際之レヲ摩擦シテ發音ス、又蟻若クハ蟻蜂ノ如ク腹部ノ各節ヲ互ニ摩擦シテ發音スルモノモアリ、要スルニ昆蟲ノ發音器ハ凡テ雌雄陶汰ノ結果トシテ起リタルモノニシテ殆ンド雄ニ限ラレアリト雖ドモ稀ニ歐洲ニ産スルエフヰピゲラ(Ephippigera.)蝗蟲ノ如ク雌雄共ニ發音スルモノモアルナリ、

蟲類ハ他ノ動物ト同樣ニ氣候、地勢及ビ植物ニ少ナカラザル關係ヲ有スルモノニシテ或モノハ熱帶ニ限ラレ或モノハ寒帶ニ住シ或モノハ温帶ニノミ棲息スルモノアリ、地勢ニ就テハ白堊質ノ地方ニ多キモノアリ或ハ砂地ニ限ルモノアリ、或ハ粘土地ヲ好ムモノ等アリ、之レヨリモ猶昆蟲ノ生存ニ關係アルモノハ則チ之レガ食物タル植物ニシテ我國ノ如ク多數ノ昆蟲ヲ産スルハ一ニ植物ノ多數ニ歸スルモノト云フベシ、彼ノ伊太利若クハ亞佛利加ノ北海岸ノ如キ半熱帶ナル地方ヨリモ寧ロあるぷす山地方ニ蟲類ノ多キハ一ニ其植物多數ノ然ラシムルモノト云フベシ、

昆蟲ハ其數多キト共ニ其分布モ極メテ廣ク殊ニ鞘翅類、直翅類及ビ鱗翅類ノ如キハ地球上到ル處ニ

見ルコトヲ得ベシ而シテ爾來知ラレタル蟲類ヲ以テ其分布ヲ論ズルトキハ舊北洲ハ歩行蟲ニ富ミえしをぴや洲ハ金龜子ニ富ミ、東洋洲ハ大美ノ蝶類ニ富ミ、濠太良利亞洲ハ美麗ノ吉丁蟲ヲ產シ、新熱帶洲ニハ固有ノ蝶類及ビ美大ノ天牛多ク、新北洲ハ舊北洲ニ類似シタルモノ多ク殊ニ鱗翅類及ビ鞘翅類ニ富ム、舊北洲トハ歐洲全體、地中海ノ沿岸ニアル亞佛利加、西比利亞、支那北部、及ビ日本(琉球臺灣ヲ除ク)ヲ包擁ス、えしをぴや洲ハ亞佛利加全體(地中海ノ沿岸ヲ除ク)及ビまたがすかる島ヲ含ミ、東洋洲ハ印度、びるま、南方支那、じやば、ぼるねを、すまとら、臺灣、木曜島、等ノ諸島ヲ含ミ、濠太良利亞洲ハ濠洲、にうじーらんど其他小形ナル諸島ヲ含有ス、新熱帶洲トハ南亞米利加ヲ云ヒ新北洲トハ北亞米利加ヲ云フ、

夫レ本邦ノ昆蟲ハ歐洲同樣に舊北洲ニ屬スルヲ以テ歐洲ト同種ノ昆蟲甚ダ多ク殊ニ西比利亞地方ニ產スルモノヽ如キハ北海道產ノモノト殆ンド其趣ヲ等シクシ其大半ハ同種ナルヲ見ルナリ、但ダ我琉球ノ如キ又臺灣ノ如キハ東洋洲ニ屬ズルモノニシテ從テ歐洲產ノモノト全ク其趣ヲ異ニセリ、以上本邦昆蟲ノ分布ハ舊北洲及ビ東洋洲ニ跨リ或ハ熱帶產アリ溫帶產アリ或ハ又寒帶產ナルモノアリテ世界稀ナル多數ノ昆蟲ヲ產シ又從テ多數ノ害蟲ヲ包擁スルナリ、

現今世界ニ發見セラレタル其學名ヲ有スルノ動物ハ四十萬餘ニシテ凡ソ其四分ノ三即チ三十萬餘ハ昆蟲ナリ、其內鞘翅目ハ其四割ヲ占メ鱗翅目、双翅目、膜翅目及ビ殘餘ノ昆蟲ハ其六割ヲ占ム、本邦ニ產スル蟲類ノ總數ハ未ダ其統計ヲ精查スベキモノナシト雖モ學名ヲ有スルモノハ大凡一萬ニ垂トス、

日本昆蟲ノ分類

昆蟲綱ヲ大別シテ左ノ二亞綱トナス、

(甲)無　翅　亞　綱　APTERYGOGENEA.
(乙)有　翅　亞　綱　PTERYGOGENEA.

(甲)無翅亞綱

此亞綱ニ屬スルノ昆蟲ハ背テ其翅ヲ有セシ跟跡ヲ有セズ、此内ニ左ノ一目アリ、

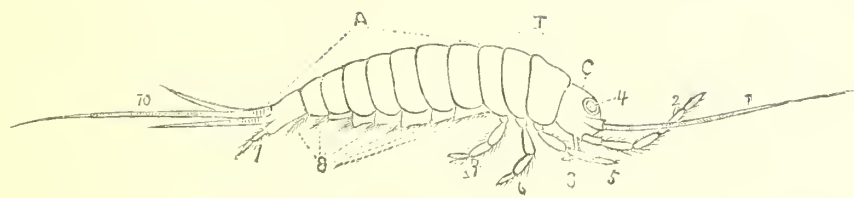
第一、彈　尾　目　THYSANURA.

二双ノ顋ハ頭腔内ニアリテ僅ニ其末端ヲ現ハシ咀嚼及ビ吸収ニ適ス、頭ノ兩側ニハ單眼ノミヲ具ヘ複眼ヲ有スルモノ稀ナリ、體ニハ細鱗若クハ細毛ヲ装ヒ、尾端ニハ鞭狀若クハ劍狀ノ附屬物アリテ跳躍ニ適ス、變態ハ不變態ナリ、此ハ最下等ノ昆蟲ニシテ多クハ小形ナリ、日光ヲ嫌ヒ晝間ハ隱レ夜ニ至リテ出ヅ、又水邊ノ濕地若クハ砂礫地ニ限リテ棲息スルモノアリ、此目ヲ分チテ左ノ二亞目トナス、

第一、衣　魚　亞　目　CINURA.
第二、彈　尾　亞　目　COLLEMBOLA.

第一、衣魚亞目　尾端ニハ鞭狀ノ附屬物ヲ有シ、第一腹節ノ下方ニハ吸盤ナシ、多クハ擬肢ト稱シ腹部ニ脚樣ノ附屬物ヲ装フ、此内本邦ニ産スルモノ左ノ三科ナリ、

第五圖　いしのみ　(Machilis sp.)

(C)頭部
(1)觸角
(2)小腮鬚
(3)下唇鬚
(4)複眼
(5)前肢
(6)中肢
(7)後肢
(8)擬肢
(9)跳躍器
(10)尾毛
(T)胸部
(A)腹部

(著者原圖)　(廓大圖)

第一、衣魚科 Lepismidae.

體ハ扁平、頭ノ兩側ニ普通十二個ノ小眼ヨリ成レル集眼ヲ有ス、下唇鬚四節、末端節ハ平タク稍ヤ圓形ヲナス、略ボ同長ナル三個ノ尾毛アリ、跳躍器短カクシテ發達セズ、多クハ白色若クハ黄色ノ種類ヲ含ミ、野外ニアルモノハ石下ニ棲息ス、

第二、石跳蟲科 Machilidae.

體ハ側扁、頭ノ兩側ニ明亮ナル大集眼ヲ有シ、不等ナル三個ノ尾毛アリ、跳躍器ハ發達シテ長ク尾端外ニ突出シ、腹部ニハ擬肢ヲ有ス、多クハ古キ石上ニアリテ蘚苔ヲ食ヒ、其性甚ダ活潑ニシテ跳躍ス、

第三、長跳蟲科 Campodeidae.

體ハ細長ニシテ其兩側稍ヤ平行シ、尾端ニハ二個ノ尾毛ヲ裝ヒ、腹部ニハ擬肢ヲ有ス、觸角及ビ尾毛ハ甚ダ長ク恰モ蜈蚣ノ如シ、其性活潑ナレドモ跳躍器ヲ缺ク、多クハ倒木若クハ古石ノ下ニ棲息ス、

第二、彈尾亞目　尾端ニハ一個劍狀ノ附屬物アリテ跳躍ニ適ス稀ニ其退化セルモノアリ、第一腹節ノ下方ニハ直立セル太キ叉狀ノ吸盤アリテ跳躍ニ便ナラシム、

第一、擬跳蟲科 Aphoruridae.

體長ク、觸角及ビ脚短カク、單眼ハ頭ノ兩側ニ各十三乃至二十個アリ、觸角四節、跳躍器ハ微小ニシテ見エズ、性遲鈍ニシテ跳躍スルコトヲナサズ、多クハ石若クハ倒木ノ下ニ棲息ス、

第二、跳蟲科 Poduridae.

單眼ハ頭ノ兩側ニ各八個アリ、觸角及ビ脚ハ短カク、前者ハ四節ヨリ成ル、跳躍器ハ發達スレドモ長カラズ、微小ノ種類ニシテ多

第六圖　ふたをかげろう　(Siphurulus sapporensis Mats.)

(1) 觸角
(2) 複眼
(3) 前肢
(4) 中肢
(5) 後肢
(6) 前翅
(7) 後翅
(8) 尾毛
(9) 尾附屬物
(10) 前緣脈
(11) 副前緣脈
(12) 徑脈
(13) 中脈ノ枝脈
(14) 中脈
(15) 內緣脈

(著者原圖)　(廓大圖)

クハ溜水ノ上ニ棲息シ甚ダシク跳躍ス、

第三、長角跳蟲科（ヒゲナガトビムシ） Entomobryidae.

觸角、脚、及ビ跳躍器長シ、單眼ハ頭ノ兩側ニ各三個乃至八個アリ、觸角ハ四節ヨリ成ル、此ハ倒木ノ下ニ多シ、大形ノ種類ヲ包擁ス、

第四、圓跳蟲科（マルトビムシ） Smynthuridae.

觸角長クシテ膝狀ヲ呈シ、四節ヨリ成リ、末端節ハ長クシテ更ニ數個ノ副節ヨリ成ル、體ハ稍ャ球形、腹部ハ二節ヨリ成ル、跳躍器ハ長シ、多クハ微小ノ種類ニシテ普通植物ヲ食ヒ時ニ農作物ニ大害ヲ加フルコトアリ、

(乙)有翅亞綱

此亞綱ニ屬スルノ昆蟲ハ中後ノ兩胸ニ各一双ノ翅ヲ有ス、但シ或者ハ翅ヲ缺如スレドモ曾テ其祖先ノ有セシ跟跡ヲ存セリ、此内ニハ左ノ十八目ヲ包擁ス、

第一、蜉蝣目 EPHEMERIDA.

口ハ退化シ、翅ハ軟弱、膜質ニシテ細キ網狀ノ翅脈ヲ有シ、前翅ハ大ニシテ後翅小サク、稀ニ後者ヲ缺クモノアリ、尾節ニハ二個若クハ三個鞭狀ノ附屬物アリ、變態ハ不完全ナリ、幼蟲ハ水中ニアリテ少ナクモ二十回ノ脫皮ヲナス、本目ニハ左ノ一科アリ、

第一、蜉蝣科（カゲロウ） Ephemeridae.

觸角ハ針狀ニシテ二節乃至三節ヨリ成リ、複眼ハ雄ニアリテハ甚ダ大ナレドモ雌ニアリテハ小ナリ、二個乃至三個ノ大ナル單眼ヲ具ヘ、額片ハ甚ダ大ニシテ退化セル口部ヲ掩ヒ、中胸ハ前胸ヨリモ四倍長シ、此幼蟲ハ水中ニ大凡三年間棲息スレドモ羽化後ハ數

第七圖　おにやんま♀ (Anotogaster Sieboldii Selys)

（著者原圖）（廓大圖）

(C) 頭部
(A) 腹部
(1) 觸角
(2) 單眼
(3) 複眼
(4) 後頭
(5) 額
(6) 中胸ノ附屬物 (Scapulae)
(7) 前肢
(8) 中肢
(9) 後肢
(10) 尾端ノ下附屬物
(11) 尾端ノ上附屬物
(12) 內緣角
(13) 膜瓣
(P) 前翅
(Q) 後翅
(14) 前緣脈
(15) 副前緣脈
(16) 中脈
(17) 徑脈
(18) 三角室
(19) 結節
(20) 結節後脈
(21) 結節前脈
(22) 結節副脈
(23) 緣紋

時間ニシテ死ス、

第二、蜻蛉目 ODONATA.

口ハ發達シテ咀嚼ニ適シ、翅ハ膜質ニシテ細キ網狀ノ翅脈ヲ備ヘ、前翅ハ後翅ヨリ小ナレドモ亦同大ナルモノアリ、前緣ノ中央ニハ結節(Nodus)ヲ有シ、尾節ニハ二個ノ短カキ附屬物アリ、雄ノ生殖器ハ第二腹節ニアリ、幼蟲ハ水中ニ住シ變態不完全ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ三科アリ、

第一、蜻蛉(トンボ)科 Libellulidae.

靜止ノトキハ翅ヲ水平ニ開置シ、後翅ハ前翅ヨリ大キク、前翅ニ於ケル三角室ノ前緣ハ短カク、後翅ノ三角室ト大ニ其趣キヲ異ニス、複眼ハ頭頂ニ相接スレドモ、後頭ハ判然セリ、常ニ一定ノ處ニ飛翔若クハ靜止シ遠方ニ徘徊セズ、

第二、蜻蜓(ヤンマ)科 Aeschnidae.

後翅ハ前翅ヨリ大キク、前翅三角室ノ前緣長ク、內緣最モ短カシ、複眼ノ頭頂ニ相接スルモノト接セザルモノトアリ、靜止ノトキハ翅ヲ水平ニ開置シ一定ノ處ニ飛翔スルモノアレドモ多クハ遠距離ヲ徘徊シ靜止スルコト稀ナリ、黃昏高ク飛デ蚊ヲ捕食ス、

第三、豆娘(トウスミトンボ)科 Agrionidae.

靜止ノトキハ翅ヲ直立セシメ、翅ニ三角室ヲ缺キ、翅底細シ、後翅ハ前翅ト畧ボ同様ノ大サヲ呈シ、複眼ハ廣ク頭上ニ相隔離シ、體ハ細長、腹部ハ稍ヤ圓柱形ヲナス、遠ク飛翔セズ、

第三、積翅目 PLECOPTERA.

第八圖　すかしかはげら (Dictyopteryx sp.)

(1) 觸角
(2) 小腮鬚
(3) 複眼
(4) 單眼
(5) 前肢
(6) 中肢
(7) 後肢
(8) 前翅
(9) 後翅
(10) 尾毛
(11) 尾突起
(12) 前緣脈
(13) 副前緣脈
(14) 徑脈
(15) 徑脈ノ第一枝
(16) 中脈
(C) 頭部
(T) 胸部
(A) 腹部

（著者原圖）（廓大圖）

口ハ咀嚼ニ適スレドモ多クハ退化セリ、翅ハ膜質ニシテ横脈少ナク、後翅ハ前翅ヨリ大形ニシテ縱ニ疊ミ得ベシ、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、尾節ニハ環節アル二個ノ尾毛(Nemura屬ハ之レヲ缺ク)ヲ有スレドモ稀ニ之レヲ缺クモノアリ、變態ハ不完全ナリ、幼蟲ハ水中ニ住ス、本邦ニハ左ノ一科アリ、

第一、積翅蟲科 Perlidae.

觸角ハ糸狀、鞭狀若クハ連鎖狀ヲ呈シ、小腮小形、小腮鬚長ク五節ヨリ成リ、下唇鬚三節、體ハ平タク、兩側ハ略ボ相平行シ、腹部ハ十節ヨリ成リ、脚ハ强剛、腿節ハ肥大シ脛節ヨリ短カク、跗節ハ三節、二爪ノ間ニ更ニ一個ノ廣キ吸盤アリ、河畔ノ草間若クハ樹木ニ靜止スルモノ多シ、

第四、白蟻目 ISOPTERA.

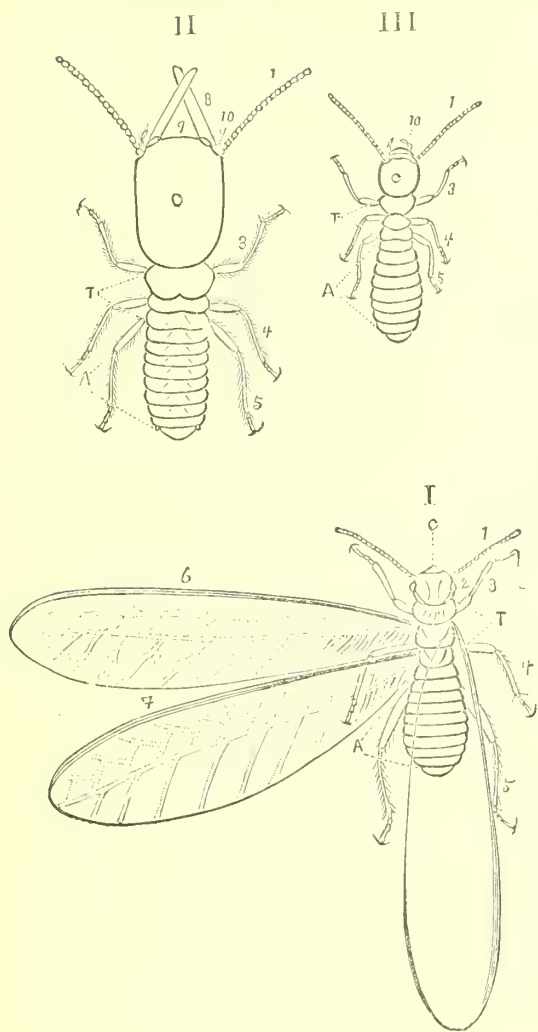
口ハ咀嚼ニ適シ、翅ハ膜質不透明ニシテ判然セザル翅脈ヲ有シ、二双ノ翅ハ同大ナリ、靜止ノトキハ之レヲ腹上ニ置ク、一社會ヲ組織シ雌雄ノ外、職蟻及ビ兵蟻ヲ有ス、變態ハ不完全ナリ、本邦ニ産スルモノ左ノ一科アリ、

第一、白蟻科 Termitidae.

觸角ハ短カク糸狀ノ連鎖狀ヲナシ普通十三節乃至二十節ヨリ成リ基節太シ、複眼ハ圓ク、三個ノ單眼ヲ備ヘ、小腮鬚五節、下唇鬚三節、脚短カク、跗節ハ四節アリ、腹部ハ長卵形ニシテ九節ヨリ成リ、尾端ニ附屬物ヲ缺ク、本邦産スルモノ二種アリ、

第九圖　(I) さつましろあり (Termes sp.)

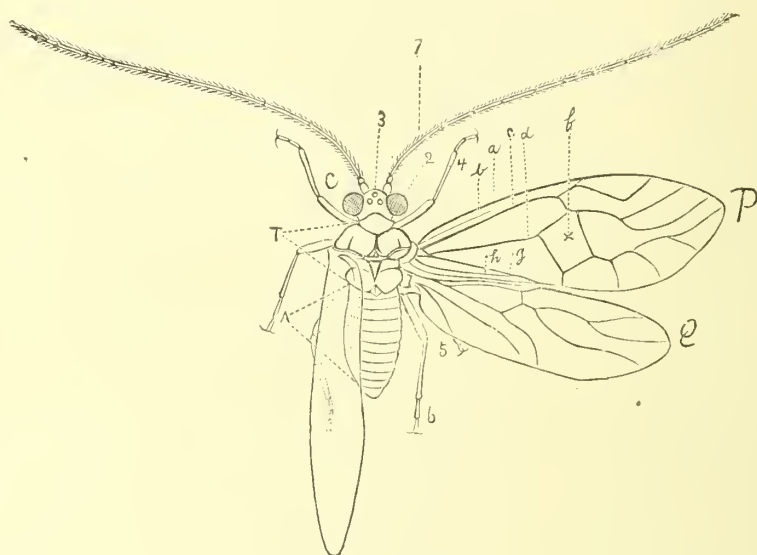
(II) しろあり(兵蟻)

(III) しろあり(職蟻) (Termes speratus Kolbe)

(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 複眼
(3) 前肢
(4) 中肢
(5) 後肢
(6) 前翅
(7) 後翅
(8) 大腮
(9) 上唇
(10) 小腮鬚

(著者原圖)　(擴大圖)

第十圖　まだらあぶらむしもどき (Psocus sp.)

(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 複眼
(3) 單眼
(4) 前肢
(5) 中肢
(6) 後肢
(T) 胸部
(A) 腹部
(P) 前翅
(Q) 後翅

(a) 前緣脈
(b) 副前緣脈
(c) 中脈
(d) 副中脈
(g) 副內緣脈
(h) 內緣脈
(f) 中室

(著者原圖)(廓大圖)

第五、嚙蟲目 CORRODENTIA.

口ハ咀嚼ニ適シ、翅ハ膜質ニシテ前翅ハ後翅ヨリ遙ニ大キク、翅脈ハ隆起シ横脈ハ小數ナリ、靜止ノトキハ翅ヲ屋斜狀ニ置ク、變態ハ不完全ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ一科ナリ、

第一、茶柱蟲科 Psocidae.

體ハ短カク頭ハ稍ヤ三角形ヲナシ、額ハ普通膨起ス、觸角ハ長クシテ多節ヨリ成リ、三個ノ單眼ヲ裝フ、大腮强剛、小腮鬚ハ四節ヨリ成リ、下唇鬚ハ退化ス、翅ヲ缺クモノアリ、跗節ハ二節乃至三節ヨリ成ル、此種類ハ大腮ヲ以テ他物ヲ搔キ發音ス、

第六、食毛目 MALLOPHAGA.

口ハ咀嚼ニ適シ、前後翅ヲ缺キ、體ハ扁平ニシテ中後ノ二胸環ハ相癒着ス、皆禽獸ニ寄生シテ軟毛ヲ食ヒ同時ニ又血液ヲ吸收ス、本邦ニ產スルモノ左ノ二科ナリ、

第一、長羽蝨科 Liotheidae.

觸角ハ四節ニシテ棍棒狀ヲ呈シ、四節アル小腮鬚ヲ有ス、多クハ長形ノ種類ヲ包擁ス、

第二、羽蝨科 Philopteridae.

觸角ハ糸狀ニシテ三節若クハ五節ヨリ成リ、小腮鬚ヲ缺ク、多クハ卵形ノ種類ヲ包擁ス、

第七、疊翅目 EUPLEXOPTERA. (Dermaptera.)

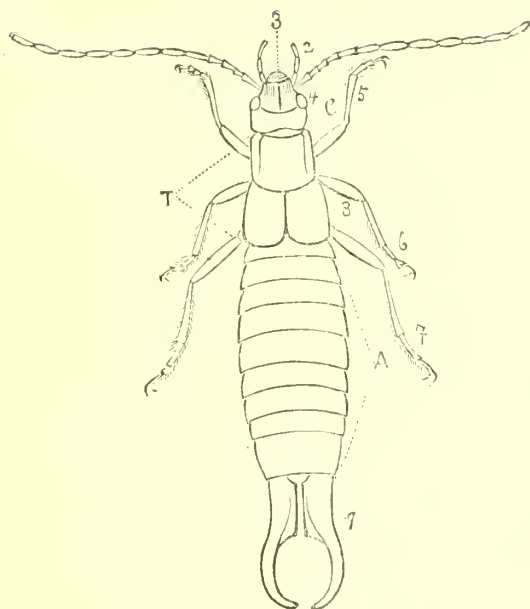
口ハ咀嚼ニ適シ、前翅ハ小ニシテ硬化シ翅脈ヲ有セズ、後翅大ニシテ放線狀ノ翅脈ヲ有シ、靜止ノ

第十一圖　鷹ノ羽蝨　(Docophorus sp.)

(1) 大腮(透明ナル前頭下ニ見ユルモノ)
(2) 觸角
(3) 單眼
(4) 前肢
(5) 中肢
(6) 後肢
(C) 頭部
(T) 胸部
(A) 腹部
(7) 氣門
(II) 觸角

(著者原圖)　(廓大圖)

第十二圖　くぎぬきはさみむし♂ (Forficula tomis Kolen.)

(1) 觸角
(2) 小腮鬚
(3) 額片
(4) 複眼
(5) 前肢
(6) 中肢
(7) 後肢
(8) 翅鞘
(9) 尾端ノ鋏子
(C) 頭部
(T) 胸部
(A) 腹部

(著者原圖)(廓大圖)

トキハ之レヲ縱横ニ疊置ス、體ハ扁平、尾節ニハ鋏子狀ノ附屬物アリ、變態ハ不完全ナリ、本邦ニ産スルモノ左ノ一科アリ、

第一、蠷螋(ハサミムシ)科 Forficulidae.

觸角ハ糸狀ニシテ十二節乃至三十節ヨリ成リ、複眼圓ク、單眼ヲ缺キ、往々翅ヲ缺如スルモノアリ、跗節ハ三節ヨリ成リ、産卵管及ビ發音器ヲ缺ク、多クハ平タキ細長ノ種類ニシテ倒木若クハ石下ニ棲息シ小蟲ヲ捕食シ農家ニ有益ナリ又家屋ニ入リ來リ家蠶ヲ食害スルコトアリ、

第八、直翅目 ORTHOPTERA.

口ハ咀嚼ニ適シ、前翅ハ細ク多少硬化シ、判然セル網狀脈ヲ有シ、靜止ノトキハ屋斜狀ニ置ク、後翅ハ大ニシテ膜質ヲ呈シ、靜止ノトキハ前翅下ニ縱疊ス、稀ニ翅ヲ缺クモノアリ、雌ハ産卵管ヲ有ス、變態ハ不完全ナリ、本邦ニ産スルモノ左ノ六科ナリ、

第一、蜚蠊(ゴキブリ)科 Blattidae.

體ハ扁平ニシテ楕圓形ヲナシ、頭ハ前胸下ニ蔽ハレ、觸角ハ鞭狀ニシテ長ク、複眼ハ腎臟形ヲ呈シ、普通單眼ヲ缺ク、脚ハ側扁ナリ、雌ハ短大ナル三稜柱狀ノ産卵管ヲ有シ、尾端ノ二附屬物ハ環節ヲ有ス、

第二、螳螂(カマキリ)科 Mantidae.

體細長ク、前肢ハ甚ダシク發達シテ鎌狀ノ捕獲肢ニ變ジ、中後ノ兩肢ハ圓柱形ナリ、複眼圓ク、三個ノ單眼ヲ備ヘ、雌ノ産卵管ハ隱

第十三圖　かまきり　(Tenodera aridifolia Sauss.)

(著者原圖)

(1) 觸角
(2) 複眼
(3) 單眼
(4) 前肢
(5) 中肢
(6) 後肢
(7) 前翅
(8) 後翅
(9) 尾端ノ附屬物
(T) 前胸、中胸及ビ後胸背
(A) 腹部
(a) 前緣脈
(b) 副前緣脈
(c) 前徑脈
(d) 後徑脈
(z) 前緣室

レ、尾様狀ノ附屬物ハ環節ヲ有ス、食肉性ニシテ農家ニ有益ナリ、

第三、竹節蟲科 Phasmidae.

體ハ細長ク、三双ノ肢ハ同長、前肢ハ捕獲肢ニ變ゼズ、尾節ノ附屬物ハ環節ヲ缺キ、產卵管ハ隱レテ見ヘズ、食草性ナレドモ農家ニ害ヲナサズ、

第四、蝗蟲科 Acrididae.

觸角糸狀若クハ劍狀ニシテ短カク、後腿節膨大シテ跳躍ニ適シ、第一腹節ニ聽器ヲ具ヘ、雄蟲ハ普通後肢ヲ前翅ノ兩側ニ摩擦シテ發音ス、產卵管ハ短カク、尾様ノ附屬物ハ環節ヲナサズ、

第五、螽斯科 Locustidae.

觸角ハ鞭狀ニシテ長ク、前肢ノ脛節ニ聽器ヲ具ヘ、右前翅ニ透明ナル發音鏡アリ、跗節ハ四節、尾様狀ノ二附屬物ハ短カク環節ヲナサズ、產卵管ハ劍狀ニシテ長シ、

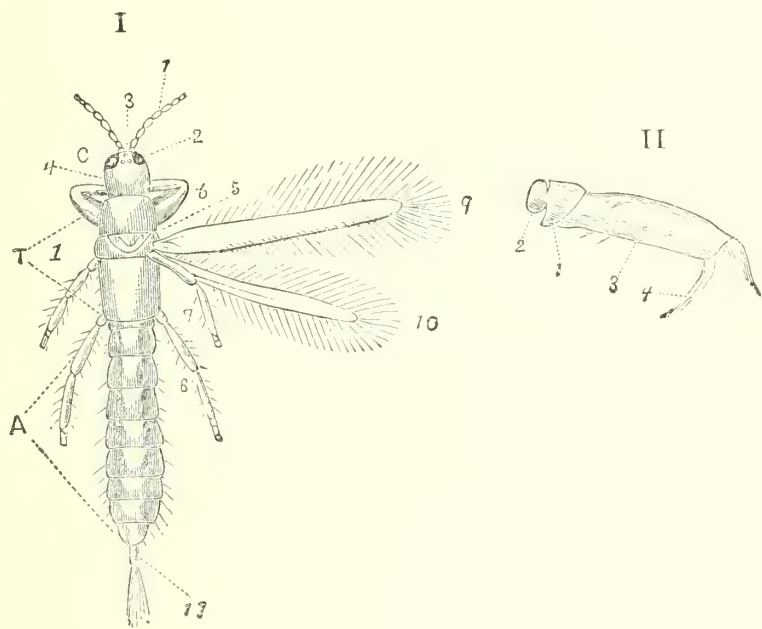
第六、蟋蟀科 Gryllidae.

前科ニ似レドモ尾節ニハ長キ尾様狀ノ二附屬物ヲ有シ環節ヲナサズ、跗節ハ三節、爪ノ間ニ吸盤ヲ有セズ、產卵管ハ錐狀ニシテ細長シ、但シ螻蛄ハ產卵管ヲ缺如ス、

第九、總翅目 THYSANOPTERA.

口ハ吸收及ビ咀嚼ニ適シ、大腮ハ延長シテ刺毛狀ニ變ジ、前後翅ハ畧ボ同形ニシテ細長ク長緣毛ヲ裝ヒ、翅脈少ナシ、跗節端ニハ一個ノ膨大セル附屬物アリ、故ニ一名胞脚目(Physopoda)トモ云フ．

變態ハ不完全ナリ、本目ヲ分チテ左ノ二亞目トナス、

第十四圖　いねのあざみうま (Phloeothrips Oryzae Mats.)

(一名いねのむくげむし)

(著者原圖) (廓大圖)

(I) 背面
(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 集眼
(3) 單眼
(4) 頭頂
(5) 棱狀部
(6) 前肢
(7) 中肢
(8) 後肢
(9) 前翅
(10) 後翅
(11) 管狀ノ尾節
(T) 胸部
(A) 腹部

(II) 前肢
(1) 第一跗節
(2) 第二跗節
(3) 脛節
(4) 腿節

(甲)有管亞目 TUBURIFERA.

(乙)有錐亞目 TEREBRANTIA.

(甲)有管亞目　雌ハ產卵管ヲ缺キ、雌雄ノ尾節ハ管狀ヲナス、前翅脈ハ翅端ニ達セズ、本邦左ノ一科アリ、

第一、管薊馬科（クダアザミウマ） Phloeothripidae.　翅ノ周緣ニハ長總毛ヲ裝ヒ、翅脈少ナクシテ其翅端ニ達スルモノナシ、横脈ヲ缺ク、

(乙)有錐亞目　雌ハ鋸狀ノ產卵管ヲ有シ、尾節ハ圓錐形ヲナシ、雄ニアリテハ圓シ、前翅脈ハ翅端ニ達ス、本邦ニ產スルモノ左ノ二科アリ、

第一、薊馬科（アザミウマ） Thripidae.　前翅ニ横脈ヲ有セズ、觸角ハ六節ヨリ成リ、產卵管ハ少シク下方ニ曲ル、

第二、縞薊馬科（シマアザミウマ） Aeolothripidae.　前翅ニ横脈ヲ有シ唯ダ後緣ニノミ緣毛ヲ列ネ、觸角ハ九節、產卵管ハ少シク上方ニ曲ル、

第十、有吻目 RHYNCHOTA.

口ハ口吻狀ニシテ普通關節ヲ有シ吸收若クハ刺螫ニ適ス、二双ノ翅ハ同形若クハ不等ニシテ又全ク之レヲ缺クモノモアリ、前翅ハ自在ニ動キ稀ニ癒着セルモノアリ、一名之レヲ半翅目(Hemiptera)トモ云フ、變態ハ不完全ナレドモ介殼蟲ノ如ク稀ニ完變態ヲナスモノアリ、今此目ヲ分チテ左ノ三亞目トナス、

第十五圖　はしよこばい (Xestocephalus guttatus Motsch.)

(著者原圖)　(廓大圖)

(l) 背面
(e) 頭部
(1) 頭頂
(2) 複眼
(3) 前胸背
(4) 稜狀部
(5) 前翅(翅鞘)
(g) 頭部ノ下面
(1) 觸角
(2) 單眼
(3) 複眼
(4) 額
(5) 額片
(6) 頰片
(7) 頰
(8) 口吻

(m) 前翅
(1) 前緣
(2) 副前緣脈
(3) 中脈
(4) 分離脈
(5) 副內緣脈
(6) 內緣脈
(m') 後翅
(f) 雌ノ生殖器
(1) 包板
(2) 產卵管
(3) 最後ノ腹節
(4) 結合板 (Connexivum)
(f') 最後ノ腹節ニ於ケル切目
(a) 雄ノ生殖器
(1) 生殖板
(2) 最後ノ腹節

第一、無翅亞目　APTERA.

第二、同翅亞目　HOMOPTERA.

第三、異翅亞目　HETEROPTERA.

第一、無翅亞目　口ハ伸縮ニ適セル肉狀ノ口吻ニシテ吸收ニ適シ、關節ヲナサズ、全ク翅ヲ缺ク、複眼ナク、頭ノ兩側ニ各一個ノ單眼ヲ有ス、跗節ハ二節ナリ、本邦ニ左ノ二科アリ、

第一、蝨(シラミ)科　Pediculidae.　體長ク、腹部ハ七節乃至九節、第二節ノ兩側ニハ各一個ノ氣門ヲ有シ、前跗節ハ二節ナリ、

第二、毛蝨(ケジラミ)科　Phthiridae.　體圓ク、腹部ハ六節ヨリ成リ、第二節ノ兩側ニ各三個ノ氣門ヲ有シ、前跗節ハ一節ナリ、(但シ第二節ハ三腹節ノ癒合シタルモノナリ故ニ三個ノ氣門アリ)

第二、同翅亞目　口ハ普通關節アル口吻ヨリ成リ、前肢ノ基節間ニ起リ、二双ノ翅ハ膜質同形、靜止ノトキハ翅ヲ屋斜狀ニ置ク、本亞目ヲ分チテ更ニ一節類、二節類、及ビ三節類ノ三部トナス、

(甲)一節類(MONOMERA.)　跗節ハ一節、觸角ハ糸狀ニシテ六節乃至二十五節ヨリ成リ、雌ハ翅ヲ缺キ、雄ノ翅ハ一双ニシテ唯ダ分叉セル一脈ヲ有シ、雄ハ判然セル蛹期ヲ有ス、此類ハ大概異形變態ヲナス、本邦ニ産スルモノ左ノ一科ナリ、

第一、介殼蟲(カイガラムシ)科　Coccidae.　觸角ハ連鎖狀ヲナシ、雄ハ一双ノ翅ヲ有シ、後翅ヲ缺ク、雌ハ翅ヲ缺キ、普通介殼樣ノ分泌物ニヨリテ蓋ハル、樹葉若クハ果實ニ

附着シ其液汁ヲ吸收シ大害ヲ加フ、

(乙)二節類 (DIMERA.) 跗節ハ二節、觸角ハ糸狀、三節乃至十節ヨリ成リ、二双ノ翅ヲ具ヘ、翅脈少ナク、横脈ヲ有セズ.本邦ニ産スルモノ左ノ三科ナリ、

第一、粉蝨科 Aleyrodidae. 觸角ハ六節、二双ノ翅ハ不透明ニシテ白ク、翅脈ハ細胞ヲナサズ、體ニハ白粉ヲ裝フ、幼蟲ハ介殼様ノ分泌物ヲ以テ蓋ハレ、介殼蟲同様ノ經過ヲナス、

第二、蚜蟲科 Aphidae. 觸角ハ三節乃至七節ヨリ成リ、翅ハ透明、翅脈ハ細胞ヲ有シ、後肢ハ細ク跳躍ニ適セズ、夏日ハ胎生兒ヲ産シ世代交番ヲナス、農作物ノ液汁ヲ吸收シ大害ヲ加フ、

第三、葉蝨科 Psyllidae. 觸角ハ十節ニシテ稀ニ九節ナルコトアリ其末端ハ二分ス、後腿節ハ膨大シテ跳躍ニ適ス、翅ハ透明ナリ、農作物ノ液汁ヲ吸收シ農家ニ害アリ、

(丙)三節類 (TRIMERA.) 跗節ハ三節、觸角ハ小形、三節若クハ七節ヨリ成リ、翅ニ横脈ヲ有ス、本邦ニ産スルモノ左ノ五科アリ、

第一、白蠟蟲科 Fulgoridae. 觸角ハ三節、短大ニシテ末端ニ一本ノ針狀毛ヲ有シ、體ニハ白蠟ノ分泌物ヲ附着シ、前翅ノ基部ニ鱗狀ノ小片アリ、二個乃至三個ノ單眼ヲ有ス、

第二、浮塵子科 Jassidae.

觸角長ク、三節ヨリ成リ、第三節針狀ニシテ更ニ之レニ多數ノ副節ヲ有スルモノアリ、單眼二個、稀ニ之レヲ缺クモノアリ、前翅ノ基部ニハ鱗狀ノ小片ヲ缺キ、體ニ白蠟ノ分泌物ヲ有セズ、

第三、沫吹蟲科 Cercopidae.

觸角ハ針狀ニシテ三節ヨリ成リ、頭ノ前緣ニハ四角形ノ頭頂板ヲ有ス、單眼ハ頭頂ニ二個アリ、幼蟲ハ皆沫樣ノ分泌物ヲ以テ自體ヲ蓋フ、

第四、角蟬科 Membracidae.

頭ハ下方ヲ向キ、前胸背ニハ普通角樣ノ附屬物ヲ具ヘ、其後緣ハ延長シテ腹部ヲ掩フ、單眼ハ二個、觸角ハ三節ナリ、

第五、蟬科 Cicadidae.

觸角ハ針狀ニシテ七節ヨリ成リ、頭頂ニ三個ノ單眼ヲ具ヘ、雄ハ腹部ニ發音器ヲ有シ、前腿節ハ膨大シテ剛刺ヲ裝フ、幼蟲ハ地中ニアリテ樹根ノ液汁ヲ吸收ス、

第三、異翅亞目

二双ノ翅ハ其形ヲ異ニシ、前翅基部ノ大半ハ革質不透明、外緣ニ膜質部ヲ有ス、靜止ノトキハ翅ヲ水平ニ置ク、口吻ハ頭ノ前端ヨリ起リ、前方ニ動キ得ベシ、今此亞目ヲ分チテ更ニ水棲類及ビ陸棲類ノ二部トナス、

(甲)水棲類 (HYDROCORES.) 觸角ハ三節乃至四節、小形ニシテ頭ヨリ短カク、常ニ頭下ニ隱レテ見エズ、口吻ハ關節ヲナシ判然スレドモ稀ニ關節ヲナサズ且ツ隱レテ見エザルモノアリ、脚ハ游泳ニ適シ、常ニ水中ニ住ス、本邦ニ產スルモノ左ノ五科アリ、

第一、水蟲科 Corixidae.

體ハ平タク、口吻隱レ、關節ヲナサズ、觸角ハ四節、稜狀部見エズ、前蹠節ハ杓子狀ニシテ一節ヨリ成リ、爪ヲ缺ク、

第二、圓水蟲科 Pleidae.

體ハ稍ヤ球形ニ近ク、口吻短カク、三節ヨリ成リ、稜狀部ハ判然シ、後蹠節ハ三節ニシテ二爪アリ、形頗ル小ニシテ注意セザレバ發見スルコト難シ、

第三、松藻蟲科 Notonectidae.

體ハ稍ヤ圓柱形ニ近ク、口吻ハ四節ヨリ成リ、稜狀部ハ判然シ、後蹠節ハ二節ニシテ爪ヲ有セズ、常ニ水中ニアリテ腹部ヲ上方ニ向ケ游泳ス、

第四、紅娘華科 Nepidae.

體長ク、觸角三節ヨリ成リ、前肢ハ鎌樣ノ捕獲肢ニ變ズ、蹠節ハ一個、尾節ニ二個ノ長キ附屬物ヲ有シ之レニヨリテ空氣ヲ呼吸ス、小魚ヲ捕獲シ大害ヲ加フルコトアリ、

第五、田鼈科 Belostomidae.

體平タク、觸角四節ヨリ成リ、前肢ノ腿節ハ甚ダシク膨大ス、蹠節ハ一節、其末端ニ長キ一爪アリ、尾端ニ二個ノ短カキ附屬物アレドモ之レニヨリテ空氣ヲ呼吸セズ、

(乙)陸椿類 (GEOCORES.)

觸角ハ頭ヨリ長ク、四節乃至五節ヨリ成リ、陸上若クハ水上ニ棲息ス、

本邦ニ産スルモノ左ノ十一科アリ、

第一、盲椿象科 Capsidae.

觸角ハ鞭狀、四節ヨリ成リ、第四節ハ頗ル細ク頭ノ下方ニ起リ、單眼ヲ缺ク、口吻ハ四節アリ、體柔軟、稜狀部ハ小ナリ、

第二、床蝨科 Cimicidae. (Acanthiidae.)

觸角ハ鞭狀、四節ヨリ成リ、口吻ハ三節、頭ノ前端ヨリ起リ、集眼ヲ有シ、翅ヲ缺キ、稜狀部小、體ハ扁平、多クハ卵形ヲ呈ス、皆鳥類若クハ哺乳動物ノ血液ヲ吸收ス、

第三、水椿象科 Saldidae.

觸角糸狀、頭ノ前端ヨリ起リ、四節ヨリ成ル、口吻三節ニシテ長ク腹部ニ達ス、第二節甚ダ長シ、單眼ハ甚ダ大ナル複眼間ニ二個相接近ス、稜狀部小ナリ、水邊ニ普通ナル卵形ノ小形種ナリ、

第四、食蟲椿象科 Reduviidae.

觸角糸狀ニシテ細長ク、四節ヨリ成リ、頭ノ上方ニ位ス、口吻三節乃至四節、單眼ハ大ニシテ複眼ノ後方ニ位ス稀ニ單眼ヲ缺ク、後頭ハ延長シテ判然セル頸狀ヲ呈ス、稜狀部小サク、脚ハ細長ナリ、食肉性ニシテ農家ニ有益ナリ、

第五、水黽科 Gerridae. (Hydrometridae.)

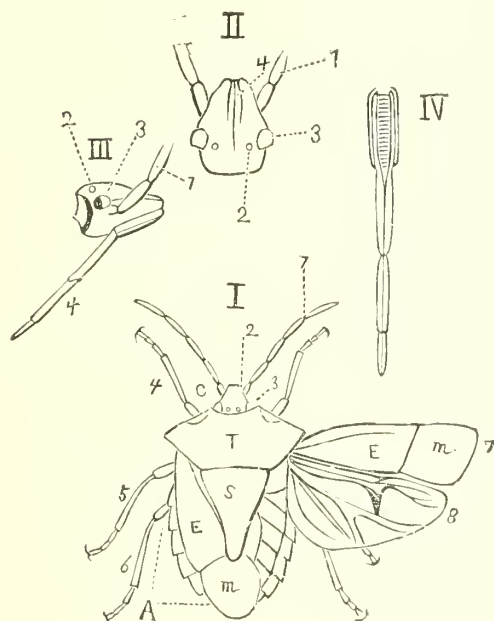
觸角糸狀、四節ヨリ成リ、頭ノ兩側ニ位ス、口吻三節アリ、單眼ヲ缺ク、前翅ハ全體同質ニシテ膜質部ナシ、翅ヲ缺クモノアリ、稜狀部ナシ、

第六、扁椿象科 Aradidae.

觸角ハ稍ヤ棍棒狀ヲ呈シ、第一節ハ短大、頭ノ兩側ニアル突起ヨリ起リ、單眼ヲ缺ク、體ハ平タク顆粒狀ノ小紋多ク、前翅ノ膜質部ハ發達シ之レニ網狀脈アリ、稜狀部ハ小ニシテ細長シ、

第七、軍配蟲科 Tingidae. (Tingitidae)

觸角ハ四節、頭ノ前縁ニ起リ、末端ニ於テ棍棒狀ヲ呈シ、第二節甚ダ長シ、前翅ハ全體同質ニシテ膜質部ヲ缺キ網狀ノ太キ翅脈ヲ

第十六圖　むらさきかめむし　(Carpocoris nigricornis L.)

(I) 背面
(1) 觸角
(2) 單眼
(3) 複眼
(4) 前肢
(5) 中肢
(6) 後肢
(7) 前翅
(8) 後翅
(S) 棱狀部
(T) 前胸背
(A) 腹部
(E) 半翅鞘 (m) 膜質部

(II) 頭部ノ背面
(4) 頭頂板
(III) 頭部ノ側面
(4) 口吻
(IV) 口吻ヲ廓大セルモノ

(著者原圖)　(廓大圖)

有ス、前胸背ノ後縁ハ延長シテ稜狀部ノ觀ヲナス、前縁ニハ膨大セル附屬物ヲ有スルモノ多シ、

第八、長椿象科 Lygaeidae.

觸角四節、糸狀ニシテ頭ノ下方ニ起リ、口吻三節乃至四節、各節同長ヲ呈シ、單眼ヲ有スルモノト有セザルモノトアリ、腹部ノ兩側ハ突出セズ、稜狀部ハ小ナリ、

第九、絲椿象科 Berytidae.

觸角ハ頭ノ前方ニ起リ、細長ニシテ四節アリ、第一節ノ末端及ビ第四節ハ膨大ス、口吻ハ四節、單眼ハ二個、脚ハ頗ル細長、體ハ細小ナリ、稜狀部ハ微小ニシテ之レニ刺アリ、

第十、緣椿象科 Coreidae.

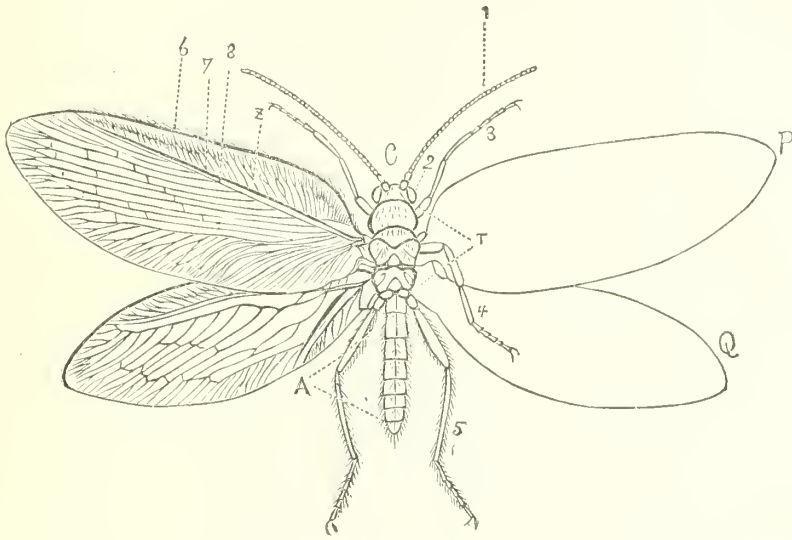
觸角四節、頭ノ前緣ニ起リ末端ハ棍棒狀ヲナス、二個ノ單眼アリ、口吻ハ四節、其內第一節最モ長シ、腹部ノ兩側ハ及樣ヲナシテ突出ス、稜狀部ハ普通腹部ノ半ニ達セズ、

第十一、椿象科 Pentatomidae.

觸角五節(稀ニ四節ナルコトアリ)、頭ノ下方ヨリ起リ、糸狀ヲナス、二個ノ單眼アリ、口吻四節、第二節最長、稜狀部大ニシテ短カクモ腹部ノ半ニ達ス、體ハ圓形乃至長楕圓ナリ、

第十一、脈翅目 **NEUROPTERA.**

前胸ハ自在ニ動キ、二双ノ翅ハ膜質同形ニシテ網狀脈ヲ有ス、口部ハ咀嚼ニ適シ、跗節ハ五節、變態ハ完全ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ九科アリ、

第十七圖　くびかくしかげろう♀ (Megalomus sp.)

(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 複眼
(3) 前肢
(4) 中肢
(5) 後肢
(T) 胸部
(A) 腹部
(P) 前翅
(Q) 後翅
(6) 前緣脈
(7) 副前緣脈
(8) 徑脈
(z) 前緣胞

(著者原圖)　(廓大圖)

第一、蛇(ヘビ)蜻(トン)蛉(ボ)科 Sialidae.

頭ハ大ニシテ少シク下方ヲ向キ、蛇ノ頭狀ヲ呈ス、複眼ハ大キク、前翅短カシ、翅ハ半透明ニシテ翅脈少ナク、觸角ハ鞭狀ニシテ鋸齒狀ヲナスモノアリ、單眼ハ二個ニシテ又之レヲ缺クモノアリ、幼蟲ハ水中ニ棲息ス、

第二、駱(ラク)駝(ダ)蟲(ムシ)科 Rhaphididae.

前科ニ似レドモ前胸長ク、翅ハ透明ニシテ判然セル縁紋ヲ有シ、觸角ハ糸狀、單眼ヲ有スルモノト缺クモノトアリ、雌ハ長キ産卵管ヲ有ス、幼蟲ハ樹皮下ニアリテ小蟲ヲ捕食ス、

第三、擬(カマ)蟷(キリ)蜋(モドキ)科 Mantispidae.

觸角ハ糸狀ニシテ連鎖狀ヲナシ、前胸ハ延長シ、前肢ハ鎌狀ノ捕獲肢ニ變ズ、翅ハ透明、單眼ヲ缺ク、之レハ異形變態ヲナスモノニシテ、幼蟲ハ蜘蛛ノ卵ヲ以テ食トス、

第四、草(クサ)蜻(カゲ)蛉(ロウ)科 Chrysopidae.

觸角鞭狀、複眼ハ眞珠様ノ光澤ヲ有シ、單眼ヲ缺ク、翅透明ニシテ斑紋ナシ、普通體ハ緑色ヲ呈シ、幼蟲ハ蚜蟲若クハ小蟲ヲ捕食ス、其卵子ヲ俗ニ優曇華(ウドンゲ)ト云フ、

第五、姬(ヒメ)蜻(カゲ)蛉(ロウ)科 Hemorobidae.

觸角ハ糸狀ニシテ連鎖狀ヲナシ、單眼ヲ缺ク、複眼ハ眞珠様ノ光澤ヲ有セズ、翅ハ多ク半透明ニシテ横脈少ナク、前胸ハ短カシ、

第六、廣(ヒロ)翅(バネ)蜻(カゲ)蛉(ロウ)科 Osmylidae.

觸角ハ連鎖狀ヲ呈シ、三個ノ單眼ヲ具ヘ、前胸ハ細長ク、翅ハ大ニシテ長ク、横脈多ク中央ニハ網狀脈ヲ有ス、透明ニシテ斑紋アリ、

第十八圖　へっかうしりあげむし♂ (Panorpa Klugi M'L.)

(C)頭部
(T)胸部
(A)腹部
(1)觸角
(2)單眼
(3)複眼
(4)前肢
(5)中肢
(6)後肢
(7)前翅
(8)後翅
(9)尾端ノ鋏子
(10)口吻
(11)小腮鬚
(12)大腮
(13)下唇
(14)下唇鬚

(著者原圖)(廓大圖)

第七、粉蜻蛉科 Coniopterygidae.

觸角ハ糸狀ニシテ長ク連鎖狀ヲナシ、前胸ハ甚ダ短カク、二双ノ翅ハ畧ボ同大ニシテ緣紋ヲ缺キ、體翅共ニ白粉ヲ裝フ、體ハ微小ニシテ一見介殼蟲ノ雄ニ似タリ、

第八、長角蜻蛉科 Ascalaphidae.

觸角ハ甚ダ長ク末端ハ太ク杓子形ヲ呈シ、複眼ハ甚ダ大キク橫溝ニヨリテ二分セラレ、顏ニハ長毛ヲ裝ヒ、雄ノ尾端ニハ鋏子樣ノ附屬物アリ、

第九、蛟蜻蛉科 Myrmeleonidae.

觸角ハ短カク棍棒狀ヲ呈シ、複眼ハ小サク橫溝ニヨリテ分離セラレズ、顏ニハ長毛ナシ、體翅共ニ細長ナリ、幼蟲ハ砂中ニ漏斗狀ノ穴ヲ穿チ蟻其他小蟲ノ陥落スルヲ待チ伏セ捕食ス俗ニ之レヲ沙挼子ト云フ、

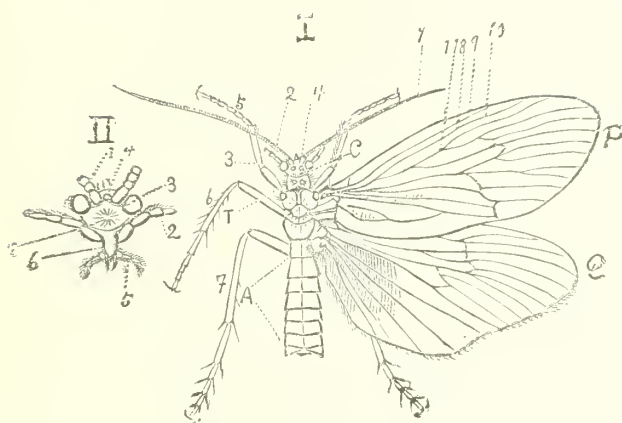
第十二、蠍蟲目 MECOPTERA.

二双ノ翅ハ膜質同形ニシテ橫脈少ナク、靜止ノトキハ之レヲ水平ニ半開ス、稀ニ翅ヲ缺クモノアリ、頭ハ小サク、口部ハ垂直、甚ダシク延長シテ口吻狀ヲ呈シ、小腮ト下唇ハ相癒着シ咀嚼ニ適ス、本邦ニ産スルモノ左ノ一科ナリ、

第一、擧尾蟲科 Panorpidae.

此科ニ屬スルモノハ二双ノ翅ト三個ノ單眼ヲ有シ、雄ハ尾端ニ鋏子狀ノ附屬物ヲ有シ常ニ之レヲ上方ニ擧グ、

第十三、毛翅目 TRICHOPTERA.

第十九圖　むらさきこひげら　(Holostomis regina M'L.)

(著者原圖)

(I)背面
(C)頭部
(1)觸角
(2)小腮鬚
(3)複眼
(4)單眼
(5)前肢
(6)中肢
(7)後肢
(T)胸部
(A)腹部
(P)前翅
(Q)後翅

(8)副前緣脈
(9)前緣脈
(10)徑脈
(11)中脈

(II)頭部ノ下面
(5)下唇鬚
(6)口吻
(7)領

二双ノ翅ハ其形ヲ異ニシ、前翅ニハ細毛若クハ細鱗ヲ装ヒ、後翅ハ廣クシテ縦疊シ、靜止ノトキハ屋斜狀ヲナシテ之レヲ腹上ニ置ク、口部ハ退化シテ咀嚼ニ適セズ、小腮ト下唇ト相癒着シテ短カキ口吻狀ヲナス、普通三個ノ單眼アリ、變態ハ完全ナリ、幼蟲ハ水中ニ住シ常ニ葉片、草莖、砂石若クハ木片ヲ集メテ管狀ノ巣ヲ造リ其内ニ住ス、本目ヲ分チテ左ノ二亞目トナス、

(甲)異鬚亞目 HETEROPALPI.

(乙)同鬚亞目 AEQUIPALPI.

(甲)異鬚亞目 雌ノ小腮鬚ハ五節ナレドモ雄ノ小腮鬚ハ五節ヨリ少ナク普通ハ三節ヨリ成ル、本邦ニ産スルモノ左ノ三科ナリ、

第一、石蠶科 Phryganidae. 雄ノ小腮鬚ハ四節、之レニハ細毛少ナシ、觸角ハ太ク基節短大、翅ハ不透明ニシテ廣ク、前中肢ノ脛節ニアル刺ハ2、4、4ナリ、

第二、剡石蠶科 Limnophilidae. 雄ノ小腮鬚ハ三節、之レニハ殆ンド細毛ナク、觸角ハ太ク基節大ニシテ長シ、前翅細ク細毛少ナシ、脛節ノ刺ハ種々ニシテ前肢ニ之レヲ有セザルモノ多シ、有スレバ唯ダ末端ニ一刺アリ、

第三、毛石蠶科 Sericostomidae. 雄ノ小腮鬚ハ三節、雌ノ小腮鬚ト大ニ其趣キヲ異ニシ長毛ヲ密生ス、前翅廣ク細毛ヲ密生シ一見蛾類ノ如シ、觸角ハ太ク翅ヨリ短カシ其基節ハ特ニ太ク細毛ヲ密生ス、

(乙)同鬚亞目 雌雄ノ小腮鬚ハ五節アリ（稀ニ雄ノ四節ナルモノアリ）本邦ニ産スルモノ左ノ四

科ナリ、

第一、長角石蠶科(ヒゲナガトビケラ) Leptoceridae.

前翅ハ甚ダ細長ク、短毛ヲ密生シ、後翅ハ小ナリ、小腮鬚ハ細長ク、末端節ハ蔓(ツル)狀ニ曲ル、觸角ハ甚ダ細長ナリ、幼蟲ノ筒ハ自在ニ動キ得ベシ、

第二、筒石蠶科(ツトビケラ) Hydropsychidae.

前科ニ似レドモ小腮鬚ハ細長ク末端節ハ鞭狀ニシテ更ニ之レニ多數ノ副節ヲ有ス、幼蟲ノ筒ハ固着シテ自在ニ動カズ、

第三、流石蠶科(ナガレトビケラ) Rhyacophilidae.

二双ノ翅ハ殆ンド同樣ノ大サニシテ多少ノ短毛ヲ裝ヒ、小腮鬚ハ短カク末端節ハ他節ト同形ヲナシ、觸角ハ細ク前翅ヨリ短カシ、幼蟲ハ石ヨリ成リタル筒中ニ住シ常ニ急流ニ棲息ス、

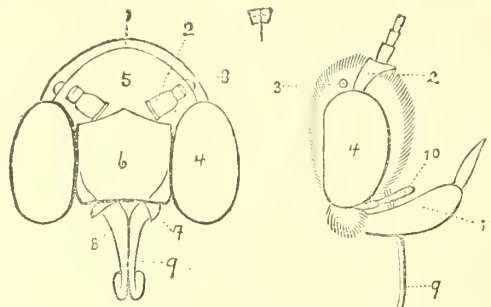
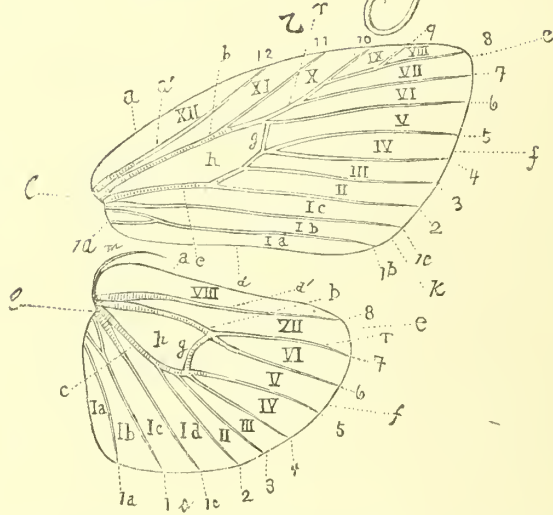
第四、姬石蠶科(ヒメトビケラ) Hydroptilidae.

前翅ハ細長ク末端ハ普通劍狀ニシテ長キ緣毛ヲ裝ヒ、小腮鬚ハ甚ダ細シ、體ハ小ニシテ恰モ小蛾ニ似タリ、幼蟲ノ筒ハ自在ニ動キ得ベシ、

第十四、鱗翅目 LEPIDOPTERA.

二双ノ翅ハ膜質同樣ニシテ細鱗ヲ密裝シ之レニヨリテ美麗ナル彩色ヲ現ハス、口吻ハ吸收ニ適スル管狀ノ長吻トナリ平常ハ螺旋狀ニ回旋ス、前胸ハ癒着シテ動カズ、變態ハ完全ナリ、幼蟲ハ五双乃至八双ノ脚ヲ有シ稀ニ九双ノ脚ヲ有スルモノアリ、今之レヲ分チテ左ノ二亞目トナス、

第一、蛾亞目 HETEROCERA.

第二十圖　(甲)蛾ノ頭部　(乙)蛾ノ前後翅

甲

乙

(はんぷそん氏原圖)

(1) 後頭　(2) 觸角　(3) 單眼　(4) 複眼　(5) 頭頂　(6) 額片　(7) 大腮　(8) 上唇　(9) 小腮　(10) 小腮鬚　(11) 下唇鬚

(a) 前緣　(a') 前緣脈　(b) 副前緣脈　(r) 徑脈　(c) 中脈　(d) 後緣　(e) 翅端　(f) 外緣　(g) 中室橫脈　(h) 中室　(k) 外緣角　(l) 翅底　(m) 抱刺 (Frenulum)　(1-12) 第一脈……第十二脈　1a 1b 1c……第一、第二、第三內緣脈　(I-XII) 第一室……第十二室　Ia Ib Ic Id…第一、第二、第三、第四內緣室

第二　蝶亞目　RHOPALOCERA.

第一、蛾亞目　觸角ハ種類ニヨリテ鞭狀、羽狀、紡錐狀等アリ、普通夜間ニ飛翔シ、靜止ノトキハ翅ヲ屋斜狀ニ置ク、本邦ニ產スルモノ左ノ四十一科ナリ、

第一、小翅蛾科 Micropterygidae.

頭ハ長毛ヲ密生シ、單眼ヲ供ヘ、複眼ハ大ニシテ突出シ、下唇鬚長ク五節若クハ六節アリ、觸角ハ糸狀、前翅ヨリ短カシ、前翅ハ長卵形、翅端ハ尖リ、後翅同樣ニ徑脈ハ五枝ヲ出ス、前翅內緣ニ翅垂ト稱スル附屬物アリ、前肢ニ長毛ヲ有スルモノ多シ、

第二、穀蛾科 Tineidae.

前後翅ハ細ク長キ緣毛ヲ有シ翅脈少ナク、頭部ニハ單眼ヲ缺キ、下唇鬚ハ四節ナレドモ又之レヲ缺クモノアリ、口吻ハ退化ス、前翅後緣ニ翅垂ヲ缺キ、觸角ノ基節ハ膨大シテ複眼ヲ掩ハズ、小腮鬚ハ長ク四節乃至六節ヨリ成リ又之レヲ缺クモノアリ、幼蟲ハ八双ノ脚ヲ有ス、

第三、長毛蛾科 Nepticulidae.

二双ノ翅ハ細長ク長緣毛ヲ裝ヒ、觸角ノ基節ハ膨大シテ複眼ノ一部ヲ掩ヒ、頭ハ下方ヲ向キ、單眼ヲ缺ク、下唇鬚ハ垂下ス、小腮鬚ハ長ク多節ヨリ成ル、幼蟲ハ九双ノ脚ヲ有ス、

第四、潛蛾科 Lyonetidae.

二双ノ翅ハ長尖狀、長緣毛アリ、觸角ノ基部ハ膨大シテ複眼ノ一部ヲ掩フ、頭ノ後方ニハ直立セル長毛ヲ裝ヒ、單眼及ビ下唇鬚ヲ缺ク、小腮鬚短カク退化スルモノアリ、幼蟲ハ八双ノ脚ヲ有ス、

第五、細蛾科 Gracilaridae.

二双ノ翅ハ長尖狀、長縁毛アリ、觸角長ク其基部ハ膨大セズ、單眼ヲ缺キ、下唇鬚ハ三節ニシテ長シ、幼蟲ハ七双ノ脚ヲ有ス、

第六、筒蛾科 Elachistidae.

頭ハ細鱗ヲ以テ掩ハレ、單眼及ビ下唇鬚ヲ缺キ、觸角ノ基部ハ膨大セズ、小腮鬚ハ胸部ヨリ短カク、翅ハ長尖狀、長縁毛アリ、幼蟲ハ八双ノ脚ヲ備ヘ普通管狀ノ巣ヲ造リ其内ニ住ス、

第七、麥蛾科 Gelechiidae.

頭ハ細鱗又ハ細毛ヲ裝ヒ、小腮鬚ハ長クシテ突出ス、前翅ハ細長ク普通十二脈ヲ有シ七、八ノ兩脈ハ第六ヨリ分支シテ出ヅ、後翅ハ卵形若クハ長尖狀ニシテ中室ヲ有セズ、

第八、菜蛾科 Plutellidae.

頭ハ綿狀ノ細毛ヲ密生シ、觸角ハ靜止ノトキ前方ニ延伸ス、小腮鬚ハ上方ニ灣曲シ其下方ニ掃樣ノ細毛ヲ密生ス、幼蟲ハ紡錘狀ニシテ八双ノ脚ヲ具ヘ甚ダ活潑ナリ、

第九、巣蟲蛾科 Yponomeutidae.

頭ハ綿狀ノ細毛ヲ密生シ、觸角ハ糸狀ニシテ前翅ノ半ニ達シ、小腮鬚及ビ口吻ハ長シ、單眼ヲ缺ク、前翅ハ細長ク翅端ハ三角狀ヲ呈シ叉長尖狀ヲナスモノアリ、後翅ハ細ク縁毛ハ餘リ長カラズ、幼蟲ハ八双ノ脚ヲ有ス、

第十、葉捲蛾科 Tortricidae.

單眼ヲ具ヘ、觸角ハ鞭狀、下唇鬚ヲ缺ク、小腮鬚ハ短大、細毛ヲ密生シ末端ハ糸狀ニシテ普通ハ細毛ヲ有セズ、翅ハ廣ク、前翅ニ十二脈ヲ有シ、後翅ニ抱刺アリ、

第十一、多翼蛾科 Orneodidae. (Alucitidae.)

單眼ヲ具ヘ、頭ハ大、複眼小サク球形ヲナシ、小腮鬚甚ダ長ク細毛ヲ密生シ末端節ハ細シ、下唇鬚ヲ缺ク、二双ノ翅ハ皆三個ニ分支ス、腹部短カシ、

第十二、鳥羽蛾科 Pterophoridae.

單眼ヲ缺キ、複眼ハ稍ヤ半球狀ヲ呈シ、小腮鬚短カク、下唇鬚ヲ缺ク、前翅ハ二分シ、後翅ハ三分ス、稀ニ前翅ノ三分セルモノアリ、腹部長シ、

第十三、螟蟲蛾科 Pyralidae.

觸角ハ鞭狀ナレドモ雄蟲ニハ往々鋸齒狀ヲ呈スルモノアリ、小腮鬚ハ退化シテ小サク、下唇鬚ハ甚ダ發達シテ長ク前方ニ突出スルモノ多シ、前翅ハ長形ノ三角形ヲナシ、後翅ハ稍ヤ圓キヲ常トス、抱刺ハ發達ス、

第十四、蝙蝠蛾科 Hepialidae.

口吻ヲ缺キ、兩鬚ヲ有セザルモノ多シ、觸角ハ糸狀ニシテ短カク、脚ハ短ニシテ刺ヲ缺キ、後翅ハ十二脈ヲ有シ、內緣脈ハ三個ナリ、前緣基部ニ一横脈ヲ有ス、抱刺ナシト雖モ前翅ニ翅垂アリ、

第十五、木蠹蛾科 Cossidae.

口吻ヲ缺キ、兩鬚ハ退化シテ甚ダ小サク、雄ノ觸角ハ羽狀ヲナシ、脚ニ小刺ヲ有スルモノト缺クモノトアリ、前翅ノ內緣脈ハ二個ニシテ外方ノモノハ基部ニテ分支ス、雌ノ抱刺ハ九本アリ、

第十六、硝子蛾科 Sesiidae.

觸角ハ紡錐狀　脚ニハ網狀ノ細毛ヲ密生シ、中脛節ニハ一双、後脛節ニハ二双ノ刺アリ、翅ハ多少透明、前翅ノ內緣脈ハ一個ニシ

テ基部ニテ分支ス、蛾ハ晝間飛翔ス、

第十七、腿(モ)蛾(ガ)科　Tinaegeridae.

觸角ハ櫛齒狀、下唇鬚長ク鎌狀ヲナシテ上方ニ出ル、前翅ハ細長ク尖リ、内緣脈ハ一個、基部ニテ分支スルモノアリ、後翅小ニシテ多少透明、後肢ハ長ク長刺ヲ有ス、蛾ハ晝間飛翔ス、

第十八、避債(ミノムシ)蛾(ガ)科　Psychidae.

雌ハ蛆狀ニシテ常ニ筒巢中ニ住ス、雄ハ羽狀若クハ鋸狀ノ觸角ヲ有シ、口吻、兩鬚及ビ單眼ヲ缺ク、前翅ノ内緣脈ハ二個、外方ニアルモノハ基部ニテ分支ス、又更ニ之レヨリ一個若クハ分支セル小脈ヲ後緣ニ送ル、多クハ黑褐ノ小形種ナリ、

第十九、刺(イラ)蟲(ムシ)蛾(ガ)科　Cochlidae. (Limacodidae.)

前翅ノ内緣脈ハ二個、外方ニアルモノハ基部ニテ分支ス、後翅ノ第八脈ハ基部ニテ第七脈ト相接ス、内緣脈三個アリ、幼蟲ハ脚ヲ缺キ、體ニハ剛刺ヲ裝ヒ有毒ナリ、繭ハ卵形ニシテ固ク一端ニ蓋ヲ有シ羽化後之レヨリ出ヅ、蛾ハ肥大シ、翅厚シ、

第二十、斑(マダラ)蛾(ガ)科　Zygaenidae.

前翅ノ内緣脈ハ二個、外方ニアルモノハ其基部ニテ分支ス、觸角ハ太ク、中央ニテ膨大セルモノアリ、又鋸齒狀若クハ櫛齒狀ヲ呈スルモノアリ、蛾ハ晝間飛翔スルモノ多シ、

第二十一、鹿子(カノコ)蛾(ガ)科　Syntomidae.

前科ニ酷似スレドモ前翅ノ内緣脈ハ一個ニシテ其基部ニテ分支ス、蛾ハ黃昏又ハ晝間飛翔ス、

第二十二、燈蛾科 Arctiidae.

前翅ノ内緣脈ハ二個、外方ニアルモノハ甚ダ短カシ、觸角ハ糸狀若クハ櫛齒狀ヲナス、此内ニハ美麗ノ種類多ク晝間飛翔スルモノ少ナカラズ、

第二十三、實蟲蛾科 Cymbidae. (Nyctiolidae.)

翅脈ハ前科ニ類ス、前翅ノ翅端ハ多少尖リ、毛塊又ハ毛隆起ヲ有セズ、多クハ綠色ニシテ小サク、觸角ハ糸狀、幼蟲ハ七双乃至八双ノ脚ヲ有シ、喬木若クハ灌木ヲ食害ス、

第二十四、瘤蛾科 Nolidae.

翅脈ハ前科ニ似ルモ前翅ノ翅端ハ圓ク、毛塊又ハ毛隆起ヲ有シ、幼蟲ハ八双ノ脚ヲ有シ羊齒ヲ以テ食トス、

第二十五、双尾蛾科 Epiplemidae.

前翅ハ二個ノ内緣脈ヲ有シ外方ニアルモノハ短カク恰モ内方ノ基部ニテ分支シタルガ如シ、第七脈ハ第八脈ト甚ダシク分離ス、後翅ニハ普通各二個尾樣狀ノ附屬物アリ、

第二十六、燕蛾科 Uraniidae.

觸角糸狀、後翅ニ抱刺ヲ缺キ、後緣ニ尾樣ノ短カキ附屬物アリ、前翅ニ一個ノ内緣脈アリテ其基部ニテ分支ス、幼蟲ハ毛ヲ有セズ、

第二十七、尾蛾科 Epicopiidae.

觸角羽狀、後翅ノ抱刺ハ退化シテ小サク、前翅ニ一個ノ内緣脈アリテ其基部ニテ分支ス、後翅ハ鳳蝶ノ如ク延長ス、幼蟲ハ甚ダ長キ細毛ヲ密生ス、

第二十八、尺蠖蛾科 Geometridae.

二双ノ翅ハ大キク、體肢共ニ細ク、觸角ニハ糸狀、鞭狀、羽狀アリ、前翅ノ内緣脈ハ一個、基部ニテ分支ス、後翅ニ抱刺ヲ缺クモ

ノアリ、幼蟲ハ五双ノ脚ヲ有シ、腹脚ノ前三双ヲ缺ク、普通體毛ヲ有セズ、

第二十九、尖蛾科 Cymatophoridae.

觸角ハ糸狀、普通大ニシテ平タク、前翅ニ二個ノ内縁脈ヲ有シ、外方ニアルモノハ短カシ、第五脈ハ中室ノ中央ヨリ出ヅ、後翅ニハ二内縁脈アリ、前翅ノ翅端尖レルモノ多シ、

第三十、虎蛾科 Agaristidae.

觸角ハ糸狀ニシテ太ク、往々中央ニテ膨大ス、脛節ニハ二双ノ刺ヲ有シ、前翅ニ二個ノ内縁脈アリ、外方ニアルモノハ短カシ、蛾ハ晝間飛翔シ美麗ナル種類ヲ含ム、幼蟲ハ兩側ニ毛塊ヲ有シ更ニ長毛ヲ粗生ス、

第三十一、夜蛾科 Noctuidae.

大概ハ夜間ニ出ヅルモノニシテ前翅ハ二個ノ内縁脈ヲ有シ、外方ニアルモノハ短カク、第二脈ハ中室ノ半ヨリ出デ第十二脈ハ長シ、後翅ハ二個ノ内縁脈ヲ有シ第五脈ハ中室外側ノ半ヨリ出ヅレドモ亦之レヲ缺クモノアリ、幼蟲ハ普通裸ナレドモ又少シク細毛ヲ裝フモノアリ、

（附言）現今ノ分類法ニヨレバ擬尺蠖蛾科（Geometriformidae.）、地蠶蛾科（Hadenidae.）、糖蛾科（Agrotidae.）、栗蠶蛾科（Orthosiidae.）、及ビ擬蠶蛾科（Bombycoidae.）ヲ合シテ夜蛾科（Noctuidae.）トナスニ至レリ、

第三十二、窓蛾科 Thyrididae.

觸角ハ鞭狀、前翅ノ内縁脈ハ一個、其基部ニテ分支ス、第五脈ハ中室ノ下角ヨリ出ヅ、中脛節ニ一双ノ刺アリ、此蛾ハ大概翅ニ透明紋ヲ有シ、體ハ小形ナレドモ太ク、又天蛾ニ似タル所アリ、

第三十三、錨紋蛾科 Callidulidae.

觸角ハ糸狀、下唇鬚長ク第三節ハ發達セリ、中脛節ニ一双ノ長刺アリ、翅ハ廣ク、後翅ニ中室ナク、第六第七ノ兩脈ハ殆ント翅底ヨリ出ヅ、蛾ハ晝間飛翔シ、靜止ノトキハ翅ヲ垂直ニ置ク、

第三十四、擬天蠶蛾科 Drepanulidae.

蛾ハ小ナレドモ天蠶蛾ニ酷似セル翅ヲ有ス、體ハ細ク、翅大、前翅ニ一個ノ内縁脈ヲ有シ其基部ハ分支ス、後翅ハ一個若クハ二個ノ内縁脈ヲ有シ、外方ニアルモノハ短カシ、幼蟲ハ尾脚ヲ缺キ往々尾端ニ長附屬物アリ、

第三十五、蠶蛾科 Bombycidae.

口吻ヲ缺キ、下唇鬚ノ退化セルモノ多シ、觸角ハ羽狀、脚ハ綿狀毛ヲ有シ、脛節ニハ刺ヲ缺ク、後翅ニ抱刺ナシ、幼蟲ハ堅牢ノ絹繭ヲ造リ其内ニ蛹化スルモノ多シ、

第三十六、水蠟蛾科 Brahmaeidae.

口吻ヲ具ヘ、下唇鬚ハ大ニシテ圓ク上方ヲ向キ、觸角ハ羽狀、中脛節ハ一双ノ刺ヲ有シ、後翅ニ抱刺ヲ缺ク、前翅ハ一個ノ内縁脈ヲ有シ其基部ハ分支ス、前後翅何レモ短カキ中室ヲ有ス、前翅ノ翅端ハ圓シ、

第三十七、天蠶蛾科（テンサンガ）
Saturniidae.

口吻ヲ欠キ、下唇鬚小、觸角ハ羽狀、雄ニテハ其小枝長シ、脚ニ軟毛ヲ密生シ、刺ナシ、前翅ハ一個ノ內緣脈ヲ有シ其基部ニテ分支ス、中室ヲ欠クモノアリ、第五脈ハ第六脈ヨリ分支シテ出デ、第十及ビ第十一脈ヲ欠ク、前翅ノ翅端ハ突出ス、後翅ニ抱刺ヲ欠ク、大形ノ種類ヲ含ミ、幼蟲ハ堅牢ノ絹繭ヲ造リ其內ニ蛹化ス、

第三十八、枯葉蛾科（カレハガ）
Lasiocampidae.

口吻ヲ欠キ、下唇鬚ハ大ニシテ突出シ、觸角ハ羽狀、中後ノ兩脛節端ニ一双ノ小刺ヲ有シ、軟毛ヲ裝フ、前翅ノ內緣脈ハ二個ニシテ稀ニ三個ナルコトアリ、外方ニアルモノハ甚ダ短カシ、後翅ニ抱刺ヲ欠ク、體ハ大、翅ハ小ナリ、

第三十九、毒蛾科（ドクガ）
Lymantridae.
(Liparidae.)

口吻ヲ欠キ脚ハ軟毛ヲ密生シ、觸角ハ羽狀、後翅ニ抱刺ヲ有ス、前翅ノ內緣脈ハ二個、外方ニアルモノ甚ダ短カシ、第五脈ハ中室ノ下角ニ近ク出デ、後翅ニハ二個ノ內緣脈アリ、幼蟲ハ長毛ヲ裝フ、雌ハ普通尾端ニ毛塊ヲ有シ之レヲ以テ卵塊ヲ蓋フ、

第四十、天社蛾科（サチホコムシガ）
Notodontidae.

口吻ヲ有シ、脚ハ短、軟毛ヲ密生ス、觸角ハ羽狀、糸狀、若クハ櫛齒狀ヲ呈シ、前翅ニハ一個ノ內緣脈ヲ有シ其基部ニテ分支ス、第五脈ハ中室ノ外側中央ヨリ起リ、後翅ニハ二個ノ內緣脈アリ、第八脈ハ獨立シテ翅底ヨリ出ヅ、幼蟲ハ尾脚ヲ欠キ普通尾端ニ二個ノ長キ附屬物ヲ有ス、尚此他種々ノ膨大セル附屬物ヲ有スルモノ

アリ、

第四十一、天蛾（スズメガ）科 Sphingidae.

觸角ハ紡錘狀ニシテ太ク末端ニテ細ク且ツ曲ル、口吻ハ甚ダ發達シテ長ク、下唇鬚ハ細鱗ヲ以テ蔽ハレ其第三節ハ隱レテ見エズ、前翅ハ細クシテ厚ク飛翔甚ダ速ナリ、跗節ニ刺アリ、前翅ニハ一個ノ內緣脈アリテ其基部分支ス、後翅小サク、前緣脈ハ分支セズシテ翅底ヨリ出ヅ、後翅ニハ抱刺アリ、幼蟲ハ尾角ヲ有ス、

第二、蝶亞目

觸角ハ糸狀ヲナシ、末端ニテ杓子狀若クハ棍棒狀ニ膨大ス、晝間飛翔シ、靜止ノトキハ翅ヲ直立セシム、本邦ニ產スルモノ左ノ六科ナリ、

第一、挵（セセリ）蝶（テフ）科 Hesperidae.

觸角ハ短カク紡錘狀ヲナシ末端少シク彎曲ス、基部ニ普通黑色ノ毛塊ヲ有シ、廣ク相隔離ス、前翅ハ三角形ニシテ小形、十二脈ヲ有シ、後翅ハ圓ク、五脈アリテ其橫脈ハ細シ、體ハ少シク平タク、後脛節ニハ二双ノ刺アリ、前肢ハ發達ス、

第二、小灰（シジミ）蝶（テフ）科 Lycaenidae.

觸角ハ細ク普通白色ノ輪環ヲ有シ、前肢ハ中後ノ兩肢ヨリ短小、前翅ハ十個乃至十一個ノ翅脈ヲ有シ、其內第七、八、ノ二脈ハ共有脈ヨリ起リ、第九、十、ノ二脈ハ中室ヨリ出ヅ、眼ノ周圍ニ白鱗ヲ有ス、皆小形種ニシテ美麗ナリ、幼蟲ハ卵形ニシテ肥大シ、脚短カクシテ蛆狀ニ近ク蛹ハ帶蛹若クハ垂蛹ナリ、

第三、天狗蝶科　Libytheidae.

雄ノ前肢ハ退化シ、雌ニテハ發達ス、下唇鬚ハ互ニ相接シ長キ口吻狀ヲナシテ突出ス、翅緣ニハ凹凸多ク、後翅ノ中室ハ開口ス、

第四、蛺蝶科　Nymphalidae.

前肢ハ退化シテ爪ヲ缺キ、前翅ニハ十二脈ヲ有シ、後翅ニアル第六、七、ノ二脈ハ中室ヨリ出ヅ、內緣ハ廣クシテ腹部ヲ掩フ、多クハ中形ノ種類ニシテ蛹ハ垂蛹ナリ、

(附言)最近ノ分類法ニヨレバ斑蝶科(阿擅蝶科 Danaidae)及ビ蛇目蝶科(Satyridae.)ハ蛺蝶科ノ亞科トナルニ至レリ、

第五、粉蝶科　Pieridae.

後翅ニ二個ノ內緣脈アリ、中室ノ橫脈ハ甚ダシク斜傾シ、脚爪ハ分支ス、多クハ黃色若クハ白色ノ種類ニシテ、蛹ハ帶蛹ナリ、

第六、鳳蝶科　Papilionidae.

後翅ノ內緣脈ハ一個、中室ハ圓形ニ近ク、前脛節ニ葉狀ノ附屬物アリ、脚爪ハ分支セズ、後翅ハ往々尾樣狀ヲナシテ延長ス、多クハ大形ノ種類ナリ、幼蟲ハ第一節ニ二個肉質ノ黃角ヲ有ス、蛹ハ帶蛹ナリ、

第十五、双翅目　DIPTERA.

翅ハ一双、後翅ハ退化シテ大皷ノ撥狀ヲ呈シ、稀ニ翅ヲ缺クモノアリ、口部ハ口吻狀ニ延長シテ吸收及ビ刺螫ニ適シ、關節ヲナサズ、前胸ハ癒着シテ動カズ、今之レヲ分チテ左ノ三亞目トナス、

第一、蝨蠅亞目　PUPIPARA.

第二十一圖 ゑぞおほあぶ (Tabanus pyrrhocerus Big.)

（著者原圖）（廓大圖）

(I) 背面
(C) 頭部
(a) 觸角
(b) 複眼
(c) 頭頂
(d) 稜狀部
(e) 鱗狀瓣
(f) 平均棍
(g) 前肢
(h) 中肢
(i) 後肢
(k) 前緣脈
(l) 翅底橫脈
(m) 中室
(o) 前翅底室

(q) 後翅底室
(r) 膜瓣
(1-7) 第一脈—第七脈
(P) 前翅
(T) 胸部
(A) 腹部
(II) 觸角
(1) 第一節 (2) 第二節 (3) 第三節
(III) 口部
(1) 上唇 (2) 小腮
(3) 大腮 (4) 副舌 (5) 下唇
(IV) 前肢ノ蹠節端
(1) 吸盤 (2) 爪
(3) 第五節 (4) 第四節

第二、短角亞目 BRACHYCERA.

第三、長角亞目 NEMATOCERA.

第一、蝨蠅亞目 觸角ハ短カク、二節ノモノ多シ、大腮ハ鞘狀ノ小腮ニ圍繞セラレ、下唇ハ關節ヲナサズ、翅ヲ缺クモノ多シ、皆胎生ニシテ產出後幼蟲ハ直チニ蛹化ス、本邦ニ產スルモノ左ノ三科ナリ、

第一、蜂蝨蠅(ハチシラミバイ)科 Braulidae. 複眼及ビ翅ヲ缺キ、頭大ニシテ、觸角短カク三節ヨリ成リ、爪ハ櫛齒狀ヲ呈ス、幼蟲ハ蜂巢ニ寄生ス、

第二、蛛蠅(クモバイ)科 Nycteribiidae. 複眼及ビ前翅ヲ缺ケドモ、常ニ平均棍ヲ具ヘ、頭小サク、觸角二節ニテ甚ダ微小、脚長ク、其狀蜘蛛ノ如シ、

第三、蝨蠅(シラミバイ)科 Hippoboscidae. 複眼ヲ有シ、前翅ヲ缺クモノアリ、常ニ平均棍ヲ具ヘ、體平タク、觸角ハ一節、甚ダ短カクシテ溝中ニアリ、脚短大、靜止ノトキハ翅ヲ體上ニ置ク、多クハ飴色ノ種類ナリ、

第二、短角亞目 觸角ハ三節ニシテ普通頭部ヨリ短カク、末端節ニハ端刺(Arista)若クハ角片(Stylus.)ヲ有シ、鱗狀瓣(Alulae)ヲ以テ撥狀ノ後翅ヲ掩フモノ多シ、蛹ハ圍蛹ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ十九科ナリ、

第一、家蠅(イエバイ)科 Muscidae. 第三觸角節ハ側扁ニシテ其上方ニ一個ノ長刺若クハ羽狀刺ヲ有ス、口吻ハ發達シ、肉狀ニシテ二個ノ剛毛アリ、背上ニハ一個ノ橫溝

ヲ有シ、腹部ハ四節乃至七節アリ、

第二、牛(ウシ)蠅(バイ)科 Oestridae.

觸角ハ甚ダ小サク溝中ニ位シ、第三節ニハ端刺アリ、口吻及ビ小腮鬚ハ退化ス、頭大、複眼ハ小サク、三個ノ單眼アリ、腹部ハ六節、鱗狀瓣ハ大ニシテ平均棍ヲ掩フ、

第三、眼(メ)蠅(バイ)科 Conopidae.

觸角ハ長ク第三節ノ上方ニハ二節アル角片若クハ端刺ヲ有シ、口吻ハ細長ク角質ニシテ膝狀ニ曲折シ、二剛毛アリ、頭ハ大ニシテ胸部ヨリ廣ク、複眼ハ相隔離ス、腹部ハ圓柱形、尾端ハ棍棒狀ヲ呈シ少シク下方ニ曲ル、鱗狀瓣ハ小ナリ、形蜂ニ似タリ、

第四、扁(ヒラタ)脚(アシ)蠅(バイ)科 Platypezidae.

觸角ハ端直ニシテ前方ニ突出シ相近接ス、第三節ニハ三節アル端刺ヲ有ス、口吻ハ隱レ、頭ハ大ニシテ胸部ヨリ廣キモノアリ、複眼相分離ス、後肢ハ太ク、蹠節ハ廣クシテ平タク、靜止ノ時ハ翅ヲ腹上ニ置ク、

第五、蚤(ノミ)蠅(バイ)科 Phoridae.

觸角ハ球狀ニシテ口吻ノ直上ニ位シ、一個ノ長キ剛毛ヲ裝フ、小腮鬚ハ長クシテ稍ヤ棍棒狀ヲ呈シ、頭ハ下方ヲ向キ、胸背ハ穹狀ニ膨起シ橫溝ヲ有セズ、翅ハ大ニシテ翅脈少ナク、唯ダ前緣ニ太キ二脈アリ、後腿節ハ甚ダシク膨大シ跳躍ニ適ス、

第六、食(シヨク)蚜(カ)蠅(バイ)科 Syrphidae.

頭ハ半球狀、胸部ト同幅、口吻ハ肉狀ニシテ四個ノ剛毛ヲ有シ、稜狀部ハ大ニシテ粗毛ヲ有セズ、鱗狀瓣ハ小形、翅脈多シ、

第七、鎗翅蠅科（サウシバイ） Lonchopteridae.

觸角ハ前方ニ突出シテ太ク第二節ハ臼狀ヲ呈シ第三節ハ圓形ニシテ側扁、三副節アル長キ端刺ヲ有シ更ニ之レニ細毛ヲ有ス、腹部ハ六節、脚細長、翅ハ長尖狀、横脈ナシ、體ハ普通黃色ナリ、

第八、長脚蠅科（アシナガバイ） Dolichopolidae.

前科ニ似レドモ體ハ普通金綠色、第三觸角節ハ普通二副節アル端刺ヲ具ヘ、第三翅脈ハ分支セズ、大ナル中室ヲ有ス、翅端ハ圓ク、長尖狀ヲナサズ、

第九、舞蠅科（オドリバイ） Empidae.

頭ハ球形ニシテ小サク、觸角細ク、第一及ビ第二節ハ小ニシテ一節ナルガ如ク第三節ハ角片若クハ端刺ヲ有ス、顏ニハ掃狀毛ヲ有セズ、口吻ハ甚ダ長ク多クハ垂直ナリ、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、

第十、窓蠅科（マドバイ） Scenopinidae.

頭ハ大ニシテ半球狀ヲ呈シ。顏ニハ掃狀毛ヲ缺ク、觸角ハ太ク、少シク下方ヲ向キ第一節及ビ第二節ハ短カク第三節ハ長ク之レニ端刺ヲ有セザルモノアリ、小腮鬚ハ圓柱狀、末端ニハ細毛多シ。腹部ハ七節ニシテ平タク。翅ノ第三脈ハ分支シ、靜止ノトキハ翅ヲ稍ヤ屋斜狀ニ置ク、

第十一、劍虻科（ツルギアブ） Therevidae.

頭ハ胸部ト同幅、半球狀ヲナシ、顏ニハ細毛ヲ有スルモノアリ、觸角ハ長ク第二節最小、第三節ハ紡錐狀ニシテ末端ニ二副節アル角片ヲ有ス、腹部ハ七節ニシテ細長ク末端ハ細シ、

第十二、長吻(ツリ)虻(アブ)科　Bombyliidae.

頭ハ前胸ヨリ小サク、口吻ハ角質ニシテ長ク、水平ニ突出スルモノ多シ、鱗狀瓣ハ退化ス、腹部ハ圓ク長毛ヲ密生ス、觸角ハ長ク第三節ニ角片又ハ端刺アリ、

第十三、食蟲(ムシヒキ)虻(アブ)科　Asilidae.

觸角細長ク、形樣々ニシテ第三節ニ角片、若クハ端刺ヲ有シ又之レヲ缺クモノアリ、頭廣ク、顏ニ掃狀毛ヲ有シ、口吻短強、四個ノ剛毛アリ、複眼ハ相隔離シ、三個ノ單眼ヲ具ヘ、脚太クシテ剛毛ヲ裝ヒ、鱗狀瓣ハ小ナリ、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、

第十四、小頭(コガシラ)虻(アブ)科　Acroceridae.

頭ハ甚ダ小サク球形ニシテ、複眼ハ相接ス、觸角短カク二節若クハ三節アリ、胸部ハ稍ヤ球形ヲナシ、腹部ハ穹狀ニ膨起シ、鱗狀瓣ハ甚ダ大キク、脚ニハ刺毛ヲ缺ク、靜止ノトキハ翅ヲ半開シ水平ニ置ク、皆小形ノ圓キ種類ナリ、

第十五、鷸(シギ)虻(アブ)科　Leptidae.

頭ハ半球狀ヲナシ、顏ニハ少シク細毛ヲ裝ヒ、觸角ハ長ク第三節ニハ一個ノ端刺アリ、口吻ハ太ク、小腮鬚ハ二節ニシテ長シ、腹部ハ細長ク七節ヲ有シ、鱗狀瓣小ナリ、脚細長ク、基節ハ延長ス、爪間ニ三個ノ小吸盤アリ、靜止ノトキハ翅ヲ半開ス、

第十六、虻(アブ)科　Tabanidae.

觸角大、第三節ハ短枝ヲ出シ輪環アリ、頭ハ胸部ト同幅、口吻ハ太ク肉狀ニシテ四乃至六個ノ剛毛ヲ有シ、小腮鬚ハ二節ニシテ長ク、稜狀部ニ刺ナシ、爪間ニハ三個ノ小吸盤アリ、

第十七、水蛀科 Stratiomyiidae.

頭短カク半球狀ヲ呈シ、第三觸角節ニハ輪環ヲ有シ端刺若クハ角片アリ、口吻ハ短カク二個(稀ニ四個)ノ剛毛ヲ裝ヒ、三個ノ單眼アリ、小腮鬚ハ二節乃至三節、稜狀部ニハ普通刺アリ、爪間ニハ三個ノ小吸盤ヲ具ヘ、鱗狀瓣ハ小ニシテ之レヲ缺クモノアリ、幼蟲ハ水中ニアルモノ多シ、

第十八、木蛀科 Xylophagidae.

頭ハ胸部ト同幅、頭頂ハ少シク凹陷ス、觸角ハ頭ヨリ長ク第一節ハ第二節ヨリ長ク第三節甚ダ長ク之レニ八個ノ輪環ヲ有シ端刺ヲ缺ク、口吻ハ突出シ、小腮鬚二節、楔狀ヲナシテ上方ニ向ク、稜狀部ニ刺ナシ、腹部ハ七節ニテ長ク、前緣脈ハ翅ノ周圍ヲ走レリ、大形ノ種類ヲ含ム、幼蟲ハ朽木ニ住スレドモ他蟲ヲ以テ食トス、

第十九、臭蛀科 Coenomyiidae.

前科ニ似レドモ頭ハ胸部ヨリ小サク、觸角ハ頭ト同長若クハ短カシ、第二觸角節ハ末端ニテ尖リ判然セザル輪環ヲ有ス、稜狀部ニ二個ノ刺アリ、蠅ハ一種固有ノ臭氣ヲ發ス、

第三、長角亞目

觸角ハ六節乃至數十節、普通連鎖狀ニシテ細長ク、雄蟲ニハ往々羽狀ヲ呈スルモノアリ、腹部ハ細長ク七節乃至九節アリ、蛹ハ被蛹ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ十一科ナリ、

第一、蚋科 Simulidae.

觸角ハ十節ニシテ短大、多クハ扁平ナリ、小腮鬚ハ四節、第四節ハ甚ダシク延長ス、單眼ヲ缺ク、生時複眼ハ赤色ヲ呈スルモノ多ク、胸背ハ球形ニ膨起シ橫溝ヲ有セズ、腹部ハ七節乃至八節、第

一節ノ後縁ハ延長シ縁毛ヲ生ゼリ、腿節太ク、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、翅廣シ、

第二、毛蠅科 Bibionidae.

觸角九節乃至十二節ニシテ短大、扁側ナリ、小腮鬚ハ三節乃至五節、其ノ長キモノト又其短カクシテ關節ノ判然セザルモノトアリ、單眼ヲ具ヘ、胸部ハ卵形ニシテ多少隆起シ、腹部ハ長ク、尾端ハ少シク上方ニ向ク、脚太ク殊ニ前腿節ハ發達ス、翅大ニシテ中室ヲ缺キ、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、

第三、蚊蠅科 Rhyphidae.

觸角ハ十六節ニシテ胸部ト畧ボ同長、圓柱形ニシテ短毛ヲ有ス、小腮鬚ハ四節ニシテ長ク第二節最長、單眼ヲ具ヘ、胸部ハ卵形ニ近ク、腹部ハ七節ニシテ圓柱形ヲ呈シ、脚細ク、跗節及ビ前基節ハ甚ダ長シ、翅ニ明亮ナル中室アリ、

第四、癭蠅科 Cecidomyiidae.

觸角ハ長ク十三乃至三十六節ヨリ成リ糸狀若クハ連鎖狀ヲ呈シ細毛アリ、口吻短カク、小腮鬚四節、腹部ハ八節、圓柱形ヲ呈シ雌ハ尾端ニ於テ細小、脚細長ク、爪間ニ一個ノ小吸盤アリ、翅ハ廣ク、翅底ハ細シ、三個乃至五個ノ縦脈アリ、

第五、蕈蠅科 Mycetophylidae.

觸角ハ普通胸部ヨリ長クシテ少シク弓曲セルモノ多ク、十二節乃至十七節ヨリ成リ、糸狀若クハ鞭狀ヲ呈ス、口吻短カク、單眼ハ二個乃至三個アリ、小腮鬚ハ三個乃至四個、胸部ハ圓柱形ニシテ

時ニ側扁ナルモノアリ、腹部六節乃至七節、脛節ニハ刺ヲ有シ、翅ハ大ニシテ中室ヲ缺ク、

第六、搖蚊科 Chironomidae.

觸角六節乃至十五節、雄ニアリテハ之レニ刷毛狀ノ細毛ヲ密生ス、口吻短カク、小腮鬚ハ四節ニシテ前方ニ突出シ末端節少シク長シ、胸部ハ膨起ス、腹部ハ八節ニシテ細長ク、脚細シ、前緣脈ハ翅端ニ達ス、靜止ノトキハ前肢ヲ動搖スルモノ多シ、

第七、蚊科 Culicidae.

觸角ハ十五節ニシテ長ク、雄ハ羽狀ヲ呈シ、雌ニアツテハ短毛ヲ生ズ、口吻ハ長ク稀ニ短カキモノアリ、小腮鬚ハ四節、腹部ハ細長クシテ少シク平タク八節ヨリ成リ、脚及ビ翅ハ細長、後者ハ後緣及ビ翅脈ニ細毛ヲ裝ヒ、靜止ノトキハ翅ヲ腹上ニ置ク、

第八、細蚊科 Dixidae.

前科ニ似レドモ觸角ハ細毛狀ニシテ十六節ヨリ成リ基部ノ二節ハ大キク他節ハ甚ダ細シ、單眼ヲ缺ク、腹部七節、普通脛節端ニ刺ヲ有ス、翅ハ廣ク、前緣脈ハ短カク前緣ノ半ニ達セズ、口吻ハ短カク前方ニ突出セズ、靜止ノトキハ翅ヲ平行シテ腹上ニ置ク、

第九、網蚊科 Blepharoceridae.

形ハ蚊ニ似レドモ翅ニ網狀ヲナセル翅脈樣ノ隆起ヲ有セルヲ以テ識別スルコト難カラズ、三個ノ單眼ヲ具ヘ複眼ハ二分セラレ上方ニアル小眼ハ大ニシテ下方ニアルモノハ小ナリ、觸角ハ糸狀ニシテ五節ヨリ成リ基部ノ二節大ナリ、

第十、大蚊（カガンボ）科　Tipulidae.

觸角長ク三節乃至十九節ヨリ成リ普通糸狀ナレドモ時ニ雄ニ限リ櫛齒狀ヲ呈スルコトアリ、口吻突出シ、小腮鬚四節稀ニ五節ナルコトアリ、胸背ハ穹形ニ膨大シ中央ニ横皺アリ、腿節頗ル長ク、腹部ハ七節若クハ八節ヨリ成リ長シ、多クハ大形ノ種類ナリ、

第十一、蝶（テフ）蠅（バイ）科　Psychodidae.

觸角ハ十六節ヨリ成リ長クシテ弓曲シ連鎖狀ニシテ細毛ヲ有スルモノアリ、口吻短カク、小腮鬚ハ四節乃至五節、複眼ハ腎臟形ヲ呈シ、胸背ハ膨起ス、腹部ハ六節乃至七節ヨリ成リ、體脚共ニ綿狀毛ヲ密生ス、翅ノ兩端細ク、翅脈ハ畧ボ平行ス、細毛多シ、

第十六、微翅目　**SIPHONAPTERA.** (Aphaniptera.)

口部ハ吸收及ビ刺螫ニ適シ、上唇ヲ缺キ、大腮ハ細長ニシテ鋭齒ヲ具ヘ、下唇ハ關節ヲ有ス、觸角甚ダ短カク、三胸環ハ互ニ相分離シ、四翅ヲ缺キ板狀ノ附屬物ハ其地位ヲ占ム、變態ハ完全ナリ、本邦ニ產スルモノ左ノ一科ナリ、

第一、蚤（ノミ）科　Pulicidae.

體ハ側扁ニシテ長脚ヲ有シ、後肢ハ殊ニ發達シテ跳躍ニ適ス、腹部ハ八節ナリ、

第十七、鞘翅目　**COLEOPTERA.**

普通甲蟲ト稱スルモノヲ含ミ、口ハ咀嚼ニ適シ、頭及ビ前胸ハ角質ノ硬皮ヲ以テ蓋ハレ自在ニ運動ス、觸角ハ種類ニヨリ大ニ其形狀ヲ異ニス、單眼ヲ有スルモノ極メテ稀ナリ、前翅ハ角質ニシテ腹

第二十二圖　のみ (Pulex irritans L.)　(著者原圖)　(廓大圖)

(甲) 側面

(C) 頭部
(1) 小腮鬚
(2) 小腮
(3) 單眼
(4) 觸角
(5) 前肢
(6) 中肢
(7) 後肢
(8) 中胸ノ附屬板(翅ノ痕跡)
(9) 後胸ノ附屬板
(T) 胸部
(A) 腹部

(乙) 口部(うえすとうーど氏原圖)

(1) 大腮
(2) 下唇
(3) 下唇鬚
(4) 螯舌 (Hypoplarynx)
(5) 小腮鬚
(6) 小腮

部ト後翅ヲ蓋ヒ、後翅ハ膜質ニシテ獨リ飛翔ヲ主ドル、脚ハ歩行若クハ游泳ニ適シ、腹部ハ肥大ス、變態ハ完全ナリ、本邦ニ産スルモノ左ノ六十九科ナリ、

第一、瓢蟲（テントウムシ）科　Coccinellidae.

觸角ハ十一節ナレドモ稀ニ九節若クハ八節ナルコトアリ、末端ハ棍棒狀ヲナシ複眼ノ前方ニ起リ頭下ニ伸縮シ得ベシ、大腮ノ末端稀ニ二分乃至四分スルコトアリ、其基部ニ近ク鈎狀ニ曲レル一齒ヲ裝フ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚ノ末端ハ斧狀ヲ呈シ、前肢ノ基節ハ圓柱形ナリ、脚ハ伸縮ニ適シ、爪ハ有齒若クハ分支セリ、腹部ハ五節皆自由ニ運動ス、多クハ半球狀ノ美麗種ニシテ固有ノ斑紋ヲ裝フ、

第二、金花蟲（ハムシ）科　Chrysomelidae.

觸角十一節、糸狀、鞭狀若クハ細キ棍棒狀ヲ呈シ其内側ノ鋸齒狀ヲ呈スルモノアリ、大腮端ハ二分シ往々有齒ノコトモアリ、小腮鬚短カク、脚ハ四跗節ヲ有シ第三節ハ膨大シ二片ニ分支ス、腹部五節、皆自在ニ動ク、多クハ光澤アル美麗種ニシテ背上ハ穹狀ニ膨起スルモノ多シ、

第三、天牛（カミキリ）科　Cerambycidae.

觸角十一節、稀ニ十二節糸狀、鞭狀、若クハ連鎖狀ニシテ雄ニ限リ鋸齒狀、櫛齒狀、若クハ扇狀ヲ呈スルモノアリ、普通ハ體長ノ半ヨリ長シ、複眼ハ普通腎臟形ヲ呈シ、大腮ハ弓曲シ末端ハ鋭尖ナリ、跗節ハ四節ニシテ第三節ハ二片ニ分支ス、脚ハ强剛ニシテ

第四、小蠹蟲科
Scolytidae.

前肢ハ普通中肢ヨリ長シ、體ハ細長ナリ、

頭ハ球形ニシテ平時ハ前胸環内ニ隱ル、觸角短カク膝狀ヲ呈シ末端ハ太キ球桿狀ヲナシ普通口吻ノ兩側ヨリ出ヅ、大腮ハ三角形ニシテ突出シ稍ヤ楔狀ヲ呈シ、眼ハ腎臟形ニシテ平タク、前胸背ハ球形ナルモノ多シ、皆小形ノ種類ニシテ圓柱形ヲ呈シ、脚ハ四跗節ヲ有シ其第三節ハ二片ニ分ル、

第五、三錐象蟲科
Brenthidae.

觸角十一節、連鎖狀ヲナシ、口吻ハ延長ス、後頭ハ普通頸狀ヲ呈シ、頭部ニハ十字形ノ深溝アリ、稜狀部ハ不明、腹部ハ稍ヤ半球狀ニシテ五節ヨリ成リ第一及ビ第二節ハ甚ダ長ク第三及ビ第四節甚ダ短カシ、跗節五節ナレドモ判然セズ、體強固ニシテ細長ナリ、口吻及ビ觸角ハ三錐狀ニ配置スルヲ以テ此名アリ、

第六、豆象科
Mylabridae.
(Bruchidae.)

觸角十一節、膝狀ヲナサズ末端ニ至ルニ從ヒ順次膨大シテ棍棒狀ヲナシ、鋸齒狀若クハ櫛齒狀ヲ呈シ前頭兩側ノ上方ニアル凹陷部ヨリ出ヅ、複眼ハ腎臟形ヲ呈シ、口吻ハ短大ニシテ下方ヲ向ク、跗節ハ四節、第三節ハ二片ニ分支ス、翅鞘ハ全ク尾節ヲ蓋ハズ、後肢細長ナリ、

第七、長角象蟲科
Anthribidae.

前科ニ酷似スレドモ觸角ハ細長ク頭ノ下方若クハ口吻ノ兩側ヨリ出デ末端ノ三、四兩節ハ膨大シテ棍棒狀若クハ球桿狀ヲ呈シ體ヨ

リ長キモノアリ、跗節四節ナレドモ第三節ハ二分セル第二節内ニ隱レテ判然セズ、爪ノ下方ニ一歯ヲ有ス、後肢短大ナリ、

第八、象鼻蟲科（ザウヒチユウ） Curculionidae.

觸角十一節、膝狀ニシテ多クハ其基節甚ダ長ク、末端ハ棍棒狀若クハ球桿狀ヲ呈シ口吻ノ中央ニ位ス、口吻ハ延長シ末端ニ口ヲ開キ、兩鬚ハ甚ダ小ニシテ圓錐狀ヲ呈スレドモ判然セズ、脚ハ四跗節稀ニ五跗節ヲ有スルモノアリ、後肢ノ基節ハ楕圓形ヲ呈シ横置セラレ小形ナリ、

第九、樹皮蟲科（キノカハムシ） Pythidae.

觸角十一節、普通棍棒狀ヲ呈シ、大腮端ハ二分シ、小腮鬚ノ末端節ハ斧狀若クハ卵形、前肢ノ基節ハ球形、跗節數ハ前科ト同樣、前胸背ノ兩側ニハ鋸狀歯ヲ有スルモノ多シ、頭ハ稍ヤ口吻狀ニ延長スレドモ前胸下ニ退縮シテ唯ダ前頭ヲ現ハスニ過ギズ、形微小ニシテ出尾蟲（ケシキスヒ）科ニ似タリ、成蟲幼蟲共ニ樹皮下ニアリ、

第十、擬天牛科（カミキリモドキ） Oedemeridae.

觸角十一節、雄ニ限リ稀ニ十二節ノコトアリ、絲狀若クハ鞭狀ヲ呈シ複眼前ニ位ス、小腮鬚ノ末端節ハ普通斧狀ヲナス、頭ハ突出シ、前胸細ク、翅鞘長シ、脚ハ細長、第三跗節若クハ第四跗節ハ二個ノ小片ニ分支シ、又心臟形ヲナスモノアリ、其形天牛ニ類似スルモ翅鞘軟質ナルヲ以テ識別スルコト難カラズ、

第十一、一角蟲科 Anthicidae.

觸角十一節、糸狀若クハ棍棒狀ヲ呈シ、大腮ハ甚ダ大ニシテ末端ハ二分シ、小腮鬚ハ四節、末端節ハ斧狀ヲ呈ス、前中兩肢ノ跗節ハ五節、後跗節ハ四節ヨリ成ル、頭ハ前胸ヨリ廣ク且ツ膨起シ時ニ一個ノ長角ヲ有スルモノアリ、後頭ハ細ク頸狀ヲ呈ス、形小ニシテ蟻ノ如キ觀アリ、

第十二、赤翅蟲科 Pyrochroidae.

觸角十一節、櫛齒狀若クハ鋸齒狀ヲ呈シ、大腮端ニ二齒アリ、小腮鬚四節、其末端節ハ長三角形ヲ呈ス、跗節ハ前科ノ如シト雖モ爪ハ分支セズ、體細長ク少シク平タシ、前胸ハ圓形ニ近ク頭ヨリ小ナリ、翅鞘ハ後方ニ廣ガル、多クハ赤色ナル種類ナリ、

第十三、地膽科 Meloidae.

觸角ハ普通十一節、稀ニ八節乃至十節ノコトアリ、其中央往々膨大ス、後頭ハ頸狀ヲ呈シ、大腮ハ三角形ニシテ內側ニ齒アリ、前胸細シ、翅鞘軟質ニシテ其短カキモノ多シ、脚ハ前科同樣ナレドモ各爪ハ二分セリ、前肢ノ基節甚ダ大ニシテ稍ヤ圓柱形ヲ呈シ互ニ相接スルモノ多シ、幼蟲ハ多ク蜂ニ寄生ス、

第十四、撚翅蟲科 Stylopidae.

雄ノ觸角ハ四節乃至七節、多クハ枝狀ヲ呈ス、集眼ハ大ナレドモ小眼ノ數少ナク有柄ナルモノ多シ、口部ハ退化ス、後胸背ハ延長シテ腹部ノ基部ヲ蓋ヒ、前翅ハ退化シテ甚ダ小サク上方ニ撚レタル棍棒狀ヲ呈シ、後翅ハ扇狀ニシテ廣ク放線狀ノ翅脈アリ、脚ハ

短カク、跗節ハ二節乃至四節、末端ニ至ルニ従ヒ肥大シ、爪ヲ缺ク、腹部ハ九節ヨリ成ル、雌ハ退化シテ蛆狀ヲ呈ス、

(附言) 昔時此科ニ屬スル昆蟲ヲ撚翅目(Strepsiptera)ノ別目下ニ置キタレドモ目下之レヲ鞘翅目ノ一部ニ編入スルニ至リタリ、

第十五、大(オホ)花(ハナ)・蚤(ノミ)科 Rhipiphoridae.

觸角ハ十六節、雄ハ羽狀若クハ扇狀ヲ呈シ、雌ニハ櫛齒狀ヲ呈スルモノアリ、大腮ノ基部ニ皮膜ヲ缺キ、小腮鬚四節其末端節ハ卵形ヲ呈スルコトナシ、下唇鬚三節、脚ノ基節ハ圓錐形ニシテ突出シ、前跗節ニハ五節、中後ノ兩跗節ニハ四節アリ、幼蟲ハ多ク蜂ノ巣ニ寄生ス、

第十六、花(ハナ)蚤(ノミ)科 Mordellidae.

觸角十一節、糸狀ニシテ往々其内側ハ鋸齒狀ヲ呈スルコトアリ、大腮ノ內方ニ皮膜ヲ裝ヒ、小腮鬚ノ末端節ハ斧狀ヲ呈ス、前跗節ハ五節、中後ノ兩跗節ハ四節、多クハ各節二分セリ、頭ハ下方ヲ向キ、口部ハ前肢ノ基節ト相接ス、後肢ハ甚ダシク發達シ脛節端ニ刺ヲ有シ跳躍ニ適ス、雌ハ長キ圓錐形ノ產卵管ヲ有ス、多クハ小形種ナリ、

第十七、長(ナガ)朽(クチ)木(キ)蟲(ムシ)科 Melandryidae.

觸角ハ十一節稀ニ十節ナルコトアリ、糸狀ニシテ末端ニ於テ多少棍棒狀ヲ呈ス、大腮ハ普通末端ニテ二分ス、小腮鬚ハ大ニシテ內側ハ鋸齒狀ヲ呈シ末端ハ斧狀ヲナス、前肢ノ基節ハ圓錐形ニシテ

突出ス、前跗節ハ五節、中後ノ兩跗節ハ四節、前胸背ノ兩側ハ圓ク後緣角ノ突出セルモノアリ、成蟲幼蟲共ニ多クハ朽木若クハ菌蕈ヲ以テ食トス、

第十八、僞葉蟲（ハムシダマシ）科 Lagriidae.

觸角十一節、糸狀、各節短カク細毛アリ、大腮端二分ス、小腮鬚ノ末端節ハ斧狀ヲ呈シ、前跗節ハ五節、中後ノ兩跗節ハ四節ヨリ成リ、體ハ延長シテ少シク平タク、頭ハ圓形、前胸ハ前後同幅ニシテ頭ヨリ少シク細ク、翅鞘ハ後方ニ廣マリ、多ク細毛ヲ密生ス、

第十九、朽木蟲（クチキムシ）科 Alleculidae. (Cistelidae.)

觸角十一節、糸狀ニシテ稀ニ鋸齒狀若クハ鞭狀ヲ呈ス、大腮端ノ二分セルモノアリ、小腮鬚及ビ下唇鬚ノ末端節ハ大ニシテ斧狀ヲナス、前跗節ハ五節、中後ノ兩跗節ハ四節、爪ニハ鋸狀齒アリ、頭ハ前胸下ニ退縮シ唯ダ前頭ヲ現ハス、成蟲ハ花ニ多ク、幼蟲ハ朽木若クハ菌蕈ヲ食フ、

第二十、僞步行蟲（ゴミムシダマシ）科 Tenebrionidae.

觸角十一節稀ニ十節ヨリ成リ多クハ連鎖狀ニシテ末端ハ稍ヤ棍棒狀ヲ呈シ頭ノ下方ニ出ヅ、大腮ハ普通末端ニテ二分ス、小腮鬚ノ末端節ハ斧狀若クハ卵形、前肢ノ基節ハ球狀若クハ卵形、跗節ハ前科同樣ナリ、翅鞘ハ間々癒着シ、後翅ヲ缺クモノアリ、成蟲ハ朽木若クハ菌蕈ヲ食ヒ花間ニアルモノナシ、

第二十一、圓蕈蟲科　Cisidae.

觸角ハ普通十節稀ニ八節、細クシテ末端ノ三節ハ太キ棍棒狀ヲ呈ス、大腮ハ三角狀ニシテ太ク、末端ニ齒ヲ有シ、小腮鬚ハ二葉ニ分ル、跗節四節ニシテ何レモ肥大セズ、第四節ハ甚ダ長ク他三節ヲ合シタルモノヨリ長シ、體ハ圓柱形ニシテ長卵形ヲ呈シ多クハ細毛ヲ装フ、微小ノ種類ニシテ菌蕈ヲ食ス、

第二十二、長蠹蟲科　Bostrychidae.

觸角ハ九節若クハ十節、末端ノ三節ハ太ク棍棒狀ヲ呈シ多少鋸齒狀ヲナス、基部ノ二節ハ太クシテ次ギノ四節ヨリモ長シ、大腮ハ三角狀ニシテ餘リ尖ラズ、内側ニ一小齒ヲ装フ、小腮鬚ハ二葉ニ分レ、跗節ハ五節ニシテ肥大セズ、基節ハ微小ニシテ大部ハ脛節端ニ隱ル、圓柱形ノ種類ニシテ細長ク、幼蟲ハ木材ニ蠹入シテ加害スルコト小蠹蟲ト同様ナリ、

第二十三、竹蠹蟲科　Lyctidae.

觸角十一節、末端ノ二節ハ膨大シテ太キ棍棒狀ヲ呈シ末端節ハ卵形、次節ハ三角狀ヲ呈ス、上唇ハ突出シ、大腮端ニハ二齒ヲ具ヘ、小腮鬚ハ長ク糸狀ヲナシ末端節ハ卵形ニシテ稍ヤ尖ル、跗節ハ五節、第一節ハ甚ダ小サク脛節端ニ隱ル、二爪ヲ有ス、前肢ノ基節ハ球形ニシテ突出セズ、體ハ圓柱形ニシテ細長シ、

第二十四、姫蕈蟲科　Sphindidae.

觸角十節、末端ノ三節ハ次第ニ膨大シテ棍棒狀ヲナス、大腮端ハ尖リ突出ス、跗節ハ五節、雌ニ限リ後肢ノ跗節ハ四節ヨリ成リ末

端節ハ甚ダ長ク他節ヲ合シタルモノト畧ボ同長ナリ、頭小サク、前胸背ハ幅廣ク兩側圓シ、翅鞘ハ胸部ト畧ボ同幅ヲ呈シ、體ハ圓柱形ニシテ尾端圓シ、微小ノ種類ニシテ菌蕈ヲ食トナス、

第二十五、番死蟲科
Byrrhidae.
(Anobiidae.)

觸角十一節ニシテ十節ナルコトモアリ、糸狀、鋸齒狀若クハ櫛齒狀ヲ呈シ末節ノ三節ハ長ク複眼ノ前方ヨリ出ヅ、上唇ニハ普通長毛アリ、跗節ハ五節稀ニ四節ナルコトアリ、前胸片ニハ突起ナシ、前胸背ノ兩側ハ普通刄狀緣ヲ有シ、頭部ハ下方ニ向ク、翅鞘ハ全ク腹部ヲ蓋フ、

第二十六、標本蟲科
Ptynidae.

觸角十一節、糸狀ニシテ長ク頭ノ前端ヨリ出デ互ニ相近接ス、普通上唇ニ鬚毛ヲ具ヘ、大腮ハ三角形ニシテ短大、內側ニ一小齒アリ、跗節ハ五節ヨリ成リ、爪ニハ附屬物ナシ、頭部ハ前胸下ニ退縮シ下方ヲ向ク、小腮鬚ハ四葉ニ分ル、前胸背ノ兩側ハ刄狀緣ヲ有セズ、翅鞘ハ尾端ヲ蓋ヒ、往々後翅ヲ缺クモノアリ、幼蟲ハ金龜子ノ幼蟲ニ類似ス、

第二十七、郭公蟲科
Cleridae.

觸角十一節、糸狀、鋸齒狀、棍棒狀、若クハ球桿狀ヲ呈ス、大腮ハ有齒、頭ハ下方ヲ向キ球形ノ前胸ニ蓋ハレ、後肢ノ基節ハ互ニ相接シ、中肢ノ基節ハ畧ボ球形ナリ、跗節ハ五節ナレドモ亦四節ヲ有スルモノアリ、第一節ハ小ニシテ時ニ脛節端ニ隱レテ見エズ、

腹部ハ五節乃至六節、體ハ粗毛ヲ装ヒ細長ナリ、

第二十八、螢科 Cantharidae.
(Telephoridae.)
(Lampyridae.)
(Malacodermata.)

觸角ハ十節乃至十二節、大腮短カク、前中兩肢ノ基節圓柱形ヲ呈シ、後基節ハ横置セラレ互ニ相近接シ其内方ニ圓錐狀ノ突起アリ、脛節ニハ刺ヲ缺キ、跗節ハ五節ナレドモ雄ニ限リ前跗節ノ四節ナルコトアリ、腹部ハ六節乃至七節、皆自在ニ動ク、

第二十九、圓花蚤(マルハナノミ)科 Dascillidae.

觸角十一節、複眼前ニ相近接シテ出ヅ、大腮短カク、舌大ナリ、脚ノ基節ハ相隔離シ、圓錐形ヲナシテ後方ニ向ク、前肢基節溝ノ後方ハ開口ス、跗節ハ五節、腹部ハ五節、皆自在ニ動ク、多クハ卵形ノ小形種ニシテ或モノハ腿節發達シテ跳躍ニ適ス、花ニ多シ、

第三十、叩頭蟲(コメツキムシ)科 Elateridae.

觸角十一節乃至十二節、鋸齒狀若クハ櫛齒狀ヲ呈シ頭ノ兩側ヨリ出ヅ、眼ハ卵形、前胸片ニ一個棘狀突起アリテ中胸片ノ凹溝ニ嵌入ス、前中兩肢ノ基節ハ球形ヲ呈シ、跗節及ビ腹節ハ五節、後者ハ自在ニ動ク、體細長ク多少扁平ナルモノ多ク、跳躍ニ適ス、

第三十一、擬叩頭蟲(コメツキダマシ)科 Eucnemidae.

觸角十一節、鋸齒狀、櫛齒狀若クハ糸狀ニシテ稀ニ連鎖狀ヲ呈シ複眼間ニ相接近ス、大腮短カク一齒アリ、兩鬚ハ末端ニテ膨大シ、卵形若クハ斧狀ヲナス、跗節ハ五節、前肢ノ基節ハ球形、腹部ハ五節アリ、下唇ハ判然セズ、

第三十二、擬吉丁蟲(タマムシダマシ)科

Monommidae.

觸角短カク十一節ヨリ成リ前胸下ニ縱溝アリテ其内ニ嵌入ス、末端ノ三節太クシテ棍棒狀ヲ呈シ、基節長シ、大腮ハ短カク末端ハ二分ス、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚四節、末端節大ニシテ斧狀ヲ呈シ、下唇鬚三節、末端節ハ長大、末端ハ截斷狀ニ終ハル、腹部五節、第一節大ナリ、前中兩肢ニハ五跗節、後跗節ニ四節アリ、卵形ノ膨起セル種類ニシテ一見吉丁蟲ニ似タリ、本邦産スルモノ二種アリテ何レモ暗褐ノ中形種ナリ、

第三十三、吉丁蟲(タマムシ)科

Buprestidae.

觸角短カク十一節ヨリ成リ鋸齒狀ヲナス、眼ハ大ニシテ楕圓形ヲ呈シ、前胸片ニ二個ノ突起アリテ中胸片ノ凹溝ニ嵌入ス、前、中兩肢ノ基節ハ球形ヲナシ、後肢ノ基節ハ葉狀ヲ呈シ、前肢ノ基節後方ハ開口ス、腹部五節、初メノ第二節癒着シテ動カズ、體ハ細長ク堅牢ノ種類ナリ、跳躍セズ、

第三十四、金龜子(コガネムシ)科

Scarabaeidae.

觸角短カク、七節乃至十一節ヨリ成リ、膝狀ヲナシ、柄節甚ダ長ク末端ノ三節乃至七節ハ鰓葉狀ヲナス、各葉動キ得ベシ、脚ノ基節ハ圓柱狀ヲ呈シ前肢ハ地ヲ開掘スルニ適シ、跗節五節アリテ爪間ニ小爪ヲ缺ク、體ハ多ク卵形ノ種類ニシテ強固ナリ、

第三十五、鍬形蟲科
Platyceridae.
(Lucanidae.)

觸角十節、膝狀ヲ呈シ末端ノ三節乃至五節ハ櫛齒狀ヲナシ各葉動カズ柄節甚ダ長シ、大腮ハ發達シ殊ニ雄ニアリテハ鍬形狀ヲ呈スルモノアリ、下唇鬚三節、第二節ハ長シ、前肢ノ脛節ニハ多刺ヲ有スレドモ後脛節ニハ刺少ナシ、跗節細ク、爪間ニ更ニ小爪ヲ裝フ、

第三十六、閻魔蟲科
Histeridae.

觸角短カク十一節ヨリ成リ膝狀ヲ呈シ末端ノ三節膨大シテ球桿狀若クハ棍棒狀ヲナス、小腮鬚ハ糸狀、前胸背ノ前緣ハ刳ラレタルノ觀ヲ呈シ、翅鞘端ハ截斷狀ニ終ハリ尾端ヲ現ハス、跗節ハ小サク五節アリ、腹部ハ五節、第一節甚ダ長シ、堅牢ナル圓形ノ中形種ニシテ外患ニ接スルトキハ死狀ヲ摸倣ス、

第三十七、圓刺蟲科
Cistelidae.
(Byrrhidae.)

觸角ハ十一節稀ニ十節ナルコトアリ、多クハ棍棒狀ヲ呈ス、大腮ハ齒ヲ有シ短大ニシテ末端ハ鋭尖ナリ、小腮ハ二葉ニ分レ、跗節ハ五節、脚ノ基節ハ圓柱形ヲナシ突出セズ、腹部五節、初メノ三節ハ癒着シテ動カズ、頭ハ常ニ前胸下ニ隱ル、卵形ノ種類ニシテ普通毛塊若クハ刺毛ヲ裝フ、

第三十八、鰹節蟲科
Dermestidae.

觸角ハ十一節ニシテ短カク末端ノ三節ハ棍棒狀若クハ球桿狀ヲ呈ス、前胸下ニ溝アリテ此ノ內ニ觸角ヲ藏メ得ベシ、頭ハ伸縮ニ適シ、前肢ノ基部ハ圓錐形、中肢ノ基節ハ卵形ニシテ傾斜ス、後肢ノ基節ハ扁平ニシテ廣シ、脚短カク伸縮ニ適ス、跗節及ビ腹部ハ

五節ヨリ成リ、後者ハ自在ニ動キ得ベシ、

第三十九、擬木吸蟲科（キスヒダマシ） Trixagidae.

觸角十一節、鋸齒狀、末端ノ三節ハ棍棒狀ヲ呈シ複眼內側ノ下方ニ位ス、前胸下ニ深溝アリテ觸角ハ此內ニ箝入ス、上唇ノ前緣ハ圓ク、大腮ハ短カク末端ハ二分セズ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚ノ末端節ハ大ニシテ斧狀ヲ呈ス、跗節ハ五節、第三節ハ葉狀ヲナス、體長卵形ニシテ跳躍シ得ベシ、多クハ植物ノ葉ヲ食害ス、

第四十、扁蟲科（ヒラタムシ） Cucujidae.

觸角十一節、糸狀若クハ末端ノ三節ハ棍棒狀ヲ呈シ、前中兩肢ノ基節ハ球形ニシテ突出セズ互ニ相隔離ス、後肢ノ基節ハ横置セラレ相接ス、跗節ハ五節ナレドモ時ニ雄ニ限リ後肢ノ四跗節ナルコトアリ、腹部ハ五節、皆自在ニ動キ畧ボ同長ナリ、體ハ甚ダ扁平ナリ、樹皮下ニ多シ、

第四十一、長扁蟲科（ナガヒラタムシ）（ホタルモドキ） Cupestidae.

觸角十一節、糸狀ニシテ太ク且ツ平タシ、第二節甚ダ小ナリ、複眼ノ中間ニ位シ相近接ス、複眼ハ半球狀ニシテ大ナリ、大腮ハ大ニシテ基部ニ大突起アリ、上唇ハ前緣ニテ弓狀ニ刳ラル、小腮鬚四節、末端節長大ニシテ斧狀ヲナス、頭頂ニハ突起ヲ裝ヒ、前胸背ノ前緣兩側ハ棘狀ヲナシテ突出ス、腹部五節、各節ノ中央ニ横隆起アリ、脚ニハ五跗節アリテ各節ノ下方ニ毛塊ヲ裝フ、細長扁平ノ種類ニシテ花ニ多シ、

第四十二、脊筋蟲科（セスヂムシ）
Rhysodidae.

觸角十一節、糸狀、上脣ハ小ナレドモ堅クシテ突出ス、大腮ハ內方ニ曲リ末端ハ尖リ外側ハ突出ス、小腮ハ二葉ニ分レ、肢ノ基節ハ互ニ相隔離シ、前肢ニアルモノハ球形ヲナス、蹠節五節、其內初メノ三節ハ癒着ス、細長キ小形種ニシテ堅牢ナリ、普通前胸背ニ太キ三縱隆起アリ、朽木ニ住ス、

第四十三、細堅蟲科（ホソカタムシ）
Colydiidae.

觸角十一節稀ニ八節乃至十節ナルコトアリ、末端ハ棍棒狀若クハ球桿狀ヲ呈ス、兩腮及ビ兩鬚ハ甚ダ短カク、前中兩肢ノ基節ハ球形、後肢ノ基節ハ横置セラレ半圓柱形ヲ呈ス、脚ニ四蹠節アリ、腹部ハ五節其內初メノ三節若クハ四節ハ癒着ス、細長ノ小形種ニシテ體堅牢ナリ、多クハ樹皮下ニアリ又菌蕈ヲ食スルモノアリ、

第四十四、穀盜科（コクヌスツト）
Trogositidae

觸角十一節、稍ヤ連鎖狀ヲ呈シ、複眼前方ノ下方ヨリ出デ、末端ノ三節ハ太ク鋸齒狀ヲナス、基節大ナリ、大腮ハ太ク少シク內方ニ曲リ外側ハ突出ス、小腮鬚四節、末端節長ク圓柱形ヲナシ其末端少シク細シ、前胸背前緣ノ兩側ハ多少突出ス、前肢ノ基節ハ圓柱形ニシテ横置セラレ、中肢ノ基部ハ球形、脚短カク、蹠節ハ五節、第五節ハ大ニシテ長ク、二個ノ長爪アリ、前肢ノ脛節端ニ一鈎アリテ尖レリ、多クハ扁平ナル種類ニシテ樹皮下ニ多ク又厨房ニアリテ穀物ヲ食害ス、

第四十五、出尾蟲科（ケシキスヒ） Nitudelidae.

觸角十一節稀ニ十節、末端ノ三節ハ球桿狀ヲナシテ少シク平タク、複眼ノ前方ヨリ起リ、前頭ハ突出シ、上唇ハ往々隱レテ見エズ、大腮ハ鉤狀ヲナシ內方ニ細毛ヲ裝フ、前中兩肢ノ基節ハ卵形ニシテ横置セラレ、脚短カク、腿節及ビ脛節端ハ膨大シ、跗節甚ダ小サク、五節ヨリ成リ稀ニ雄ニ限リ後跗節ノ四節ナルコトアリ、腹部ハ五節、皆自在ニ動ク、長楕圓ノ小形種ニシテ、前胸背ノ兩側ハ刄狀ヲナシテ薄ク、翅鞘ノ尾節ニ達セザルモノ多シ、多クハ花蜜若クハ樹液ヲ吸收ス、

第四十六、大木吸蟲科（オホキスヒムシ） Helotidae.

觸角十一節、末端ノ三節ハ杓子狀ニ膨大シ、前頭ハ突出ス、上唇ハ隱レテ見エズ、大腮ハ大キク、末端ハ鋭尖ニシテ二分ス、小腮鬚及ビ下唇鬚ノ末端節ハ圓柱形、末端ハ少シク細ク截斷狀ニ終ハル、複眼ハ楕圓形、前中兩肢ノ基節ハ球形、其外側ニ球狀ノ凹陷部アリ、腿節ハ發達シテ少シク弓狀ニ曲リ、跗節ハ五節、第五節ハ他ノ四節ヨリ長シ、長楕圓ノ中形種ニシテ少シク平タク、吉丁蟲ニ類スルノ種類ナリ、樹液ヲ吸收ス、

第四十七、姬薪蟲科（ヒメマキムシ） Lathridae.

觸角八節乃至十一節、末端ハ棍棒狀、大腮ノ末端ニ二齒ヲ有スルモノアリ、下唇鬚三節稀ニ二節、跗節三節ニシテ稀ニ前跗節ノ四節ナルコトアリ、前肢ノ基節球形、腹部ハ五節、皆微小ノ種類ニ

シテ、樹皮下ニ多ク又薪木ノ上ニ目撃スルコト多シ、

第四十八、小蕈(コキノコ)蟲(ムシ)科 Mycetophagidae.

觸角十一節、末端ニ至ルニ從ヒ自然ニ膨大シテ棍棒狀ヲナシ、殊ニ末端ノ二節若クハ三節ハ大ナリ、上唇ハ發達シ大腮ヲ蓋フ、大腮ハ鈎狀ニ曲リ、末端ニ二齒ヲ有シ、基部ニハ突起アリ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚ハ糸狀ニシテ太ク四節ヨリ成ル、脚ニ四跗節アレドモ又五跗節ヲ有スルコトアリ、前肢ノ基節ハ球形、後肢ノ基節ハ圓柱形、腹部ハ五節、皆自在ニ動ク、細長微少ノ種類ニシテ、翅鞘ニ細毛ヲ裝ヒ、菌蕈若クハ樹液ニ普通ナリ、

第四十九、木吸(キスヒ)蟲(ムシ)科 Cryptophagidae.

觸角十一節稀ニ十節、末端ノ二節乃至四節ハ太キ棍棒狀ヲ呈シ、稀ニ基部ヨリ次第ニ棍棒狀ヲナスモノアリ、上唇ハ普通突出ス、大腮ハ大ニシテ短カク、其基部ニ隆起アリテ其上ニ更ニ凹線ヲ有ス、脚ハ五跗節ヲ有シ、雌ノ後肢ニハ四跗節アリ、第一節ノ下方ニハ細毛ヲ裝フ、二爪アリ、前肢ノ基節ハ球形、後肢ノ基部ハ五ニ相隔離ス、腹部ハ五節ニシテ第一節ハ長大、楕圓若クハ卵形ノ小形種ニシテ、普通前胸背ノ兩側ニ波狀ノ突起アリ、翅鞘ニ光澤アル細毛ヲ裝ヒ、木液若クハ菌蕈ヲ以テ食トス、又花蜜ヲ吸收スルモノアリ、

第五十、擬瓢蟲（テントウムシダマシ）科 Endomycidae.

觸角十一節、末端ハ棍棒狀、複眼ノ中間ニ起リ、頭下ニ紳縮スルコト能ハズ、大腮ハ弓曲シ末端ノ二分セルモノアリ、小腮ハ二葉ニ分レ、跗節ハ四節、第三節ハ小サク第四節ノ基部ニ隱レテ見エズ、爪ニ齒ヲ缺ク、瓢蟲ニ類スル斑紋ヲ有スルモノアレドモ皆長形ニシテ稍々平タシ、

第五十一、大蕈蟲（ヲホキノコムシ）科 Erotylidae.

觸角十一節、末端ハ棍棒狀ニシテ多少側扁ナリ、大腮端ハ普通分支シ突出セズ、小腮ハ二葉ニ分レ、跗節ハ四節若クハ五節、稀ニ前跗節ハ五節、中後ノ兩跗節ハ四節ナルコトアリ、前肢ノ基節ハ球形ニシテ突出セズ、腹部ハ五節、皆自在ニ動ク、光澤アル種類ニシテ、多クハ菌蕈ヲ以テ食トナス、

第五十二、擬叩頭蟲（コメツキムシダマシ）科 Languridae.

觸角十一節、稍ヤ連鎖狀ニシテ棍棒狀ヲナシ末端ノ三節ハ殊ニ太シ、上唇ハ突出セル額片ニ蓋ハレテ僅ニ其末端ヲ出シ、大腮ハ弓狀ニ曲リ末端ハ鋭尖ナリ、小腮鬚ノ末端ハ太ク稍ヤ紡錐狀ヲ呈ス、前胸背ハ球形ニ近ク、前肢ノ基節ハ球形ニシテ相隔離シ、跗節ハ四節、初メノ三節ハ膨大シ二葉ニ分ル、形細ク稍ヤ圓柱形ヲ呈シ、一見叩頭蟲（コメツキムシ）ニ似タリ、

第五十三、姬花蟲（ヒメハナムシ）科 Phalacridae.

觸角ハ十一節ニシテ端直、末端ノ三節ハ大ニシテ長ク棍棒狀ヲナス、上唇ハ往々隱レテ見エズ、大腮端ハ鈎狀ヲナシテ尖リ、內方

ニ細毛ヲ裝フ、下唇鬚ハ多少肥大シ、前肢ノ基節ハ圓柱形、後肢ノ基節ハ半圓柱形、跗節ハ五節第一節及ビ第四節ノ甚ダ小ナルコトアリ、稀ニ後跗節ノ四節ナルコトモアリ、卵形ノ小形種ニシテ花蜜ヲ吸収シ又菌蕈ヲ食ス、

第五十四、出尾蕈蟲科（デオキノコムシ） Scaphididae.

觸角ハ十一節ニシテ端直、末端ノ五節ハ膨大シテ棍棒狀ヲナス、上唇ハ發達シテ大キク下方ニ垂レ大腮ヲ蓋フ、大腮ハ小サク内方ニハ皮膜アリテ之レニ細毛ヲ裝フ、小腮ハ二葉ニ分ル、小腮鬚ハ糸狀ニシテ稍ヤ長ク末端節ハ尖ル、下唇鬚微小、脚細長ク、前肢ノ基節ハ圓錐形、中肢ノ基節ハ球形、後肢ノ基節ハ圓柱形、脚ハ五跗節、腹部ハ五節乃至七節、多クハ菌蕈ヲ食ス、

第五十五、尨蕈蟲科（ムクゲキノコムシ） Trichopterygidae.

觸角十一節、末端ノ三節ハ大ニシテ連鎖狀ヲナス、上唇ハ突出シ前方ハ細シ、大腮ノ末端ハ鎌狀ニ曲リ、内方ハ凹陷ス、基部ニ一小歯アリ、外側ハ膨大シ之レニ一歯アリ、小腮鬚四節、基節ハ小サク、第三節ハ長ク棍棒狀ヲ呈シ、第三節ハ球狀ヲナス、第四節ハ針狀ニシテ細シ、下唇鬚ハ末端ニ至ルニ從ヒ細ク、各節ヨリ剛毛ヲ出ス、跗節ハ三節、爪ノ間ニ更ニ一刺毛アリ、腹部ハ五節乃至七節、後翅ノ基部ハ細ク、周緣ニ長緣毛ヲ裝フ、微小ノ種類ニシテ、樹皮下、菌蕈、蟻塚等ニ住ス、

第五十六、瑣微蟲科 Corylophidae. (Clypeastridae)

觸角ハ九節乃至十一節ニシテ棍棒狀、大腮ハ有齒、小腮ハ二葉ニ分レズ、小腮鬚ハ二節乃至四節、下唇鬚ハ一節乃至三節、跗節ハ四節、第三節ハ第二節ヨリ小、頭ハ前胸下ニ隱レ、腹部ハ六節、前科ノ如ク後翅ニ長緣毛ヲ装フ、此ハ本邦最小ノ甲蟲ヲ含有スル一科ニシテ其最小ナルモノハ二厘餘ナリ、

第五十七、球蕈蟲科 Anisotomidae.

觸角九節乃至十一節、棍棒狀ニシテ普通末端ノ三節乃至五節ハ膨大ス、小腮鬚三節乃至四節、下唇鬚二節乃至三節、前肢ノ基節ハ圓錐形ヲナシテ突出シ、中後兩肢ノ基節ハ多少相近接ス、跗節ハ普通五節ナレドモ同種ノ内ニモ變化スルモノアリテ或モノハ三節又ハ四節ナルコトアリ、球形ヲナセル微小種ニシテ、蕈ニ多シト雖モ亦樹皮下ニ棲息ス、多クハ微小ノ球形種ナリ、

第五十八、埋葬蟲科 Silphidae.

觸角十一節稀ニ十節、棍棒狀若クハ球桿狀、稀ニ糸狀ヲナシ大腮ノ上方ヨリ出ヅ、上唇ハ前緣ニ於テ多少凹陷シ、小腮鬚ハ四節、頭ヨリ短カシ、前肢ノ基節ハ圓錐狀ニシテ突出シ、後肢ノ基節ハ相近接ス、跗節ハ五節稀ニ前跗節ノ四個ナルコトアリ、腹部ハ五節乃至六節、多クハ動物ノ屍骨ヲ食ス、

第五十九、蘚苔蟲科 Scydmaenidae.

觸角十一節、棍棒狀ヲ呈シ、上唇ニハ剛毛アリ、大腮端ハ鎌狀ニ曲リ、小腮鬚ハ四節、頭部ヨリ長ク、第三節ハ棍棒狀ヲナシ、第

四節ハ甚ダ小ニシテ錐狀ヲナス、下唇鬚ハ三節、第二節ハ甚ダ長シ、腹部ハ六節、翅鞘ハ尾端ヲ掩ヒ、後翅ヲ缺ク、跗節五節、初メノ四節ハ略ボ同長、前肢ノ基節ハ圓錐形ニシテ突出シ、後肢ノ基節ハ球形ニシテ相隔離ス、

第六十、蟻塚蟲科（アリツカムシ） Pselaphidae.

觸角ハ十一節稀ニ十節ニシテ棍棒狀、稀ニ連鎖狀ヲ呈スルモノモアリ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚ハ三節若クハ四節、甚ダ大ナリ、第一節甚ダ長ク、第四節甚ダ小ニシテ膨大セル第三節ノ末端ニアル小突出物ノ如シ、第二節小ナリ、下唇鬚三節、末端節ハ針狀ヲナス、跗節ハ二節若クハ三節、腹部ハ五節、翅鞘ハ短カシ、微小ノ種類ニシテ蘚苔若クハ蟻塚ニ住スルモノ多シ、

第六十一、擬隱翅蟲科（ハテカクシダマシ） Microplidae.

觸角九節　末端ノ二節膨大シテ卵形ヲ呈シ中間ニアルモノハ細ク基節ハ甚ダ大ニシテ球形ヲ呈ス、複眼ヲ缺ク、上唇ハ廣ク、大腮ハ小ニシテ突出セズ、小腮鬚ノ第一節細小、第二節甚ダ大ナリ、脚ハ短カクシテ細ク、中肢ノ基節ハ相隔離シ、跗節ハ三節、此ハ前胸背ニ縱隆起ヲ有シ、翅鞘短カシ、微小ノ種類ニシテ穢物ヲ食ス、

第六十二、隱翅蟲科（ハテカクシムシ） Staphylinidae.

觸角十一節稀ニ十節ナルコトアリ、棍棒狀若クハ糸狀、大腮ハ鎌狀ヲナシ、小腮鬚四節、下唇鬚ハ樣々ニシテ二節乃至四節ヨリ成

リ、時ニ關節ヲ有セザルモノアリ、跗節ハ普通五節時ニ三節若クハ四節ナルコトアリ、又或モノハ前肢ハ四跗節ナレドモ他跗節ノ五節ナルコトアリ、腹節ハ六節若クハ七節、翅鞘ハ短カク、其下ニ後翅ヲ疊ミ込ム、多クハ細長扁平ノ小形種ニシテ菌蕈、屍骨、獸糞等ヲ食ヒ時ニ他蟲ヲ食スルモノアリ、

第六十三、泥蟲科 Parnidae.

觸角ハ普通十一節、稀レニ九節ナルコトアリ、糸狀若クハ棍棒狀ニシテ頭ノ前端ニ位シ時ニ其甚ダ短カキモノアリ、上唇ハ廣クシテ口部ヲ蓋フ、又額片下ニ退隱スルモノアリ、大腮ハ隱レ其末端ニ二齒アリ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚四節、下唇鬚三節、跗節ハ五節、第五節ハ大ニシテ大爪ヲ有ス、後肢ノ基節ハ圓柱形ニシテ横置セラレ、腹部ハ五節、水中ニアレドモ游泳スルコト能ハズ、

第六十四、圓泥蟲科 Georyssidae.

觸角短カク、九節ヨリ成リ、末端ノ三節ハ太ク棍棒狀ヲナス、上唇ハ突出シ、大腮ハ細ク、末端ハ少シク內方ニ曲リ、末端ニ近ク一小齒ヲ具ヘ、內側ニ皮膜アリテ之レニ短カキ粗毛ヲ生ズ、基部ニハ突起アリ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚四節、下唇鬚三節、跗節ハ四節ニシテ肥大セズ、腹部五節、頭ハ前胸下ニ伸縮シ得ベシ、水邊ニ近ク住シ多クハ泥土ヲ附着ス、

第六十五、牙蟲（ガムシ）科 Hydrophilidae.

觸角六節乃至九節、棍棒狀ニシテ短カク、末端ノ肥大節ハ多ク葉狀ヲナス、基節ハ長シ、小腮ハ二葉ニ分レ、小腮鬚ハ往々觸角ヨリ長ク糸狀ニシテ四節ヨリ成ル、下唇鬚三節、腹部ハ五節若クハ六節、多クハ水中ニ住シ稀ニ獸糞ニ住スルモノアリ、

第六十五、鼓豆蟲（ミヅスマシ）科 Gyrinidae.

觸角九節、甚ダ短カク不正形ヲ呈シ、複眼ハ上下ニ分離シテ四個トナリ其中間ニ觸角ヲ有ス、大腮ハ短カク末端ニ二歯アリ、小腮ハ二葉ニ分レズ、其末端ニ不動ノ一鈎ヲ裝フ、小腮鬚ハ二個アリテ前方ニアルモノハ二節、後方ニアルモノハ四節ヨリ成リ、下唇鬚ハ三節、前肢ハ長ク、後肢ハ側扁ニシテ短カク游泳ニ適シ、腹部六節、跗節ハ五節、卵形ノ種類ニシテ水上ヲ旋廻ス、

第六十七、龍蝨（ゲンゴロウ）科 Dytiscidae.

觸角十節乃至十一節、鞭狀若クハ糸狀ヲ呈シ、大腮ハ短大ニシテ有歯ナリ、小腮ハ二葉ニ分レズ、末端ニ不動ノ一鈎ヲ有ス、小腮鬚ハ二個アリテ前方ニアルモノ二節、後方ニアルモノハ四節ヨリ成ル、下唇鬚三節、上唇小ニシテ前緣ハ凹陷シ剛毛ヲ有スルモノアリ、後肢ハ側扁ニシテ游泳ニ適シ、五跗節ヲ有シ長毛ヲ裝ヒ、末端ニ二爪アリ、前肢ニハ時々四跗節ヲ有スルモノアリ、皆水中ニ住ス、

第六十八、步行蟲科 Carabidae.

觸角十一節、鞭狀若クハ糸狀ヲ呈シ、大腮ハ大、其內側ハ刄狀ヲナシ、時ニ末端ニ一齒ヲ有スルモノアリ、小腮鬚ハ二個アリテ前方ニアルモノハ二節、後方ニアルモノハ四節アリ、舌ハ延長シ更ニ副舌ヲ裝フ、脚ハ步行ニ適シテ長ク、跗節ハ五節、雄ニアリテハ跗節(殊ニ前肢)膨大ス、腹部ハ五節乃至八節、多クハ地上ニアリテ他蟲ヲ食ス、

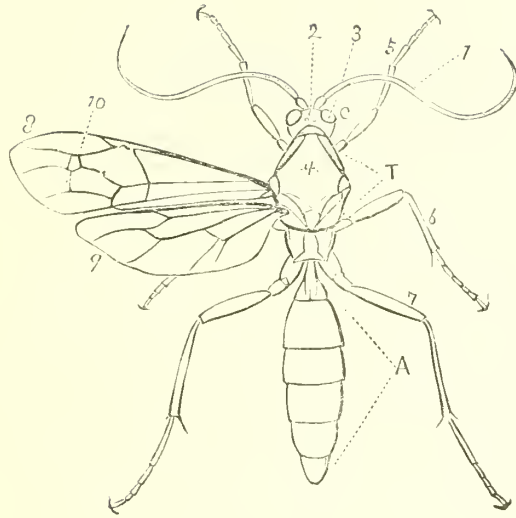
第六十九、斑蝥科 Cicindelidae.

觸角十一節、鞭狀ヲ呈シ、大腮ニハ三銳齒アリ、小腮ハ二葉ニ分レズ、末端ニ動キ得ベキ一鈎ヲ裝フ、小腮鬚ハ二個アリテ前方ニアルモノハ二節、後方ニアルモノハ四節ヨリ成ル、舌ハ內方ニ曲リ、副舌ヲ缺ク、脚ハ延長シテ步行ニ適シ、跗節ハ五節ニシテ細シ、腹部ハ六節、初メノ三節ハ癒着シテ動カズ、普通砂地ニ多ク他蟲ヲ以テ食トナス、

第十八、膜翅目 HYMENOPTERA

口部ハ咀嚼及ビ舐喰ニ適シ、前胸ハ癒着シテ自在ニ動カズ、四翅ハ膜質、翅脈少ナク、前翅ハ後翅ヨリ大ナルヲ常トス、又往々翅ヲ缺クモノアリ、頭ハ自在ニ動キ、普通複眼ノ外更ニ三個ノ單眼アリ、雌蟲ノ尾端ニハ伸縮シ得ベキ產卵管又毒劍ヲ有ス、變態ハ完全ナリ、後翅前緣ニハ小鈎ヲ列ネ爲メニ兩翅相鈎綴シテ飛翔ニ便ナリ、皆一種固有ノ彩色ヲ裝フ、今之レヲ分チテ左ノ二亞目トス、

第二十三圖　やまひめばち　(Matsumuraius grandis Ash.)

(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 單眼
(3) 複眼
(4) 翅底板 (Tegulae)
(5) 前肢
(6) 中肢
(7) 後肢
(8) 前翅
(9) 後翅
(10) 鏡胞
(T) 胸部
(A) 腹部

(著者原圖)　(廓大圖)

第一、有錐亞目　TEREBRANTIA.

第二、有劍亞目　ACULEATA.

第一、有錐亞目

脚ニ二節アル轉節ヲ有シ、雌ノ尾端ニ錐狀若クハ鋸狀ノ産卵管アリテ之レヲ植物若クハ他蟲ノ組織内ニ穿入シテ産卵ス、更ニ此亞目ヲ食葉類及ビ食蟲類ノ二部ニ大別ス、

(甲)食葉類　PHYTOPHAGA.

産卵管ハ鋸狀若クハ錐狀ヲ呈シ、腹柄ナク、前翅ニハ食蟲類ト異ナリテ劍狀室ト稱スル一室アリ、中後ノ二胸環ハ互ニ動キ、全體肥大ス、幼蟲ハ巨頭ニシテ、三双乃至十一双ノ脚アリ、本邦ニ産スルモノ左ノ二科ナリ、

第一、樹蜂科　Siricidae. (Uroceridae)

觸角ハ糸狀ニシテ端直、十一節乃至二十四節ヨリ成リ、小腮鬚五節乃至六節、後胸背ニ二個ノ深キ横溝アリ、腹部ハ九節、産卵管ハ錐狀ニシテ長ク尾節ノ下方ヨリ出デ長シ、脛節端ニ一刺アリ、幼蟲ハ三双ノ脚ヲ具ヘ、單眼ヲ缺クモノ多シ、

第二、鋸蜂科　Tenthridinidae.

觸角ハ棍棒狀若クハ糸狀ヲ呈シ端直ニシテ三節乃至三十六節ヨリ成リ、前胸甚ダ短カシト雖モ其兩側ハ延長シテ前翅ノ基部ニ達シ、後胸背ハ深溝ニヨリテ中胸背ト相隔離ス、前肢ノ脛節端ニハ二刺ヲ具ヘ、腹部ニハ八節アリ、産卵管短カクシテ尾端ヨリ突出セズ常ニ之レヲ鞘中ニ藏ス、幼蟲ハ普通十一双ノ脚ヲ有ス、

(乙)食　肉　類　ENTOMOPHAGA.

腹柄細ク、産卵管ハ針狀ニシテ普通尾端ヨリ出デ二條ノ膜瓣ハ左右ヨリ之レヲ包擁ス其長サ體ニ數倍スルモノアリ、幼蟲ハ無脚ニシテ單眼ヲ缺ク、口部アレドモ肛門ヲ具備セズ。多クハ他蟲ノ體內ニ寄生ス、本邦ニ産スルモノ左ノ五科ナリ、

第一、沒食子蜂科　Cynipidae.

觸角ハ端直ニシテ細長ク十三節乃至十六節ヨリ成リ、前翅ニ緣紋ヲ缺キ唯ダ僅ニ六個乃至八個ノ翅室ヲ有スルニ過ギズ、腹部ハ側扁ニシテ短大、腹下ニ縱溝ヲ有シ此內ニ産卵管ヲ藏ス、翅長ク靜止ノトキハ之レヲ腹上ニ置ク、幼蟲ハ樹枝若クハ葉ニ寄生シテ蟲癭ヲ生ズ、

第二、小繭蜂科　Braconidae.

觸角ハ糸狀若クハ鞭狀ヲ呈シ多節ヨリ成リ、緣紋ハ著明、鏡胞ヲ缺ク、初メノ三腹節ハ大キク其內第二及ビ第三ノ二節ハ往々癒着ス、中胸背ニハ凹凸多ク普通三分セルヲ常トス、雌ハ尾端ニ産卵管ヲ有シ長キモノハ體長ニ數倍ス、多クハ微小ノ種類ニシテ幼蟲ハ他蟲ニ寄生ス、蛹ハ普通絹繭中ニアリ、

第三、細蜂科　Evanidae.

觸角ハ端直若クハ膝狀、十三節乃至十六節ヨリ成リ、前翅ニハ著明ナル緣紋ヲ有シ、一個乃至三個ノ副前緣室アリ、後翅ニハ殆ント翅脈ナク、胸部大ニシテ、腹部ハ側扁、上ヨリ見ルトキハ頗ル細シ、此科ノ最モ特性トスル所ハ腹部ノ後胸背ノ下方ニ附着スル

ニアラズシテ、其中央若クハ尚一層上方ニ附着スルニアリ、雌ノ産卵管ハ長シ、幼蟲ハ他蟲ニ寄生ス、

第四、姫蜂科 Ichneumonidae.

觸角端直ニシテ細長ク、率子十四個以上ノ關節ヨリ成ル、小腮鬚五節、雌ハ長形ノ産卵管ヲ有スルモノ多シ、腹部ハ有柄若クハ無柄ニシテ細長ク、翅脈明亮、緣紋アリ、第一副前緣室ハ第一中室ト相癒着ス、第二副前緣室ハ往々小ナリ殊ニ之レヲ鏡胞ト云フ、幼蟲ハ他蟲ニ寄生ス、

第五、小蜂科 Chalcidae.

觸角ハ膝狀、六節乃至十四節ヨリ成リ、小腮鬚短カク多クモ四節ヲ越エズ、前翅ニ緣紋ヲ缺キ、翅脈少ナク唯ダ一個ノ前緣脈ト短カキ緣脈ヲ有スルニ過ギズ、後腿節ハ甚ダシク膨大シ、脛節ハ弓狀ニ彎曲ス、跗節ハ五節稀ニ四節若クハ三節ナルコトアリ、産卵管ハ尾端ノ下方ヨリ出ヅ、幼蟲ハ他蟲ニ寄生ス、

第五、卵蜂科 Proctotrupidae.

觸角端直ナルモノト膝狀ナルモノトアリ、十節乃至十八節ヨリ成リ稀ニ八節ナルコトアリ、小腮鬚ハ三節乃至六節、前翅ニ明亮ナル緣紋ヲ裝ヒ又之レヲ缺クモノアリ、翅脈少ナク又全ク翅ヲ缺クモノアリ、前胸ノ兩側ハ翅ノ基部ニ延長シ、跗節ハ五節稀ニ四節ナルコトアリ、雌ノ産卵管ハ尾端ヨリ突出ス、幼蟲ハ多ク蟲卵ニ寄生ス、

第二、有劍亞目

轉節ニ異狀ナク、雌蟲ハ尾節ニ毒劍ヲ有シ、胸腹ノ間ハ甚ダシク緊縊ス、幼蟲ハ蛆狀ニシテ雌蟲若クハ職蜂ニ飼育セラル、本邦ニ產スルモノ左ノ八科ナリ、

第一、蟻(アリ)科 Formicidae.

觸角絲狀若クハ棍棒狀ニシテ膝狀ニ折曲シ其柄節ハ甚ダ長シ、雌雄共ニ單眼ヲ有スレドモ職蟻ハ普通之レヲ缺ク、腹柄細ク、縊レテ球節トナルモノアリ、或ハ直立ノ小片ヲ出スモノアリ、雌雄翅ヲ生ズレドモ職蟻ハ全ク之レヲ缺ク、翅脈ハ少ナク、靜止ノトキハ腹上ニ置ク、多クハ群ヲナシテ一社會ヲナシ職蟻ヲ有ス、

第二、青(セイ)蜂(ボウ)科 Chrysidae.

觸角十三節、多少鋸齒狀ヲ呈シ彎曲シテ口部ニ近接ス、複眼ハ卵形、副前緣室ノ外方ハ開口ス、後翅ニ翅脈少ナク、體ハ堅クシテ圓柱形ニ近ク、腹部ハ一樣ノ幅ヲ有シ尾端ハ下方ニ弓曲シ、第三節ニ齒狀突起アルヲ常トス、皆鑛物性ノ光澤ヲ有シ綠色、藍色、紫色及ビ赤色ナルモノ多シ、雌ニハ毒刺アレドモ毒劇ナラズ、幼蟲ハ花蜂若クハ細腰蜂ノ巢ニ寄生ス、

第三、蟻(アリ)蜂(バチ)科 Mutillidae.

觸角ハ太ク膝狀ヲ呈シ柄節ハ割合ニ短カシ、雌ハ翅ヲ缺キ雄ト大ニ其趣キヲ異ニス、中肢ノ基節ハ相近接シ、脛節ハ第一蹠節ヨリ長ク、雄ノ前翅ニハ三個ノ副前緣室ヲ有シ第三室ハ五角形ヲナス、緣紋ヲ缺ク、雌ノ腹部ハ稍ヤ四角形ヲ呈ス、雄ハ花上ニアレドモ雌ハ多ク石下若クハ倒木下ニ捕獲シ得ベシ、多クハ細毛ヲ密生ス、

第四、土蜂(ツチバチ)科 Scolidae.(アカスヂバチ)

雌ノ觸角ハ短大ニシテ胸部ヨリ短カク、雄ノ觸角ハ長シ、膝狀ヲナサズ、複眼ハ卵形、其内側ニ凹部アリ、脚太ク後肢ノ脛節ニ長刺ヲ裝ヒ、脛節ハ第一跗節ヨリ短カク、中肢ノ脛節端ニ一刺アリ、脚ニハ細毛多シ、翅ハ率子不透明ニシテ翅脈太ク、二個ノ大ナル副前緣室アリ、多クハ砂中ニ穴ヲ堀リ其内ニ他蟲ヲ埋メ之レニ產卵ス、又直接朽木中ニアル蟲類ニ近ク產卵シテ幼蟲ノ食ニ供スルコトアリ、

第五、鼈甲蜂(ベツカフバチ)科 Pompilidae.

觸角ハ端直ニシテ長ク雄ニテハ殊ニ長シ、明亮ナル單眼ヲ具ヘ、複眼内側ニ凹部ナシ、前胸背ノ兩側ハ翅ノ基部ニ延長シ、前翅ニハ二個乃至四個(普通三個)ノ副前緣室ヲ有ス、脚ハ頗ル長ク脛節端ニ二個ノ長刺ヲ具ヘ、脛節ニ沿フテ更ニ多數ノ小刺アリ、頭及ビ胸部ハ普通光澤ヲ有シ滑澤ナリ、前科同樣ニ農家ニ有益ナリ、

第六、細腰蜂(コシボソバチ)科 Crabronidae. (Sphegidae)

觸角ハ普通短カク、膝狀ヲナサズ但シ其基節ノ少シク延長シテ膝狀ニ近キモノアリ、普通單眼ヲ具ヘ、複眼ハ卵形、前胸背ノ兩側ハ延長シテ翅ノ基部ニ達セズ、前翅ニハ縱皺ナク一個乃至四個ノ副前緣室アリ、腿節ハ滑ニシテ刺ナク、脛節及ビ跗節ニ刺アリ、腹部ハ七節、細キ腹柄ヲ有ス、飛走共ニ速ナリ、蛄蟖(ケムシ)、蝗蟲(バッタ)等ヲ捕ヘ幼蟲ノ食ニ供ス　農家ニ有益ナリ、

第七、胡蜂(キバチ)科 Vespidae.

觸角ハ普通膝狀、雄ニテハ十三節ヨリ成リ棍棒狀ヲ呈シ雌ニテハ十二節ニシテ稍ヤ絲狀ニ近シ、複眼ハ腎臟形ニ近ク、單眼ヲ有ス、前胸背ノ兩側ハ延長シテ翅ノ基部ニ達シ、前翅ニ一個ノ縱皺アリテ靜止ノトキハ之レヲ縱ニ重疊ス、前翅ニハ長キ前緣室及ビ二個乃至三個ノ副前緣室ヲ有シ、全體粗毛ナキヲ常トス、職蜂ヲ有シ群棲ス、農家ニ有害ナルモノト有益ナルモノトアリ、

第八、蜜(ミツ)蜂(バチ)科 Apidae.

雄ノ觸角ハ雌ヨリモ長ク、少シク膝狀ヲ呈ス、後肢ノ第一跗節ハ側扁ニシテ廣ク、少ナクモ其内側ニ粗毛ヲ密生ス、前翅ニハ縱皺ナク二個乃至三個ノ副前緣室アリ、普通全體ニ粗毛ヲ密生ス、毒針ニハ逆鈎アリテ一度之レヲ用ユレバ脫去ス、多クハ花蜜ヲ吸收シ之レト同時ニ花粉ノ媒介ヲナス、此內職蜂ヲ有シ群棲スルモノ多シ、

(1) しろとびむしもどき　第一圖(1)

學名　Aphorura inermis Tull.

昆蟲學上ノ地位　擬跳蟲科(トビムシモドキ)　(Aphoruridae)

體ハ乳白、食道ノ含有物ハ黒色ノ縦線ヲナシテ背上ニ現ハル、單眼ヲ有セズ、觸角ハ四節ヨリ成リ各節ノ長サハ4.5.6.7.ノ割合ヲ有シ、體ハ長ク短毛ヲ装ヒ、脚太シ、跳躍器ヲ缺ク、此種ハ本邦最モ普通ナルモノニシテ石若クハ倒レタル朽木ノ下ニ多ク性遅鈍ニシテ跳躍セズ、體長六厘内外、

(2) くろとびむし　第一圖(2)

學名　Isotoma nitida Fols.

昆蟲學上ノ地位　長角跳蟲科(ヒゲナガトビムシ)　(Entomobryiidae)

體ハ暗黒ニシテ少シク青味ヲ帯ビ、觸角ハ四節ヨリ成リ2.4.4.5.ノ割合ヲ有ス、單眼ハ頭ノ兩側ニ各八個アリ、跳躍器ハ長ク三節ヨリ成リ其割合ハ4.10.6.1.、此種類モ亦前種同様ニ最モ普通ナル一ナリ、體長五厘弱、

(3) とびむし　第一圖(3)

學名　Achorutes communis Fols.

昆蟲學上ノ地位　跳蟲(トビムシ)科 (Poduridae)

體ハ暗黒ニシテ灰色點ヲ散在ス、頭頂ニハ三個ノ黒色紋アリテ其兩側ノ紋上ニ各八個ノ單眼アリ、觸角ノ割合ハ6. 7. 8. 10.、體ハ圓柱形、體節ハ略ボ同長ナリ、跳躍器短大、二節ヨリ成リ基節ハ第二節ヨリ二倍長シ、尾端ニ於ケル管狀ノ附屬物ハ短カク少シク前方ニ彎曲ス、此ハ溜水ノ上ニ普通ナル微少ノ種類ニシテ、體長四厘强、

(4) むらさきこびむし　第一圖(4)

學名 Achorutes gracilis Fols.

昆蟲學上ノ地位　跳蟲(トビムシ)科

體ハ藍青色、胸下ハ黄色、頭頂ニ二個ノ黒紋アリテ其上ニ各八個ノ單眼アリ、觸角ノ割合ハ3. 4. 4. 6.、體ハ圓柱形ニシテ後方ニ至リテ少シク膨大ス、脚ハ淡色ニシテ青色點ヲ散在ス、跳躍器二節ヨリ成リ基節ハ第二節ヨリ三倍長シ、尾端ニ於ケル管狀ノ附屬物ハ二個ニシテ短カシ、此種類モ前種同様ニ溜水ノ上ニ普通ナリ、體長五厘弱、

(5) せすぢこびむし　第一圖(5)

學名 Xenylla longicauda Fols.

昆蟲學上ノ地位　跳蟲科

體ハ藍青色ニシテ黄白ノ小紋ヲ散在ス、背上ニハ二個ノ黒條ヲ縱走シ各關節ノ接部ニ又黒色ノ横條

アリ、胸下部ハ黄白ニシテ濃青色ノ小紋ヲ有ス、頭頂ニハ二個ノ黑紋アリテ其上ニ各五個ノ單眼ヲ排列ス、觸角ノ割合ハ7.8.9.9.其内基節ハ太クシテ側扁ナリ、體ハ圓柱形ナレドモ後方ニ至リテ少シク膨大ス、跳躍器ハ二節ヨリ成リ基節ハ第二節ヨリ少シク短カシ、尾端ニ管狀ノ附屬物ヲ有セズ、此種類ハ朽葉又ハ朽チタル松毬（マツカサ）ノ内ニ普通ナリ、體長五厘弱、

（6）きごびむし　第一圖（6）

學名　Entomobryia straminea Fols.

昆蟲學上ノ地位　長角跳蟲科

體ハ黄白、短毛ヲ密生シ、頭頂及ビ觸角ノ基節ニ於ケル粗毛ハ棍棒狀ヲナス、單眼ハ三個ヅヽ頭頂ノ兩側ニアリ、觸角ハ長ク畧ボ體長ノ半ニ達ス其割合ハ1.2.2.3.、跳躍器ハ長クシテ三節ヨリ成リ其割合ハ28.49.3.、此種類ハ石若クハ倒レタル朽木其他朽葉ノ下ニ普通ナリ、體長六厘强、

（7）ひげながきごびむし　第一圖（7）

學名　Cremastocephalus affinis Fols.

昆蟲學上ノ地位　長角跳蟲科

體ハ黄色、第二節ヨリ第六節ニ至ル腹節ノ兩側及ビ最後ニアル二節ノ後縁並ニ各觸角節ノ末端ハ紫色ヲ呈ス、觸角、脚及ビ跳躍器ハ黄白ナリ、單眼ハ頭頂ノ兩側ニ二列ヲナシテ各八個アリ、觸角ハ體ヨリ少シク長ク其割合ハ25.31.27.35.ナリ、體ハ圓柱形ニシテ長毛ヲ裝ヒ、胸部ハ常ニ下方ニ弓曲ス、

跳躍器ハ體ヨリ少シク短カク三節ヨリ成リ末端節ハ甚ダ短カシ、此種類ハ朽木若クハ石ノ下ニ住スレドモ餘リ多カラズ、體長七厘强、

(8) おびこびむし　第一圖 (8)

學名　Seira japonica Fols.

昆蟲學上ノ地位　長角跳蟲科

體ハ黄色ニシテ紫色ヲ混ズ、頭頂ノ前縁及ビ後縁ハ黑色、觸角ノ割合ハ7. 12. 13. 14.ニシテ各節ノ末端ハ紫色ヲ呈ス、胸部ニ黑色ノ横條アリ、第二、第三、及ビ第四腹節ハ黑色ナレドモ其前縁ハ多ク黄色ナリ、又第四腹節ニ三個黄色ノ縱條アリ、腿節ノ末端及ビ脛節ノ基節ハ紫色、跳躍器ハ體長ノ半ニ達ス、三節ヨリ成リ其割合ハ21. 25. 2.ナリ、此種類ハ樹幹ノ皮下ニ多ク其性好ンデ相集合ス、體長六厘內外、此種ニ變種多ク大サ及ビ彩色ヲ異ニセルモノアリ、

(9) ちまるこびむし　第一圖 (9)

學名　Papirius denticulatus Fols.

昆蟲學上ノ地位　圓跳蟲科(マルトビムシ)　(Smynthuridae)

體ハ黄色ニシテ紫色ノ斑紋ヲ裝フ、頭頂ニハ黑色ノ斑紋ヲ有シ兩側ニ於ケル黑紋上ニ各八個ノ單眼ヲ排列ス、觸角ハ紫色ニシテ體ヨリ少シク短カク其割合ハ1. 4. 7. 2.第三節ハ少ナクモ更ニ九個ノ副節ヨリ成ル、脚ハ黄色、紫色ノ輪紋アリ、腹部ハ長卵形ニシテ其斑紋ハ紫色ナリ、跳躍器ハ三節ヨ

リ成リ其割合ハ2. 4. 1.、此種類ハ落葉ノ下ニ住スレドモ餘リ多カラズ、體長六厘五毛、

(10) まるこびむし (ちのみ) 第一圖(10)

學名 Smynthurus hortensis Fitch.

昆蟲學上ノ地位 圓跳蟲科

體ハ暗紫色ニシテ圓形ノ黄白點ヲ散在ス、觸角、脚及ビ跳躍器ハ淡紫色ヲ帶ブ、頭頂ハ黄色其兩側ニ各一個ノ黑紋アリテ其周圍ハ淡黄色ヲ呈シ其黑紋上ニ單眼ヲ排列ス、觸角ノ割合ハ2. 4. 17. 15. 末端節ハ更ニ七個ノ副節ヨリ成リ其內基節最モ長シ、跳躍器ハ長ク體長ノ半以上ニ達ス其割合ハ2. 3. 1.、此ハ有名ナル害蟲ニシテ䒼科及ビ蔬科ノ作物ヲ害スルコト少ナカラズ、體長四厘、

(11) きまるこびむし 第一圖(11)

學名 Smynthurus viridis L. var. annulatus Fols.

昆蟲學上ノ地位 圓跳蟲科

體黄色ニシテ黑紫色ノ小紋ヲ散在ス、單眼ハ頭ノ兩側ニ各八個アリテ綠色ヲ呈シ黑紋ノ上ニ排列ス、觸角ハ體長ノ半以上ニ達シ基節ハ黄色、末端ハ紫色、四關節ノ割合ハ5. 4. 6. 13. 其內末端節ハ更ニ略ボ十七ノ副節ヨリ成ル、尾端ニ於ケル附屬物ハ瘤狀ヲ呈シ之レニ長キ剛毛ヲ生ズ、跳躍器ハ黄白ニシテ長毛ヲ裝ヒ體長ノ三分一ニ達ス、其割合ハ2. 3. 1.、此種類ハ草間若クハ落葉ノ下ニ多ク昆蟲採集ノ際網羅ニ入リ來ルモノナリ又早春作物ヲ害スルコトアリ、體長六厘內外、

(12) 衣　み (衣　魚)　第一圖 (12) (♀)

學名 Lepisma saccharina L.

昆蟲學上ノ地位　衣魚科 (Lepismidae)

體ハ長クシテ稍ヤ平タク銀白色ヲ帶ビ、頭ノ兩側ニ各十二個ノ集眼アリ、觸角ハ鞭狀ニシテ體長ノ半以上ニ達ス、尾毛ハ三個ニシテ其中央ニアルモノ他ヨリ少シク長シ、此種類ハ家屋ニアリテ古キ衣類、紙、書物其他砂糖類ヲ食ヒ大害ヲ加フルコトアリ、體長雌雄三分乃至四分、

(13) おほはさみむし　第二圖 (2) (1) (♀)(♂)

學名 Labidura riparia Pall.

昆蟲學上ノ地位　蠼螋科 (Forficulidae)

體ハ褐色、口部、觸角、胸下及ビ脚ハ黄色、翅鞘ノ接合部ハ黄赤、腹部及ビ尾端ニ於ケル鋏子ハ黄褐、雄ノ鋏子ニハ小齒ヲ排列シ其中央ニアルモノハ最モ大ナリ、腿節ノ末端ニハ褐色紋ヲ裝フ、此種類ハ野外ニアリテハ有益蟲ナレドモ室内ニ入リ來リテ蠶兒ヲ食害スルコトアリ、體長(雄)七分(雌)八分五厘、

(14) こぶはさみむし　第二圖 (3) (♂)

學名 Apterygida japonica Borm.

昆蟲學上ノ地位　蠼螋科

體ハ黑褐、觸角ハ褐色ニシテ十二節ヨリ成リ、前胸ノ兩側、脛節及ビ跗節並ニ翅鞘ノ大部ハ黃褐、腹部ハ後方ニ至リテ膨大シ末端ノ兩側ニ各一個瘤狀ノ隆起ヲ有シ、鋏子ハ種類ニヨリテ大ニ其形ヲ異ニス、長クモ體長ノ半ニ達セズ、內方ニ弓曲シ基部ニ近ク二個ノ齒ヲ裝フ、此種類ハ山間ニ普通ナレドモ亦海岸ニ住スルコトモアリ、此雌ハ他ノ蠼螋ノ雌ト同樣ニ畧ボ相接セル鋏子ヲ有シ其內側ニ微小齒ヲ並列シ末端ニ至リ內方ニ弓曲ス、體長(雄)四分(雌)五分、

(15) くぎぬきはさみむし　第二圖(4)(♂)

學名　Forficula tomis Kolen.

昆蟲學上ノ地位　蠼螋科

體ハ赤褐乃至黑褐、頭ハ黃褐、觸角ハ十二節ヨリ成リ、前胸ノ兩側ハ黃色、翅鞘ハ短クシテ體ノ三分一ニ達セズ、後翅ヲ缺ク、腹部中央ニ至リテ太ク後端ニ至リ縮小ス、胸下及ビ脚ハ黃色、鋏子ノ形ハ種類ニヨリテ大ニ其趣ヲ異ニス其長キモノハ體長ノ半以上ニ達ス、基部ノ三分一ハ廣クシテ平タク稍ヤ互ニ相接シ其內側ニ小齒ヲ並列ス、末端ノ三分二ハ弓狀ニ彎曲シ畧ボ圓柱形ヲ呈ス其狀釘抜ニ似タリ故ニ此名アリ、雌ノ鋏子ハ他ノ雌ノ鋏子ト畧ボ同樣ニシテ微小齒ヲ有ス、此種類ハ多ク家屋內ニアリテ時ニ蠶兒ヲ食シ大害ヲ與フルコトアリ、體長(雄)六分(雌)九分五厘、

(16) はさみむし　第二圖(5)(♂)

學名　Anisolabia maritima Guén.

昆蟲學上ノ地位　蠼螋科

體ハ黑褐、口部、脚及ビ胸下ハ黃色、觸角ハ黃褐ニシテ二十四節ヨリ成リ、前後翅ヲ缺ク、腹部ハ後方ニ至リテ膨大シ尾節ニ至リテ細マル、尾節ノ中央ニ一個ノ縱溝アリ、鋏子ハ短カク釘抜狀ニ灣曲ス、其基部ノ內側ハ三角形ニ廣ガリ微小ノ齒ヲ並列ス、此ノ種類ハ海濱ノ塵芥下ニ多シ、雌ノ鋏子ハ畧ボ端直ニシテ少シク內方ニ曲ル、(雄)體長七分(雌)七分五厘、

(17) ひげおろはさみむし　第二圖(6)(♂)

學名 Anisolabia marginalis Dohrn.

昆蟲學上ノ地位　蠼螋科

體ハ赤褐、頭ハ黑褐、口部ハ黃褐、上唇ノ末端ハ淡黃、觸角ハ十八節ヨリ成リ第十五及ビ第十六ノ兩節ハ黃色ヲ呈ス、胸下及ビ脚ハ暗黃、但シ腿節及ビ脛節ノ基部ハ暗褐ナリ、第五及ビ第六腹節ノ後緣ハ淡色ヲ呈シ尾節ハ間々黑褐ナリ、腹下部ハ黃褐ニシテ黃毛ヲ裝フ、鋏子ハ基部ニテ畧ボ相接シ末端ニ至リテ相交叉ス、上面ハ膨起スレドモ下面ハ平坦、內側ノ基部ニ二個若クハ三個ノ小齒アリ、體長(雄)五分(雌)六分、

(18) ごきぶり (蜚蠊)　第二圖(7)(♂)

學名 Stylopyga concina Hagb.

昆蟲學上ノ地位　蜚蠊(ゴキブリ)科 (Blattidae)

體ハ光澤アル黑褐、頭ハ前胸下ニ隱レテ見ヘズ、觸角ハ甚ダ長クシテ體長ヲ越ヘ、雄ノ前胸ハ畧ボ圓形、雌ニアリテハ稍ヤ四角形ヲナシ其前緣ハ細ク後緣ハ廣シ、中央ニ不正形ノ縮紋アリ、雄ノ前後翅ハ遙ニ體ヨリ長ク、脚ハ側扁ニシテ赤褐ノ長刺ヲ裝フ、雌ノ前後翅ハ體ヨリ短カシ、此種類ハ本邦ノ厨房ニ最モ普通ナルモノニシテ少ナカラザル害ヲ加フ、體長(雄)(翅端迄)一寸(雌)六分、

(19)こはねごきぶり　第二圖(8)(♀)

學名　Stylopyga (Periplaneta) orientalis L.

昆蟲學上ノ地位　蜚蠊科

體ハ赤褐、體下部及ビ脚ハ黃褐、觸角ハ暗褐ニシテ體ヨリ長ク、雌ノ前胸ハ橫楕圓形ヲナシ雌ニアリテハ稍ヤ半圓形ニ近ク其中央ニ一個赤色ノ縱條ヲ有ス、雄ノ前後翅短カク漸ク第四腹節ニ達ス、雌ハ後翅ヲ缺ク、前翅ハ退化シテ鱗狀ヲ呈シ漸ク後胸ノ半ニ達ス、此種類ハ本邦普通ナラズシテ稀ニ開港地ニ見ル所ナリ、體長(雄)七分(雌)八分內外、

(20)ちやばねごきぶり　第二圖(9)(♂)

學名　Phyllodromia germanica Steph.

昆蟲學上ノ地位　蜚蠊科

體ハ光澤アル黃褐、複眼ノ中央ニ黑色ノ橫紋ヲ有シ前胸ニハ二個ノ黑條ヲ縱走ス、觸角ハ翅端ニ達ス、前翅ハ光澤ヲ有シ遙尾端ヨリ長ク、後翅ノ末端脈ハ少シク褐色ヲ帶ブ、腹下部ノ兩側ハ暗褐、

尾端ノ附屬物ハ長ク褐色ニシテ環節ノ接合部ハ黄色ナリ。此種類ハ本邦最モ廣ク傳播シ目下又船中ニ夥シク蕃殖セリ、食物ハ勿論毛製ノ衣服類ヲモ食害ス、又野外ニ棲息スルモノアリ、體長(翅端迄)(雄)(雌)五分内外、

(21) おほごきぶり　第二圖(10)(♂)

Panesthia angustipennis Illig.

昆蟲學上ノ地位　蜚蠊科

體ハ黑色、觸角ハ體ヨリ短カク、前胸ニハ後方ニ灣曲セル深キ横溝ヲ有シ其後方ニ六個ノ小瘤起アリ、前翅ノ前緣室ハ廣ク斜ニ下方ニ向キ前緣ハ其中央ヨリ外緣ノ方ニ弓狀ニ剞ラル、横脈多ク爲メニ網狀ヲ呈ス、翅ハ畧ボ尾端ニ達ス、腹部ニハ刻點ヲ散在シ、尾節ノ兩側ニ二個ノ棘狀突起アリ、脛節及ビ跗節ニハ剛刺多シ、此種類ハ野外ニ住スレドモ餘リ多カラズ、體長(雄)(雌)一寸二分内外、

(22) おほかまきり　第三圖(3)(♂)

學名　Tenodera capitata Sauss.

昆蟲學上ノ地位　蟷螂(カマキリ)科　(Mantidae)

體ハ綠色、若クハ黄褐、前胸ハ翅ノ半ヨリ少シク長ク前方ノ三分一ハ廣ク兩側ニ鋸狀ノ小齒ヲ列ネ中央ニ縱溝及ビ弓曲セル横溝アリ、後方ニ於ケル三分二ノ背上ニハ一個ノ縱隆起アリ、前肢ノ基節間ハ黄橙色、跗節ノ內側ニハ黑褐紋アリ、前翅ハ腹部ヨリ長ク横脈ハ不定ノ綾狀ヲナシ甚ダ微小ナ

リ、前緣ハ黄色、前緣室(直角ヲナシテ垂下セル部分)ハ黄褐ナル種類ニアリテモ常ニ綠色、徑脈(直角ヲナセル角ノ太キ脈)ニ沿ヘル基部ノ大半ハ褐色、後翅ハ前翅ヨリ長ク淡褐、半透明、横脈ノ一部ハ褐色、外緣ハ銳角ヲナシテ尖リ其横脈甚ダ微少ナリ、腹背、產卵管及ビ尾狀ノ附屬物ハ淡褐、此ハ本邦產大形種ノ一ニシテ又草間ニ普通ナルモノナリ、體長(雄)(翅端迄)二寸四分(雌)二寸八分、

(23) かまきり　第三圖(1)(♀)

學名　Tenodera aridifolia Stoll.

昆蟲學上ノ地位　蟷螂科

前種ニ酷似スレドモ頭小ニシテ體ハ細ク、前胸ノ兩側ニ於ケル小齒ハ低ク又中央ノ縱隆起ハ判然セズ、前翅ノ横脈ハ細クシテ少シク粗ナリ、副前緣脈ハ基部ニ於テ黑色、前緣ハ狹ク黄白ヲ呈シ、後翅ハ同ジク淡褐半透明ナレドモ褐色ノ横脈ハ太ク其周圍亦少シク褐色ヲ帶ブ、此種類ハ前者ヨリ少シク細小ニシテ同樣ニ草間ニ普通ナリ、體長(雄)(翅端迄)二寸三分(雌)二寸六分内外、

(附言) 從來かまきり及びおほかまきりノ學名ヲ轉倒シ用ヒ來リタレバ今之レヲ訂正ス

(24) はらびろかまきり　第三圖(2)(♀)

學名　Hirodula bipapilla Serv.

昆蟲學上ノ地位　蟷螂科

體ハ綠色、大腮端ハ黑色、頭ハ大ニシテ後頭ノ兩側暗色ヲ帶ビ、觸角ハ細短、前胸ハ前半ニ於テ著

シク兩側ニ膨大シ兩緣ニ鋸狀ノ小齒ヲ列ヂ前緣ニ近ク横溝ヲ有シ此溝ヨリ前方ニハ縱溝ヲ有シ後方ニハ低キ縱隆起アリ、前肢ノ基節ニハ三個白色ノ疣狀突起アリ、前翅ハ廣ク前緣ノ基部ハ灰白、徑脈ノ中央ニ接シテ一個長楕圓形ノ白紋アリ、後翅ハ透明ナリ、腹部ハ大ニシテ雌ニアリテハ翅端外ニ突出ス、此種類ハ前二者ノ如ク普通ナラズ、體長(翅端迄)(雄)一寸八分(雌)二寸二分內外、

(25) こかまきり

第三圖 (5) (4) (♂)(♀)

學名 Pseudomantis maculata Thunb.

昆蟲學上ノ地位　蟷螂科

體ハ黃褐、觸角短カク、後頭ニ一個黑色ノ横條アリ、前胸ハ前方ノ三分一ノ處ニ於テ膨大シ、其兩側ニ判然セル褐色ノ小齒ヲ列ヂ後方ニ於ケル中央ノ縱隆起ハ餘リ高カラズ、前肢基節ノ基部ニ近ク其內側ニ光澤アル黑色ノ大紋アリ、又前肢腿節ノ中央ニモ同樣ノ紋アリテ此紋上ノ前方ニ當リ更ニ黃色ノ四角紋アリ、前翅ハ粗横脈ヲ有シ其中央ニ當リテ數個ノ褐色紋アリ、後翅ノ大半ハ黑褐、翅脈ハ黃褐ナリ、此種類ハ本邦小形ナル蟷螂ノ一ニシテ東京近邊ニハ稀ナラズ、體長(翅端迄)(雄)一寸三分(雌)一寸六分內外、(附言そうしゆる氏ハ第三圖(5)ノ小形ナルモノニP. Haanii Sauss. ノ學名ヲ與ヘタレドモ著者ハ其區別ヲ見出スコト能ハズ

(26) とげななふし

第三圖 (15) (♀)

學名 Acanthoderus japonicus D.H.

體ハ暗褐、觸角ハ體ヨリ遙ニ短カク、頭ハ畧ボ卵形ヲ呈シ、後頭ニハ顆粒狀ノ突起アリ、前胸ノ前緣ニハ二個ノ棘狀突起ヲ有シ後方ニハ顆粒狀ノ突起多ク、前肢ハ甚ダ長ク四角柱狀ニシテ、腿節ハ前半ニ於テ太ク暗色ノ斑紋ヲ裝フ、中胸ハ前胸ノ四倍長ク背上ニ四双ノ棘狀突起ヲ縱列シ中央ノ兩側ニモ各一個ノ同樣突起アリ其他小棘及ビ顆粒狀ノ突起ヲ散在ス、後胸ノ背上ニハ一双ノ棘狀突起アリ、尙腹部ノ各節ニモ突起アレドモ皆小ナリ、此種類ハ荊棘(イバラ)アル枯枝ニ酷似シ一種ノ保護色ヲ現ハス、體長(雄)(雌)二寸二分內外、

昆蟲學上ノ地位　竹節(タケノフシ)蟲科　(Phasmidae)

(27) とびななふし

第三圖 (16) (♀)

學名 Necrosia chloris Serv.

昆蟲學上ノ地位　竹節蟲科

體ハ綠色、觸角ハ黃褐、長クシテ體ノ半以上ニ達シ、頭ノ兩側ニハ各一個黃白ノ縱條アリ、前胸ハ短カク中胸ノ五分一ニ過ギズ、前肢ノ長サハ畧ボ觸角ト同ジク(此圖ハ前肢ヲ缺ク)四角柱狀ヲ呈ス、中胸ノ背上ニハ顆粒狀ノ突起ヲ散在シ、中央ニハ一個ノ縱隆起ヲ走ラシ兩側ニハ黃白ノ縱條アリ、胸下ハ白色、前翅ハ退化シテ鱗片ノ如ク其前緣ハ黃白、後翅ハ稍ヤ發達シ胸部ノ半ニ達ス其前緣ハ前翅同樣ニ硬化シテ綠色ナリ、殘餘ハ膜質半透明ニシテ桃色ヲ帶ビ其縱脈ハ宛然扇骨ノ如シ、此種類ハ東京近邊ニハ最モ普通ナル一ニシテ草間ニ多シ、體長(雄)一寸五分(雌)一寸八分內外、

(28)ななふし　第五圖(13)(♂)

學名 Lonchodes niponensis D. H.

昆蟲學上ノ地位　竹節蟲科

體ハ綠色若クハ褐色、頭卵形、複眼間ニ二個ノ黑紋ヲ横列シ其外側ニ各一個瘤狀ノ突起アリ、觸角短カク前腿節ノ半ニ達セズ、基節甚ダ大ニシテ扁平、末端ニ至ルニ從ヒ暗黑ト成ル、前胸短カク稍ヤ四角形ヲナシ、前腿節甚ダ長ク(但ダ少シク體長ヨリ短カシ)其基部ハ細ク縊レ外側ノ上下縁ニ各六個ノ小齒ヲ並列ス、中胸ハ後胸ヨリ少シク長ク、中肢ハ前肢ヨリ遙ニ短カク、中後腿節ノ末端ニ於ケル下方ノ内側ハ少シク膨大シ之レニ鋸狀ノ小齒ヲ列子、腹部ハ體長ノ半ヲ占メ尾端ニ至リテ細マル、蹠節ノ末端ハ何レモ暗色、此種類ハ東京近邊ニ稀ナラズ、體長(雄)三寸(雌)三寸五分内外、

(29)えだななふし　第五圖(14)(♂)

學名 Lonchodes stomphax West.

昆蟲學上ノ地位　竹節蟲科

體ハ褐色若クハ綠色、頭ハ稍ヤ四角形ニ近ク後頭ノ兩側ニ各一個白色ノ縦條アリ、又複眼間ニハ二個ノ棘狀突起アリテ其ノ末端ハ黑色、觸角長ク體ノ半ニ達シ基節ハ大ニシテ平タク末端ニ至ルニ從ヒ暗黑ナリ、前肢ハ觸角ト畧ボ同長、小齒ヲ缺ク、腿節ハ側扁ニシテ其基部ハ細ク縊レ、前胸ノ後縁ニ一個ノ小突起アリ、中胸ハ前腿節ト畧ボ同長、中後兩腿節末端ノ下方ハ内外少シク膨起シ之レ

ニ各黑色ノ二齒ヲ列子、跗節端ハ何レモ暗色ナリ、此種類モ亦前種同樣ニ東京近邊ニ稀ナラズ、體長(雄)(雌)二寸五分內外、

(30)はねながいなご(稻子蝗)　第三圖(6)(♀)

學名　Oxya velox Fabr.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科(バッタ)　(Acrididae)

體ハ黃綠、前頭ハ黃褐、三角形ヲナシテ前方ニ突出シ、觸角ハ赤褐、頭頂ハ膨起シ八字形ノ褐色紋アリ又其兩側ニ各一個ノ太キ褐條ヲ縱走ス、複眼ハ卵形ニシテ光澤アリ、前胸ハ黃褐、明ナル三條ノ横溝ヲ有シ其兩側ニ褐色ノ縱條ヲ走ラス、雌ノ前翅ハ黃褐ニシテ細長、遙尾端ヨリ突出シ前緣ニ於ケル翅脈ノ一部ハ赤褐、前緣ノ基部ニ近ク稍ヤ三角形ニ膨起セル部分アリ此ノ後方ハ弓形ニ刳ラル、後翅ハ膜狀ニシテ廣シ、本邦ニ產スル三種ノいなごノ內此種ノ特性トスル所ハ雌ノ腹下部ニ於ケル末端節ハ二個ノ縱隆起ヲ有シ又其後緣ニハ二個ノ棘狀突起アリ、此ハ本邦最モ普通ナル稻ノ害蟲ニシテ好ンデ人ノ食スルモノナリ、體長(翅端迄)(雄)八分(雌)一寸五分內外、

(31)いなごもどき　第三圖(7)(♀)

學名　Parapleurus alliaceus Guér.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ綠色若クハ黃綠色、此種類ハ前者ニ酷似スレドモ前翅ノ前緣毫モ刳ラレアラザルヲ以テ識別ス

ルコト易シ、又前胸ハ頭部ヨリ細クシテ少シク縊レ中央ニ於ケル縱隆起ハ判然セリ、觸角(特ニ雄ニ於テ然リ)ハ體ノ半以上ニ達シ黄褐ニシテ少シク桃色ヲ帶ブ、頭及ビ前胸ノ兩側ニハ各一個ノ黑條ヲ縱走ス、前翅ハ灰色若クハ暗褐ニシテ前縁ハ淡色、尾端ヨリ長ク、雌ノ翅脈ハ黑褐、雄ノ縱脈ハ基部ニ於テ黑色ヲ呈ス、此種類ハ牧草間ニ最モ普通ニシテ、雄ハ好デ鳴喞ス、體長(雄)八分五厘(雌)一寸一分内外、

(32) なきいなご　第三圖(8)(♀)

學名　Chrysochraon japonicus Boliv.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ黄色ニシテ少シク綠味ヲ帶ブ、頭ハ長ク三角形ヲナシテ前方ニ突出シ前胸ト略ボ同長、觸角ハ基部ノ大半ニ於テ平タク體ノ半以上ニ達ス、前胸ハ三個ノ縱隆起ヲ有シ其中央ニアルモノ最モ判然セリ、又中央ニハ一個ノ細キ横溝アリ、前翅(雄)ハ灰黄ニシテ腹端ヨリ少シク短カク其末端ハ截斷狀ニ終ハリ稍四角形ヲナス、翅脈ハ粗ナリ、徑脈ノ基部ハ黑褐、後翅ヲ缺闕ス、雄ノ尾端ハ少シク上方ニ弓曲シ末端ノ附屬物ハ圓錐狀ヲ呈ス、後腿節ハ腹部ヨリ長シ、雌ハ黄褐ニシテ大キク其前翅ハ退化シテ短カク鱗狀ヲナシテ漸ク第二腹部ニ達シ其中央ニ一個黑色ノ縱條アリ、此種類ハ草間ニ普通ニシテ夏日鳴聲高シ、體長(雄)六分五厘(雌)八分五厘、

(33) しやうりやうばつた (蟿螽ハタハタ)　第三圖(9)(♀)

學名　Tryxalis nasuta L.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ綠色若クハ黄褐ニシテ斑紋ヲ有スルモノト有セザルモノトアリ、又雌雄大ニ其大サヲ異ニシ雄ハ甚ダ小形ナリ、頭ハ長ク畧ボ圓錐狀ヲナシテ斜ニ前方ニ突出シ、前頭ハ中央ニ於テ凹陷シ前方ヨリ之レヲ見レバ三稜形ヲナス、綠色ナル種類ニアリテハ頭ノ兩側ニ各一個桃色ノ縱條アリ、觸角ハ側扁ニシテ劍狀ヲ呈シ、前胸ハ中央ニ於テ少シク縊レ三個ノ縱隆起ヲ有シ黄褐ノ種類ニアリテハ此間ニ黑褐ノ部分アリ、或種類ニアリテハ前翅ノ中央ニ白色ノ一紋列ヲ縱走ス、後肢ノ腿節及ビ脛節ハ頗ル長シ、此種類ハ本邦甚ダ普通ニシテ飛翔スルニ當リテハきち〱ノ音ヲ發ス、體長(翅端迄)(雄)一寸三分(雌)二寸七分、

(34) くびきりばつた (草螽)　第三圖(10)(♀)

學名 Conocephalus Thunbergi Stål.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科 (Locustidae)

體ハ綠色、稀ニ黄褐、頭ハ長ク圓錐狀ヲナシテ前方ニ突出シ、觸角ノ中間ハ額面ニ於テ深ク凹陷ス、觸角ハ遙ニ體ヨリ長シ、前胸ノ側緣ハ細ク淡色ヲ呈シ、後緣ノ兩側ハ刳ラレアリ、前脛節ハ畧ボ圓柱狀ヲナシ其聽器ハ唯ダ細キ縱溝トナリテ餘リ判然セズ、前翅ハ腹部ヨリ二倍以上長シ、雌ノ産卵管ハ翅端ヨリ短カキコト大凡五分、此種類ハ麥畑其他牧草地ニアリテ絶エズぢーノ音ヲ發ス、他蟲ヲ食ヒ有益ナルコトアリ、體長(翅端迄)(雄)(雌)一寸八分乃至一寸九分、

(35) ひしばつた　第三圖(11)(♂)

學名 Tettix japonicus D. H.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科　(Acrididae)

體ハ灰色乃至黑色ニシテ小顆粒狀ノ突起多ク灰色ナル種類ニアリテハ前胸背ニ四個ノ黑紋ヲ有ス、頭ハ小サク中央ニ一個ノ縱隆起アリ、觸角ハ黃褐ニシテ末端ハ黑色、前胸ハ菱形ニシテ尾端ニ延長シ中央ニ一個ノ縱隆起アリ、前翅ハ甚ダ小ニシテ長楕圓形ヲナシ顆粒狀ノ小突起アリ、後翅ハ前胸ヨリ少シク短カク常ニ隱レテ見エズ、後腿節ハ甚ダ太ク延長セル前胸端ヨリ少シク長シ、前中兩脛節ニハ黃色紋アリ、此種類ハ早春草間ノ地上ニ多ク時ニ溫床ニ來リ稚苗ヲ食害スルコトアリ、體長(雄)二分八厘(雌)三分五厘内外、

(36) つちばつた　第三圖(12)(♂)

學名 Criotettix bispinosus Dalm.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ暗灰色ニシテ頭短カク稍ヤ四角形ヲ呈シ、觸角間ニ二條ノ相密接セル縱隆起アリ、觸角及ビ小腮鬚ハ黃白ニシテ前者ノ末端ハ黑シ、前胸ハ大凡腹部ヨリ二倍長ク其末端ハ細ク少シク上方ニ向ク中央ニハ一個ノ縱隆起アレドモ後方ニ至リテ不明トナル、前緣ニ近ク其兩側ニ各一個ノ短カキ縱隆起アリ、顆粒狀ノ小突起多シ、又兩側ニハ各一個黃色ノ棘狀突起アリ、前翅ハ甚ダ短カク長楕圓形

ヲナシ、後翅ハ甚ダ長クシテ延長セル前胸端ニ達ス、色ハ暗褐ニシテ光澤アリ、後腿節ハ腹部ヨリ長ク其脛節ハ淡色ナリ、此種類モ亦前種同樣ニ草間ノ地上ニ住スレドモ前者ノ如ク普通ナラズ、

(37)きちきちばつた　　第三圖(13)(♂)

學名 Gelastorhinus esox Sauss.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ綠色ニシテ雌ニアリテハ背上黃褐、雄ニアリテハ兩側ニ黑紫色ノ縱條ヲ走ラス、頭ハ太キ圓錐狀ニシテ前胸ヨリ少シク長ク、前頭ハ凹陷シ前方ヨリ之レヲ見レバ三稜形ヲナス、觸角ハ黃褐ナレドモ少シク紫色ヲ混ジ劍狀ヲナス、雌ニアリテハ短カク漸ク翅底ニ達シ雄ニアリテハ第四腹節ニ達ス、前胸ハ稍ヤ四角形ヲナシ後緣ハ鈍角ヲナス、背上ニ三個ノ縱隆起ヲ走ラシ中央ニ近ク一個ノ橫溝アリ、前翅ハ尾端ヨリ遙ニ長ク背上(翅ヲ疊ミタルトキ)ハ黃褐、此外側ニ黑紫色ノ縱線ヲ走ラスモノアリ、後翅ハ前翅ヨリ短カク、後腿節ハ尾端ヨリ遙ニ短カシ、此種類ハ蟿螽(シヤウリヤウバツタ)ニ類スレドモ頭短大ナルニヨリ容易ニ識別スルコトヲ得ベシ、草間ニ稀ナラズ、體長(翅端迄)(雄)一寸一分(雌)一寸八分內外、

(38)おんぶばつた　　第三圖(14)(♂)

學名 Atractomorpha Bedeli Boliv.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ綠色、雌雄大ニ其大サヲ異ニシ雄ハ甚ダ小ナリ、頭ハ圓錐形ヲナシ前方ヨリ見ルトキハ三稜形

ヲナス、前頭ハ長ク前縁ハ三角形ニ突出シ其中央ニ一個ノ縱溝アリ、複眼ハ頭ノ中部ニ位シ、其直上ニ判然セル單眼ヲ有ス、觸角ハ短カク基部ニ於テ棱柱狀ヲナシ、複眼下ニハ顆粒狀ノ突起アリ前胸ハ中央ニ於テ二個ノ横溝ヲ走シ側縁ハ鋭角ヲナシテ突出ス、後縁ハ圓ク中央ニ一個ノ小凹アリ、前翅ハ細クシテ遙ニ尾端ヨリ長ク縱脈ハ高ク翅端ハ尖小ナリ、後腿節ハ尾端ヨリ少シク長シ、此種類ハ東京近邊ノ草間ニ普通ナリ、雄ハ甚ダ小ニシテ交尾ノ際雌ノ背上ニ乘ルヲ以テ恰モ子ヲ脊負フモノヽ如シ故ニ此俗稱アリ、體長(翅端迄)(雄)九分(雌)一寸四分内外、

(39) このさまばつた (飛蝗)　第四圖(1)(♀)

學名 Pachytylus danicus L.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科　(Syn. P. cinerascens F.)

體色ハ種類ニヨリテ大ニ異ナレドモ先ヅ黄褐若クハ綠色ナルモノ最モ多ク、前翅ハ尾端ヨリ遙ニ長ク黄褐ニシテ黒褐ノ大紋ヲ散在ス、後翅ハ幅廣ク半透明ニシテ翅底ニ近キ三分ノ一ハ黄綠ナリ、觸角ハ黄色、額ニ於ケル二縱起及ビ複眼ノ直下ハ黒色、大腮ハ藍色(生時)、前胸ノ中隆起ハ甚ダシク膨起シ其兩側ニ黒條アリ、後腿節ノ内側ニハ黒綠ノ二大紋ヲ供ヘ外側ニアル紋ハ不定ニシテ又全ク之レヲ有セザルモノアリ、後脛節ハ生時赤血色ナリ、此種類ハ本邦最モ普通ナルモノニシテ時ニ群ヲナシテ大害ヲ加フルコトアリ、體長(翅端迄)一寸六分乃至二寸二分内外、

(40) たいわんばつた　第四圖(2)(♂)

學名 Pachytylus migratorioides Reich.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

此ハ東洋ニ於ケル有名ナル飛蝗ニシテ未ダ本土ニ於テ其發生ヲ見ズト雖モ臺灣ニ於テハ年々發生シ少ナカラザル害ヲナス、體ハ黃褐ニシテ細ク、頭割合ニ大キク觸角ノ末端黃褐ナレドモ其基節黃色、大腮ハ藍色、前胸ハ細ク縊レ中央ノ縱隆起ハ甚ダ低ク其兩側ニ一個ノ黑條ヲ走ラス、前翅ハ長ク前種同樣ニ黑褐紋ヲ散在ス、後腿節及ビ脛節ハ黃色ニシテ斑紋ナシ、體長(翅端迄)(雄)一寸七分(雌)二寸二分內外、

第四圖(3)(♀)

(41)くるまばつた

學名 Oedaleus marmoratus Thunb.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ綠色、觸角ハ黃色、複眼ノ直下ハ黑色、前胸ノ縱隆起ハ黑色ニシテ(雌)甚ダシク膨起シ兩側ニ黑條及ビ黃白條アリ、前翅ハ尾端ヨリ少シク長ク翅ヲ疊ムトキハ背上ハ綠色、兩側ハ黑褐ニシテ二條乃至三條ノ白紋ヲ横走シ(雌)外緣ハ稍ヤ透明ニシテ黑褐紋ヲ散在ス雄ニアリテハ翅端黑黃ナリ、後翅ノ基部ハ黃綠ニシテ稍ヤ中央ニ一個太キ黑色ノ横帶ヲ走ラシ翅ヲ開クトキハ恰モ車輪狀ヲナス故ニ此名アリ、後腿節ノ內外面ニ黑色ノ小紋ヲ散在ス、此種類ハとのさまばつたト同樣ニ草間ニ住シ飛翔スルトキハ一種固有ノ音ヲ發ス、此ハ前胸ニ甚ダ高キ隆起ヲ有スルヲ以テ前者ト混同スルコトナシ、體長(翅端迄)(雄)一寸四分(雌)一寸七分乃至一寸九分、

(42) くるまばつたもどき　第四圖 (4) (♀)

學名 Oedaleus infernalis Sauss.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

前者ニ酷似スレドモ體ハ小形ニシテ黑褐、雌ニアリテハ前胸ノ縱隆起甚ダ低ク其兩側ニ各一個淡赤黃ナルく字形ノ縱線アリ、頰部ハ淡赤黃ニシテ一個黑色ナル斜横條アリ、後肢ノ腿節ハ其上方ニ三個ノ大黑紋ヲ裝ヒ雄ニアリテハ後脛節ノ基部濃血色ヲ呈シ之レニ續ケル部分ハ黃白ナリ、此種類ハ常ニ黑褐ナルヲ以テ前者ト區別スルコト難カラズ、體長(翅端迄)(雄)一寸二分乃至一寸三分(雌)一寸六分、

(43) せすぢつちいなご　第四圖 (5) (♂)

學名 Acridium consanguineus Serv.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ褐色ニシテ、頭頂ヨリ前胸ノ後緣ニ涉リテ一個ノ太キ黃條アリ、複眼ノ直下ニ太キ黑條アリテ其後方ニ黃白條アリ、觸角ハ黃褐、前胸ノ背面ハ粗糙ニシテ兩側ニ各二條ノ黃白縱條アリテ其側緣モ亦黃白ナリ、此黃白條ノ間ハ黑色ヲ呈ス、前肢ノ基節間ニ少シク後方ニ向キタル長圓錐形ノ突起アリ、前翅ノ背上(翅ヲ疊ミタルトキ)ハ淡黃ニシテ細微ノ網狀脈ヲ有シ前緣ノ基節ハ黃白、翅ノ中央及ビ外緣ニ黑色紋ヲ散在ス、此他二三ノ黃白紋アリ、後翅ハ暗褐ニシテ半透明、翅底ハ少シク赤味ヲ帶ブ、後腿節ノ上方ニアル縱隆起ハ黑色、此種類ハ草間ニ普通ナレドモ產卵セントシテ道路ニ出

デ來ルモノ普通ナリ、體長(翅端迄)(♂)一寸一分乃至一寸三分(♀)一寸七分乃至一寸九分、

(44) つちいなご

學名　Acridium succinctum L.

第四圖 (7) (6) (♀)(♂)

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ黄褐若クハ赤褐、複眼直下ニ於ケル横條ハ黑色、其兩側ハ黄褐、前胸ノ兩側ニモ亦黄褐ノ部分アリ、前胸ノ中央ニ黄褐縱條アレドモ前種ノ如ク判然セズ又全ク之ヲ缺クモノアリ、前肢ノ基節間ニ於ケル突起ハ端直ニシテ太シ、前翅ハ前種ニ酷似スレドモ其斑紋ハ稍ヤ小數ナリ、此種類ハ前者ト同樣ノ所ニ多シ、體長(翅端迄)(♂)一寸四分(♀)一寸八分内外、

(45) かはらばつた

學名　Sphingonotus japonicus Sauss.

第四圖 (8) (♂)

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ灰色若クハ暗色、前頭及ビ額ハ黄褐、複眼ハ赤褐、觸角ハ細クシテ黑色、前胸ハ細ク縊レ中央ニ一個ノ判然セル横溝ヲ有シ側面ヨリ見ルトキハ四個ノ横溝アリ、前翅ハ暗黑ノ二横帶ヲ有シ其中間ハ灰白、翅端ハ少シク藍色ヲ混ズ、後翅翅底ノ大半ハ淡藍色、其外側ニハ太キ黑帶アリテ翅ヲ開クトキハ車輪狀ヲナス、翅端ハ灰白ニシテ少シク藍色ヲ混ズ、脚ハ黄褐ニシテ暗色紋ヲ散在ス、後腿節ハ黄色ニシテ大黑紋アリ、後脛節ハ黄白ニシテ淡キ藍色ヲ混ズ、此種類ハ河畔ノ砂礫地ニ多ク

飛翔スルニ當リ其後翅ノ藍色ヲ現ハスヲ以テ美麗ナリ、體長(翅端迄)(♂)一寸二分(♀)一寸五分内外、

(46)いぼばつた　第四圖(9)(♀)

學名　Trilophidia annulata Thunb.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ灰色若クハ暗色、觸角ニハ黑色節アリ、複眼間ニハ二個疣狀ノ突起ヲ有シ、前胸ハ細ク縊レ疣狀ノ突起ヲ散在ス、其内中央ニ縱列セル二個ハ最モ大キクシテ後方ニ向ク、前胸ノ後緣ハ稍ヤ直角ヲナシ其兩側ニハ黑紋ヲ列ネ又凹陷セル部分アリ、前翅ハ細クシテ遙ニ尾端ヨリ長ク前緣ノ基部ニ近ク突出セル部分アリ、翅底ニ近ク黑褐紋ヲ裝ヒ、脚ニハ黑色紋ヲ散在ス、後腿節ハ尾端ヨリ長ク其上方ニ二個ノ黑紋アリテ中央ニアルモノハ大キク稍ヤ三角形ヲナス、道路ニ見ルコト普通ナリ、體長(翅端迄)(♂)七分五厘(♀)一寸内外、

(47)ふきばつた　第四圖(10)(♂)

學名　Podisma (Pezotettix) pedestris L.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

此種類ニハ長翅ヲ有スルモノト翅ノ退化シテ唯ダ鱗狀ノ前翅ノミヲ有スルモノトノ二樣形アリ、即チ(4)圖ニ出シタルモノハ翅ノ退化セルモノニシテ、體ハ黃綠、光澤ヲ有シ前胸ハ畧ボ圓柱形ヲ呈シ其兩側ニ太キ黑條ヲ走ラス、中央ニハ一個細キ縱隆起アリテ此モノ雄ニアリテハ黑色ナリ、又三個

ノ判然セル横溝アリ、後緣ハ畧ボ端直ナルモノト三角形(長翅ノ種類)ヲナシテ突出セルモノトアリ、前翅ハ長楕圓ニシテ其ノ末端細ク黑色ナルモノト暗褐ナルモノトアリ、後腿節ハ黃色ニシテ其上方ニ二個暗褐紋(長翅ノ種類)ヲ有スルモノアリ、後脛節ハ藍色若クハ黃色(長翅ノ種類)ナリ、長翅ノ種類ハ餘リ光澤ヲ有セズ、前後翅發達シテ遙尾端外ニ突出ス、翅色ハ黃褐ナレドモ(♂)ニアリテハ少シク灰色ヲ帶ブ、此種類ハ北海道ニアリテハ時々農作物ニ大害ヲ加フルコトアリ、幼蟲ハ黑色ニシテ脚ハ黃色ヲ呈シ黑紋ヲ有スルヲ以テ俗ニあしまだらばつたトモ云フ、體長(翅ノ退化セルモノ)(♂)五分五厘乃至六分五厘、(♀)九分內外、(翅ノ發達セルモノ)(♂)(翅端迄)九分、(♀)一寸三分內外、

(48) みやまふきばつた　第四圖(11)(♀)

學名 Podisma (Pezotittix) mikado Boliv.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體ハ暗綠色、觸角ハ黃褐、頭頂ニ八字形ノ暗色紋アリ、前胸ハ圓柱狀ニシテ兩側ニ各一個ノ黑條ヲ縱走シ其下方ハ黃綠ナリ、後緣ハ圓シ、前翅ハ退化シ稍ヤ卵形、(♀)ニアリテハ第一腹節ノ半ニ達シ(♂)ニアリテハ第二腹節ノ半ニ達ス、後腿節ハ下方ニ於テ紅色ヲ呈シ、(♂)ニアリテハ後脛節淡藍色ナリ、(♂)ハ常ニ尾端ヲ上方ニ擧グ、此種類ハ北海道ニ最モ普通ニシテ山間ニ多ク好ンデ蕗(フキ)ヲ食ス又(♀)ノ道路若クハ木隙ニ尾端ヲ挿入シテ產卵スルモノ稀ナラズ、體長(♂)七分(♀)一寸一分內外、

(49) ひなばつた　第四圖(12)(♂)

學名 Stenobothrus bicolor Charp.

昆蟲學上ノ地位　蝗蟲科

體色ハ樣々ナレドモ暗黃ナルモノ最モ普通ナリ、前頭ハ三角形ヲナシテ突出シ、觸角ハ基部ニ於テ平タシ、前胸ハ頭部ヨリ細ク三個ノ縱隆起ヲ有シ、兩側ニアルモノハくノ字形ヲナシ黃白色ヲ呈ス、又兩側ニハ各一個黑條アリ、前翅ハ細長ク前緣ハ畧ボ端直ニシテ弓狀ヲナシテ突出セズ、翅ノ中央ニ近ク一個ノ白紋ヲ裝フ、後翅ハ稍ヤ透明ニシテ末端ハ少シク暗色ヲ帶ブ、後腿節ハ前翅ヨリ少シク短カク黑斑紋ヲ裝フ、後脛節ハ暗黃ナルモノト赤褐ナルモノ若クハ少シク藍色ヲ帶ビタルモノアリ、此ハ何レノ地方ニモ普通ナル種類ニシテ好ンデ鳴唧ス、體長(♂)五分五厘(♀)七分內外、

(50) きりぎりす (螽　斯)　第五圖 (1) (♂)

學名 Gompsocleis mikado Burr.

昆蟲學上ノ地位　螽斯(キリギリス)科 (Locustidae)

體ハ綠色稀ニ黃褐ニシテ、頭頂ハ稍ヤ三角形ヲナシテ前方ニ突出ス、觸角ハ黃褐ニシテ翅端ヨリ長ク、前胸ハ鞍狀ニシテ背上ハ平タク其中央ノ縱隆起ハ判然セズ、後緣ハ稍ヤ圓シ、前肢脛節ノ上方ニハ三刺アリ又內方ニハ六刺アリ、前腿節ノ內側ニ六個ノ黑齒ヲ並列ス、前翅ハ細ク退化シテ短カキモノアリ、縱脈ハ重ニ黑褐ニシテ翅ヲ疊ムトキハ(♀)背上黃褐ニシテ稍ヤ三角形ヲ呈ス、翅ノ中央ニ一列若クハ二列ヲナシテ黑褐紋ヲ散在スルモノアリ、後腿節ハ翅端ヨリ長シ、此ハ本邦最モ普通ナル種類ニシテ一名之レヲぎいちよトモ云フ、草間ニ鳴唧ス、體長(♂)(翅端迄)一寸二分乃至一寸三分五厘(♀)一寸乃至一寸五分、產卵管八分內外、

(51)やぶきり　第五圖(2)(♂)

學名 Locusta japonica Brun.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ綠色、前胸ノ中央ニハ後緣ニ達セザル太キ淡褐縱條アリテ其後方ノ兩側ハ黃色、又前緣ニ近ク稍ヤく字形ニ屈折セル横溝アリ、三角形ヲナシテ突出セル頭頂端ニ一個ノ縱溝アリ、觸角ハ翅端ヨリ遙ニ長シ、前脛節ノ刺ハ長ク、前腿節ノ內側ニ四個相隔離セル黑色ノ小齒アリ、前翅ハ尾端ヨリ遙ニ長ク、翅脈ハ前種ヨリ遙ニ細微ナリ、縱脈ハ黃色斑紋ナシ、翅ハ長クシテ廣ク之レヲ疊ムトキハ背上灰褐ナリ、產卵管ノ末端ハ少シク赤味ヲ帶ブ、此種類ハ藪若クハ灌木間ニアリテ鳴唧ス、體長(翅端迄)(♂)(♀)一寸五分內外、(♀)ノ產卵管一寸內外、

(52)こばねきりぎりす　第五圖(3)(♂)

學名 Platycleis Bonneti Boliv.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ赤褐ノ栗色ニシテ、頭頂ノ兩側ハ光澤アル黑色、尙ホ前胸後方ノ兩側ニモ黑色紋アリテ其後方ハ白色ナリ、觸角ハ頗ル細ク體長ノ二倍餘ニ達シ、額ニハ黃白ナル不定ノ小紋ヲ散在ス、此ハ前二者ト異ナリテ前肢ノ基節間ニ二個ノ棘狀突起ヲ有セズ、前翅ハ退化シテ短カク(♀)ニアリテハ唯ダ第二腹節ノ中央ニ達スルニ過ギズ、(♂)ニアリテハ第三腹節ノ後緣ニ達ス、腹部ノ兩側ハ黑色、中肢腿

節ノ外側基部ニ黒紋アリ、又後腿節ノ外側基部ニ二個ノ黒條ヲ縦走ス、産卵管ハ劍狀ニシテ少シク上方ニ向キ基部ノ上方ハ黒色ナリ、此種類ハ草間ニ鳴喞スレドモ其ノ聲高カラズ、體長(♂)(♀)六分内外、産卵管三分八厘、

(53) うまおひむし (馬追蟲)　第五圖(4)(♂)

學名 Hexacentrus plantaris D. H.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ綠色、頭頂ハ黄褐、前胸背ニハ一個廣キ黄褐ノ縦條アリテ此ハ後縁ニ至リテ廣ガル(♂)ニアリテ其兩側黄色ヲ呈スルモノアリ、頭頂ノ前端ハ甚ダ細ク尖リ其上縁ハ紅色ヲ帶ブ、觸角ハ黄色、單眼ハ長楕圓ニシテ白色ナリ、前肢脛節ノ兩側ニハ各六個ノ長キ刺ヲ有シ上方ニハ之レヲ缺ク、前翅ハ尾端ヨリ遙ニ長ク、翅脈ハ甚ダ細微ナリ(♂)ノ翅ハ(♀)ニ比シテ頗ル廣シ、翅ヲ疊ムトキハ(♂)ニアリテハ背上ハ黄褐ニシテ三角形ヲナシ其中央ニ綠色ナル楕圓形ノ發音鏡ヲ透現シ得ベシ、(♀)ニアリテハ背上ハ體色同樣ニ綠色ナレドモ其兩側ハ少シク黄褐ヲ帶ブ、此種類ハ夜間室内ニ入リ來リしいちーよト鳴ク其聲恰モ馬ヲ追フニ似タルヲ以テ此名アリ、體長(翅端迄)(♂)(♀)一寸内外、

(54) くつわむし (聒聒兒)　第五圖(5)(♂)

學名 Mecopoda niponensis D. H.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ニ綠色ト黃褐ナルモノトアリテ綠色ナルモノハ頭頂ノ前端、前胸背ノ兩側及ビ疊ミタル前翅ノ背上ハ黃褐ヲ呈ス、頭頂ハ畧ボ四角ニシテ前方ニ突出セズ、觸角ハ甚ダ長ク黃褐ニシテ黑色點ヲ散在セルモノアリ、前胸背ハ平タク後方ニ至リテ廣ガリ中央ニハ後方ニ弓曲セル橫溝ヲ有シ後緣ハ稍ヤ圓形ナリ、前脛節ハ稍ヤ四角柱狀ニシテ之レニ短刺ヲ列ネ、聽器ハ長楕圓ナリ、(♂)ノ前翅ハ甚ダ廣ク其發音器ハ廣ク大ニ發達セリ、翅脈ハ恰モ樹葉ニ類シ其小枝ノ走レル方向ハ不定ナリ、徑脈ニ接シテ深キ縱溝アリ、後腿節ハ稍ヤ翅端ニ達シ、後脛節ハ更ニ一層長シ、此ハ藪ニアリテ夜間がちーやがちーやノ大聲ヲ發ス、體長(翅端)(♂)(♀)一寸七分內外、

第五圖(6)(♂)

(55) いぶきぎす

學名 Decticus japonicus Boliv.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ光澤アル黑色ニシテ頭頂、前胸背及ビ翅ハ褐色ナリ、頭頂ハ稍ヤ四角形ニシテ其ノ中央ニ一個細キ黃色ノ縱條アリ、觸角ハ黃褐ニシテ尾端ヨリ遙ニ長ク、前胸背ハ平タク中央ニ黑色ナル逆八字形ノ凹陷部アリ、前脛節ノ上方ニ四刺ヲ列ヌ(此屬ノ特性)、前翅ハ短小ニシテ稀ニ尾端外ニ突出スルモノアリ、後翅ハ退化シテ甚ダ短カシ、後腿節ノ後半及ビ後脛節ハ黃褐若クハ暗綠ナリ、產卵管ハ短カクシテ上方ニ弓曲シ其基部黃色ナリ、此種類ハ札幌近邊ノ草間ニ多ク晝間鳴唧ス、體長(♂)六分乃至八分(♀)八分內外、產卵管三分五厘、

(56) せすぢつゆむし　第五圖(7)(♂)

學名　Ducetia japonica Thunb.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ綠色、稀ニ黄褐ナルモノアリ、(♂)ハ前胸背ノ中央ニ一個黄褐ノ縱條ヲ走ラシ其兩側ハ多少隆起ス、觸角ハ黄綠ニシテ翅端ヨリ遙ニ長ク、前翅ハ其長サ畧ボ腹部ノ二倍アリテ翅ヲ疊ムトキハ其背上黄褐(♂)ナリ、徑脈ノ外半部ニ判然セル四個ノ枝脈ヲ出シ横脈ハ餘リ判然セズ、後翅ハ前翅ヨリ大凡二分五厘長ク其長キ部分ハ綠色ニシテ前翅下ニ隱レアル部分ハ白色半透明、翅脈ハ綠色、此種類ハ腿節下ニ小刺ヲ並列スルヲ以テ次ノつゆむしト識別スルコト難カラズ、産卵管ハ短カク上方ニ弓曲ス俗ニ之レヲちやきうむしトモ云フ、夜間家屋ニ入リ來リ馬追蟲ト同樣ニ鳴唧ス、體長(後翅端迄)(♂)(♀)一寸一分内外、産卵管二分弱、

(57) つゆむし　第五圖(8)(♂)

學名　Phaneroptera nigroantennata Brun.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體綠色ニシテ多數ノ小黑點ヲ散在ス、前種ヨリ遙ニ細長ク、觸角ハ後翅ヨリモ約二倍長ク基部ハ暗黄ナレドモ末端ハ暗黑ナリ但シ其全體暗黄ナルモノモアリ、前翅ハ腹部ヨリ二倍以上長ク不定ノ網狀脈ヲ有シ其間ニ暗褐ノ小紋ヲ散在ス、翅ヲ疊ムトキハ(♂)背上ノ基部ハ黑褐、其周圍ハ黄色ナリ、

後翅ハ前翅ヨリ長キコト四分內外、前翅下ニ隱レタル部分ハ稍ヤ透明ナリ、此ハ前種ノ如ク後腿節ニ小刺ヲ有セズ、產卵管ハ短カク上方ニ屈曲ス、此モ亦前種同樣ニ夏日家屋ニ入リ來リ鳴唧ス、體長(後翅端迄)(♂)(♀)一寸二分內外產卵管一分六厘、

(58) ひめつゆむし　第五圖(9)(♀)

學名　Meconema albicorne Motsch.?

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ淡黃綠ニシテ甚ダ小サク、觸角ハ長クシテ遙ニ尾端ヲ越エ基部ハ黃白、末端ニ至リテ淡黃トナル、頭頂ハ短カク觸角間ニ三角形ヲナセル突起アリ、前胸背ハ鞍狀ニシテ細ク其後緣ハ延長シテ前翅ノ基部ヲ蔽フ、前翅ハ細ク腹部ヨリ二倍以上長シ、翅脈ハ網狀ヲナシテ判然セリ、後翅ハ前翅ヨリ少シク長ク末端ノ翅脈ハ綠色ナリ、後腿節ハ餘リ太カラズ、產卵管ハ割合ニ長ク腹部ト稍ヤ同長、劍狀ヲナシテ少シク上方ニ曲ル、體長(♀)五分產卵管三分、

(附言)(余ハ只ダ(♀)一頭ヲ箱根ニ得タルノミニシテ未ダ(♂)ナクシテ其學名ヲ確ムルコト能ハズもちよるすきー氏ノ記載セルモノハ日本種ニシテ定メテ同蟲ヲ云フベケレドモ爰ニ漸ク疑ヲ存シ置ク、

(59) こばねさゝきり　第五圖(10)(♀)

學名　Xiphidium Sasakiri Mats.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ黄褐ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ、頭頂及ビ前胸背ノ中央ニ太キ黑褐ノ縱條アリ、前胸背ノ兩側ニモ亦淡褐ノ縱條アリ、頭頂ハ觸角間ニテ側扁トナリ觸角ノ基節外ニ突出ス、觸角ハ頗ル長シ、前翅ハ退化シテ尾端ヨリ短カク、後翅ハ更ニ一層小ナリ、腹背ハ黑色、產卵管ハ體ト畧ボ同長ナリ、此種類ハ東京近邊ノ草間ニ稀ナラズ、體長(♂)四分强(♀)六分弱、產卵管五分五厘、

(60)さゝきり　第五圖(11)(♀)

學名　Xiphidium melanum D. H.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ暗綠、觸角ノ基部、前頭突起ノ兩側、前胸背ノ兩側、前翅ノ前緣及ビ翅端、後腿節ノ末端及ビ後脛節ノ基部ハ光澤アル黑色、觸角ハ甚ダ長クシテ黄褐、前胸背ノ兩側ニハ各一個黄色ノ縱條アリ、腹背ハ暗色ニシテ兩側ニ黄色ノ縱條アリ、尾端(♂)ノ附屬物ハ黄色、此種類モ亦前種同樣ニ草間ニ普通ナリ、體長(翅端迄)(♀)(♂)七分內外、

(61)くだまきだまし　第五圖(12)(♀)

學名　Holochlora brevifissa Brun.

昆蟲學上ノ地位　螽斯科

體ハ綠色、觸角ハ黄褐ニシテ翅端ヨリ遙ニ長シ、頭頂ノ突起ハ小ニシテ其中央ニ一個ノ縱溝アリ、前胸背ノ中央ニハくノ字形ニ屈曲セル横溝アリ、前翅ハ腹部ヨリ稍ヤ二倍長ク中央最モ廣ク前緣脈ハ

黄色ナリ、細微ナル網狀脈ヲ有ス、後翅ハ前翅ヨリ少シク長ク、前翅下ニ隱レタル部分ノ横脈ハ甚ダ粗ナリ、腿節下ニハ小刺列アリ、産卵管ハ廣クシテ短カク上方ニ灣曲ス其末端ハ黑色、此種類ハ草間ニアレドモ餘リ多カラズ、體長(翅端迄)(♀)(♂)二寸内外、産卵管三分五厘、

第六圖(1)(♂)

(62) かねたゝき

學名 Ectatoderus Kanetataki Mats.

昆蟲學上ノ地位 蟋蟀(コホロギ)科 (Gryllidae)

體ハ淡黃褐、頭頂ハ觸角間ニ於テ球狀ニ突出シ其中央ニ一個細キ縱溝アリ、觸角ハ甚ダ長ク、(♂)ノ前胸ハ後方ニ至リテ廣ク且ツ延長シテ前翅ノ基部ヲ蔽ヒ兩側及ビ圓キ後緣ハ白色ノ小鱗ヲ以テ蔽ハル、(♀)ノ前胸ハ稍ヤ長方形ヲナシ後方ニ延長セズ、前翅ハ黃褐ニシテ短カク唯ダ第二腹節ニ達スルニ過ギズ、前緣ニハ灰白ノ部分アリ腹部ハ黑色ニシテ各節ノ後緣ハ狹ク黃色ヲ呈ス、雌ニアリテハ全ク翅ヲ缺キ腹基部ハ黃褐ナリ、脚ハ淡黃ニシテ褐色ノ小紋ヲ散在ス、(♂)ニアリテハ二個ノ尾毛長クシテ腹部ト稍ヤ其長サヲ等シクシ(♀)ニアリテハ短カシ、産卵管ハ端直ニシテ長ク其末端三角狀ヲナシテ尖ル、かねたゝきト稱スルモノニ二種アリテ他ノ種類ハ黑褐、何レモ新種ナリ、ちんちんト鳴クヲ以テ此俗稱アリ、夏日坊間ニ販グモノ多シ、體長(♂)二分五厘(♀)二分九厘、産卵管一分五厘、

(附言)此學名ハ嘗テ米國人ゑる、ぶるんな氏ニヨリテ E. varicolor Sauss. ト鑑定セラレタレドモそしゆる氏ノ記載 (Mélanges Orthop. V. P. 475 pl.xix fig. 4 ♂) ハ全ク本邦産ノモノト異ナリテ此ハ新種ナリ、

(63) えんまこほろぎ　第六圖(2)(♀)

學名 Gryllodes mitratus Burm.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ光澤アル黑色ニシテ顏ノ大部ハ黃色、觸角ハ暗褐ニシテ體長ヨリ遙ニ長ク、頭頂少シク膨起ス、前胸背ハ稍ヤ四角形ニシテ黃褐ノ短毛ヲ密生シ(♂)ニアリテハ其中央ニ縱溝アリ、前翅ハ少シク尾端ヨリ長シ、前緣室ハ三角形ニシテ廣ク、透明ニシテ少シク黃色ヲ帶ブ、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ廣ク且ツ長クシテ翅ヲ疊ムトキハ尾樣狀ノ二突起トナリテ尾端ヨリ突出ス、(♀)ノ後腿節ハ黃褐ヲ呈ズ、產卵管ハ體長ヨリ少シク短カク黃褐ナリ、體長(♀)(♂)八分內外產卵管七分、

(附言)　此學名ハ前同樣ニぶるんなー氏ニヨリテ G. chinensis Web. ト識別セラレタレドモ全ク誤ニシテ此ハそしゆる氏著書第五卷三百二十二頁ニアル G. mitratus. ナリ、前者ハ赤褐ナル種類ニシテ小形ナリ、

(64) ひめこほろぎ　第六圖(3)(♀)

學名 Gryllus conspersus Sch.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黑色、頭ハ光澤ヲ有シ後頭ニアル六個ノ短カキ縱條、觸角ノ上方ニアル一個ノ橫線及ビ觸角間ニアル一紋ハ黃色、口部黃褐、觸角ハ遙ニ體長ヨリ長シ、前胸背ハ長キ黑毛ヲ裝ヒ黃色ノ不定紋ヲ

散在ス、前翅ハ暗色ニシテ尾端ヨリ短カク兩側ノ隅角ニハ黑縱條アリ、脚ニ黑紋ヲ散在シ、後腿節ノ外側ニハ黑斜條ヲ並列ス、產卵管ハ黃褐ニシテ遙ニ體ヨリ短カシ、此種類ハ東京近邊ニハ稀ナラズ、體長(♀)(♂)四分五厘、產卵管三分三厘、

(65)みつかどこほろぎ　第六圖(4)(♂)

學名　Loxoblemmus Haanii Sauss.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黑褐ニシテ黃色紋アリ、頭ハ前胸ヨリ廣ク頭頂ノ前緣ハ黃色ヲ呈シ其部分ハ球形ヲナシテ前方ニ突出ス、後緣ニモ不定ノ黃色紋アリ、複眼下ニハ稍ヤ三角狀ヲナシテ外側ニ突起セル附屬物アリ、觸角ハ體長ヨリ少シク長シ、顏ハ平垣ニシテ菱狀ヲ呈シ其中央ニ黃橙色ノ小紋アリテ其內ニ單眼アリ、前胸背ハ畧ボ四角形ニシテ前緣廣ク、黃色ノ不定紋アリ、其側緣モ亦黃色ナリ、前翅ハ暗色半透明ニシテ腹端ニ達セズ、前緣ハ透明灰白ナリ、脚ハ淡褐ニシテ褐紋ヲ散在ス、體長(♂)(♀)六分五厘內外、

(66)おかめこほろぎ　第六圖(11)(♂)

學名　Loxoblemmus equestris Sauss.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ灰黃、頭ハ黑色、頭頂ノ前緣ハ膨起シ黃色ノ弓狀橫線アリ又後緣ニ六個ノ短カキ黃縱線アリ、

顏ハ平坦ニシテ横皺多ク又凹凸アリ、單眼ノ部分ニ黃白ノ大紋アリ、複眼下ニハ突起ヲ缺ク、觸角ノ基部ハ黃色、末端ハ暗褐ナリ、前胸背ハ頭部ヨリ狹ク黑紋ヲ散在シ其兩側ニ黑條アリ、前翅ハ尾端ヨリ長ク兩側(翅ヲ疊ムトキ)ニ黑縱條アリ、脚ニハ黑褐紋ヲ散在シ、中肢腿節ノ內側ニアル二紋ハ大ナリ、體長(♂)(♀)四分乃至五分、

(67) けら (螻蛄)　第六圖(5)(♀)

學名 Gryllotalpa africana Pal.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黃褐乃至暗褐ニシテ土色ヲ呈スルモノ多シ、短カキ軟毛ヲ密生ス、頭ハ小ニシテ觸角短カク、單眼二個ニシテ黃色、前胸背ハ大ニシテ稍ヤ卵形ニ近ク、前緣ハ少シク內方ニ凹陷ス、後緣ハ圓ク突出ス、前翅ハ短カク尾端ニ達セズ、脈ハ少シト雖モ判然ス、後翅ハ大ニシテ之レヲ疊ムトキハ尾様ノ二突起トナリテ尾端ヲ越ヘ下方ニ灣曲ス、前肢ノ跗節ハ變形シテ地ヲ開堀スルニ適ス、後腿節ハ側扁ニシテ太シ、此ハ本邦最モ普通ナル害蟲ニシテ特ニ麥類ノ稚根ヲ食害ス、體長(♂)(♀)八分乃至一寸、

(68) まだらおかまこほろぎ (竈馬)　第六圖(6)(♂)

又まだらかまどうま

學名 Diestrammena marmoratus D. H.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ淡キ黄褐ニシテ黒紋ヲ散在ス、觸角ハ頗ル長ク暗褐ニシテ基部ノ關節ハ黄色、長サ體ノ三倍以上アリ、頭頂ハ黒褐色、前胸背ハ穹狀ニ膨起シ黄色及ビ黒褐ノ斑ヲナス、翅ヲ缺ク、腹部ハ大ニシテ穹狀ニ膨起シ前胸背同樣ノ斑紋ヲ有ス、腿節及ビ脛節ノ基部ニ黒褐紋アリ、後肢ハ甚ダ長シ、尾節ニ二個尾樣狀ノ附屬物アリ、産卵管ハ光澤アル赤褐ニシテ劍狀ヲナシテ少シク上方ニ向ク、此種類ハ椽ノ下ニ多ク又間々竈ニ來ルコトアルヲ以テ竈馬ノ名アリ、體長(♂)(♀)六分乃至七分、

(69)のみばつた

第六圖(7)(♀)

學名 Tridactylus japonicus D. H.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ光澤アル黒色ニシテ少シク綠色ヲ混ズ、頭部ハ小ニシテ下方ニ向キ、觸角ハ短カク十節ヨリ成リ三個ノ單眼ハ一列ヲナシテ複眼間ニアリ、前胸背ハ穹狀ニ膨起シ側緣ハ黄色ナリ、前翅ハ退化シテ短カク第三腹節ニ達シ唯ダ二個ノ縱脈ヲ有ス、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ長ク淡キ暗色ニシテ之レヲ疊ムトキハ細シ、腹下部ハ暗黄、尾端ニ四個尾樣狀ノ突起アリ、前肢ハ短カク脛節ハ赤褐ニシテ中肢ハ長ク、脛節ハ側扁ニシテ太ク其内方ハ黄褐、後腿節ハ甚ダシク發達シ其上部ノ中央ニ一個黄色紋アリ、後脛節及ビ跗節ハ淡キ黄褐ナリ、此種類ハ花園ノ如キ溫氣アル道路ニ多ク甚ダシク跳躍ス、

體長(♂)(♀)一分五厘乃至二分、

(70)まつむし (金琵琶)

第六圖(8)(♀)

Calyptotryphus marmoratus D. H.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黄褐色、雌雄大ニ其形ヲ異ニス、頭(♂)ハ畧ボ前胸背ト同長ニシテ頭頂ノ中央黒褐ヲ呈シ兩側ニ褐色紋ヲ散在ス、觸角ハ長クシテ體ノ三倍以上アリ、前胸背ハ中央ニ凹凸ヲ有シ黒紋ヲ供ヘ稍ヤ四角形ヲナシ其前方ハ細ク後方ニ至リテ廣ガル、前翅ハ稍ヤ透明ニシテ廣ク翅脈少ナク數個ノ黒紋ヲ散在ス、又兩側ニモ黒縱條アリ、前縁ニ多數ノ横脈ヲ並列ス、翅ヲ疊ムトキハ三角形ヲナシテ尾端外ヘ突出ス、後翅ハ廣ク之ヲ疊ムトキハ尾様狀ノ二突起ヲナス、尾端ノ附屬物ハ長クシテ下方ニ灣出ス、(♀)ニアリテハ前胸背ノ前後兩縁ハ畧ボ同幅ヲ呈シ、觸角ハ短ク、前翅ハ細クシテ粗キ網狀脈ヲ有ス、脚ハ短毛ヲ密生シ黒褐ノ小紋ヲ散在ス、產卵管ハ長クシテ少シク上方ニ向ク、此種類ハ坊間ニ販グ普通種ニシテ其ちんちろりんノ喞聲ハ皆人ノ愛スル所ナリ、體長(♂)(♀)六分乃至六分五厘、

(71)かんたん　第六圖(10)(♀)

學名　Oecanthus longicauda Mats.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黄色ニシテ少シク綠色ヲ帶ブ、頭ハ錐直ヲナシテ下方ニ向キ、頭頂ハ光澤アル黒褐、其内ニ三條ノ黄色縱線アリテ中央ニアルモノハ後縁ニ達セズ、觸角ハ凡ソ體長ノ三倍アリテ(♀)淡キ黄褐(♂)暗褐ヲ呈シ、前胸背長ク前縁ハ少シク細シ、中央及ビ兩側ハ少シク暗色ヲ混ズ、前翅ハ腹部ヨリ少シク長ク半透明ニシテ黄白ヲ帶ビ、翅脈ハ(♀)黄色(♂)黄白、後翅ハ廣ク前翅ヨリ長シ之レヲ疊ムトキハ尾様狀ノ二突起ヲナス、脚ハ暗黄ニシテ後腿節ノ後方ニ黒褐紋ヲ並列ス、產卵管ハ後腿節ヨリ遙ニ

長シ、本邦此屬ニ係ルモノ三種アリテ爰ニ出シタルモノハ其最モ普通ナルモノナリ、甚ダ幽美ノ音ヲ發シ稍ヤりーりーりート鳴喞ス、體長(♀)(♂)四分乃至四分五厘、產卵管四分二厘、

(72)すゞむし(金鐘兒)　第六圖(9)(12)(♀)(♂)

學名　Homoeogryllus japonicus D. H.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黑色、雌雄大ニ其形ヲ異ニシ(♂)ハ廣キ前翅ヲ有シ、頭頂ニハ四個ノ黃褐紋ヲ橫列シ其前緣ハ稍ヤ三角形ヲナシテ突出ス、觸角ハ長クシテ體ノ三倍アリ基節ハ黑色ニシテ次デ黃褐トナリ中央ハ白色末端ハ黑褐ナリ、前胸背ノ中央甚ダシク凹陷シ黃白紋アリ、前翅ハ尾端ヨリ遙ニ長ク末端ハ圓シ、後翅ハ退化ス、(♀)ハ頭頂ニ黃褐紋ヲ有セズ、前翅ハ細クシテ粗キ網狀脈ヲ有シ末端ハ尖小ナリ、脚ハ黑色ナレドモ腿節基部ノ大半及ビ脛節ハ黃白ナリ、尾樣ノ二附屬物ハ黃色ニシテ長シ、此種類モ亦まつむし同樣ニ坊間ニ販ギ人之レヲ養フテ其喞聲ヲ樂ム、此雌ヲ俗ニくまずゞむしト云フ、體長(翅端迄)(♂)(♀)五分內外、產卵管三分內外、

(附言)爰ニ出シタル(♀)ノ圖ハ畫工過テ其產卵管ヲ脫セリ、

(73)こばねさゝきりもどき　第六圖(13)(♀)

學名　Euscirtus hemelytris D. H.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ暗黄ニシテ頭ハ大キク、頭頂ニ四個黒褐ノ縦條ヲ走ラシ兩側ニハ黒色條アリ其前頭ハ著シク低ク四角形ヲナシテ觸角間ニ突出ス、觸角ハ頗ル長ク凡ソ體長ノ三倍ニ達ス、前胸背ハ頭ヨリ細ク四角形ヲナシ中央ハ黒褐、兩側ニモ黒條アリ、前翅ハ短カク第二腹節ニ達スルニ過ギズ、前縁脈ハ黒色ヲ呈シ其上方ニ暗黄ノ縦條アリ、腹背ニハ黒色紋ヲ縦列ス、尾様ノ二附屬物ハ中庸ノ長サナリ、産卵管ハ長シ、體長(♂)(♀)三分内外、

(附言) 米人ぶるんな氏ハ之レニ E. sigmoidalis Sauss. ノ學名ヲ用ヒタレドモ本邦産ノモノハ別記ノ學名ヲ有スルモノナリ

(74) まだらすゞ　第六圖(13)(♀)

學名 Nemobius nigrofasciatus Mats.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ暗褐、頭頂ニハ四個黄色ノ縦條アリ、觸角ハ體ヨリ少シク長ク暗色ニシテ基部ハ黒色、顔ハ光澤アル黒色、小腮鬚ハ黄白、其基部及ビ末端ハ黒色、前胸ニハ黒色ノ長毛ヲ装ヒ兩側ハ黒色、前翅ハ尾端ニ達シ前縁室ハ黒色、脚ハ黒色ニシテ前中兩腿節ノ基部ハ黄色、後腿節ハ黄色ト黒色ノ斑ヲナス、産卵管ハ赤褐ニシテ上方ニ向ク、此種類ハ道路ノ石下若クハ倒木ノ下ニ多ク其聲愛スベシ、體長(♂)(♀)二分内外、

(75) ありつかこほろぎ　第六圖(15)(♂)

學名 Myrmecophilus sapporensis Mats.

昆蟲學上ノ地位　蟋蟀科

體ハ黄褐、稍ヤ卵形ヲ呈シ、金黄色ノ短毛ヲ密生ス、觸角ハ割合ニ太ク黄色ナリ、集眼ハ両側ニ各四列ヲナシテ十六個相集合ス前胸背ハ大ニシテ穹狀ニ膨起ス、前後翅ヲ缺ク、尾様狀ノ二突起ハ太ク稍ヤ紡錐狀ヲ呈シ黄色ニシテ長シ、産卵管モ黄色ニシテ長ク其末端ハ二分シ其中間ニ更ニ二鋭歯アリ、後腿節ハ頗ル太ク跳躍ニ適ス、此種類ハ札幌近傍ニアリテ石下若クハ倒木ノ下ニ普通ナリ、常ニあかありト共棲ス、甚ダ微小ナルヲ以テ注意セザレバ發見スルコト易カラズ、體長(♂)(♀)八厘内外、

(76)うちはとんぼ　第七圖(1)(♂)

學名　Ictinus clavatus Fabr.

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓(ヤンマ)科　(Aeschnidae)

體ハ黒色ニシテ黄紋ヲ装フ、頭ハ大キク、複眼ハ頭頂ニテ相隔離ス、前頭ハ稍ヤ四角形ヲナシテ突出シ前縁ハ暗黄ナリ、顔ハ暗黄ニシテ上方ニ黒横條アリ、胸部ノ大部ハ黄色、両側ニ各四個ノ黒斜條ヲ走ラシ、前胸背ノ中央ニ稍ヤ三角狀ノ黒紋アリ、翅長ク縁紋ハ黒色ニシテ二分餘アリ、脚及ビ腹部ノ大半ハ黒色、各腹節ノ背上ニ黄紋アリ、第二腹節ノ両側ニハ稍ヤ楔狀ノ附屬物ヲ装フ、又第八腹節ノ下方ニハ稍ヤ半圓形ニ近キ葉狀(此屬ノ特性)ノ附屬物アリテ其基部ハ黄色ナリ、雌ニアリテハ此附屬物小ナリ、體長(♂)(♀)二寸五分乃至二寸七分、翅ノ開張三寸四分乃至三寸五分、

(77) ぎんやんま　第七圖(2)(♂)

Anax parthenope Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ黄緑ニシテ第一、第二兩腹節(♂)ハ青藍色ヲ呈ス、複眼ハ赤褐ニシテ頭頂ニ相癒着シ、後頭及ビ顔ハ黄色ニシテ後者ノ上縁ニ太キ黒横條アリ、翅ハ透明ニシテ特ニ雌ニアリテハ赤褐ヲ帶ブルモノアリ、緣紋ハ緑褐ニシテ一分五厘アリ、脚ハ黒色、前腿節ノ下面ハ黄緑、中後腿節ハ赤褐、雄ノ腹部ハ赤褐ニシテ背上ニ黒褐ノ太キ縱條ヲ走ラス、此種類ハ本邦最モ普通ナル種類ニシテ水田若クハ麥畑ノ上ヲ飛翔シ害蟲ヲ捕食スルヲ以テ農家ニ有益ナリ、體長(♂)(♀)一寸四分乃至一寸六分、

(78) こしあきとんぼ　第七圖(3)(♂)

學名 Pseudothemis zonata Burm.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科　(Libellulidae)

體ハ黒褐、胸部ノ兩側ニ二個ノ黄斜條アリ　複眼ハ頭上ニ相癒着ス、單眼ノ上瘤ハ黒藍色、額ハ黄色、前翅ノ三角室ニハ一個ノ横線アリ、緣紋ハ黒ク長サ一分、外緣ハ狹ク褐色ヲ呈ス、後翅内緣ノ基部ニハ黒色ノ大紋アリ、(♂)ニアリテハ第三及ビ第四ノ兩腹節黄白ヲ呈シ(♀)ニアリテハ第四節ニ黒色ノ横條アリ、脚ハ黒シ、此種類ハ山間ノ道路ニ多ク常ニ高ク飛翔ス、體長(♂)(♀)一寸四分内外、翅ノ開張二寸六分、

(79) てふとんぼ

第七圖 (4) (♀)

學名 Rhyothemis fuliginosus Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉(トンボ)科

體ハ黑色、複眼ハ赤褐ニシテ頭頂ニ相癒着シ、顏ハ黑藍色ナリ、前翅基部ノ三分ノ二ハ黑色、末端ハ透明、緣紋ハ黑色ニシテ小ナリ、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ廣ク稍ヤ三角形ヲナシ、大部ハ黑色ニシテ唯ダ末端ノ小部透明ナリ、(♂)ニアリテハ前翅外緣ノ小部ハ黑色、後翅ノ外緣モ同ジク黑色ニシテ唯ダ僅ニ透明ノ一紋ヲ殘スニ過ギズ、此種類ハ水田若クハ麥畑ノ上ニ徘徊スルモノ多ク時々竿上ニ靜止スルモノアルヲ見ルナリ、體長(♂)(♀)一寸二分內外、翅ノ開張二寸三分內外、

(80) かとりとんぼ

第七圖 (5) (♂)

學名 Gnacantha hyalina Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科 (Aeschnidae)

體ハ綠色、複眼ハ頭上ニ相癒着シ、顏ハ黃色、前頭ニハ丁字形ノ黑紋アリ、前翅ハ透明ニシテ三角室ハ四個ノ橫脈ヲ有ス、緣紋ハ(♂)黑褐(♀)赤褐ニシテ長サ一分三厘アリ、初メノ二腹節ハ甚ダシク膨大シ、第三節ハ甚ダ細ク縊ラル、第二節ニハ黑褐ノ橫紋アリ、第三節以下ノ腹背ハ黑褐ニシテ各一個黃色ノ橫溝ヲ有シ各節ノ後緣ニ黃色紋アリ、腹下ハ暗黃、(♂)ノ尾樣狀ヲナセル二附屬物ハ二分一厘アリテ其內側ニ長毛ヲ密生ス、此種類ハ黃昏最モ普通ニシテ道路ヲ低ク飛翔ス、體長(♂)(♀)二寸二

分內外、翅ノ開張三寸一分內外、

(81) ゑぞとんぼ　第七圖(6)(♂)

學名 Somatochlora viridiaenea Uhl.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科 (Libellulidae)

體ハ金光アル綠色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、後頭ハ黑色ニシテ三角形ヲナス、顔ハ黑藍色、額片及ビ下唇ハ黃色、前翅ハ透明ニシテ外緣ハ少シク褐色ヲ帶ブ、三角室ハ横置セラレ之レニ二横脈アリ、緣紋ハ黑ク長サ九厘、頭下ニ隱レタル小形ノ前胸背ハ黑色ニシテ其後緣ハ黃色、初メノ二腹節ハ側扁ニシテ膨大シ、第三節ハ中央ニ於テ少シク縊ラル、第二節ノ兩側及ビ第三節兩側ノ前緣ハ黃色、第五、六、七ノ三節最モ太ク稍ヤ稜柱形ヲナス、尾端ノ附屬物ハ四個ニシテ上方ニアルモノハ長ク且ツ其中央ハ三角狀ニ膨大ス、此種類ハ札幌地方ニハ最モ普通ナリ、其鑛性ノ光澤ハ蜻蜓ニ類スレドモ前翅ノ三角室横置セラルヽヲ以テ識別スルニ難カラズ、體長(♂)(♀)一寸七分內外、翅ノ開張二寸七分、

(82) うすばきとんぼ　第七圖(7)(♂)

學名 Pantala flavescens Fabr.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ黃褐、額ハ黃橙色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、後頭ハ三角形ヲナシテ割合ニ廣シ、中胸下方ノ兩

側ニハ黑紋アリ、前翅ハ透明ニシテ、三角室ハ横置セラレ之レニ一個ノ横脈アリ、縁紋ハ暗褐、後翅ノ外縁及ビ内縁ハ少シク褐色ヲ帶ブ、腹部ハ其背上ニ斷續セル黑縦條ヲ走ラシ、尾端ニ近キモノハ紋狀ヲナス、又第三腹節ニハ四個ノ横隆起アリ、脚ハ黑色ナレドモ腿節ノ基部ハ淡キ暗黄ナリ、此種類ハ本邦何レノ地ニ於ケルモ普通ニシテ夏日一定ノ處ニアリテ高ク飛翔ス、又航海中海上ニ目擊スルモノハ多ク此種類ナリ、體長(♂)(♀)一寸五分内外、翅ノ開張二寸八分内外、

(83) はつちようとんぼ　第七圖 (8) (♂)

學名　Nannophya pygmaea Ramb.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ淡キ黄褐ニシテ雌雄大ニ其彩色ヲ異ニス、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、(♂)顏ハ黄色ナレドモ上唇及ビ下唇ハ黑色、後頭ハ黄色、前翅ハ透明ニシテ三角室ニ横脈ヲ缺キ、縁紋ハ褐色ニシテ其前後ハ黑色、前後翅ノ翅底ハ赤黄色、前胸黄ク中胸背ノ中央ニハ一個ノ黑キ縦條ヲ有シ兩側ニハ一個ノ黑紋アリ、腹背ハ赤褐、但シ(♀)ニアリテハ黄褐、第一腹節ハ黑褐、脚ハ黑色、基節ノ外側ニ黄紋アリ、此ハ本邦最小ノ種類ニシテ稀ナリ、初メ八丁畷ニ發見セラレタルヲ以テ此名アリ、體長(♂)(♀)六分内外、翅ノ開張一寸内外、

(84) をにやんま　第八圖 (1) (♂)

學名　Anotogaster (Cordulegaster) Sieboldii Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科　(Aeschnidae)

體ハ黒色、複眼ハ褐色ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ頭頂ニ相癒着ス、前頭ハ穹狀ニ凹陷シ、額片及ビ上唇ノ上部ハ黄色、中胸ノ兩側ニ各二個、後胸ノ兩側ニ各一個ノ太キ黄條ヲ有ス、又背上ニハ二個ノ黄紋アリ、翅ハ透明ニシテ少シク暗色ヲ帶ブルモノアリ、三角室ハ縱置セラレ一個ノ横脈アリ、緣紋ハ黒色ニシテ長サ一分六厘、前緣脈ハ綠黄ナリ、腹部ハ長ク第二節以下各一個黄色帶アリテ第二節ニアルモノ最モ太シ、尾端ノ附屬物ハ短カシ、脚ハ黄色、基節ニ赤褐ノ長毛アリ、此種類ハ山間ノ道路ニ普通ニシテ一定ノ場所ヲ徘徊ス、本邦最大ノ種類ナリ、體長(♂)(♀)二寸六分乃至三寸、翅ノ開張三寸五分乃至三寸八分、

(85) こやまとんぼ　第八圖(2)(♂)

學名　Epophthalmia amphigena Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科

體ハ金光アル黒綠色ニシテ複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、前頭褐色ニシテ少シク金光アル靑色ヲ混ズ、額片ハ黄色ナリ、中胸背ノ前緣ニハ黄褐ノ長毛ヲ密生シ兩側ニハ各二個太キ黄條アリテ前方ニアルモノハ短カシ、肩板(學名Scapulaeト云ヒ前翅ノ前方ニアリテ長楕圓形ヲナセル二個ノ附屬物ヲ云フ)ハ黄色、後胸後緣ノ兩側ニモ黄色紋アリ、翅ハ(♂)ニアリテハ無色透明ナレドモ(♀)ニアリテハ小シク黄褐ヲ帶ブ、三角室ハ縱置セラレ中央ニ一個ノ横脈アリ、緣紋ハ黒色ニシテ長サ一分、腹部ハ黒色ニシテ各節黄帶ヲ有スレドモ第四、第五、及ビ第六ノ三節ニアルモノハ小ニシテ唯ダ黄色紋トナリテ帶

ヲナサズ。但シ第六節ニハ之レヲ缺クモノ多シ、腹部ハ尾端ニ至リ稍ヤ稜柱狀ニ膨大ス、脚ハ黑色ニシテ前中兩基節ノ一部ハ黄色ヲ呈ス、此種類ハ山間ノ道路ニ多ク前種ト相混ジテ徘徊ス、體長(♂)(♀)二寸三分內外、翅ノ開張三寸五分內外、

(86) こおにやんま　　第八圖(3)(♂)

學名 Hagenius japonicus Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科

體ハ黑色　複眼ハ頭頂ニ於テ廣ク相隔離シ、後緣ニハ二個ノ高キ齒狀突起ヲ裝フ、又複眼ノ中間ニモ二個同樣ノ齒狀隆起アリ、前頭ハ稍ヤ四角形ヲナシ前緣ハ黄色、中胸ノ背上ニハ丁字形ノ隆起アリテ其中央ニハ一個ノ小齒アリ、又其兩側ニ各一個黄色ノ縱條ヲ有ス、中胸ノ兩側ニハ太キ黄條アリテ其後側ニ更ニ細キ黄條アリ、後胸ノ大半ハ黄色、中胸ノ副側片(學名Parapleura ト稱シ基節ノ上方ニアル小片ヲ云フ)及ビ其ノ上方ニアル一點ハ黄色、翅ハ透明ニシテ少シク赤褐ヲ帶ブ、三角室ハ純然タル三角ヲナサズ中央ニ近ク一橫線アリ、後翅ノ緣紋ハ長ク凡ソ二分アリ、腹部ハ長ク(♂)ノ生殖器ノ後方ハ卵形ニシテ著シク膨起ス、第一及ビ第二兩節ノ兩側ハ黄色ニシテ第二節ニハ各一個ノ隆起アリ、各節ノ基部ハ黄紋ヲ裝フ、尾節ハ膨大シ附屬物ハ短大ナリ、脚ハ頗ル發達シ、腿節ノ下方ニ鋭齒ヲ並列ス、此種類ハ前種同樣ニ山間ノ道路ニ普通ナリ、體長(♂)(♀)二寸七分內外、翅ノ開張二寸九分內外、

(87) よしとんぼ

Aeschnophlebia optata Selys.

第八圖(4)(♂)

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科

體ハ黑色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、前頭ノ大半ハ黃色ナリ、顏ハ黃橙色ニシテ上方ニ一個黑色ノ橫線アリ、胸背ノ兩側ニ各三個黃色ノ縱條ヲ走ラシ、中央ニハ一個縱隆起アリ、後胸背ニハ黃紋アリ、翅ハ透明ニシテ少シク黃色ヲ帶ビ、緣紋ハ黑褐、腹部ハ圓柱形ニシテ基部少シク太ク、第二腹節ノ兩側ニハ稍ヤ三角形ヲナセル突起ヲ裝フ、各節ノ背上ニハ一個乃至二個ノ黃紋ヲ橫走ス、尾端ノ附屬物ハ頗ル長ク其內側ニ黑色ノ長毛ヲ密生ス、脚ハ黑色ニシテ腿節ノ內側ハ黃褐ナリ、此種類ハ蘆葦ノ間ヲ徘徊スル普通種ナリ、體長(♂)(♀)二寸二分內外、翅ノ開張三寸三分內外、

(附言) 此種類ハあをとんぼ(Aesch. longistigma Selys.)ニ酷似スレドモ體色及ビ其斑紋ノ異ナルハ勿論、緣紋ハむをとんぼニ比シテ遙ニ短カシ、

(88) さなへとんぼ

學名　Aeshna (Gomphus) melampus Selys.

第八圖(5)(♂)

昆蟲學上ノ地位　蜻蜓科

體ハ黑色、複眼ハ頭頂ニ於テ廣ク相隔離シ、前頭ノ前緣ハ黃色、上唇ノ兩側ニモ各一個ノ黃紋ヲ裝フ、中胸背ハ光澤ヲ有シ其中央ハ丁字形ニ隆起シ、前緣ハ黃色、縱隆起ノ兩側ニハ各一個黃色ノ縱

條ト同色ノ一點トヲ裝ヒ、兩側ニハ太キ黃色ノ斜條アリ、中胸ノ副側片及ビ後胸ノ大半ハ黃色、翅ハ透明ニシテ翅底少シク黃色ヲ帶ブ、三角室ニハ横脈ナシ、緣紋ハ大ニシテ(♂)ニアリテハ暗褐色、(♀)ニアリテハ黑色ヲ呈ス、腹部ハ細ク第一及ビ第二腹節ノ背上及ビ兩側ニ黃紋アリ、又他ノ各腹節ノ基部及ビ兩側ニ黃紋ヲ有スルモノアリ、第二腹節ノ兩側ニ各一個三角狀ノ突起アリ、尾端ノ附屬物ハ短カク(♀)ニアリテハ其末端黃色ナリ、此種類ハ山間ノ道路ニ普通ナリ、體長(♂)(♀)一寸四分內外、翅ノ開張一寸八分、

(89) みやまあかね　　第八圖 (6) (♂)

學名 Sympetrum (Diplax) pedemontana Mull.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科 (Libellulidae)

體ハ黃褐(♂)ニアリテハ赤色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、顏ハ黃色若クハ赤黃、胸部ノ兩側ハ(♀)黃色ヲ帶ブ、翅ハ透明、翅脈ハ黃褐ヲ呈シ、外緣ニ近ク太キ黃褐ノ横帶アリ、緣紋ハ黃色ナレドモ(♂)ニアリテハ赤色ヲ呈ス、腹部(♀)ノ下面ハ黑色、尾端ノ附屬物ハ小形、此種類ハ晚秋最モ普通ナルモノニシテ札幌地方ニテハ到ル處目擊シ得ベシ、時ニ竿上若クハ枝端ニ靜止シ又去テ飛翔ス、體長(♂)(♀)一寸乃至一寸二分、翅ノ開張二寸乃至二寸一分、

(90) なつあかね　　第八圖 (9) (♀)

學名 Sympetrum (Diplax) sinensis Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ(♂)赤色(♀)黃色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、單眼ノ部分ハ黑色、顏(♀)黃色(♂)赤褐、下唇ノ內緣ニハ黑色ノ部分ナシ、中胸ノ兩側ニハ黑條アリテ其中間ハ淡色ナリ、翅ハ透明、緣紋暗色、(♀)ノ前後兩翅ノ基部ハ赤褐色、腹部ハ體ト同色(♀)ノ兩側ニ黑紋及ビ黑條アリ、(♂)ノ尾節ノ附屬物ハ黃色、脚ハ黑色、前腿節ノ內側及ビ中後ノ兩基節ハ暗黃ナリ、此種類ハ前種同樣ニ夏日普通ナリ、體長(♂)(♀)一寸一分乃至一寸三分、翅ノ開張一寸七分乃至二寸一分、

(91) とらふとんぼ　第八圖 (8) (♂)

學名 Somatochlora? marginata Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ黃色ニシテ黑紋ヲ有ス、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、後頭ハ三角形ニシテ黑色、前頭ハ黑色ナレドモ少シク藍色ヲ帶ブ、顏ハ黃色、上唇ノ兩側ハ黑色、中胸背ノ中央ニ稍ヤ三角形ヲナセル黑褐紋アリ、又兩側ニハ各二條ノ黑褐斜條アリテ其前方ニアルモノ太シ、後胸ニモ同樣ノ一黑條アリ、翅ハ透明、(♀)ニアリテハ前翅前緣ノ外半及ビ後翅ノ前緣ハ黑色ヲ呈シ、翅底膜ハ白色ナリ、前翅ノ三角室ハ廣クシテ橫置セラレ其內ニ一個ノ橫脈アリ、腹部ハ黑色、各節ノ兩側ニ一個ノ楕圓形ノ黃紋アリ、腹下ニモ亦黃紋アリ、脚ハ黑色、前腿節ノ基部及ビ全基節ハ黃色ナリ、此ハ餘リ普通ナル種類ニアラズ、體長(♂)(♀)一寸五分內外、翅ノ開張二寸四分內外、

(附言) 此ノ屬名ハ定メテ新屬ナルベシ、蓋シ其頭部ノ構造ハ全ク Somatochlora ト異ナレリ De Selys

longchamps-Les Odonates du Japon P. 32. ヲ見ルニ氏ハ頭ナシノモノヲ記載シ此屬名ニ疑ヲ附シ置ケリ、

(92) おほしほからとんぼ

第九圖(1)(♂)

學名 Orthetrum melania Selys.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

雌雄大ニ其彩色ヲ異ニス、(♂)體ハ灰色ニシテ少シク藍色ヲ帶ビ、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ前頭及ビ顏ハ黑褐、(♀)ニアリテハ體ハ黑色、中胸背ハ黄色又兩側ニ各一個ノ横紋アリ、後胸ノ後緣及ビ翅ノ基部ハ黄色ヲ呈ス、第一、第二及ビ第三腹節ノ大部ハ黄色、尾節上方ノ附屬物モ亦黄色ナリ、翅脈ハ透明、(♂)ニアリテハ少シク灰藍色ヲ帶ブ、緣紋ハ黑ク長サ一分六厘アリ、外緣少シク褐色ヲ呈ス、前翅ノ三角室ハ長クシテ横置セラレ二個ノ横脈アリ、翅底ハ黑色ヲ呈シ特ニ後翅ニアルモノハ大ナリ、脚ハ黑色、此種類ハ山間ニ多シ、體長(♂)(♀)一寸七分乃至一寸九分、翅ノ開張三寸内外、

(93) よつぼしとんぼ

第九圖(2)(♂)

學名 Libellula 4-maculata L.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ暗黄ニシテ少シク綠色ヲ帶ブ、黑紋ヲ裝ヒ長キ黄毛ヲ密生ス、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、單眼ノ處ニ黑色ノ横條アリ、上唇ノ前緣及ビ中央並ニ下唇ノ内側ハ黑色、中後兩胸ノ兩側ニ各一個黑色ノ横條ヲ走ラシ此二者下方ニ於テ同色ノ縱線ニヨリテ相連續ス、翅底ハ黑色、翅ハ透明ニシテ前緣ハ

黄色ヲ呈シ、他ノ部分ハ少シク黄色ヲ帯ブ、前縁ノ中央ニ各一個ノ黒紋アリ、縁紋ハ黒色ニシテ一分一厘アリ、後翅ノ翅底ニ稍ヤ三角形ヲナセル黒紋アリテ其翅脈ハ黄色ヲ呈ス、腹部(♂)ハ尾端ニ至リテ著シク細小ス、各節ノ兩側ニハ黄紋アリ、第一節ハ黒色、第四腹節以下背上ニ黒紋ヲ裝フ、又第四腹節ヨリ尾端ニ至ル迄各節ノ下方ニ一個黒色ノ横條アリ、脚ハ黒色、此種類ハ札幌地方ニ最モ普通ナリ、體長(♂)一寸四分(♀)一寸三分、翅ノ開張(♂)二寸四分(♀)二寸三分、

(94) しやうじやうとんぼ　第九圖(3)(♂)

學名　Crocothemis servillia Drury.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體(♂)ハ紅色(♀)黄色、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ額ノ上縁ニハ三角狀ノ凹陷部アリ、體ニ斑紋ヲ有セズ、翅(♂)透明(♀)ハ鼈甲色ヲ帯ブ、縁紋大ニシテ(♂)黄褐(♀)黄色長サ一分五厘アリ、(♀)ノ前縁脈ハ黄白ニシテ少シク綠色ヲ帯ブ、後翅ノ翅底ハ(♂)紅色(♀)赤黄色、翅底膜ハ黒色、腹部ハ稜柱狀ヲ呈シ基部少シク太シ、脚ハ暗黄ナリ、(♂)一寸六分内外(♀)一寸五分内外、翅ノ開張二寸二分乃至二寸四分、

(95) ふじきとんぼ　第九圖(4)(♀)

學名　Leucorrhina fujisana Mats.

昆蟲學上ノ地位　蜻蛉科

體ハ暗黄ニシテ斑紋ナシ、複眼ハ頭頂ニ相癒着シ、顏ニ黒色ノ短毛ヲ密生ス、翅ハ透明、翅脈ハ黄

褐、前縁及ビ翅底ノ半部及ビ翅脈ハ赤黄、翅底膜ハ灰色、縁紋ハ暗褐ニシテ長サ一分二厘アリ、其前後ニアル脈ハ黒色、前翅ノ三角室ハ一個ノ横脈ヲ有ス、腹部ハ基部ニ於テ太ク又末端ニ至リテ膨大ス、脚モ體ト同色ニシテ刺毛及ビ爪ハ黒色ナリ、此種類ハ高山ニ多ク富士山頂ニハ普通ナリ、體長(♂)(♀)一寸三分內外、翅ノ開張二寸一分內外、

(96)みやまかわとんぼ　第九圖(5)(♂)

學名　Calopteryx cornelia Selys.

昆蟲學上ノ地位　豆娘科(トウスミトンボ)　(Agrionidae)

體ハ黒色ニシテ少シク紫色ヲ帯ビ、體下ハ黄褐、頭ハ短カクシテ横廣ク、複眼ハ頭頂ニ廣ク相隔離ス、上唇ハ光澤アル紫色ヲ呈シ、下唇ハ黄白、前胸背ニハ三個ノ疣狀突起ヲ供ヘ、中胸背ノ中央ニハ一個ノ高キ縦隆起アリ、翅ハ赤褐、翅脈ハ甚ダ細微ニシテ三角室ヲ缺ク、(♀)ノ前翅ハ淡色ニシテ黄白ノ縁紋ヲ装フ、後翅ハ前翅ヨリ濃色ニシテ縁紋内ニ於ケル一部ハ一層濃色ナリ、(♂)ハ縁紋ヲ缺闕ス、(♂)ノ腹部ハ金光アル緑色ニシテ圓柱形ヲ呈シ、尾端ニ四個ノ附屬物アリテ其上方ニアルモノハ長ク內方ニ弓曲ス、脚ハ黒色、基節及ビ後腿節ノ內方ハ黄褐ナリ、此種類ハ山間ノ小川ニ多ク札幌地方ニテハ普通ナリ、體長(♂)二寸二分乃至二寸三分(♀)二寸乃至二寸二分、翅ノ開張三寸乃至三寸三分、

(97)かわとんぼ　第九圖(6)(♂)

學名　Mnais pruinosa Selys.

昆蟲學上ノ地位　豆娘科

雌雄大ニ其彩色ヲ異ニス、(♂)ノ地色ハ金光アル綠色ナレドモ白粉ヲ以テ被ハレ爲メニ白色ノ觀アリ、複眼ハ頭頂ニ廣ク相隔離シ、下唇ハ黑色、中胸背ノ中央ニハ一個ノ縱隆起アレドモ餘リ高カラズ、翅底四分ノ一ハ透明、殘リノ四分ノ三ハ赤褐、尙前緣ノ中央ニ於ケル一面ハ濃色ノ赤褐ニシテ不透明ナリ、翅脈ハ赤褐、緣紋ハ濃色ノ赤褐ニシテ長サ八厘アリ、(♀)ニアリテハ白粉ヲ裝ハズ、翅ハ透明ナレドモ少シク黃赤色ヲ帶ビ、翅脈ハ黃褐、緣紋ハ黑白、脚ハ黑色ナリ、此種類ハ前種同樣ニ山間ノ小川ニ多ク靜止ノトキハ翅ヲ上方ニ立テ、飛翔スルトキハ一種固有ノ觀ヲ呈ス、體長(♂)一寸九分內外(♀)一寸八分內外、翅ノ開張(♂)(♀)二寸五分乃至二寸九分、

(98) あをはだとんぼ

學名 Calopteryx virgo L. var. japonica Selys.

第九圖(7)(♀)

昆蟲學上ノ地位　豆娘科

體ハ金光アル綠色若クハ靑色ニシテ胸背ハ黑綠ナリ、複眼ハ頭上ニ相隔離シ、下唇ハ黑色ニシテ白粉ヲ裝フ、翅(♂)ハ全體黑色ニシテ綠色ヲ帶ビ光澤アリ、緣紋ヲ缺ク、腹部ハ圓柱形ニシテ長シ、(♀)ノ翅ハ(♂)ヨリモ大キク、暗黑ニシテ前翅ハ淡色ヲ呈シ、長キ白色ノ緣紋ヲ裝フ、脚ハ黑色、體下ニハ白粉ヲ裝フ、此種類ハ前種同樣ニ山間ノ小川ニ多シト雖ドモ亦田野ノ池沼、湖邊ニモ稀ナラズ、體長(♂)一寸八分乃至二寸一分(♀)一寸九分內外、翅ノ開張(♂)二寸六分內外(♀)二寸八分內外、

第九圖
(8)
(♂)

(99)きいとゝんぼ

學名 Ceragrion coromandelianum F.

昆蟲學上ノ地位　豆娘科

體ハ黄色、頭頂ハ暗黄、上唇ハ黄色　下唇ハ黄白、複眼ハ頭頂ニ廣ク相隔離ス、中胸背ハ暗黄、翅ハ細小ニシテ無色透明、翅脈ノ大半ハ四角形ヲ呈シ、外緣及ビ後緣ニアルモノハ網狀ヲ呈ス、(♂)ニアリテハ第七腹節ヨリ尾端ニ至ル迄暗褐、(♀)ニアリテハ腹背ノ全體暗黄色ヲ呈シ唯ダ第一腹節ヨリ第六腹節ニ至ル腹下面ハ黄色ナリ、脚ハ黄色ニシテ長キ黑刺ヲ裝フ、此ハ九州ヨリ青森ニ至ル迄稀ナラザル種類ナレドモ北海道ニテハ未ダ採集セラレズ、體長(♂)(♀)一寸三分內外、翅ノ開張(♂)一寸五分(♀)一寸六分、

第九圖
(9)
(♂)

(100)れはいとゝんぼ

學名 Agrion Sieboldii Selys.

昆蟲學上ノ地位　豆娘科

體ハ黄綠、複眼ハ頭頂ニ廣ク相隔離シ、頭頂ハ黑色ニシテ前緣ハ暗黄、上唇及ビ下唇ハ黄白、前胸ハ黑色、中胸背ノ中央ニハ一個ノ太キ黑縱條ヲ走ラシ、又其兩側ニモ各一個ノ稍ヤ細キ黑條アリ、翅脈ハ多ク四角形ニシテ後緣ニアルモノハ五角形ヲ呈ス、緣紋ハ短カク暗色ヲ呈ス、腹部(♂)青色ニシテ各節ノ背上ニハ長キ黑緣紋アリ、腹下面及ビ尾端ハ黄白ナリ、♀)ニアリテハ背面ノ全體黑綠ニ

シテ腿節ノ外方ハ黑色ナリ、此種類ハ池沼ノ近邊ニ普通ナリ、體長(♂)一寸一分(♀)一寸二分、翅ノ開張(♂)(♀)一寸五分乃至一寸六分、

(101) へびとんぼ　第十圖(1)(♂)

學名　Neuromus grandis Thunb.

昆蟲學上ノ地位　蛇蜻蛉科　(Sialidae)

體ハ暗黄、頭ハ大ニシテ平タク(♀)ハ兩側ニ黑褐紋ヲ裝フ、複眼ハ小ナレドモ甚ダシク膨起シ、頭ニハ三個ノ大ナル單眼アリ、觸角ハ太クシテ稍ヤ連鎖狀ニ近ク黑色ヲ呈シ基節ハ黄色ナリ、一見蛇ノ頭狀ヲナス、前胸ハ略ボ四角形ニシテ細長ク、兩側ニ各一個ノ太キ黑縱條アリ、中後ノ兩胸環ハ大ニシテ背上ハ膨起ス、翅ハ淡キ暗色ニシテ翅脈ハ暗褐ナレドモ亦黄色ヲ混ズ、前翅ニハ三四個ノ黄紋アルヲ常トス、前緣ニハ三十五、六ノ橫脈アリ、後翅ハ前翅ト同樣ナレドモ少シク小ナリ、腹部ハ黄褐、(♂)ハ尾節ニ二個三角形ヲナセル附屬物ヲ有ス、脚ハ黄色、蹠節ノ大部ハ暗色、但シ(♀)脛節ノ大半モ暗色ナリ、此種類ハ餘リ稀ナラザル種類ニシテ河畔ノ葉上ニ靜止シ、又其飛揚スルモノヲ見ルナリ、幼蟲ハ河中ニアリテ小蟲ヲ食ス、體長(♂)一寸二分乃至一寸四分(♀)一寸二分內外、翅ノ開張(♂)三寸二分乃至三寸九分(♀)三寸六分乃至三寸九分、

(102) せんぶり　第十圖(6)(♂)

學名　Sialis sibiricus M'L.?

昆蟲學上ノ地位　蛇蜻蛉科

體ハ黑色、頭ハ小ニシテ前胸ト其大サヲ同ジクシ褐色紋ヲ裝フ、複眼ハ餘リ突出セズ、單眼ヲ缺ク、觸角ハ太ク黑毛ヲ密生ス、前胸ハ四角形ニシテ橫廣シ、中後ノ兩胸ハ短カク且ツ膨起ス、翅ハ半透明ニシテ暗色ヲ帶ビ、翅脈ハ暗褐ニシテ太ク其ノ數少ナシ、腹部及ビ脚ハ黑色ナリ、此種類ハ札幌近傍ノ沼池ニハ甚ダ多ク、翅ヲ屋斜狀ニ疊ミ葦(ヨシ)、莎(スゲ)草ノ葉上又ハ木柵ニ靜止スルモノ普通ナリ、幼蟲ハ水中ニ住シ老熟スレバ陸上ニ上リ苔ノ下若クハ樹皮下ニ入リテ蛹化ス、體長(♂)三分五厘內外(♀)四分內外、翅ノ開張(♂)一寸(♀)一寸二分內外。

(103) くろすじかげろう

第十一圖(7)(♂)

學名 Chauliodes japonicus M'L.

昆蟲學上ノ地位　蛇蜻蛉科

體ハ暗黑、頭頂ハ黃色ニシテ其兩側ニ各一個ノ黑縱條アリ、頭ハ稍ヤ卵形ニシテ平タク、複眼ハ半球狀ニ突出シ蛇ノ頭狀ヲ呈ス、單眼ハ三個、觸角ハ(♂)ニアリテハ稍ヤ櫛齒狀ヲ呈スレドモ其齒甚ダ短カシ、前胸ハ四角形ニシテ縱ハ橫ヨリ少シク長シ、中後ノ兩胸ハ橫廣ク膨起ス、翅ハ半透明ニシテ暗色紋ヲ散在ス、翅脈ハ太クシテ少ナク暗褐ヲ呈ス、前緣ニ十四五個ノ橫脈アリ、後翅ハ前翅ヨリ少シク小ナリ、(♂)ノ尾節ニハ三角形ニ近キ二個ノ短附屬物アリ、此ハ前ノへびとんぼニ酷似スレドモ(♂)ノ觸角ノ櫛齒狀ナルコト及ビ翅脈ノ粗ナルコトニヨリテ識別シ得ベシ、體長(♂)一寸五分內外(♀)一寸三分內外、翅ノ開張(♂)三寸內外(♀)四寸四分內外、

(104) らくだむし

第十圖(5)(♀)

又くびながかげろう

學名 Inocellia crassicornis Schum.

昆蟲學上ノ地位 駱駝蟲科 (Rhaphididae)

體ハ黑色、頭部ハ大ニシテ蛇ノ頭狀ヲ呈シ卵形ニシテ平タク、複眼ハ小ナレドモ突出シ、單眼ヲ缺ク、觸角、上唇及ビ大腮ハ褐色ヲ呈ス、前胸ハ細長ク、中後ノ兩胸ハ大ニシテ短カシ、翅ハ透明ニシテ粗ナル網狀脈ヲ有シ、緣紋ハ褐色ニシテ細長ク之レニ橫脈ナシ、後翅ハ前翅ヨリ少シク小ナリ、腹部ハ黑色、各節ノ後緣ハ黃色、產卵管ハ黃褐、脚ハ黃色ニシテ脛節ハ太ク側扁ナリ、此ハ本邦稀ナル種類ナレドモ歐洲ニテハ普通ナリ、常ニ槲ノ葉上ニ捕ヘ得ベシ、體長(♂)三分內外(♀)四分五厘乃至六分、翅ノ開張八分乃至一寸、

(105) おほかはげら

第十圖(2)(♂)

學名 Perla tinctipennis M'L.

昆蟲學上ノ地位 襀翅(カハゲラ)蟲科 (Perlidae)

體ハ黃色若クハ暗黃色、頭ノ中央ハ黑色ニシテ少シク膨起シ、三個ノ單眼アリ、複眼ハ大ニシテ球形ニ突出ス、頭ハ扁平ナリ、觸角ノ基部ハ黃色、末端ニ至ルニ從ヒ暗黃ヲ呈ス、前胸ハ暗褐ニシテ稍ヤ四角形ヲナシ頭部ヨリ少シク細ク不定ノ皺紋ヲ供ヘ、中央ニハ黃色ノ縱溝アリ、中後ノ兩胸ハ

暗褐ナリ、翅ハ半透明ニシテ暗色ヲ帶ビ、前縁ハ黄色ナリ、翅脈ハ暗黄ニシテ外縁ニハ横脈ナシ、腹部及ビ尾樣ノ二附屬物ハ黄色、脚ハ黄色ニシテ脛節及ビ腿節ノ末端ハ黒色、但シ或種類ニアリテハ脛節ハ暗黒ナリ、此ハ東京近邊ニ普通ナル種類ニシテ此科ニ屬スル最大ナルモノナリ、體長(♂)(♀)六分乃至七分、翅ノ開張(♂)一寸七分(♀)二寸乃至二寸五分、

(106) あみめかはげら　第十圖(3)(♂)

學名 Pteronarcys reticulata Burm.?

昆蟲學上ノ地位　積翅蟲科

體ハ黒色、頭頂ニハ黄紋アリ、頭ハ大ニシテ平タク、複眼ハ半球狀ニ突出シ、前頭ハ三角形ヲナシテ突出ス、觸角ハ暗褐、末端ハ褐色ナリ、前胸ハ頭部ヨリ細ク後縁ニ至リテ少シク廣マリ中央ニハ一個黄色ノ太キ縱條アリ、中胸ニモ黄色ノ小紋アリ、前翅ハ半透明ニシテ少シク暗色ヲ帶ビ外縁ニ近ク前縁ニ網狀脈ヲ有ス、又翅底ニ近キ翅ノ中央ニ於テ網狀脈アリ、後翅ノ外縁ニ近キ前縁ニモ亦網狀脈アリ、翅底ハ稍ヤ透明ニシテ少シク白色ヲ帶ブ、腹部ハ黒色、尾樣ノ附屬物ハ黄褐ニシテ之レニ長キ黄毛アリ、脚ハ黒色、基節、腿節端及ビ脛、跗兩節ノ大部ハ黄色ナリ、此種類モ前種同樣ノ生活ヲナセドモ餘リ多カラズ、體長(♂)五分五厘、翅ノ開張一寸四分、

(107) をなしかはげら　第十圖(4)(♂)

學名 Nemura japonica Mats.

昆蟲學上ノ地位　積翅蟲科

體ハ黑色、頭ハ黃褐、前頭ハ黑色、後頭ニハ黑紋ヲ散在ス、觸角ノ基部黃色、末端ニ至ルニ從ヒ暗黑ナリ、前胸ハ黃色ニシテ背上ノ兩側ニ各一個黑色ノ太キ縱條アリ、前翅ハ翅底ニ近ク横脈ヲ有スレドモ前緣及ビ外緣ニ之レヲ缺ク、翅ハ透明ニシテ少シク暗色ヲ帶ビ、翅脈ハ(♂)黃褐(♀)黃色、後翅ハ前翅ヨリ短ナレドモ少シク廣ク、全體無色透明ニシテ唯ダ(♂)ノ外緣ニ於ケル翅脈ハ黃褐ヲ呈シ判然セリ、(♂)ハ尾端ニ黃色ノ廣キ葉狀附屬物ヲ有ス、脚ハ暗黃、腿節ノ外側ハ暗黑ナリ、此種類ハ早春河畔ニ普通ニシテ、靜止ノトキハ翅ヲ腹背上ニ置ク爲メニ甚ダ小形種ノ觀アリ、體長(♂)(♀)二分五厘内外、翅ノ開張七分乃至七分五厘、

(108) しろあり (白蟻)

第十圖 (7) (♂)

學名 Termes speratus Kolbe.

昆蟲學上ノ地位　白蟻科 (Termitidae)

體ハ黑褐ニシテ光澤アリ、頭ハ黑色、複眼ハ小ニシテ餘リ突出セズ、觸角ハ短カク稍ヤ連鎖狀ヲ呈シ暗黃ナリ、前胸ハ黃色、翅ハ半透明ニシテ少シク暗色ヲ帶ビ、前緣脈ハ暗褐、他ノ翅脈ハ稍ヤ透明ニシテ判然セズ、前後翅畧ボ同樣ノ構造ナリ、腹部ハ扁平ニシテ長楕圓形ヲ呈シ黃褐ノ短毛アリ、幼蟲ハ白色ナリ故ニ白蟻ノ名アリ、此種類ハ普通蟻同樣ニ一社會ヲ組織シ其内ニ兵卒、職蟻等アリ時ニ茶樹ノ根邊ニ營巣シ大害ヲ加フルコトアリ、札幌近傍ニモ產スル普通種ナリ、體長一分二厘、翅ノ開張五分、

(109) もんかげろう　第十圖 (8) (♀)

學名 Ephemera strigata Eat.

昆蟲學上ノ地位　蜉蝣科 (Ephemeridae)

體ハ(♂)暗黄、頭ハ黒色、後頭ハ黄色、觸角ハ黄白、胸背ハ光澤アル黒褐ニシテ兩側ニ黒色ノ縱條アリ、前翅ハ透明ニシテ少シク暗色ヲ帶ビ、翅脈ハ暗褐ナリ、中央ニハ一個暗褐ノ太キ横條アリテ後縁ニ達セズ、後翅ハ甚ダ小サク、翅底ノ前縁ハ三角形ヲナシテ著シク突出シ、外縁及ビ内縁ハ暗色ナリ、各腹節ノ兩側ニハ各二個暗色ノ斜條アリテ上方ニアルモノハ細シ、尾端ニハ三個ノ長キ尾毛アリテ暗黄ヲ呈シ、關節ノ接合部ハ多少暗色ヲ帶ブ、脚ハ黄色、前肢ハ發達シテ甚ダ長ク、其轉節及ビ基節ハ黄色ニシテ他ハ暗色ナリ、(♀)ハ遙ニ大キク、翅ハ透明、中央ニ於ケル暗褐ノ横紋ハ細シ、體ハ黄色ナリ、此種類ハ札幌近傍ニ最モ多ク六月下旬山間ノ小川上ニ普通ナリ、常ニ空中ヲ上下シ一種固有ノ飛方ヲナス、體長(♂)五分(♀)六分内外、翅ノ開張(♂)一寸二分(♀)一寸五分内外、

(110) すかしばかげろう　第十圖 (12) (♂)

學名 Ephemera japonica M'L.

昆蟲學上ノ地位　蜉蝣科

體ハ黄白、頭頂ハ凹陷ス、觸角ハ短カク末端ハ白色、胸部ハ黄白ニシテ斑紋ヲ有セズ、前翅ハ無色透明、翅脈ハ黒褐、前種ノ如ク中央ニ横條ヲ有セザルモ少シク其跟跡アリ、後翅モ亦無色透明、前

縁ノ翅脈ハ黄白ニシテ判然スレドモ後縁ニアルモノハ無色ナルヲ以テ判然セズ、各腹節ノ兩側ニハ各一個黒色ノ細キ斜條ヲ裝フ、三個ノ尾毛ハ甚ダ長ク黄褐ニシテ各關節ノ接合部ハ暗褐ヲ帶ブ、脚ハ黄色 前肢ハ其基部ヲ除キ暗褐ナリ、此モ亦前者同樣ニ河上ニ普通ナル種類ナレドモ現出時期ハ遲ク八月頃ナリ、體長(♂)(♀)五分乃至六分、翅ノ開張一寸一分乃至一寸三分、

(111) ふたをかげろう　第十圖(9)(♂)

學名 Siphlurus sapporensis Mats.

昆蟲學上ノ地位 蜉蝣科

體(♂)ハ光澤アル暗褐、腹部ハ暗黄色、前翅ハ無色透明、翅底ハ少シク暗黄ヲ帶ブ、翅脈ハ黄褐、前縁ニアルモノハ黒褐ヲ呈シ太クシテ恰モ黒褐紋ヲ散在セルガ如シ、前縁ノ外縁ニ近キ部分ハ暗褐ニシテ黒褐ノ横脈多シ、後翅ハ小ニシテ前縁ノ基部ニ三角形ノ附屬物アリ、其上方ハ前翅同樣ニ暗黄ナリ、前翅ハ黒褐、中後ノ兩肢ハ黄褐、腹背ハ黄褐ニシテ腹下ハ淡色ナリ、二個ノ尾樣附屬物ハ暗色ニシテ遙ニ體ヨリ長ク、其下方ニアル二個ノ小附屬物ハ四節ヨリ成リ暗色ヲ呈ス、(♀)ニアリテハ複眼ハ小サク、體ハ赤褐ヲ呈シ、前翅前縁ノ横脈ハ黒色ニシテ其數多ク且ツ判然セリ、此種類ハ札幌地方ニテハ早春最モ普通ナリ、體長(♂)(♀)四分內外、翅ノ開張九分乃至一寸、

(112) しろはらかげろう　第十圖(10)(♂)

學名 Baetis binoculatus L.

昆蟲學上ノ地位　蜉蝣科

體(♂)ハ黑色(♀)黑褐、前翅ハ透明ニシテ少シク白色ヲ帶ビ、翅脈ハ白色ナリ、後翅ハ退化シテ頗ル小形、第一腹節ハ黑褐、第二ハ黃色、次ノ四節ハ白色、尾端ハ黑色、二個尾樣狀ノ附屬物ハ白色、脚ハ黃色ナリ、此種類ハ本邦最小ナル蜉蝣ノ一ニシテ中夏普通ナリ、體長(♂)(♀)二分四厘內外、翅ノ開張五分內外、

(113) ふたばかげろう　第十圖(11)(♀)

學名　Cloëon dipterum L.

昆蟲學上ノ地位　蜉蝣科

體(♂)ハ暗褐、胸側ハ淡色、前翅ハ透明テレドモ少シク暗色ヲ帶ビ、後緣ニハ暗色ノ短カキ細緣毛ヲ裝フ、後翅ヲ缺ク、脚ハ暗黃、前肢ハ中肢ト畧ボ同長、尾樣狀ノ二附屬物ハ長クシテ灰白ヲ呈シ基部ノ半分ニハ暗色ノ輪環アリ、(♀)ニアリテハ體肢共ニ黃赤、前翅ノ前緣ニハ黃褐紋アリ、此ハ八九月頃ニ出ヅル小形ノ種類ニシテ全ク後翅ヲ缺クヲ以テ他ト區別スルコト難カラズ、體長(♂)(♀)二分內外翅ノ開張(♂)四分五厘(♀)五分、尾樣附屬物三分、

(114) しりあげむし　第十一圖(1)(♂)

學名　Panorpa japonica Thunb.

昆蟲學上ノ地位　擧尾蟲(シリアゲムシ)科　(Panorpidae)

體ハ光澤アル黑色、口吻ハ細クシテ垂直ニ下方ヲ向キ、觸角ハ長ク、翅ハ白色ニシテ少シク黃色ヲ帶ビ稍ヤ中央ニ近ク太キ黑褐ノ斜帶アリテ其兩側ニハ更ニ一個若クハ二個同色ノ小枝ヲ出ス、但シ後翅ニアリテハ其斜帶ノ外側ニ一枝アリ、翅端モ亦廣ク黑褐ナリ、以上此二黑紋ノ間ニアル翅脈ハ黃色ニシテ他ハ黑褐ナリ、脚ハ黃色、基節ハ黑褐、雄ノ腹部ハ九節ヨリ成リ長クシテ尾端ニハ此科獨特ノ鋏子ヲ有シ且ツ常ニ之レヲ上方ニ舉グ、第三腹節ノ背上ニハ其後緣ニ當リ疣狀突起ヲ有シ其兩側ニ黃色ノ粗毛ヲ裝フ、鋏子ノ基部ニハ各一個三角形ヲナセル突出物アリ、體長(♂)六分五厘(♀)六分、翅ノ開張(♂)(♀)一寸二分乃至一寸三分五厘、

(115) べっかふおりあげむし　第十一圖(2)(♂)

學名　Panorpa Klugi M'l

昆蟲學上ノ地位　舉尾蟲科

體ハ鼈甲樣ノ黃褐ヲ呈シ、頭ハ黑褐ニシテ光澤ヲ有シ、口吻ハ黃褐、其末端ニ至ルニ從ヒ淡色ヲ呈ス、觸角ハ黑褐ニシテ短毛ヲ密生ス、中胸背ノ前方ニ弓狀ヲナセル黑横條アリ、翅ハ鼈甲色ニシテ稍ヤ透明ニ近ク、翅ノ中央ニ近ク細キ黑褐ノ一横條ヲ有シ其ノ內側ニ一個若クハ二個黑褐ノ點紋ヲ有ス、後翅ニハ黑褐ノ點紋一個アリテ末端ハ廣ク黑褐ナリ、翅脈ハ黃色、腹部ハ前翅ヨリ少シク長ク、第三腹節ノ背上ニ於ケル後緣ハ著シク突出ス、尾端ノ鋏子ハ長ク互ニ相交叉ス、脚ハ黃色、刺ハ黑色ナリ、(♂)六分乃至六分五厘(♀)五分內外、翅ノ開張一寸五厘內外、

(116) ふたすぢおりあげむし　第十一圖 (3) (♂)

學名 Panorpa leucoptera Uhl.

昆蟲學上ノ地位　擧尾蟲科

頭頂ハ光澤アル黑色、後頭、觸角ノ基節及ビ口吻ハ黃色、後者ハ其上部ニ黑色ノ判然セル二條ヲ縱走ス、觸角ハ黑色ニシテ長シ、前胸背ニハ黑色ノ二條ヲ横走シ、中後ノ兩胸背ハ黑色ニシテ其中央ハ黃色ナリ、翅ニハ黑條ヲ有セズ唯ダ數個ノ黑紋ヲ有シ又其紋ノ小數ナルモノモアリ、翅脈ハ重ニ黑色ナレドモ內ニ黃色ナルモノモアリ、但シ横脈ハ盡ク黃色ナリ、脚ハ黃色ナレドモ少シク綠色ヲ帶ビ、蹠節端ハ褐色ナリ、腹部ハ黃褐若クハ黑褐ニシテ尾端ハ黃色、鋏子ハ甚ダシク膨大シ其末端ノ爪鉤ハ小ニシテ黑色ヲ呈シ更ニ其尖端ハ赤褐ナリ、此鋏子ハ關節ヲ有シ其直上ノ內方ニ各一個棘狀ノ突起アリテ其末端互ニ相接ス、此種類ハ札幌地方ニハ最モ普通ナレドモ東京地方ニ産スルヲ見ズ、體長(♂)(♀)四分五厘內外、翅ノ開張(♂)一寸一分(♂)一寸二分內外、

(117) ぷらいやおりあげむし　第十一圖 (4) (♀)

學名 Panorpa Pryeri Mc L.

昆蟲學上ノ地位　擧尾蟲科

體ハ光澤アル黑色、口吻ノ兩側ハ黃色、前胸背ノ後緣、中後ノ兩胸背ヲ縱走セル一條及ビ横紋ハ黃色、翅ハ白色半透明ニシテ黑紋ヲ裝ヒ中央ニ一個黑色ノ斜條ヲ横走シ、前翅ノ基部ニハ三個黑色ノ

縱條アリ、其前緣ニアルモノハ最モ廣ク、第二ハ中央ヲ走リ第三ハ翅底ニ近キ後緣ニアリ、但シ後翅ニハ前緣ノ一縱條ノミニシテ他ノ二者ヲ缺ク、中央ノ斜條ト前緣ノ縱條トノ間ニ一個半横線アリ、尚外緣ニ近ク黑紋ヲ有スレドモ亦之レヲ缺クモノアリテ此紋ハ不定ナリ、(♂)ノ鋏子ハ黃褐、其爪鈎ノ末端ハ黑色、脚ハ暗黃、跗節ハ稍ヤ暗色、此ハ東京地方ニ稀ナラザル種類ナリ、體長(♂)五分五厘(♀)四分、翅ノ開張(♂)(♀)一寸一分乃至一寸二分、

(118) まだらしりあげむし　第十一圖(6)(♀)

學名 Panorpa communis. L.

昆蟲學上ノ地位　擧尾蟲科

體ハ黑色、口吻ハ黃色、雌ハ兩側ニ二個暗色ノ縱條ヲ走ラス、口吻端ハ褐色、觸角ハ黑色ニシテ基節ハ黃色、胸背ニ黃條ヲ縱走スルモノト又之レヲ縱走セザルモノトアリ、翅ハ白色半透明ニシテ少シク黃色ヲ帶ビ黑紋ヲ散在ス、翅脈ハ黑褐ナリ、之レヲ詳說スレバ翅底ニ近ク一個ノ小點ヲ裝ヒ之レニ次テ一個凹凸アル横條ヲ有シ、此外側ニ一個ノ半横線アリ、更ニ此外側ニハ一個ノ太キ斜條アリテ此モノ外側ニ於テ分支シ小枝ヲ後緣ニ送ル、翅端ハ黑色ニシテ其上ニ三個乃至六個ノ白色紋アリ尤モ此ハ時々變形スルコトアリ、(雄)ハ腹部黃色、(雌)ハ唯ダ腹部ノ兩側ニ於テ黃色ナリ、(雄)ノ鋏子ハ小ニシテ爪鈎ハ細ク末端ハ相交叉ス、脚ハ黃色ナレドモ(雌)ニアリテハ間々暗褐ヲ呈スルコトアリ、此種類ハ東北地方ニ稀ナラザル種類ニシテ札幌農學校助手石田昌人氏ハ初メテ青森縣遠和田湖畔ニ之レヲ捕獲セリ、體長(♂)(♀)四分五厘內外、翅ノ開張一寸乃至一寸一分、

(119) かもごきありあげむし　　第十一圖 (5) (♀)

學名 Bittacus sinensis Walk.

昆蟲學上ノ地位　擧尾蟲科

體ハ黄褐、頭頂ハ黒褐、觸角ハ細小ニシテ之レニ長毛ヲ裝フ、翅ハ鼈甲様ノ黄色ニシテ稍ヤ透明ニ近ク、翅脈ハ黄褐、後翅ハ前翅ヨリ少シク短小、腹部ハ圓柱形ニシテ基部細ク雌ノ末端ハ棍棒狀ニ膨大ス、雄ハ尾端ニ鋏子ヲ有セズ唯ダ其局部ハ甚ダシク膨大シ上方ニアル附屬物ハ中央ニ於テ二分セリ、又上方ニアル附屬物ハ稍ヤ卵形ヲ呈シ其末端ニ生殖器ヲ具フ、脚ハ甚ダ長ク腿節及ビ脛節ノ末端ハ黒褐、脛節端ニハ二個ノ長刺アリ、又跗節端ニハ一爪ヲ供フ、其飛翔ノ狀、其長脚ヲ有スルコト等ハ宛然大蚊ト異ナラズ故ニ此名アリ、唯ダ後翅ヲ有セルヲ以テ區別スルコト難カラズ、東京附近ニハ普通ナリ、體長(♂)(♀)六分、翅ノ開張一寸三分内外、

(120) むらさきこびけら　　第十二圖 (11) (♀)

學名 Holostomis regina M'L.

昆蟲學上ノ地位　石蠶(トビケラ)科 (Phryganidae)

體ハ暗褐、頭ハ稍ヤ横卵形ニシテ三個黄白ノ單眼ヲ有シ、觸角ハ太ク連鎖狀ヲナシ、顏、小腮鬚、及ビ下唇鬚ハ黄褐、前胸短小ニシテ横置セラレ剛毛ヲ密生ス、中後ノ兩胸ハ大ニシテ剛毛ヲ粗生ス前翅ハ大ニシテ稍ヤ長楕圓ニ近ク、地色ハ黄色、黒褐紋ヲ散在ス、前縁紋ハ大キク、外縁ハ黒褐ニ

シテ黄色ノ小紋ヲ散在シ、翅底ニ近ク剛毛ヲ粗生ス、後翅ハ黒紫ニシテ外縁ニ近ク黄色ノ大紋ヲ裝ヒ、翅底ニ細キ長毛ヲ密生ス、胸下部及ビ脚ハ黄色、脛節及ビ跗節ハ黒色、腹部ハ光澤アル灰黒ニシテ雌ノ尾端ハ太シ、此ハ本邦最大ノ種類ニシテ其飛翔ノ狀宛然蛾ノ如ク、靜止スルトキハ翅ヲ屋狀ニ疊ミ、好ンデ前翅ト同色ノ樹幹ニ靜止スル爲メ之レヲ發見スルコト容易ナラズ、體長(♂)六分五厘(♀)七分五厘内外、翅ノ開張(♂)(♀)二寸乃至二寸三分、

(121) ごまふこびけら　第十二圖(2)(♀)

學名 Holostomis melaleuca M'L.

昆蟲學上ノ地位　石蠶科

體ハ黒色、第一及ビ第二小腮鬚節ノ末端ハ黄白、觸角ハ太ク、其間ニ剛毛ヲ密生ス、前翅ハ黄白透明ニシテ之レニ黒色ノ大紋ヲ散在ス、後翅ハ白色ニシテ稍ヤ透明ニ近ク、後縁及ビ外縁ハ黒色、前縁ニハ二個ノ黒紋アリテ外縁ニ近キモノハ小ナリ、翅脈ハ黄白、脚ハ黒褐、之レニ光澤アル黄褐ノ短毛ヲ密生ス、腹部ハ黒褐、之レニ白粉ヲ散布セリ、此種類モ前種同樣ノ性質ヲ有シ其斑紋ノ著明ナル爲メ之レヲ發見スルコト難カラズ、體長(♂)五分五厘(♀)六分内外、翅ノ開張(♂)(♀)二寸一分乃至二寸三分、

(122) つまぐろこびけら　第十二圖(3)(♂)

學名 Phryganea japonica M'L.

昆蟲學上ノ地位　石蠶科

體ハ黃褐、單眼ハ黃色ニシテ其基節ハ黑色、觸角ノ基節及ビ末端ハ黃色ニシテ中央ハ黑褐ナリ、頭、小腮鬚及ビ下脣鬚ノ基節ハ黃色、頭頂及ビ前胸背ニ白色及ビ黃色ノ剛毛ヲ密生ス、中胸背ハ大ニシテ其兩側ニ各一個ノ黑褐紋アリ、前翅ハ不透明ニシテ短毛ヲ密生シ、前緣ハ黃褐ニシテ小褐紋ヲ散在ス、翅ノ中央ニハ一個ノ太キ黑色ノ縱條アリ、內緣及ビ後緣ハ灰褐ニシテ褐色ノ綾紋ヲ裝フ、翅ヲ疊ムトキハ斜ニ後方ニ截斷セラレタルノ觀ヲナス、後翅ハ濃黃ニシテ外緣ハ暗黑ヲ呈シ短毛ヲ密生シ爲メニ不透明ナリ、胸腹ノ下方及ビ脚ハ黃色ニシテ脛節及ビ跗節ノ大部ハ黑褐ナリ、尾端ニハ後方ニ突出セル二個ノ長刺アリ、此種類モ前種同樣ニ大形種ノ一ニシテ水邊ニハ稀ナラズ、體長(♂)(♀)六分內外、翅ノ開張一寸八分內外、

(123) ゑぐりとびけら　　第十二圖 (4) (♂)

學名 Glyphotaelius admorsus M'L.

昆蟲學上ノ地位　剳石蠶科(エグリトビケラ) (Limnophilidae)

體ハ黃色、頭頂ハ平タク黃褐ニシテ之レニ白色ノ短毛ヲ粗生ス、觸角ハ太ク基部ハ黑褐、但シ基節ノ下部ハ黃色、前胸背ハ四角形ニシテ中央ニ一個ノ縱溝ヲ有シ白色ノ短毛ヲ裝フ、中胸ハ赤褐ニシテ兩側ハ黑褐ヲ呈シ中央ニハ顆粒狀ノ小突起ヲ散在ス、前翅ハ長ク黃褐ニシテ半透明、中央ニ一個白色ノ斜條アリ、外緣ハ波狀ニ剳ラレタルノ觀ヲ呈シ、內緣脈及ビ副內緣脈ニ沿フテ黑紋ヲ並列ス、後翅ハ透明、翅脈及ビ外緣ハ黃色ナリ、脚ハ黃色ニシテ黑刺ヲ裝フ、此種類モ亦大形ノ一ニシテ水

邊ニ稀ナラズ、體長(♂)(♀)六分乃至七分、翅ノ開張二寸內外、

(124) よつめこびけら　第十二圖(5)(♀)

學名 Perissoneura paradoxa M'L.

昆蟲學上ノ地位　毛石蠶科 (Sericostomatidae)

體ハ暗褐、頭ハ短カクシテ横置セラレ、觸角ハ長ク基節ハ太クシテ長毛ヲ密生ス、小腮鬚ハ著シク發達シ之レニ長毛ヲ密生ス、胸背ハ黑褐毛ヲ密生シ、中胸背ニハ黃褐ノ突起アリ、翅ハ暗褐ニシテ前後兩翅ニ各一個卵形ノ白紋ヲ裝フ、前翅ノ前緣ニハ横脈アリ、後翅ハ前翅ヨリ少シク短ナレドモ少シク幅廣ナリ、前後翅長毛ヲ密生シ不透明ナリ、脚ハ灰褐ニシテ光澤アリ、此種類ハ一見蛾ノ如キ觀ヲナシほたるがニ似タル所アリ、體長(♂)(♀)五分內外、翅ノ開張一寸二分內外、

(125) ひげながこびけら　第十一圖(6)(♂)

學名 Stenopsyche griseipennis M'L.

昆蟲學上ノ地位　長角石蠶科 (Leptoceridae)

體ハ黃褐、頭ハ大ニシテ横置セラレ、單眼ハ黃色ニシテ其基部黑色、觸角ハ黃色、略ボ體長ノ二倍アリ、各節ノ末端ハ褐色ナリ、基節ハ大ニシテ球桿狀ヲナス、小腮鬚ハ細長、頭頂及ビ前胸背ニ白毛ヲ密生ス、中胸背ノ兩側黑褐ナリ、前翅ハ細長、灰色半透明ニシテ微小ノ短毛ヲ裝ヒ、灰褐及ビ黑色ノ小紋並ニ綫紋ヲ散在ス、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ短カシト雖モ之レニ反シテ幅廣ク翅底ニ於テ前

翅ノ二倍以上アリ、脚ハ黃色、中肢ハ側扁ニシテ其脛節ニ黑褐紋ヲ有シ第一跗節ノ大部モ亦黑褐ナリ、腹部ハ光澤アル灰色ニシテ雄ノ尾端ニハ長キ二個ノ附屬物アリ、此種類ハ本邦普通種ノ一ニシテ札幌地方ニテハ夏期何レノ日モ之レヲ得ルニ難カラズ、體長(♂)四分五厘(♀)五分內外、翅ノ開張(♂)一寸五分(♀)一寸七分內外、

(126) すぢとびけら　第十一圖(7)(♀)

學名　Grammotaurius brevilinea M'L.

昆蟲學上ノ地位　剳石蠶科　(Limnophilidae)

體ハ黃褐、顏ハ黃色、頭頂ハ平タク、單眼ハ廣ク相隔離ス、觸角ハ太ク其節ハ頭ヨリモ長シ、前胸背ハ黃白毛ヲ粗生シ中央ニ一個ノ縱溝アリ、中胸背ニモ同樣ノ縱溝アリテ其兩側ハ黑褐ナリ、前翅ハ淡黃褐ニシテ灰色紋ヲ散在ス、內緣脈ニ沿フテ其基部ニ黑條アリ、又副內緣脈ニ沿フテ二個ノ短カキ黑條アリ、外緣ハ斜斷セラレタルノ觀ヲ呈ス、後翅ハ透明ニシテ翅脈ハ黃色ナリ、胸下、脚及ビ腹下部ハ黃色、此ハ札幌地方ニ稀ナラザル種類ニシテ九月頃ニ出ヅルモノ多シ、體長(♂)(♀)五分內外、翅ノ開張一寸四分內外、

(127) しまとびけら　第十二圖(8)(♀)

學名　Macronema radiatum M'L.

昆蟲學上ノ地位　縞石蠶科(シマトビケラ)　(Hydropsychidae)

體ハ黒色、顔ハ黄色、觸角ハ頗ル長ク體長ノ四倍以上ニ達シ大部ハ褐色、基部ニ近キ部分ハ黒褐、基節ハ黄色、基節ノ後方ニ當リ二個瘤狀ノ突起アリテ之レニ黄褐毛ヲ粗生ス、小腮鬚ハ黄色ニシテ甚ダ長シ、前胸ハ黄色ニシテ黄毛ヲ密生ス、前翅ハ灰黄ニシテ黒紋及ビ黒條アリ、翅ニハ四個ノ縱條アリテ第二ノモノハ翅底ニ達セズ、前縁ノ中央ニハ二個ノ黒紋アリテ外方ニアルモノハ第一縱條ニ相合ス、後縁ノ中央ニモ同樣ノ黒紋アリテ此モノ又第一縱條ト相合ス、縁紋ハ廣クシテ黒色ナリ、外縁ニハ四五個ノ縱條アリ、後翅ハ透明ニシテ暗色ヲ帶ブ、脚ハ淡黄ニシテ基部ハ黒色、脛節ニハ長刺ヲ裝フ、此種類ハ東京地方ニ稀ナラザル種類ニシテ又滿洲ニモ產ス、體長(♂)三分(♀)三分五厘、翅ノ開張(♂)(♀)一寸一分乃至一寸三分、

(128) ひめもんとびけら 第十二圖(9)(♀)

學名 Limnophilus affinis McL.

昆蟲學上ノ地位 刳石蠶科

體ハ暗褐、觸角ニハ黄色ノ輪環アリ、頭頂及ビ前胸ニハ黒褐ノ剛毛ヲ裝フ、複眼ハ金色ヲ帶ブ、中胸背ノ中央ニハ一個ノ縱溝アリ、前翅ハ灰色ニシテ小黒點ヲ散在シ、翅ノ中央ニ一個透明ノ大紋アリテ其外側ニモ亦同樣ノ一紋アリ、縁紋ハ大ニシテ暗色ヲ呈シ外縁ハ斜ニ截斷セラレアリ、後翅ハ稍ヤ透明ニシテ少シク灰色ヲ帶ブ、脚ハ黄褐ニシテ刺毛ハ黒色、腹部ハ黒褐ニシテ兩側ニ淡色ノ一條ヲ縱走ス、此ハ本邦最モ普通ナル種類ニシテ早春河畔ニ捕獲シ得ベシ、又歐洲及ビ滿洲地方ニモ普通ナリト云フ、體長(♂)三分(♀)三分五厘、翅ノ開張(♂)九分(♀)一寸內外、

(129) うすばきこびけら
第十二圖 (10) (♀)

學名 Limnophilus correptus M'L.

昆蟲學上ノ地位　刳石蠶科

體ハ黄褐、頭頂ハ平タク白色ノ短毛ヲ粗生ス、觸角ニハ不明ナル淡色ノ輪環アリ、前胸背ニハ白色及ビ黄褐ノ剛毛ヲ密生ス、前翅ハ半透明ニシテ黄褐、中央ニハ甚ダシク傾斜セル太キ透明ノ一條アリ、外緣及ビ內緣ハ褐色ヲ呈シ其上ニ小白紋ヲ散在ス、後翅ハ透明ニシテ少ク黄色ヲ帶ビ外緣ハ翅脈共ニ黄色ナリ、體下部及ビ脚ハ黄色ニシテ刺ハ黑色ナレドモ前肢ニアルモノハ黄色ナリ、此ハ札幌近傍ニ稀ナラザルノ種類ニシテ又滿洲地方ニモ產ス、体長(♂)(♀)五分內外、翅ノ開張一寸三分內外、

(130) せぐろこびけら
第十二圖 (13) (♀)

學名 Limnophilus fuscovittatus Mats.

昆蟲學上ノ地位　刳石蠶科

體ハ赤褐ニシテ、中胸背ノ中央ニ一個黑褐ノ縱條アリ、觸角ハ黑褐ニシテ末端ニ至リ黄褐トナリ黄色ノ輪環アリ、前翅ハ暗色ニシテ半透明、內緣及ビ後緣ノ大部ハ黑褐ヲ呈シ其上ニ黄色ノ小點ヲ散在ス、翅脈ハ黑褐及ビ灰色ノ斑ヲナシ緣紋ハ少シク濃色ヲ帶ブ、翅ノ中央ニアル透明紋ハ不明ナリ、後翅ハ透明ナレドモ少シク暗色ヲ帶ブ、胸下及ビ脚ハ黄色ニシテ後者ハ黑刺ヲ裝ヒ、各跗節端ハ黑褐ナリ、腹部ハ黑褐ニシテ兩側ハ黄色ヲ呈ス、此ハ中國地方ニ普通ナル種類ニシテ殊ニ晩秋多ク羽

化スルヲ見ル、體長(♂)(♀)五分內外、翅ノ開張一寸二分內外、

(131) あみめこびけら　第十二圖(12)(♀)

學名 Neuronia fluvipes Mats.

昆蟲學上ノ地位　石蠶科 (Phryganidae)

體ハ黑色、頭頂ニハ三個黃色ナル大形ノ單眼ヲ有シ、觸角ハ太クシテ短カク、小腮鬚ハ黃褐、前翅ニハ微小ノ細毛ヲ粗生ス、半透明ニシテ少シク黃色ヲ帶ビ黑褐ナル縱脈間ニ黑褐ノ横條ヲ散在シ爲メニ網狀脈ヲ呈セルガ如シ、內緣翅底ニアル縱脈ハ黑色ナリ、後翅ハ前翅ト同色ナレ圧翅脈ハ黃色ニシテ横紋ヲ有セズ唯ダ外緣ニ近ク餘リ判然セザル暗色ノ横紋アリ、又前緣ノ中央ニ暗色紋ヲ装フ、前後兩翅ノ外緣ハ尖小ナリ、脚ハ暗黃ニシテ刺ハ黑色ナリ、此ハ東京地方ニハ稀ナラズ、體長(♂)(♀)四分五厘內外、翅ノ開張一寸三分內外、

(132) ひめあみめこびけら　第十二圖(11)(♂)

學名 Neuronia apicalis Mats.

昆蟲學上ノ地位　石蠶科

體ハ黑色、頭頂及ビ前胸背ニハ金色ノ剛毛ヲ密生ス、觸角ハ太シ、小腮鬚ハ黃色、前翅ハ黃色ニシテ半透明、前種同樣ニ黑色ノ網狀紋ヲ装ヘドモ外緣ハ黑色ニシテ其緣ニ黃色紋ヲ並列ス、尚前緣及ビ後翅ノ中央ニ近ク黑紋アリ、後翅ハ黃色ニシテ外緣ハ黑色、前緣ニハ二個ノ黑紋アリテ內方ニア

ルモノハ大ナリ、前後兩翅ノ外緣ハ前種ノ如ク尖小ナラズ、脚ハ黑褐ニシテ脛節及ビ跗節ハ黃褐ナリ
此ハ札幌地方ニ於ケル山間ノ小川ニ普通ナル種類ニシテ、體長(♂)(♀)三分內外、翅ノ開張九分內外、

(133) うすばかげろう　第十三圖(1)(♀)

學名　Myrmeleon micans M'L.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉(ウスバカゲロウ)科　(Myrmeleonidae)

體ハ黑褐ニシテ頭頂ヨリ中胸背ニ涉リテ黃色ノ一條ヲ縱走ス、口部ハ黃色、觸角ハ黑ク第一腹節ニ達ス、前翅ハ透明ニシテ黑褐ノ翅脈ヲ有シ其前緣ニアル三個ノ太キ縱脈ハ黃色、緣紋ハ卵形ニシテ白色ナリ、後翅ハ前翅ヨリ細小ナレドモ少シク長シ、白色ノ緣紋ハ前翅ニ比シ遙ニ小形ナリ、胸下及ビ脚ハ黃色ニシテ跗節及ビ爪ハ黑色ナリ、此ハ本邦何レノ地ニ至ルモ普通ナル種類ニシテ東京地方ニテハ七月上旬ニ出ヅルモノ最モ多シ、體長(♂)(♀)一寸二分內外、翅ノ開張三寸乃至三寸三分、

(134) こうすばかげろう　第十三圖(3)(♀)

學名　Myrmeleon formicarius L.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉科

體ハ灰褐ニシテ黃白ノ短毛ヲ密生ス、頭及ビ觸角ハ黑色、後者基節ノ大部及ビ基部ハ黃白、複眼ノ周圍モ亦黃白ナリ、口部ハ黃色、前胸背ノ前兩側ハ黃色　翅ハ透明ニシテ翅脈ハ黃色ト黑色トノ斑ヲナス、前緣ノ横脈ハ黑色ニシテ翅底ニアルモノハ黃色ナリ、翅脈ニ黑色ノ剛毛アリ、緣紋ハ黃色、

前翅縁紋ノ内側ニハ暗色紋アリ、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ細小、腹部ニ黄紋ヲ有セズ唯ダ第五節ヨリ尾節ニ至ル迄各節ノ後縁ハ黄色ナリ、脚ハ黒色ニシテ轉節及ビ腿節ノ基部並ニ其外側ハ黄色、脛節ノ外方ハ淡黄、爪ハ黄色ナリ、此ハ歐洲ニモ普通ナル種類ニシテ其分布甚ダ廣ク支那、滿洲地方ニモ發見セラレ本邦ニテハ餘リ多カラズ、體長(♂)九分(♀)一寸内外、翅ノ開張(♂)二寸二分乃至二寸三分、

(135) こかすりうすばかげろう　第十一圖(9)(♀)

學名 Myrmeleon contubernalis M'L.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉科

體ハ黒色、觸角ハ赤褐ニシテ黒色ノ輪環アリ、顔及ビ兩鬚ハ黄色、頭頂ハ膨起シ數個ノ黄紋アリ、前胸背ノ中央ニ横溝ヲ有シ六紋アリテ二列ニ並列セラル、又中胸背ニモ同様紋アレドモ其數少ナシ、翅ハ透明ニシテ翅脈ハ黄色及ビ黒色ノ斑ヲナシ又稍ヤ外縁ニ近ク黒褐紋アリ、前縁ノ横脈ハ盡ク黄色ヲ呈ス、後翅ハ前翅ヨリ細ク翅端尖小ナリ、腹部ハ黒色ニシテ各節ノ後縁ハ大概黄色ヲ呈シ、又背上ニハ斷續セル黄色ノ背線アリ、尚腹節ノ兩側ニ黄紋ヲ有スルモノアリテ特ニ第三節ニアルモノ最モ判然セリ、脚ハ黄色、黒紋ヲ散在シ白色ノ長毛ヲ裝ヒ前中脛節ノ外側ニ各二個ノ黒紋アリ、蹠節端ハ黒色、爪ハ黄褐、此種類ハ餘リ多カラズ、體長(♂)(♀)一寸二分内外、翅ノ開張二寸六分内外、

(136) まだらうすばかげろう　第十一圖(8)(♂)

學名 Glenurus japonicus M'L.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉科

體ハ黄色、胸部ノ兩側ハ黒褐、觸角ハ長クシテ前翅ノ三分ノ一以上ニ達シ、末端ハ杓子狀ニ膨大ス、觸角ノ基部及ビ其中間ハ黒色、前翅ハ透明、翅脈ノ大部ハ黄色、其内黒褐ヲ呈スルモノアリ、翅底及ビ外縁ニハ黒褐紋アリテ縁紋ノ處ニ黒褐ノ大紋アリ、又後縁ノ中央ニ半圓形ヲナセル黒褐條アリ、後翅ハ細ク中央ヨリ少シク外方ニ當リ黒褐ノ大紋アリ又外縁ニモ小形ナル黒褐紋アリ、脚ハ黄色、腿節及ビ脛節ノ外側並ニ跗節端ハ黒褐ナリ、此種類ハ餘リ多カラズ、體長(♂)(♀)一寸内外、翅ノ開張二寸三分乃至二寸五分、

(137) はしうすばかげろう　第十二圖(2)(♀)

學名　Glenurus pupillaris Gerst.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉科

體ハ暗褐、頭頂ハ光澤アル黒色、前頭ハ黄色、觸角間ハ黒色ナリ、顔ハ黄色、觸角ハ長ク末端ハ黒褐、翅ハ透明ニシテ少シク黄色ヲ帶ビ圓キ白色ノ縁紋ヲ裝フ、翅脈ハ重ニ黄色ニシテ又黒色ノ斑ヲナスモノアリ、前縁ノ横脈ハ全ク黄色ナリ、後縁ノ中央ニ短カキ黒色ノ斜條アリ、又外縁ニ近ク縁紋ノ下方ニ當リ一個ノ黒點ヲ裝フ、尙後縁ノ外縁ニ近キ處ニ長キ白色紋アリ、後翅ハ前翅ヨリ細ク末端ニ近ク黒色ノ大紋アリ、尙外縁モ亦暗色ヲ呈ス、各腹節ノ後縁ハ黄色ナレドモ尾端ニ至ルニ從ヒ餘リ判然セズ、胸下及ビ脚ハ黄白ニシテ腿節、脛節及ビ跗節端ハ暗色ナリ、腿節及ビ脛節ノ外側ニハ黒點ヲ散在シ之レヨリ黒毛ヲ生ズ、此ハ本邦普通ナル種類ナリ、體長(♂)(♀)一寸二分内外、翅ノ

開張二寸四分內外、

(138) おほうすばかげろう　第十三圖 (4) (♀)

學名 Acanthaclisis japonicus Hag.

昆蟲學上ノ地位　蛟蜻蛉科

體ハ暗灰色、觸角ハ黑褐ニシテ基部ハ黄色、黄褐ノ輪環アリ、顏ハ黄色、觸角ノ基部ニハ長白毛アリ、前胸背ニハ二個ノ廣キ横溝アリテ兩側ニハ黄紋アリ、中胸背ニハ三個灰色ノ縱條ヲ走ラシ中央ニアルモノ細シ、翅ハ透明、翅脈ハ黄色ト黑色トノ斑ヲナシ又不定ナル白紋及ビ黑紋ヲ散在ス、前翅ノ緣紋ハ黄色ニシテ小サク其內側ニ黑紋アリ、前緣ニハ五角形ノ細胞アリテ二列ニ排列ス、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ小形、緣紋ハ割合ニ大ナリ、胸下及ビ後胸背ニハ白色ノ長毛ヲ密生ス、腹部ニ斑紋ナク唯ダ第五及ビ第六節ノ腹下ニ黄紋ヲ裝ヒ基部ノ下方ニハ長キ白毛ヲ有ス、雄ハ第四節ノ背上ニ銀色ノ軟毛ヲ密生ス、脚ハ黑褐ニシテ基節及ビ腿節ノ基部ハ褐色、脛節ニハ黄紋アリ、基節ニハ長白毛ヲ密生ス、此ハ餘リ多カラザル種類ニシテ本邦此科ニ屬スル最大種ナリ、體長(♂)(♀)一寸五分內外、翅ノ開張三寸七分乃至四寸一分、

(139) きばねつのとんぼ　第十三圖 (5) (♂)

學名 Ascalaphus Ramburi M'L.

昆蟲學上ノ地位　長角蜻蛉(ヒゲナガトンボ)科 (Ascalaphidae)

體ハ黑色、頭ニハ二分セル大眼ヲ有シ、前頭及ビ顏ニハ黑褐ノ長毛ヲ密生ス、顏ノ兩側ハ黃色、觸角ハ長ク雄ニアリテハ其長サ略ボ前翅ト同長、雌ニアリテハ少シク短カク末端ハ杓子狀ニ膨大ス、前胸ハ甚ダ短カク其兩側ニ各一個ノ黃紋アリ、中胸背ニ八個ノ黃紋アリテ其內六個ハ中央ニ二列ヲナシテ排列ス、前翅ハ稍ヤ三角形ヲナシ透明ニシテ少シク暗黃ヲ帶ビ、翅底ハ黃色、翅脈及ビ緣紋ハ黑色、後翅ノ色ハ黑色ト黃色ト相半シ前緣ノ翅底ニ近キ部分及ビ中央ニ二叉セル縱條ハ黃色、尙翅脈ノ大部及ビ之レニ沿ヘル周圍モ亦黃色ナリ、中胸下ノ兩側ニ各二個ノ黃紋ヲ裝ヒ、腹部ハ黑色ニシテ長毛ヲ密生ス、脚ハ黑色ニシテ腿節及ビ脛節ノ大部ハ黃色、但シ後肢ノ腿節ハ唯ダ其末端ニ於テノミ黃色ナリ、雄ハ尾端ニ於テ內方ニ弓曲セル二附屬物ヲ有ス、此種類ハ東京近傍ニハ稀ナラザル種類ニシテ六月中旬ニ出ヅルモノ最モ多シ、此屬ノ特性ハ其翅狹クシテ稍ヤ三角形ヲナセルニアリ、體長(♂)六分(♀)七分五厘、翅ノ開張(♂)一寸七分(♀)二寸二分內外．

(140) つのとんぼ　第十三圖(6)(♂)

學名　Hybris subjacens Walk.

昆蟲學上ノ地位　長角蜻蛉科

體ハ黃褐、複眼ハ二分セルモ其溝ハ前者ノ如ク廣カラズ、顏ニハ長毛ヲ裝フ、觸角ハ黑褐、基部及ビ末端ノ杓子狀ニ膨大セル部分ハ黃色、胸背ハ黃色ニシテ兩側ハ黑褐、中胸背ノ中央ニハ二個ノ黑褐紋アリ、翅ハ透明、翅脈ハ黑褐、副前緣脈及ビ徑脈ハ黃色、緣紋ハ大ニシテ黑色ヲ呈シ其內ニ五個ノ橫脈ヲ有ス、前緣ノ末端ハ弓狀ニ曲リ外緣ハ稍ヤ三角形ヲナシテ尖ル、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ細

小、中胸下ニハ一個太キ黃色帶アリ、脚ハ光澤アル褐色ニシテ長キ黑褐毛ヲ裝フ、腹部ハ褐色、背上ニ太キ黃條アリテ相斷續セリ、雄ハ尾端ニ二個ノ太キ附屬物ヲ有シ少シク內方ニ曲ル、此種類モ亦東京地方ニハ稀ナラズ、此ハ前種ヨリ大キク、翅ハ廣クシテ前種ノ如ク三角形ヲナサズ、體長(♂)(♀)一寸一分內外、翅ノ開張二寸三分乃至二寸五分、

(141) おはつのとんぼ　第十三圖(7)(♀)

學名　Idricerus japonicus M'L.

昆蟲學上ノ地位　長角蜻蛉科

體ハ黑色、頭ニハ長キ黑毛ヲ密生シ顏ニ於ケルモノハ黃褐ナリ、觸角ハ長ク黑褐ニシテ杓子狀ニ膨大セル部分ハ黑色、額片上唇及ビ複眼ノ下方ハ黃色、複眼ハ黃褐ナリ、翅ハ透明ニシテ翅脈及ビ緣紋ハ黑ク、後翅ハ前翅ヨリ小形ナリ、何レモ幅狹クシテ前後緣殆ンド相平行シ外緣ハ稍ヤ圓形ヲナシテ終ル、脚及ビ腹背ハ黑色、種類ニヨリ各節ノ兩側ニ赤黃紋ヲ裝フ、此種類ハ前者ニ比シテ遙ニ大キク又稀ナル種類ナリ、體長一寸二分內外、翅ノ開張二寸四分乃至三寸、

(142) ひろばかげろう　第十三圖(8)(♀)

學名　Osmylus flavicornis M'L.

昆蟲學上ノ地位　廣翅蜻蛉(ヒロバカゲロウ)科　(Osmylidae)

體ハ淡黃ニシテ黑紋ヲ裝フ、頭頂ノ中央ハ黑色ニシテ其周圍及ビ三個ノ單眼ハ黃色、顏ニモ黑紋ア

リ、觸角ハ連鎖狀ニシテ黄色ヲ呈シ剛毛アリ、前胸ハ長ク中央ニ一個ノ黒キ縦條ヲ走ラシ其兩側ニモ各一個ノ黒紋アリ、中胸ハ廣ク之レニ十個内外ノ黒紋アリ、翅ハ透明ニシテ廣ク翅脈ハ黄色ト黒色トノ斑ヲナシ、前縁室ハ基部ニ於テ廣ク、縁紋ハ黄色ニシテ其兩側ニ黒紋アリ、尚後縁ノ中央ニ近ク一個大形ノ黒紋ヲ裝ヒ其内外側ニモ相離レテ小黒紋アリ、翅脈ハ黒褐ノ剛毛ヲ粗生シ其内ニ黄色ナルモノモアリ、後翅ハ前翅ヨリ遙ニ小形ナリ、腹部ハ暗褐ニシテ淡黄毛ヲ裝ヒ兩側及ビ末端ハ黄褐ナリ、脚ハ淡黄、胸片ニハ黒紋アリ、此ハ普通ナル種類ニシテ草間ニ捕獲シ得ベシ、體長(♂)(♀)四分弱、翅ノ開張一寸二分内外、

(143) くさかげろう　第十三圖 (9) (♂)

學名　Chrysopa perla L.

昆蟲學上ノ地位　草蜻蛉(クサカゲロウ)科 (Chrysopidae)

體ハ緑色、頭ハ黄色、觸角間ニ×字形ノ黒紋ヲ裝ヒ、後頭ニハ四個ノ黒紋アリ、又顔ニモ四個ノ黒紋ヲ裝フ、觸角ハ長ク黄色ヲ呈シ末端ニ至リテ少シク黄褐ヲ帶ブ、前胸背ハ細長ク之レニ六個ノ黒紋ヲ有シ、中胸背ニモ六個ノ黒紋アリ、翅ハ廣ク透明ニシテ眞珠樣ノ光澤ヲ有シ、縦脈ハ緑色、横脈ノ大部ハ黒色、脚ハ緑色、跗節ハ黄褐、腹下部ハ黒色ヲ呈スルコトアリ、體長(♂)(♀)三分五厘、翅ノ開張一寸内外、

(144) たがめ (田鼈)　第十四圖 (1) (♂)

學名　Belostoma Deyrollii Vuill.

昆蟲學上ノ地位　田鼈(タガメ)科　(Belostomidae)

體ハ泥色ヲ呈シ、頭ハ小形、複眼ハ長楕圓形、前頭ハ三角形ヲナシテ前方ニ突出シ其末端ニ三節アル太キ口吻ヲ有ス、觸角ハ四節ヨリ成レドモ複眼下ノ溝中ニアリテ見エズ、前胸背ハ頗ル大ニシテ稍ヤ半圓形ヲ呈シ後縁ニ近ク一個ノ横溝アリ、稜狀部ハ等邊三角形ヲナシ、前胸ト略ボ同長、前翅ハ革質ニ硬化シ、後翅ハ黄白ニシテ翅底ハ黄色、前腿節ハ甚ダシク發達シテ太ク、蹠節ハ甚ダ短カク之レニ一個ノ爪鈎アリ、中後肢ニハ暗褐紋ヲ裝ヒ二個ノ長キ爪アリ、此ハ本邦最大ノ半翅類ニシテ水中ニアリテ幼魚ヲ捕ヘ大害ヲナス、俗ニ之レヲ河伯(カッパ)蟲トモ云フ、夜間電光ヲ慕ヒ飛來スルモノ多シ、雌ハ尾端ニ二個ノ附屬物ヲ有ス、體長(翅端迄)(♂)一寸八分(♀)二寸二分内外、

(145)こおひむし　(子負虫)　第十四圖(2)(♀)

學名　Appasus japonicus Vuill.

昆蟲學上ノ地位　田鼈科

體ハ暗褐、前種ニ酷似スレドモ遙ニ小形ニシテ稍ヤ卵形ヲ呈シ、前腿節ハ發達スレドモ其割合前種ノ如ク太カラズ、前蹠節ニハ爪鈎ヲ缺ク、前胸背ノ前縁ハ中央ニ於テ少シク凹陷ス、脚ニ黒褐ノ斑紋ナシ、此ハ前種同樣ニ水中ニアリテ同ジク小魚ヲ捕ヘ水產業ニ大害ヲ加フ、雄ハ常ニ雌ノ卵子ヲ背上ニ附スルヲ以テ子負蟲ノ名アリ本邦何レノ地ニ至ルモ普通ナリ、體長(翅端迄)(♂)(♀)八分内外、

(146)ゆりはなすひ　又たいこうち　(紅娘華)　第十四圖(3)(♂)

學名　Laccotrephes japonensis Scott.

昆蟲學上ノ地位　紅娘華(タイコウチ)科　(Nepidae)

體ハ黄褐若クハ暗褐、頭ハ小形、複眼ハ稍ヤ卵形ヲナシテ突出シ、觸角ハ隱レテ見エズ、前胸背ハ大ニシテ稍ヤ四角形ヲ呈シ中央ニハ二個ノ縦隆起ヲ有シ、後縁ニ近ク一個ノ横溝アリ、又後縁ノ中央ハ弓狀ニ刳ラル、全面顆粒狀ノ突起多シ、稜狀部ハ前胸ヨリ短カク兩側及ビ中央ニ隆起アリ、前翅ハ前種同様ニ革質ニ硬化シ尾端ニ達セズ、尾端ニハ二個體ヨリモ長キ尾樣ノ附屬物アリ、前肢甚ダシク發達シ、腿節ハ膨大シ其基部ニ一個ノ棘狀突起アリ、跗節ハ一節ニシテ之レニ爪ヲ缺ケドモ跗節端ハ爪同様ニ硬化セリ、此ハ池沼ニ普通ナル種類ニシテ又水田ニ入リ來リ小魚ヲ捕ヘテ食フ、

體長（♂）一寸（♀）一寸二分內外、

(147) みづかまきり　(水斧蟲)　第十三圖 (4) (♂)

學名　Ranatra chinensis May.

昆蟲學上ノ地位　紅娘華科

體ハ暗黄褐、頭ハ小サク、複眼ハ球狀ヲナシテ甚ダシク突出ス、口吻ハ四節ヨリ成リ、前胸背ノ前半ハ細クシテ稍ヤ圓柱形ヲ呈シ、前縁ノ兩側ニハ葉狀ノ附屬物アリ、後半ハ甚ダシク膨大シ後縁ノ兩側ニ各二個低キ瘤狀ノ突起アリ、又後縁ノ中央ハ弓狀ニ刳ラル、稜狀部ハ稍ヤ四角形ヲ呈ス、前翅ハ細ク革質ニ硬化シ尾端ニ達セズ、體ト同長ナル尾樣狀ノ二附屬物アリ、雌ハ尾端ニ長キ鋭利ナル產卵管ヲ有ス、體下部及ビ脚ハ暗黄、前肢ハ蟷螂(カマキリ)同様ニ發達シ小魚若クハ小蟲ヲ捕フルニ適ス、脛節ノ基部ハ捩(ネヂ)レタルノ觀ヲ呈シ、腿節ノ下方ハ黑色ナリ、此ハ前種同様ニ池沼ニ普通ナリ、體長

一寸四分内外、

(148) ひめみづかまきり　第十四圖(5)(♀)

學名 Ranatra brachyura Horv.

昆蟲學上ノ地位　紅娘華科

此ハ前種ニ酷似スレドモ頗ル小形ナリ且ツ其異ナル所ハ前肢腿節ノ下方ハ黑色ヲ呈セズ、稜狀部ハ稍ヤ卵形ヲ呈シ、尾樣狀ノ二附屬物ハ腹部ヨリ短カシ、此學名ノ意ハ則チ短尾ヲ意味セリ、體長(♂)(♀)九分内外、

(149) まつもむし　第十四圖(6)(♂)

學名 Notonecta triguttata Motsch.

昆蟲學上ノ地位　松藻蟲(マツモムシ)科 (Notonectidae)

體ハ灰黃、複眼ハ後頭ニ於テ稍ヤ相接シ長楕圓形ニ近ク其外側ハ端直ニシテ少シク凹陷セリ、前胸背ハ稍ヤ六角形ヲナシ幅廣ク、中央ニ一個淺キ横溝アリ、稜狀部ハ黑色、前翅ハ革質ニ硬化シ翅ヲ疊ムトキハ三個黑色ノ大紋ヲ現ハス、實ハ四紋アレドモ右翅ノ一ハ左翅ノ翅端ニ隱レテ見エズ、前緣ノ基部ハ黑色、内緣角ハ黑褐ナリ、後肢ハ甚ダシク發達シテ長ク脛節及ビ跗節ニハ長毛ヲ裝フ、腹下部ハ黑褐ナリ此ハ池沼ニ多ク常ニ腹ヲ上方ニ向ケ水上ニ浮ブ、其游泳ノ狀恰モ小舟ヲ漕グガ如シ故ニ一名ばッてらむしトモ云フ、體長五分内外、

(150) こまつもむし

第十四圖 (7) (♂)

學名 Anisops scutellaris Bill.

昆蟲學上ノ地位 松藻蟲科

體ハ細長ニシテ黄白、頭ハ黄色、複眼ハ後頭ニ於テ殆ンド相接シ中央ニ一個ノ縱溝アリ、前胸背ハ稍ヤ五角形、前緣ハ鈍角ヲナシテ前方ニ突出シ後緣ハ穹狀ニ突出ス、稜狀部ハ黑褐ニシテ其後緣ハ黄白、前翅ハ半透明ニシテ白色ヲ帶ビ翅ヲ疊ムトキハ黑色ノ腹背ヲ透視シ得ベシ、前肢ハ短カク其脛節ハ側扁ニシテ廣ク、後肢ハ他肢ヨリモ發達シテ長ク、中肢腿節ノ上方及ビ後肢脛節ノ下方ハ黑色、前中兩肢ニハ各二個ノ爪アリ、此ハ前種ニ似タレドモ遙ニ細小ナリ、前種同樣ニ腹部ヲ上方ニ向ケ游泳ス、前種ノ如ク多カラズ、播州地方ニハ普通ナリ、體長二寸三厘內外、

(151) まるみづむし

第十四圖 (12) (♀)

學名 Plea japonica Horv.

昆蟲學上ノ地位 圓水蟲科(マルミヅムシ) (Pleidae)

體ハ黄褐、稍ヤ卵形ヲ呈シ背ハ穹狀ニ膨起シ厚サハ幅ヨリ廣シ、頭ハ前胸ノ前緣ヨリモ少シク廣ク、複眼ハ黑褐ニシテ廣ク頭頂ニ相分離シ、顏ノ中央ニハ一個黑褐ノ縱條アリ、前胸背ノ前緣ハ一直線ヲナシ後緣ハ穹狀ニ突出ス、多數ノ刻點ヲ散在ス、稜狀部ハ三角形ニシテ短カク刻點アレドモ前胸ニ比シテ遙ニ小數ナリ、前翅ハ硬化シ全面無數ノ刻點ヲ散在ス、後肢ハ前種ノ如ク發達セズ、跗節

ハ三節ニシテ二個ノ長キ爪アリ此ハ本邦此科ニ屬スル微小種ニシテ注意セザレバ發見スルヿ難シ、播州地方ノ溜池ニハ普通ナリ、體長八厘内外、

(152) こみづむし　第十四圖 (8) (♀)

學名 Corixa substriata Uhl.

昆蟲學上ノ地位　水蟲(ミヅムシ)科 (Corixidae)

體ハ黄色、頭ハ前胸ヨリ少シク廣ク、複眼ハ頭頂ニ廣ク相隔離シ中央ニ一個ノ縱隆起アリテ其兩側ニ刻點ノ縱列アリ、前胸背ニハ黑色ナル七個ノ横條アリテ互ニ相平行ス、中央ニハ判然セザル低キ縱隆起アリ、稜狀部ヲ缺ク、前翅ハ革質ニ硬化シ、翅底ニハ平行セル黑色ノ横條ヲ有スレドモ他面ニアリテハ黑色ナル波形ノ模樣アリ、但シ前縁ニハ斑紋ヲ缺ク、後肢側扁ニシテ發達シ游泳ニ適ス、此モ亦前種同樣ノ性質ヲ有シ水中ニハ稀ナラズ、一名風船蟲トモ云フ、體長一分八厘乃至二分、

(153) おほかはぐも　第十四圖 (9) (♀)

學名 Limnotrechus (Gerris) elongatus Uhl.

昆蟲學上ノ地位　水黽(カワグモ、アメンボ)科 (Gerridae)

體ハ黑褐、頭ハ前方ニ突出シ、口吻ハ三節ニシテ長ク前肢ノ基節ヲ越エ、前胸背ハ短カク黄色ノ縱條アリ、中胸背ノ中央ニハ一個ノ縱隆起アリ、其兩側ニ黄條アリ、後縁ハ三角形ヲナシ其少シク上方ニ當リ兩側ニ各一個ノ突起アリ、前翅ハ細クシテ硬化シ、尾端ニ達セズ内縁ハ少シク黄褐ナリ、

體下部ハ灰色ニシテ脚ノ基節ハ其下面ニ於テ黄色ヲ呈ス、觸角ハ長ク四節ヨリ成ル、中後ノ兩肢ハ發達シ殊ニ後肢ハ一層長シ、尾端ニ二刺アリ、此ハ本邦最大ノ種類ニシテ東京近傍ニハ稀ナラズ、

體長(♂)八分(♀)九分内外、

(154) ひめかはぐも

第十四圖(10)(♂)

學名 Hygrotrechus (Gerris) palludum F.

昆蟲學上ノ地位 水黽科

體ハ黑褐、體下部ハ銀白ナレドモ少シク黄色ヲ帶ブ、頭ハ三角形ヲナシテ前方ニ突出シ、前胸背ニ於ケル縱線及ビ中胸背ノ兩側ハ赤褐、前翅ハ尾端ニ達ス、脚ハ黄色、腿節ノ外方ニ黑色ノ縱條アリ、中後ノ兩肢ハ發達シテ長シ、此ハ前種ヨリ遙ニ小形ニシテ九州地方ニハ稀ナラザル種類ナリ、體長(♂)三分五厘(♀)四分五厘内外、

(155) いとかはぐも

第十四圖(11)(♂)

學名 Hydrometra (Limnobates) vittata Stål.

昆蟲學上ノ地位 水黽科

體ハ黑褐、頭ハ圓柱形ニシテ甚ダ細長ク中央ノ兩側ニ複眼ヲ供ヘ前頭ハ棍棒狀ニ膨大ス、末端ノ兩側ニハ長キ觸角アリテ畧ボ前胸ノ後緣ニ達ス、其基節ハ他ヨリ太シ、前胸及ビ後胸ハ背面ニ於テ殆ンド相癒着シ唯ダ橫溝ヲ有スルニ過ギズ、中胸背ノ中央ニハ一個白色ノ縱條アリ、前翅ハ甚ダ細ク

尾端ヨリハ遙ニ短カク、前縁及ビ後縁ニ近ク白條アリ、脚ハ細長ニシテ黄褐ナリ、此ハ甚ダ細長ナル種類ニシテ池沼湖畔ノ藻上ヲ歩行スルモノ多ク其體重ノ輕キ能ク水上ヲ歩行シ得ベシ、本邦之レニ酷似セル一種アレドモ前胸背ニ白條ヲ有セズ其學名ヲH. procera Horv.ト云フ兩者何レモ稀ナラズ、體長三分内外、

(156) しまかはぐも

第十四圖(13)(♂)

學名 Metrocoris (Halobatodes) histrio Buch.

昆蟲學上ノ地位　水黽科

體ハ暗黄ニシテ黒紋黒條ヲ装フ、形ハ短楕圓ニシテ兩端細ク、頭頂ニハ三個ノ黒紋アリテ其中央ニアルモノ長シ、尚前頭ノ一紋、觸角ノ基節及ビ口吻ノ末端ハ黒色、觸角ハ末端ニテ黒色ヲ呈ス、前胸背稍ヤ腎臓形ニ近ク三個ノ黒紋アリテ兩側ニアルモノ鉤狀ニ曲ル、中胸背ハ大ニシテ全體ノ半ヲ占ム、中央ニ一個ノ黒條ヲ有シ、兩側ノ前方ニハ靴狀ノ黒紋アリテ其内部ハ暗黄ナリ、又其後方ニハ暗黄長楕圓紋アリテ其内ニ一個ノ黒紋ヲ装フ、此他後胸背ノ兩側ニモ同様紋アリ、腹部ハ黒色、各節ノ後縁ハ多少黄色ヲ帯ブ、前肢ハ短カク腿節ノ上方及ビ脛節並ニ蹠節ハ黒色ヲ呈シ二個ノ爪アリ、中後ノ兩肢ハ甚ダシク發達シ殆ンド同所ヨリ出デ、細長ナリ、一個ノ細爪アリ、此ハ東京近傍ノ小溝ニ普通ナルノ種類ニシテ又山間ノ小川上ヲ走行ス、其性甚ダ活潑ナリ、體長(♂)一分三厘(♀)二分内外、

(157) ひめまるかめむし

第十五圖（1）（♀）

學名　Coptosoma biguttula Motsch.

昆蟲學上ノ地位　椿象(カメムシ)科　(Pentatomidae)

體ハ光澤アル黑色、稍ヤ球形ニシテ尾端ニ至リ其幅少シク廣シ、頭ハ小ニシテ下方ヲ向キ、觸角ハ黃色ニシテ末端ノ二節ハ黑褐、前胸背ハ大ニシテ穹狀ニ膨起シ、小刻點ヲ散在ス、兩緣ノ前方ハ黃色ヲ呈ス、稜狀部ハ發達シテ腹部全體ヲ蔽ヒ、前緣ニ近ク弓狀ノ橫溝アリテ其兩側ニ各一個黃色ノ小紋ヲ裝フ、前翅ハ稜狀部ニ蔽ハレテ見エズ、唯ダ其黃色ナル前緣ヲ認メ得ベシ、後翅ハ膜質透明ナレドモ之レハ半翅類ノ分類ニハ餘リ必要ナシ故ニ以下其記載ヲ省畧ス、脚ハ黃色ニシテ後腿節ノ大部ハ黑褐ナリ、此ハ極メテ小形ノ種類ニシテ荳科植物ノ液汁ヲ吸收スルヲ以テ農家ニ有害ナリ、

體長（♂）（♀）八厘內外、

(158) まるかめむし

第十五圖（2）（♂）

學名　Coptosoma punctissimum Mont.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黑褐、形ハ前種同樣ナレドモ少シク大キク、頭ハ小ニシテ下方ヲ向キ、觸角ハ黃色、前胸背ハ穹狀ニ膨起シ、前緣ノ半ハ暗黃、兩側ニ各一個短キ橫溝ヲ有ス、後方ノ中央ニハ一個短キ黃色ノ縱條アリ、稜狀部ハ甚ダシク發達シテ腹部ノ全體ヲ蔽ヒ稍ヤ四角形ヲ呈ス、中央ハ穹狀ニ膨起ス、多

數ノ小刻點ヲ散在ス、腹部ノ兩側及ビ脚ハ黃色ナリ、此ハ本邦有名ナル害蟲ノ一ニシテ特ニ大小豆ノ莖液ヲ吸收シ大害ヲ加フ、常ニ相集合スルノ傾アリ、體長(♂)一分三厘(♀)一分六厘內外、

(附　言)從來まるかめむしニ學名C. cribraria F.ヲ用ヒ來リタレドモ此モノ東印度ニ產シ未ダ嘗テ本邦ニ發見セラレタルコトナシ、

(159)ちやいろかめむし　第十五圖(3)(♀)

學名　Eurygaster maurus L.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黃褐、形稍ヤ楕圓、頭ハ三角形ヲナシテ前方ニ突出シ、頭頂ノ中央ニハ稍ヤ相平行セル二個ノ縱溝アリ、觸角及ビ口吻ハ黑色、前者ノ第一節ハ黃褐、前胸背ハ稍ヤ六角形ヲ呈シ中央ニハ一個黃色ノ縱條アリテ稜狀部ノ半ニ達ス、稜狀部ハ楕圓形ニシテ尾端ニ達ス、中央ハ龜甲樣ニ穹起シ、黑色ノ短橫線ヲ散在ス、又尾端ニ楔狀ノ淡色紋ヲ有スルモノアリ、基部ノ兩側ニハ各一個ノ白紋ヲ裝フ、前翅ノ大部ハ稜狀部ノ下ニ隱レ唯ダ其兩側ハ細キ三角形ヲナシテ現ハル、各腹節ノ兩側ニハ黑褐紋アリ、脚ハ黃色若クハ黃褐ニシテ黑褐ノ小點ヲ散在ス、此ハ播州地方ニハ普通ナル種類ナリ、體長(♂)(♀)三分乃至三分五厘、

(160)くろかめむし　第十五圖(4)(♀)

學名　Scotinophora lurida Burm.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黑色ニシテ短キ金色毛ヲ裝ヒ、光線ノ工合ニテ少シク藍色ヲ帶ブ、頭ハ細長ク、複眼ハ著シク兩側ニ突出ス、口吻ハ黃褐、觸角ハ黑褐ニシテ各節ノ基部及ビ短毛ハ黃色ナリ、前胸ハ中央ニ一個ノ廣キ横溝ヲ有シ前緣及ビ中央ノ兩側ニハ各一個棘狀ノ附屬物アリ、稜狀部ハ長クシテ殆ンド尾端ニ達シ中央ノ兩側ニ於テ稍ヤ刳ラレタルノ觀ヲ呈ス、中央ハ餘リ膨起セズ、前翅ノ前緣及ビ脚ノ跗節並ニ脛節ノ大部ハ赤褐ナリ、此ハ本邦有名ナル害蟲ノ一ニシテ九州地方ニアリテハ米作ニ大害アリ、體長（♂）（♀）三分五厘內外、

(161) おほきんかめむし　第十五圖（5）（♀）

學名 Chrysocoris grandis Thunb.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ赤色ニシテ黑紫紋アリ、頭ハ光澤アル濃紫色ニシテ前頭ノ兩側ニ赤紫紋アリ、觸角及ビ口吻ハ黑色、前胸背ハ六角形ニシテ前緣ハ紫色ヲ呈シ兩側ニ各一個大ナル赤紋アリ、又大部赤色ニシテ中央ニ四角形ノ紫黑紋ヲ有スルモノアリ、稜狀部ハ甚ダ長クシテ尾端ニ達シ殆ンド全腹部ヲ蓋フ、中央ハ穹狀ニ膨起シ、四横紋アリテ其第一ハ基部ニ位シ第二ハ中央ニアリテ一直線ヲナサズ稍ヤ三横紋ノ相互ニ重リタルノ觀ヲ呈ス又三紋トナリテ全ク相分離スルモノモアリ、第三ハ一直線ヲナセドモ前側ノ中央ハ突出セリ、第四ハ稍ヤ圓紋ニ近シ、前翅ノ稜狀部下ニ現ハレタル兩側ノ部分ハ濃紫色ヲ呈シ、其末端ニアル膜質部ハ遙稜狀部外ニ出デ黑色ナリ、體下ハ紫色ニシテ胸片ノ中央ハ黑紫

黄紋アリ、各腹節ノ兩側ニハ各一個赤紫色ノ大紋ヲ裝ヒ第三及ビ第四節ノ中央ニ大ナル赤紋アリ、脚ハ黑紫色、脛節ハ紫色ナリ、此ハ本邦最大ノ種類ニシテ其美麗ナル好ク人ノ知ル所ナリ、播州地方ニハ稀ナラズ、體長(♂)七分(♀)八分內外、

(162)あかすぢかめむし　第十五圖(6)(♀)

學名 Graphosoma rubrilineata West.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ赤色ニシテ黑條アリ、頭ハ三角形ヲナシ中央ニ二個ノ黑縱條アリ、觸角ハ黑褐、第一節並ニ第二節ノ基部ハ黄色、前胸背ハ著シク下方ヲ向キ之レニ六個ノ黑縱條アリ、稜狀部ハ殆ンド尾端ニ達シ末端ニ至リテ少シク縮小ス、四個ノ黑縱條アリ、前翅ノ大部ハ稜狀部下ニ隱レテ見エズ、其兩側ニ現ハレアル前緣ハ赤色ニシテ二個ノ黑紋アリ、膜質部ハ黑色、體下ニハ多數黑色ノ圓紋ヲ散在ス、脚ハ黑褐、腿節ノ基部及ビ脛節ノ大部ハ黄褐、腿節ノ末端ニ近ク常ニ一個黄褐ノ小紋アリ、此ハ撒形科植物ニ普通ナル種類ナリ、體長(♂)三分五厘(♀)四分五厘內外、

(附言)此學名ハうーらー氏ニヨリテ G. lineata L. トセラレタレドモ本邦種ノ有スル生殖器ハ全ク之レト異ナリテ前出ノ學名ナラザルベカラズ、

(163)くちぶとかめむし　第十五圖(7)(♀)

學名 Picromerus Lewisi Scott.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰褐若クハ黃褐、頭部ハ稍ヤ長方形ヲナシ黑褐ニシテ複眼ノ周圍及ビ後頭ニ黃赤紋アリ、口吻及ビ觸角ハ赤黃ニシテ前者ハ甚ダ太ク後者ハ第二、第三、及ビ第四ノ末端ニ於テ黑褐ナリ、前胸背後方ノ兩側ニハ鋸狀ノ小突起アリテ色ハ赤黃ナリ、中央ニ二個ノ赤黃紋アリ、稜狀部ハ腹部ノ半以上ニ達シ基部ノ兩側紋及ビ末端ハ赤黃ナリ、前翅ノ膜質部ハ半透明ニシテ暗色ヲ帶ブ、背上ニ於テ各腹節ノ兩側ニ各一個ノ黑褐紋ヲ裝ヒ、體下ハ赤黃ニシテ黃赤紋アリ、第五腹節ノ中央ニ一個黑紫色ノ大紋アリ、脚ハ黃赤ニシテ小黑點ヲ散在シ、跗節端ハ黑褐ナリ、此種類ハ本邦何レノ地ニ至ルモ普通ナル種類ニシテ蛅蟖ヲ製食シ有益ナリ、體長(♂)(♀)五分乃至五分五厘、

(164)ころがいた　　第十五圖(8)(♀)

學名　Cydnus nigrita Fabr.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黑色ニシテ少シク褐色ヲ帶ブ、稍ヤ楕圓形ニシテ平タク、頭ハ半圓形ヲナシテ前方ニ突出シ之レニ刻點ヲ有セズ、赤褐ノ長毛ヲ粗生ス、觸角及ビ口吻ハ黃褐、前胸背ハ平タクシテ稍ヤ四角形ヲ呈シ刻點ヲ粗ニ散在ス、中央ハ滑澤ニシテ刻點ヲ有セズ、稜狀部ハ細キ三角形ニシテ前胸及ビ頭ヲ合セタルモノヨリ少シク長ク、半翅鞘ハ黑褐ニシテ前緣ニハ二個ノ相平行セル長キ縱脈アリ、膜質部ハ暗黃ニシテ半透明ナリ、脚ハ黑色、跗節ハ黃色、脛節ニハ多クノ長刺ヲ裝フ、此ハ石若クハ倒木ノ下ニ多ク甲蟲ニ類スルノ種類ナリ、體長(♂)二分(♀)二分五厘內外、

(165)　みつぼしがいた　　第十五圖(9)(♀)

學名　Gnathoconus triguttulus Mots.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ光澤アル黑色ニシテ周緣ハ白色ナリ、卵形ニシテ平タク前種ニ酷似ス、頭ハ長ク之レニ多數ノ刻點ヲ散在ス、觸角ハ黑色ナレドモ少シク褐色ヲ帶ブ、前胸背ハ稍ヤ穹狀ニ膨起シ後緣ニ近ク他ヨリ大ナル刻點ヲ散在ス、稜狀部ハ頭及ビ前胸ヲ合シタルモノヨリ長ク、末端ハ白色、半翅鞘ハ中央ニ近ク各一個白色ノ小紋ヲ裝フ、膜質部ハ黑色ニシテ外緣ハ少シク淡色ナリ、此種類モ前種同樣ノ所ニ普通ナリ、體長(♂)一分五厘(♀)二分內外、

(166)　ごほしかめむし　　第十五圖(10)(♀)

學名　Lelia decempunctata Motsch.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ暗黃ニシテ多數黑色ノ刻點ヲ散在ス、頭ハ細長ク前緣ノ中央ニ微小ナル長方形ノ切目アリ、觸角ハ黃色ニシテ第四及ビ第五ノ兩節ハ黑褐、但シ第四節ノ基部ハ黃色ナリ、口吻ハ後肢基節ニ達シ末端ハ黑褐ナリ、前胸背ハ大ニシテ兩側ニハ前方ニ曲レル大突起ヲ裝ヒ中央ニハ四個ノ黑點ヲ一列ニ橫列ス、稜狀部ハ腹部ノ半以上ニ達シ六個ノ黑紋アリテ其內四個ハ前緣ニ位シ他ノ二個ハ中央ニ近ク位ス、末端ハ黃色ナリ、半翅鞘ノ中央ニモ各一個ノ黑紋アリ、膜質部ハ半透明ニシテ暗黃ヲ帶

ブ、腹部ノ第一節ニハ一個ノ長キ棘狀ノ突起アリテ稍ヤ前胸片ニ達ス、體下及ビ脚ハ黄色ニシテ雄ニアリテハ少シク赤味ヲ帶ブ、跗節ハ稍ヤ淡褐ナリ、此ハ廣ク滿洲、西拉利亞地方ニモ傳布スル種類ニシテ札幌地方ニハ稀ナラズ、體長(♂)(♀)七分乃至七分五厘、

(167) ゑびいろかめむし　第十五圖(11)(♂)

學名　Gonopsis affinis Uhl.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ暗黄、頭ハ細キ三角形ヲナシテ前方ニ突出シ前緣ニ一條ノ長キ縱溝ヲ有ス、觸角ハ赤色ニシテ第五節ノ末端ハ黑褐、第一節ハ黄色ニシテ黑點ヲ散在ス、口吻ハ短カク末端ハ黑色ナリ、前胸背ノ兩側ハ鋭角ヲナシテ突出ス、中央ニハ一個ノ隆起ヲ橫走シ此兩突起ノ末端ニ達ス、之レヨリ前方ハ劃然タル角度ヲナシテ下方ニ斜傾セリ、全面ニ橫皺多シ、稜狀部ハ細ク腹部ノ半ニ達ス、半翅鞘ハ暗赤黄、膜質部ハ灰白ニシテ稍ヤ透明ナリ、脚ハ黄色、脛節及ビ跗節ハ赤色ヲ帶ブ、氣門ハ黑色、尾端ハ稍ヤ一直線ヲナシテ截斷狀ニ終ハル、此ハ東京地方ニハ普通ナル種類ニシテ雜草間ニ多シ、體長(♂)五分五厘(♀)六分内外、

(168) つのあをかめむし　第十五圖(12)(♀)

學名　Tropicoris japonicus Dist.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ鑛性ノ緑色ニシテ體下及ビ脚ハ赤黄ナリ、頭ハ長ク前縁ハ稍ヤ細クシテ圓シ、觸角ハ赤褐ニシテ長ク第三節ハ黒褐、口吻ハ長クシテ第二腹節ニ達シ末端ハ黒褐ナリ、前胸背ノ周縁ハ赤褐ニシテ兩側ニ角狀ノ突起ヲ備ヘ其末端ハ斜ニ截斷セラレタルノ觀アリ、稜狀部ハ腹部ノ半以上ニ達シ末端ノ周縁ハ赤黄ナリ、前翅ノ膜質部ハ暗黒ニシテ尾端外ニ出ヅ、脚ニハ多數小黒點ヲ散在ス、尾端ノ兩側ニハ各一個圓キ附屬物アリ、此ハ札幌地方ニ稀ナラザル種類ニシテ本邦美麗種ノ一ナリ、體長(翅ノ末端迄)(♂)六分五厘(♀)七分内外、

(169) しろへりかめむし　第十五圖(13)(♂)

學名 Aenaria assimulans Dist.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰色若クハ灰黄ニシテ黒色ノ刻點ヲ密在ス、體下ハ黄色、頭ハ三角形ヲ呈シ、中央ノ頭頂板ハ劍狀ヲナス、觸角ハ黒色、基部ノ二節ハ黄色、小黒點ヲ裝フ、口吻ハ細ク黄色ニシテ下方ノ中央ニアル一線及ビ末端ハ黒色、前胸背ノ突起ハ低クシテ前翅ノ基部ヨリ少シク廣シ、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ基部ニ横皺アリ、半翅鞘ノ前縁ハ白色若クハ黄白ニシテ其内縁ニ細キ黒線アリ、膜質部ハ暗色ニシテ尾節外ニ出ヅ、腹背ノ兩側ハ黄白ナリ、尾端ニハ六個鋸狀ノ小齒ヲ列ヌ體下部ニ當リ各腹節基部ニ於テ中央ニ各一個ノ黒點ヲ裝フ、此ハ東京近傍ニ稀ナラズ、體長四分五厘内外、

(170) とげかめむし　第十五圖(14)(♂)

學名 Carbula humerigera Uhl.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黑褐ニシテ少シク藍色ヲ帶ビ、頭ハ長ク前緣ハ端直ナリ、觸角ハ暗黃ニシテ第四及ビ第五節ノ大部ハ黑色ヲ呈シ第五節ノ基節ハ黃白ナリ、口吻ハ淡黃ニシテ第二節ノ下方ニアル縱條及ビ第三節ノ大部ハ黑色ナリ、前胸背ハ短カク兩側ニハ少シク後方ニ出レル棘狀突起アリテ其末端ハ黃褐、前方ノ兩側ハ白色ナリ、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ末端ハ白色、前翅ノ膜質部ハ灰褐ニシテ不透明、少シク尾端ヲ越ユ、脚ハ淡黃ニシテ黑點ヲ散在シ、脛節端及ビ跗節ノ大部ハ黑褐ナリ、腹下部ハ穹狀ニ膨起シ光澤ヲ有シ藍色ヲ帶ブ、此ハいぬころぐさノ花ニ普通ナル種類ニシテ札幌地方ニ多シ、體長(♂)(♀)三分五厘內外、

第十五圖 (15) (♀)

(171) うづらかめむし

學名　Aelia Lewisi Scott.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黃色、頭ハ三角狀ニシテ長ク象鼻狀ヲナシテ少シク下方ニ出ル、頭頂ノ中央ニハ灰褐ノ太キ縱條アリテ此モノハ前胸背ノ後緣ニ於テ最モ幅廣トナリ稜狀部ノ末端ニ接續ス、其中央ニ更ニ黃色ノ細キ一縱條アリ、尙ホ頭頂ノ兩側モ黑色ナリ、觸角ハ黃赤ニシテ基部細シ、口吻ハ黃色、末端及ビ下方ノ縱條ハ黑褐ナリ、前胸背ハ六角形ニシテ側緣ハ黃白、稜狀部ハ腹部ノ半以上ニ達シ、前翅膜質部ノ翅脈ハ大部黑色ナリ、前肢跗節ノ下方ハ黑褐、氣門ハ黑色ニシテ之レニ近ク黑色紋ヲ散在ス、此ハ有名ナル稻ノ害蟲ニシテ北海道ヲ除クノ外何レノ地ニ到ルモ普通ナリ、體長(♂)(♀)三分乃至三分

三厘、

(172)　はさみかめむし　第十六圖(1)(♂)

學名　Acanthosoma labiduroides Jak.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ綠色ニシテ黃綠ナルモノモアリ、光澤ヲ有ス、頭ハ三角形ニ近ク前緣ハ圓シ、觸角ハ黃褐ニシテ長ク體ノ半バ以上ニ達シ、第三節ノ末端ハ黑褐ナリ、口吻ハ細クシテ其末端ハ黑褐、前胸背ノ前方ハ甚ダシク下方ニ斜傾シ、兩側ノ突起ハ紅色ニシテ圓ク餘リ高カラズ、稜狀部ノ末端ハ細ク稍ヤ相平行セリ、前翅ノ膜質部ハ暗褐ニシテ半透明ヲナシ、尾端外ニ出ヅ、前胸及ビ中胸片ノ中間ニ葉狀ノ附屬物アリテ口吻ノ基部ニ達ス又第一腹節ノ下方ニ長キ針狀ノ附屬物アリテ前肢ノ基部ニ達ス、雄ハ尾端ニ鋏子樣ノ長キ附屬物ヲ有シ、雌ノ尾端ハ紅色ニシテ其中央ニ二個楕圓形ニ近キ附屬物アリ、又腹下ノ中央ニ高キ縱隆起アリ、此ハ札幌地方ニハ普通ナル種類ニシテ常ニ野葛(ツタウルシ)ニ多シ、體長(♂)五分內外、鋏子ノ長サ一分四厘(♀)五分八厘內外、

(173)　べにもんかめむし　第十六圖(2)(♂)

學名　Elasmostethus Matsumurae Horv.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黃綠、頭ハ黃色ニシテ三角形ヲナシ、觸角ハ黃色、末端ノ二節ハ黑褐、但シ第五節ノ基部ハ黃

色ナリ、口吻ハ小ニシテ下方ノ一線及ビ末端ハ黑褐、前胸背ノ前緣ニ黃色ノ横條アリ、兩側ノ突起ハ低ク其末端ハ黑色、稜狀部ノ末端ハ細ク前種同樣ニ稍ヤ相平行ス、基部ノ中央ニハ淡紅色ノ大紋アリ、半翅鞘ノ後緣及ビ外緣ハ淡紅色、膜質部ハ尾端ヨリ長ク各一個褐色ノ大紋ヲ裝フ、胸片及ビ第一腹節ニハ前種同樣ノ附屬物アレドモ腹部ニアルモノハ短カシ、腹下ニ縱隆起アリ、雄ノ尾端ノ兩側ハ紅色ニシテ三角形ヲナシテ後方ニ突出ス又中央ニハ短カキ二個ノ附屬物アリ、雌ハ中央ニ二個ノ附屬物ヲ有セズ、此ハ札幌地方ニ稀ナラザル種類ニシテ楓、楡、等ニ於テ捕獲シ得ベシ、(♂)(♀)三分二厘內外、

(174) あをくさかめむし　第十六圖(3)(♀)

學名 Nezara antennata Scott,

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ綠色、頭ハ稍ヤ三角形ヲナシテ前方ニ突出シ中央ニ相平行セル不明ノ細キ一縱溝アリ、觸角ハ綠色、第三節ノ末端、第四及ビ第五節末端ノ大半ハ黑色、口吻ノ末端及ビ下方ニアル縱線ハ黑色、前胸背前方ノ三分ノ二ハ前方ニ斜傾シ、兩側ノ突起ハ低ク之レニ褐色ノ小點ヲ散在ス、稜狀部ハ遙腹部ノ中央ヲ越ヘ小褐點アリ、前翅ノ膜質部ハ透明無色ニシテ尾端ヲ越ユ、體下部ハ綠色ヲ帶ビタル黃白ニシテ兩緣ニ小黑點ヲ列ヌ、脚ハ綠色、爪ノ末端ハ黑褐ナリ、此ハ九州地方ニ普通ナル種類ナリ、體長四分五厘內外、

(175) ながめ　第十六圖(4)(♂)

學名 Eurydema rugosa Motsch.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ赤色、頭ハ黑色ニシテ周緣ハ赤色、前緣ノ中央ハ凹陷ス、觸角及ビ口吻ハ黑色、前者ニアル第三及ビ第四節ノ基部ハ黃色、前胸背ノ中央ニハ二個圓形ノ大黑紋アリ、稜狀部ノ基部ニ三角形ニ近キ大黑紋ヲ有シ、末端ノ兩側ニモ各一個ノ黑紋アリ、半翅鞘ハ黑藍色ニシテ前緣及ビ外緣ノ一紋ハ赤色、膜質部ハ黑色ニシテ其周緣ハ白色ナリ、胸下部ハ黑色ニシテ黃白紋ヲ有シ腹下部ニハ赤色、各節ノ中央及ビ兩側ニ黑紋アリ、三列ヲナシテ並列ス、腿節基部ノ內方ハ淡キ赤黃ナリ、此ハ蔬菜類ノ液汁ヲ吸收シ農家ニ有害ナリ、體長(♂)(♀)二分五厘乃至三分、

(176) はなだかかめむし　第十六圖(5)(♂)

學名 Bolbocoris reticulata Dall.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰黑、後方ハ圓ク前方ハ稍ヤ等邊三角形ヲナシテ少シク下方ヲ向ク、全體粗糙ニシテ多數ノ刻點ヲ散在ス、頭ハ長ク前緣ハ下方ヲ向キ其中央ニ一個ノ切目アリ、觸角及ビ口吻ハ赤褐、前者ハ細ク後者ハ基部ニ於テ黃色ヲ呈ス、前胸背ハ中央ニ大ナル三個ノ瘤狀突起ヲ有シ、前緣ノ兩側ニハ三角形ノ突起アリ、後半ハ廣ク穹狀ニ膨起ス、稜狀部ハ大ニシテ畧ボ尾端ニ達シ、穹狀ニ膨起ス、基

部ニハ長楕圓形ヲナセル横隆起アリテ其兩側ニ各一個ノ黄白點アリ、又中央ニハ一個淡色ノ縱條アリテ後方ニ至リテ判然セリ、全面ニハ黑褐ナル網狀ノ不明紋ヲ裝ヒ、前翅ハ稜狀部下ニ隱レテ見ヘズ、唯ダ其兩側ニ於テ其前緣ヲ認メ得ベシ、膜質部ハ灰白ニシテ稜狀部ノ末端ヨリ突出ス、腹部ハ穹狀ニ隆起シ中央ハ黑ク兩側ハ灰黄ニシテ黑紋アリ、脚ハ黑色、跗節ハ赤褐、此ハ本邦到ル處ニ產スレドモ餘リ多カラザル種類ニシテ又印度地方ニモ產ス、體長(♂)(♀)一分八厘內外、

(177) なしかめむし　第十六圖(6)(♂)

學名　Urochela luteovaria Dist.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰褐、頭ハ暗黄、後頭ニ二個ノ黑紋ヲ有シ、前緣ニハ二個ノ黑縱條アリ、觸角ハ長ク黑色ニシテ第四及ビ第五節ノ基部ハ黄色ナリ、口吻ハ黄色、末端ハ黑色、前胸背ハ平タク前方ノ三分二ハ少シク斜傾シ、前緣ニ近ク黑紋ヲ裝ヒ、後緣ノ中央ニ短カキ黄色ノ縱線アリ、稜狀部ハ短カクシテ前胸ト略ボ同長ナリ、半翅鞘前緣ノ末端及ビ基部ニ各一個黄色紋ヲ裝ヒ末端ニ黑紋アリ、膜質部ハ暗褐、少シク尾端外ニ出ヅ、腹下部ハ黄色ニシテ兩側ニ黑點ヲ散在シ、各節ノ兩側ニ各一個ノ黑紋ヲ裝フ、脚ハ黄色ニシテ腿節ノ末端、脛節ノ兩端及ビ跗節端ハ黑褐、腿節ニハ多數ノ小黑點ヲ散在ス、此ハ梨及ビ苹樹ノ液汁ヲ吸收シ大害ヲ加フルコアリ、東北地方ニハ普通ナリ、體長(♂)(♀)四分內外、

(178) くぬぎかめむし　第十六圖(7)(♂)

學名　Urostylis Westwoodi Scott.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ綠色、頭ハ前緣ニ二個ノ圓キ突起ヲ有シ、複眼ハ球狀ニ突出シ、觸角ハ長サ稍ヤ體長ト等シク第一節ハ綠色、第二節ハ暗綠、第三節黑褐、第四及ビ第五節ハ黃色ニシテ其末端ハ黑褐ナリ、口吻ハ短カク末端黑シ、前胸背ノ形ハ前種同樣、黑色ノ刻點ヲ散在ス、稜狀部及ビ半翅鞘ニモ同樣ノ刻點アリ、膜質部ハ無色透明ニシテ基部ニ近キ横條及ビ三個ノ縱條ハ暗色、內方ノ二縱條ハ短カシ、各腹節ノ兩側ニ各一個ノ黑點アリ、脚ハ綠色、脛節ノ基部及ビ蹠節ノ末端ハ黑褐ナリ、此ハ櫟、楡、等ノ植物ニ普通ナル種類ニシテ前者ニ似タレドモ細長ナリ、體長(♂)(♀)三分三厘乃至三分六厘、

(179) ぶちひげかめむし　第十六圖(8)(♂)

學名　Dolycoris baccarum L.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰褐ニシテ少シク紫色ヲ帶ブ、頭ハ長ク前方ノ中央ニ紡錘狀ノ頭頂板アリ、觸角ハ黑色ニシテ各節ノ基部ハ黃色、但シ第一節ハ全體黃色ニシテ外側ニ小黑紋ヲ散在ス、口吻ハ黃色、末端及ビ下方ノ縱線ハ黑色、前胸背ノ前緣及ビ兩側ハ粗糙ニシテ黑色ノ刻點ヲ散在ス、稜狀部ハ腹部ノ半バ以上ニ達シ末端ハ灰白ナリ、前翅ノ膜質部ハ暗褐ニシテ尾端外ニ出ヅ、腹背ノ兩側ニハ大ナル黑紋ヲ列ネ、體下部ハ黃色ニシテ氣門ハ黑色、此外黑色ノ刻點ヲ粗ニ散在ス、脚ハ黃色、長キ灰白毛ヲ裝ヒ小黑點ヲ散在ス、第一及ビ第三蹠節ハ黑褐ナリ、此ハ本邦何レノ地ニ到ルモ普通ナル種類ニシテ葱又ハ胡麻等ノ液汁ヲ吸收ス、體長(♂)四分五厘內外、

(180) ゐぞあをかめむし　第十六圖 (9) (♀)

學名 Palomena angulosa Motsch.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ綠色ニシテ刻點ヲ密在ス、頭ノ前緣ハ圓ク中央ニ劍狀ノ頭頂板ヲ備ヘ、觸角ハ黑褐、基節ハ黃綠ナリ、口吻ハ黃色ニシテ下方ノ縱線及ビ末端ハ黑褐、前胸背ノ兩側ハ稍ヤ三角形ヲナシテ突出シ、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ、末端ハ細クシテ圓シ、半翅鞘ノ刻點ハ他ヨリ粗ニシテ小ナリ、膜質部ハ黑褐ニシテ尾端ヲ越ユ、體下部ハ淡黃綠ニシテ尾端ハ赤色ヲ帶ビ雌ニテハ四個ノ突起アリ、氣門ハ黑色、脚ハ綠色、跗節ハ黃色ナリ、此ハ札幌地方ニ普通ナル種類ニシテ第百七十四圖ニ類スレドモ前胸背ニ於ケル兩側ノ突起ハ大キク密在セル深キ刻點ヲ有スルヲ以テ容易ニ識別スルコトヲ得ベシ、

體長(♀)四分四厘(♀)五分內外.

(181) のこぎりかめむし　第十六圖 (10) (♀)

學名 Megymenum tauriforme Dist.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ黑褐ニシテ少シク藍色ヲ帶ブ、頭ノ中央ハ甚ダシク凹陷シ、複眼上ニハ各一個疣狀ノ突起アリ、觸角ハ四節ヨリ成リ、少シク平タク、第四節ノ末端ハ黃橙色ナリ、前胸背ニハ凹凸多ク前緣ノ兩側ニハ各一個棘狀ノ突起ヲ裝ヒ中央ニハ大ナル瘤狀ノ突起アリ、稜狀部ハ小ニシテ腹部ノ半ニ達セズ、

凹凸多シ、半翅鞘ハ小サク、膜質部ハ黃色ニシテ遙尾端ニ達セズ、腹部ノ兩緣ハ廣ク突出シ、各節ニ三角形ノ突起アリテ相共ニ鋸齒狀ヲナス、腹下部ハ穹狀ニ膨起シ雄ノ尾端ニハ廣キ臼樣ノ附屬物アリ、脚ハ體色ト同ジク、跗節ニ褐色部アリ、此ハ九州地方ニ稀ナラザル種類ニシテ余又之レヲ仙臺地方ニ捕獲セリ、體長(♂)四分五厘(♀)五分三厘內外、

(附言) 此ハ四節アル觸角ト腹部ノ中央ニ達セザル稜狀部トヲ有シ綠椿象科ノ特性ヲ有スレドモ觸角ノ附着點及ビ全體ノ構造ハ椿象科ニ屬スルモノナリ故ニ學者ハ此屬ヲ椿象科ニ編入ス、

(182) しらほしかめむし　第十六圖(11)(♀)

學名 Eusarcoris ventralis West.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰黃ニシテ稍ヤ卵形ニ近ク、頭ハ黑色ナレドモ少シク藍色ヲ帶ブ、中央ニアル頭頂板ノ兩側ハ畧ボ相平行シ、其末端ハ黃色ヲ帶ブ、觸角ハ細ク、黃色ニシテ第三及ビ第四節ハ多少暗色ヲ帶ブ、口吻ハ黃色、末端ハ黑褐、前胸背ノ前緣ニ近ク兩側ニ各一個黑紋ヲ有シ、側緣ハ白色、稜狀部ハ殆ンド尾端ニ達シ、基部ノ兩側ニ各一個小ナル卵形ノ黃白點アリ、又末端ニ近ク六個黑色紋ヲ裝ヒ尙ホ此紋ノ判然セザルモノモアリ、腹下部ノ中央ハ黑色ニシテ兩側ハ灰白、脚ハ淡黃ニシテ黑點ヲ散在シ、跗節端ハ黑褐ナリ、體長(♂)一分八厘(♀)二分三厘內外、

(附言) 圖畫ニアル稜狀部ノ白點ハ畫者誤テ大ニナセドモ實物ハ遙ニ小ナリ、

(183) まるしらほしかめむし 第十六圖 (12) (♀)

學名 Eusarcoris guttiger Thunb.

昆蟲學上ノ地位 椿象科

此ハ前種ニ酷似スレドモ形圓ク幅廣ニシテ全體ニ密在セル刻點ハ大キク稜狀部ハ長ク其基部ノ兩側ニアル黄紋ハ大ニシテ圓ク末端ニハ一個ノ黑紋アレドモ判然セズ、腹下部ハ全體黑藍色ニシテ兩側ハ黄色、體長(♂)(♀)二分內外、

(184) すこっとかめむし 第十六圖 (13) (♂)

學名 Menida Scotti Jak.

昆蟲學上ノ地位 椿象科

體ノ前半ハ暗綠、後半ハ紫褐。頭ノ中央ニアル頭頂板ノ兩側ハ平行シ、其末端ハ少シク頭ノ前緣ヨリ突出ス、觸角ハ黑色ニシテ第三節ノ末端、第四節ノ兩端及ビ第五節ノ後半ハ黄白、口吻ハ黑色ニシテ其基部ハ黄色、前胸背ノ側緣ハ黄白ニシテ兩側ハ少シク突出シ其內方ニ各一個低キ疣狀ノ突起アリ、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ基部ノ兩側及ビ末端ハ黄色ナリ、半翅鞘ハ紫色ヲ帶ビ、膜質部ハ透明ニシテ長ク其前緣ノ中央ニ暗色紋アリ、腹部ノ兩側ハ黄色ニシテ黑紋ヲ列子、體下部ハ暗黄ニシテ前胸片ノ中央ハ黑褐ナリ、此ハ札幌地方ニ普通ナル種類ニシテ廣ク西拉利亞地方ニモ傳播セリ、體長(♂)三分(♀)三分五厘內外、

(185) むらさきかめむし

第十六圖 (14) (♀)

學名　Carpocoris nigricornis F.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ赤紫色、頭ハ褐色乃至黑褐ニシテ細ク、中央ノ頭頂板ハ前方ニ於テ細ク赤色ナル前縁ニ達セズ、觸角ハ黑ク第一節ハ赤黃ナリ、口吻ハ黃色ニシテ細ク末端ハ黑色、前胸背ノ兩側ハ稍ヤ三角形ヲナシテ突出シ其部分黑色ナリ、前縁ニハ短カキ四個ノ黑縱條アリ、此ハ後方ニ至リテ不明トナル、中央ニハ一個黃色ノ縱條アリテ殆ンド稜狀部ノ末端ニ達ス、但シ此線ノ判然セザルモノアリ、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ基部ニハ半圓形ニ近キ黑紋ヲ裝ヒ又中央ニモ黑紋ヲ有スルモノアリ、末端ハ黃色、前翅ノ膜質部ハ暗黃乃至褐色ニシテ前縁ハ濃色ナリ、腹背ノ兩側ハ黃色ト黑色ト互交ノ斑ヲナス、體下部ハ黃色ニシテ胸部ノ兩側ニ突出セル部分ハ赤色、脚ハ黃色、脛節及ビ跗節ハ赤黃第三跗節ハ黑色、此ハ葱、胡蘿蔔(ニンジン)等ノ花ニ普通ナリ、體長(♂)四分五厘(♀)五分內外、

(186) くさぎかめむし

第十六圖 (15) (♀)

學名　Halyomorpha picus Fabr.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰黃若クハ灰褐ニシテ黃色ノ綾樣紋アリ、頭ハ稍ヤ長方形ヲナシテ前方ニ突出シ、複眼ノ前方ハ少シク刳ラレタルノ觀ヲナス、黃色點ヲ散在ス、觸角ハ赤黃、第三節ノ末端、第四節ノ中央及ビ

第五節ノ大部ハ黑褐、第一第二及ビ第三節ニハ黑褐ノ小點ヲ散在ス、口吻ハ黃色ニシテ末端ハ黑褐

前胸背ハ稍ヤ平タク、前緣ニ近ク四個ノ黃點ヲ横列シ、後方ニハ短カキ四個ノ黑縱條ヲ有スレドモ

此モノ種類ニヨリテ判然セズ、兩側ノ突起ハ少シク後方ヲ向ク、稜狀部ハ腹部ノ半ヲ越エ基部ノ兩

側ニ各一個黃色ノ小紋アリ、半翅鞘ノ中央ニハ數個短カキ黑褐ノ横條アレドモ此紋ノ判然セザルモ

ノモアリ、膜質部ハ暗黃ニシテ脈ニ沿ヒ斷續セル黑褐條アリ、腹背ノ兩側ハ黃色ト黑色ト互交ノ斑

ヲナス、體下ハ黃赤ニシテ雌ニアリテハ腹部ノ中央ニ大ナル黑紋ノ一列アリ、脚ハ赤黃ニシテ多數

ノ小黑點ヲ密在シ雄ニアリテハ其數ノ多キ爲メ腿節ノ基部、脛節ノ中部及ビ後肢ノ跗節ヲ除クノ外、

黑色ノ觀ヲナス、此ハ東京地方ニ普通ナル種類ニシテ好ンデくさぎノ液汁ヲ吸收ス、札幌地方ニハ

之レヲ産セズ、體長(♂)五分內外(♀)五分五厘乃至六分、

(187) よつぼしかめむし

第十六圖 (16) (♂)

學名 *Carpocoris fuscispinis* Boh.

昆蟲學上ノ地位　椿象科

體ハ灰黃若クハ灰綠、複眼ノ內方ニハ黃色紋ヲ裝ヒ前緣ノ中央ニハ稍ヤ三角形ノ切目アリ、觸角ハ

赤色ニシテ第四及ビ第五ノ大部ハ暗色其基部ノミ赤色ナリ、第一節ハ黃色ニシテ黑點ヲ散在ス、口

吻ハ黃色ニシテ其下方ノ一線及ビ末端ハ黑色、前胸背ノ兩側ニ於ケル突起ハ圓クシテ少シク暗色ヲ

帶ブ、前緣ニ近ク二個乃至四個ノ黃點ヲ一列ニ横列ス、稜狀部ハ長ク遙ニ腹背ノ中央ヲ越ユ、前翅

ノ膜質部ハ淡キ暗黃ニシテ半透明ヲナシ前緣ニ近ク二個暗黃ノ縱條アリ、體下及ビ脚ハ綠黃ニシテ

黑色ノ小點ヲ密在ス、此ハ廣ク歐洲及ビ西拉利亞地方ニモ産シ本邦ニテハ中國地方ニ普通ナリ、體長(♂)四分(♀)四分五厘、

(188) みんみんせみ (茄蟟)

第十七圖(1)(♂)

學名 Pomponia maculaticollis Motsch.

昆蟲學上ノ地位　蟬科 (Cicadidae)

體ハ黑色ニシテ綠紋ヲ裝フ、頭ハ小ニシテ頭頂ニハ四個ノ綠紋ヲ有シ、觸角ハ黑色、口吻ハ長クシテ後肢ノ基節ヲ越エ末端ハ黑色、前胸背ノ斑紋ハ種類ニヨリ異ナレドモ先ヅ中央ニ綠白ノ縱線ヲ有シ其兩側ニハ各二個ノ綠紋アリ、又複眼ノ後方ニ當リテモ各一個若クハ二個ノ綠紋アリ、後緣ノ中央及ビ兩側ニアル一紋モ綠色ナリ、中胸背ハ次ニシテ中央ノ四個乃至六個ノ小紋及ビ兩側ノ大紋ハ綠色、後緣ハ白粉ヲ以テ蓋ハレ十字形ノ隆起ハ綠白ニシテ其中央及ビ兩側ノ二點ハ黑色、翅ハ透明ニシテ後翅ハ小ナリ、前翅基部ノ翅脈ハ赤褐、末端ニアルモノハ黑色、前緣ノ基部ハ綠色、橫脈ニハ各一個楕圓形ノ黑紋ヲ裝ヒ、外緣脈ノ末端ニモ各一個小形ノ黑紋アリ、胸下及ビ脚ハ綠色、腿節ニハ黑紋及ビ黑條ヲ有シ脛節及ビ跗節ノ大部ハ黑色、但シ後跗節ノ中央ハ黃色、又中後脛節ノ基部ハ綠色ナリ、雄ノ發音器ヲ蓋ヘル鱗狀瓣ハ黑色ニシテ基部ニ二個綠白ノ大紋アリ、腹部ハ黑色、各節ノ末端黃色ヲ呈セルモノアリ、雌ノ腹部ハ短カシ、此ハ本邦普通ナル種類ナレドモ特ニ深山ニ多シ、東京地方ニアリテハ平原ニモ多シ、みんみんト鳴聲スルヲ以テ此名アリ、體長(♂)一寸二分(♀)一寸內外、翅ノ開張(♂)三寸八分內外、(♀)三寸九分內外、

(189) くまぜみ (蚱蟬)　　第十七圖 (2) (♀)

學名 Cryptotympana pustulata Fabr.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

體ハ光澤アル黑色、頭ノ前緣ニ三個ノ黃紋アリテ中央ニアルモノハ細線ヲナシテ顏ノ中央ニ達ス、口吻ハ黑色ニシテ短カシ、前胸背ハ頭部ト其幅ヲ等シクシ、兩側ニ各一個ノ黃紋アレドモ亦其紋ノ判然セザルモノアリ、灰黃ノ短毛ヲ密生ス、中胸背ノ基部ニアル縱溝ハ赤褐ナリ、翅ハ透明、翅脈ハ黃色若クハ綠色ニシテ外緣ニアルモノハ濃色又前緣ノ外半ニアルモノハ黑色ナリ、脚ハ黃色ニシテ前肢ノ大部ハ黑色、中後ノ兩肢ニハ黑條アリ、中後兩胸片ノ兩側ニハ白粉ヲ散布ス、雄ノ鱗狀瓣ハ黃橙色ニシテ外側ハ略ボ端直ナレドモ內方ハ斜ニ截斷セラレタルノ觀ヲナス、腹下ノ中央ニハ黃色ノ部分アリ又尾節ノ兩側ニモ黃橙紋アリ、但シ雌ニアリテハ此等ノ紋ハ暗黃ナリ、此ハ九州四國及ビ中國ニ普通ナル種類ナレドモ東京以北ニ產スルヲ見ズ、其鳴聲ハしやしやニ近シ、體長(♂)(♀)一寸四分五厘乃至一寸五分五厘、翅ノ開張三寸八分乃至四寸二分、

(190) あぶらせみ (鳴蜩)　　第十七圖 (3) (♂)

學名 Graptopsaltria corolata Stål.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

體ハ黑色、頭頂ノ中央ニハ二個ノ黃紋ヲ有シ兩側ニハ各一個小形ノ長紋アリ、觸角ハ暗黃ニシテ基

部及ビ末端ハ黑褐ナリ、口吻ハ淡黃ニシテ末端黑ク、後肢ノ基節外ニ達ス、前胸背ニハ二個大形ノ黃褐紋ヲ裝ヒ兩緣モ亦同色ナリ、十字形ノ隆起ハ黃褐ニシテ其中央及ビ前端ハ黑色、其周圍ハ白粉ヲ散在ス。翅ハ黃褐、不透明ニシテ凹凸アリ、外緣ノ大部ハ黑褐、外緣室ノ外方ニ各一個黃白紋ヲ裝ヒ、翅脈ハ黃色、後翅ハ前翅ヨリ少シク濃色ナリ、脚ハ黃色ニシテ黃條ヲ裝フ、鱗狀瓣ハ短カク卵形ヲ呈シ、腹下ハ暗黃ニシテ白粉ヲ散布ス、雄ノ尾節ハ上方ニ曲リ兩側ニ棘狀ノ突起ヲ有ス、此ハ本邦何レノ地ニモ普通ナル種類ニシテ重ニ日暮ニ鳴聲ス、體長(♂)一寸二分乃至一寸二分五厘翅ノ開張三寸四分乃至三寸六分、

(191) つくつくぼうし (寒蟬)　第十七圖 (4) (♂)

學名 Cosmopsaltria opalifera Wk.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

雄ノ體ハ黑色ニシテ黃綠紋ヲ裝ノ、後頭ニハ四紋アリテ一列ニ横列ス、前頭ニ一個ノ横紋ヲ裝ヒ、額ニモ亦一紋アリ、口吻ハ黃色ニシテ末端ハ黑色、前胸背ニハ不定紋多シ、中胸背ニ四個ノ縱條アリテ兩側ニアルモノハ短カク中央ニアルモノハ長ク其兩端ハ細シ、其中央ニ當リ更ニ二個小縱紋アリ、十字形ノ隆起ハ黃綠ニシテ中央ハ黑色、翅ハ透明、翅脈ハ赤褐、外緣ニアルモノハ暗褐ナリ、前緣ノ基部ハ綠色、第二及ビ第三外緣室ニアル横脈ノ兩側ハ暗黑ナリ、脚ハ黃綠ニシテ黑紋黑條アリ、鱗狀瓣ハ黑色ニシテ稍ヤ三角形ヲナシ少シク膨起ス、腹背ハ黃白ノ光澤アル短毛ヲ裝ヒ第一及ビ第二腹節ノ後緣ハ黃綠ナリ雌ニアリテ黃綠ノ斑紋大形トナリテ寧ロ其地色ヲナセリ、產卵管ハ甚

ダ長ク遙尾端ヨリ突出ス、退化セル鱗狀瓣ハ黃綠ニシテ其外緣ハ黑色、腹下部ハ黃綠ニシテ各節ノ後緣ハ黑色ナリ、此ハ本邦固有ノ種類ニシテ何レノ地ニ到ルモ其つくつくぼうしノ鳴聲ヲ聞キ得ベシ晚夏出ヅルモノ最モ多シ、體長(♂)九分五厘內外(♀)八分五厘(產卵管ヲ除キ)、翅ノ開張(♂)(♀)二寸六分乃至二寸七分、

(192) はるせみ

學名 Terpnosia Pryeri Dist.

第十七圖(5)(♂)

昆蟲學上ノ地位 蟬科

體ハ黑色、殆ンド斑紋ヲ缺ク、金色ノ短毛ヲ裝フ、額ハ甚ダシク膨起シ其兩側及ビ口吻ハ黃色、末端ハ黑色、中胸背ニアル十字形隆起ノ兩側ハ黃褐、翅ハ透明、翅脈ハ黑褐、外緣室ニ於ケル橫脈上ニ卵形ノ暗色紋アリ、脚ハ暗黃ト黑褐相半シ、腿節ノ末端ハ黃色ナリ、鱗狀瓣ハ小ニシテ短カク灰色ニシテ基部ハ暗褐ナリ、腹背ハ黑色ナレドモ兩側ニ淡キ黃褐紋ヲ裝ヒ、腹下部ハ暗黃ナリ、尾節ハ甚ダ小ナリ此ハ本邦餘リ普通ナラザル種類ニシテ九州、中國ニハ稀ナラズ、多ク松林ニアリテ鳴聲ス、故ニまつせみノ名アリ、體長(♂)一寸內外、翅ノ開張二寸二分內外、

(193) ゑぞはるぜみ

學名 Terpnosia nigricosta M)tsch.

第十七圖(6)(♂)

昆蟲學上ノ地位 蟬科

體(♂)ハ黑色ニシテ綠紋ヲ裝フ、頭ハ小ニシテ前頭ニ一個ノ小紋アリ、觸角ノ上部ニアル突起ハ末端ニテ黃色ヲ呈ス、口吻ハ黃色、末端ハ黑色、前胸背ノ後緣ハ黃綠ニシテ其兩側ニ各二個ノ黑紋アリ、中央ニハ一個紡錘狀ノ縱紋ヲ裝ヒ兩側ニハ各三個アリテ內側ニアルモノ最モ小ナリ、但シ此等ノ紋ノ變化セルモノアリ、中胸背ノ兩側ニ各一個ノ大紋アリ中央ニ黃紋アレドモ判然セズ、十字形ノ隆起ハ綠色、其前方ハ黃色ニシテ黑紋アリ、翅ハ透明、翅脈ハ翅底ノ小半ニ於テ綠色ヲ呈シ外緣ノ大部ハ黑色、外緣室ノ横脈ニハ楕圓形ノ黑紋アリ、又外緣脈ノ末端ニ同色ナル卵形ノ小紋アリ、前緣ハ綠色ナレドモ其ノ下方及ビ前側ハ黑色ナリ、又前緣ノ中央ニ接スル翅脈ハ其部分ニ於テ黃白ヲ呈ス、鱗狀瓣ハ黑褐ニシテ周緣ハ暗黃、銀色ノ短毛ヲ密生ス、腹部ハ黃色ニシテ兩側ニ黑紋ヲ裝ヒ最後ノ二節ハ黑色、脚ハ前種ト畧ボ同樣ニシテ黃色ト黑褐ト相半ス、中後ノ兩脛節ハ黃色ニシテ外側ノ一條及ビ基部ハ黑色ヲ呈ス、雌ニアリテ遙ニ小サク前胸背ノ綠紋ハ大ニシテ殆ンド地色ヲナシ腹背ニハ銀色ノ短毛ヲ密生ス、此ハ北海道及ビ青森地方ニ普通ナル種類ニシテ早春ヨリ其鳴聲ヲ聞キ得ベシ、體長(♂)一寸一分內外(♀)八分內外、

(194) ひぐらし

第十七圖 (9) (♂)

學名　Leptopsaltria japonica Horv.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

雄ノ體ハ黃褐、頭及ビ顏ハ綠色、單眼ノ周圍其兩側ノ斜條及ビ觸角下ノ一條ハ黑色、口吻ハ淡黃ニシテ末端ハ黑色、前胸背ノ後緣ハ淡綠ニシテ兩側ニ黑紋アリ、中央ニハ棍棒狀ノ綠色縱線アリ、中

胸背ハ黑色ニシテ兩側ニ綠色ノ大紋アリテ其内方ハ黃褐ヲ呈ス、中央ニハ黃綠ナルU字形ノ二紋ヲ並列シ其外側ノ末端ハ二叉シ內側ノ末端ハ半圓形ニ膨大ス、十字形ノ隆起ハ黃色ニシテ前緣ニハ黑紋ヲ有シ兩側ハ綠色ナリ、翅ハ透明、翅脈ハ黃色、中央ニハ黑脈アリ又前緣ニ接スル脈ハ白色ヲ呈ス、外緣室ノ橫脈ニハ楕圓形ノ黑色ヲ有シ、外緣脈ノ末端ニハ圓形ノ黑紋アリ、脚ハ淡黃ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ、前脛節ハ黃褐、中後脛節ノ基部ハ黑褐ナリ、鱗狀瓣ハ黃白ニシテ少シク綠色ヲ帶ビ形小ナリ、腹下部ハ灰色ニシテ白粉ヲ裝ヒ第一及ビ第二節ノ兩側ニ各一個疣狀ノ突起ヲ有シ第二節ニアルモノハ小ニシテ判然セズ、雌ハ遙ニ小ニシテ腹下部ニ疣狀ノ突起ヲ缺キ腹背ニハ銀色ノ短毛ヲ密生ス、此ハ北海道ヲ除クノ外何レノ地ニ至ルモ普通ナル種類ニシテ殊ニ山間ニ多シ、其鳴聲かなかなニ似タリ、體長(♂)一寸二分内外(♀)九分内外、翅ノ開張(♂)三寸二分内外(♀)三寸内外、

(附　言) 此學名ヲ從來 Pomponia Japonensis Dist. トセシナレドモ此ハ Leptopsaltria Japonica Horv. ノシノニムナリ、

(195) にいにいせみ (蟪蛄)　第十七圖 (10) (♂)

學名　Platypleura Kaempferi Fabr.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

體ハ黃綠ニシテ黑紋黑條ヲ裝フ、後頭ニハ二個ノ小紋ヲ有シ、單眼ノ前方ニハ太キ橫條アリ、前頭ノ觸角上ニ當ル處ニ各一個ノ小紋アリ、口吻ハ甚ダ長ク雄ニアリテハ鱗狀瓣ヲ越ユ、前胸背ノ兩側ハ三角形ヲナシテ突出シ中央ニハ縱條アリテ後緣ニ至リ膨大ス、兩側ニモ數紋アリ、中胸背ノ前緣

ヨリ四大紋ヲ出シ、中央ノ二紋ハ小ニシテ圓錐形ヲナス、中央ニハ菱狀紋アリテ中央ニアルモノハ太キ横條ヲナス、翅脈ハ黄綠ナリ、後翅ハ黑色ニシテ後縁及ビ外縁ハ白色、脚ノ大部ハ黄褐ニシテ黄線及ビ黑褐紋アリ、鱗狀瓣ハ廣クシテ短カク灰黄ナリ、各腹節ノ後縁ハ黄綠ヲ帶ブ、體ハ短形ノ種類ニシテ夏日何レノ地ニ至ルモ普通ナリ、體長(♂)(♀)七分五厘内外、翅ノ開張二寸三分内外、

(196) こゑぞせみ　第十七圖 (7) (♂)

學名 *Cicada bihamata* Motsch.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

體ハ黑色、後頭ノ兩側ニハ黄紋ヲ有シ、單眼ノ兩側ニハ各一個ノ黄點アリ、又前頭ニハ四個ノ黄紋アリテ中央ニアルモノハ縱列ス、口吻黄色、短カクシテ漸ク中肢ノ基節ニ達ス、末端ハ黑色、前胸背ノ周縁ハ黄色ニシテ後縁ノ兩側ニハ更ニ黑綠及ビ黑紋アリ、中央ニハ黄色ノ縱條ヲ有シ其兩側ハ黑色、其外方ニハ各一個大ナル卵形ノ赤褐紋ヲ裝フ、中胸背ノ兩側ニアル縱條及ビ中央ニアルW字形ノ一紋ハ黄色、十字形ノ隆起ハ黄色ニシテ中央ハ黑色、翅ハ透明、翅底翅脈ノ三分ノ一ハ黄色若クハ少シク綠色ヲ帶ビ翅端ノ三分ノ二ハ黑色、第一及ビ第二外緣脈ノ横脈ハ其兩側ニ於テ少シク黑色ヲ帶ブ、脚ハ赤褐ニシテ黑紋ヲ有シ腿節及ビ脛節ノ末端並ニ後肢ノ脛節ハ黄色ナリ、(♂)ノ鱗狀瓣ハ黄白ニシテ長ク中央ニ於テ細ク縊レ末端ハ圓シ、腹背ニハ金色ノ短毛ヲ裝ヒ兩側ニハ白粉ヲ散布シ尾端ノ兩側ニハ黄紋アリ、此ハ札幌地方ニテハ普通ナル種類ナレドモ本州ニテハ高山ニ稀ナラズ、體長(♂)(♀)一寸一分内外、翅ノ開張三寸一分内外、

第十七圖 (8) (♂)

(197) ゑぞぜみ

學名 Cicada flammata Dist.

昆蟲學上ノ地位　蟬科

前種ニ酷似セル種類ニシテ其異ナル所ハ左ノ如シ

體ハ遙ニ大キク腹背(♂)基部ノ兩側ニアル大紋、第七節ニ於ケル兩側ノ後緣及ビ鱗狀瓣ハ黃橙色、後者ハ中央ニ於テ少シク縊レ末端ハ圓シト雖モ其內方ニ於テ少シク斜傾ス、腹下部ニ於ケル尾端ノ二節ハ同ジク黃橙色ナリ、此ハ札幌地方ニ普通ナル種類ニシテ九月頃ニ出ヅルモノ多シ、東北地方ニ產スレドモ稀ナリ、體長(♂)(♀)一寸三分五厘內外、翅ノ開張三寸八分內外、

日本千蟲圖解第一卷終

第一圖

第 一 圖 (PLATE I.)

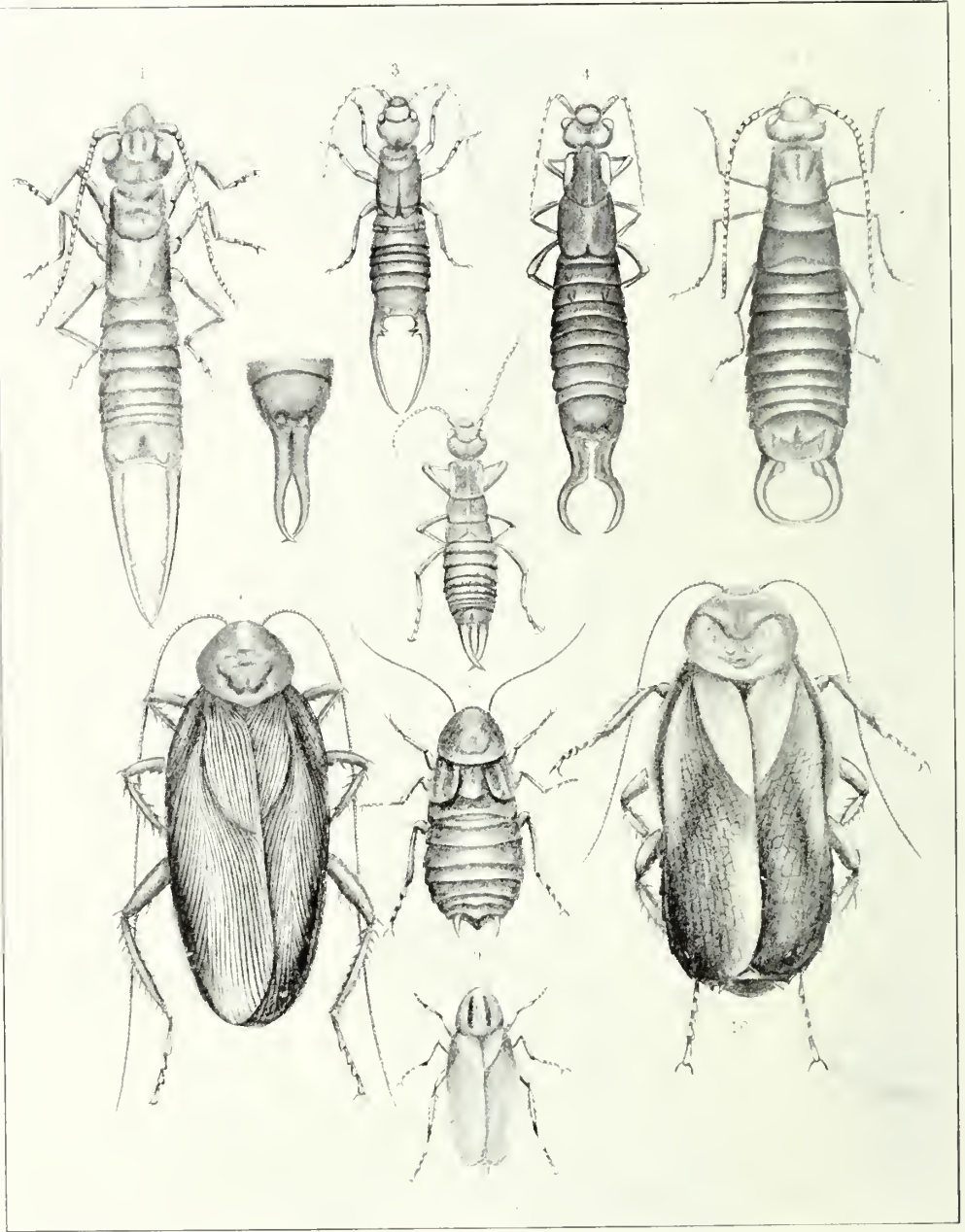
1.	Aphorura inermis Tull.	しろとびむしもどき
2.	Isotoma nitida Fols.	くろとびむし
3.	Achorutes communis Fols.	とびむし
4.	Achorutes gracilis Fols.	むらさきとびむし
5.	Xenylla longicauda Fols.	せすぢとびむし
6.	Entomobryia straminea Fols.	きとびむし
7.	Cremastocephalus affinis Fols.	ひげながきとびむし
8.	Seira japonica Fols.	おびとびむし
9.	Papirius denticulatus Fols.	しままるとびむし
10.	Smynthurus hortensis Fitch.	まるとびむし (ぢのみ)
11.	Smynthurus viridis L. var. annulatus Fols.	きまるとびむし
12.	Lepisma saccharina L.	しみ

第一圖　Pl. I.

第二圖

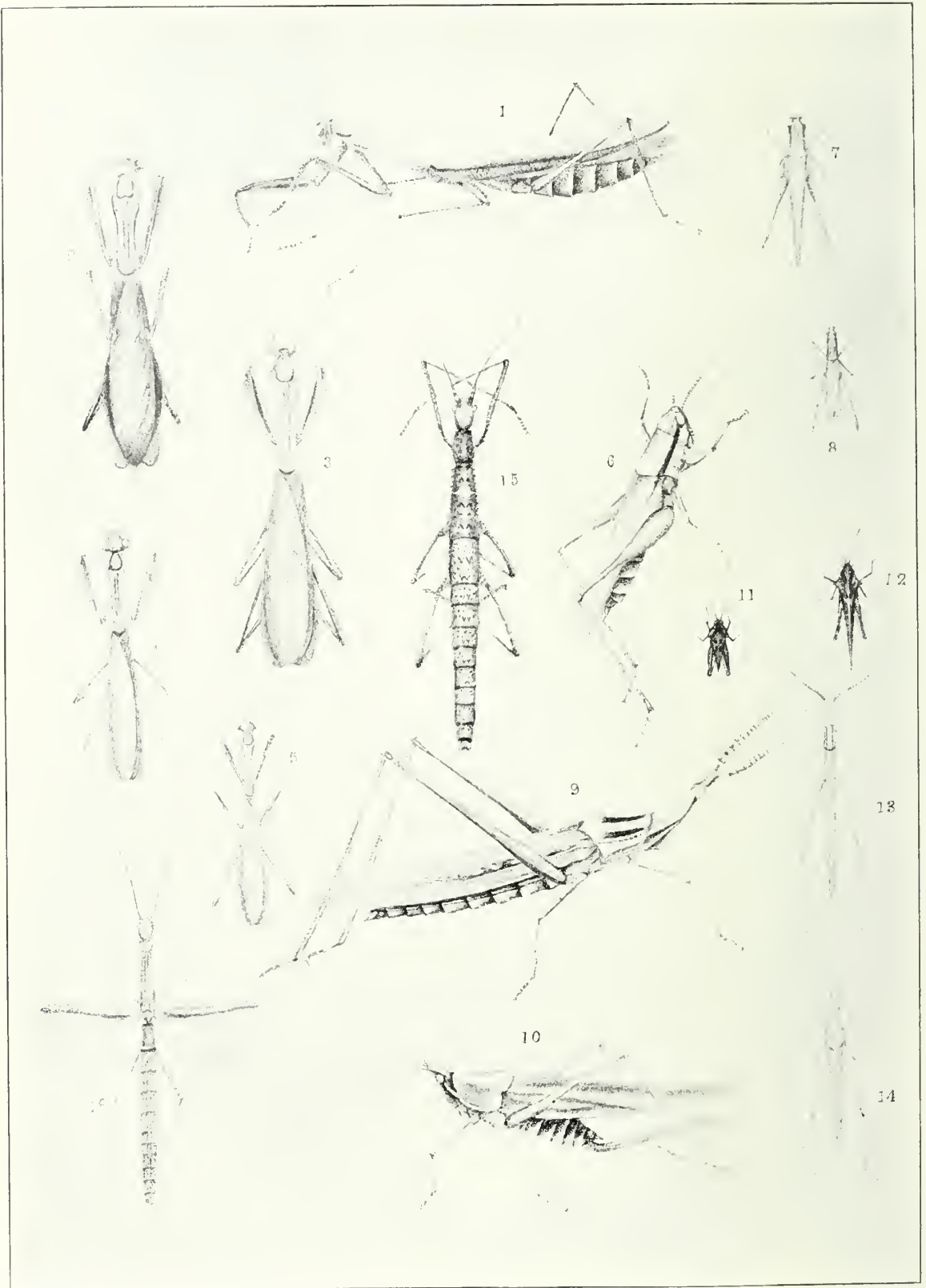
第二圖 (PLATE II.)

1.	Labidula riparia Pall. ♂	おははさみむし
2.	Labidula riparia Pall. ♀	仝　上
3.	Apterygida japonica Borm. ♂	こぶはさみむし
4.	Forficula tomis Kolen. ♂	くぎぬきはさみむし
5.	Anisolabia maritima Guén. ♂	はさみむし
6.	Anisolabia marginalis Dohrn. ♂	ひげじろはさみむし
7.	Stylopyga conncina Hag. ♂	ごきぶり
8.	Stylopyga orientalis L. ♀	こばねごきぶり
9.	Phyllodromia germanica Steph. ♂	ちやばねごきぶり
10.	Panesthia angustipennis Illig. ♀	おほごきぶり

第二圖　　Pl. II.

第三圖

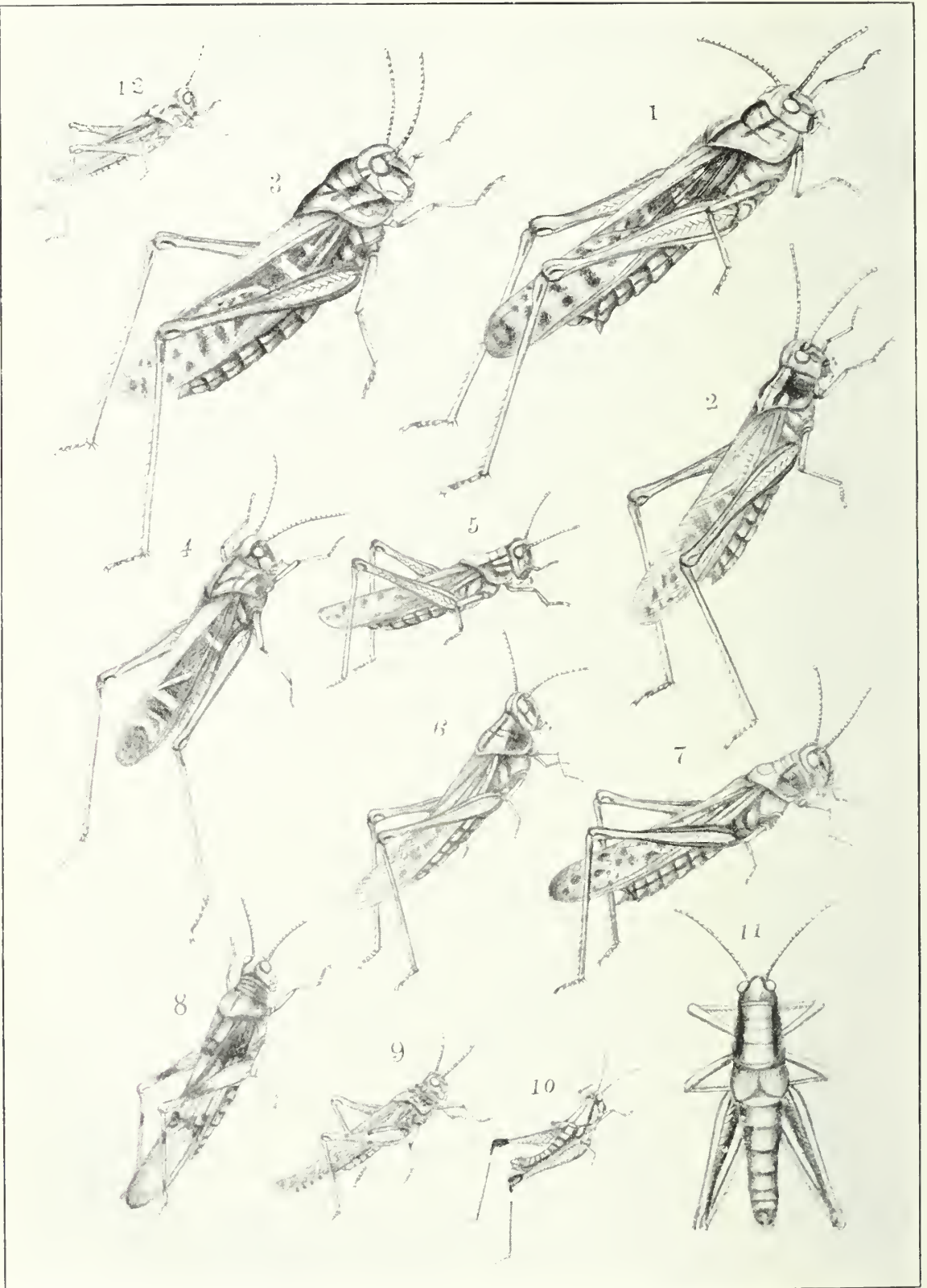
第 三 圖 (PLATE III.)

1.	Tenodera aridifolia Stoll. ♀	かまきり
2.	Hirodula bipapilla Serv. ♀	はらびろかまきり
3.	Tenodera capitata Sauss. ♂	おほかまきり
4.	Pseudomantis maculata Thunb. ♀	こかまきり
5.	Pseudomantis maculata Thunb. ♂	仝 上
6.	Oxya velox Fabr. ♀	はねながいなご
7.	Parapleurus alliaceus Guér. ♀	いなごもどき
8.	Chrysochraon japonicus Boliv. ♂	なきいなご
9.	Tryxalis nasuta L. ♀	しやうりやうばつた
10.	Conocephalus Thunbergi Stål. ♀	くびきりばつた
11.	Tettix japonicus D.H. ♂	ひしばつた
12.	Criotettix bispinosus Dalm. ♂	つちばつた
13.	Gelastorhinus esox Sauss. ♂	きちきちばつた
14.	Atractomorpha Bedeli Boliv. ♂	おんぶばつた
15.	Acanthoderus japonicus D.H. ♀	とげななふし
16.	Necrosia chloris Serv. ♀	とびななふし

1
7
3
15
6
8
11
12
5
9
13
10
14

第四圖

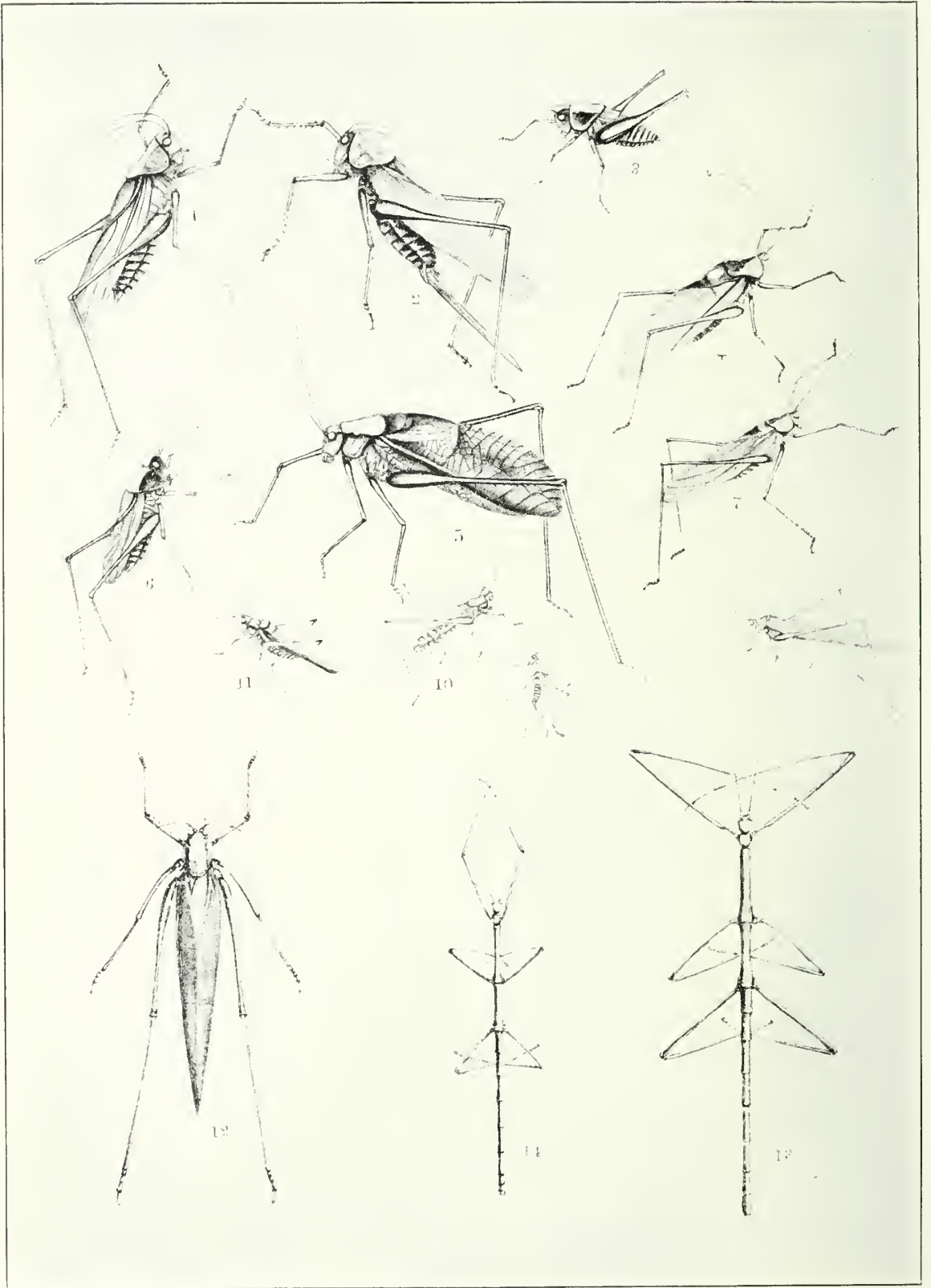
第四圖 (PLATE IV.)

1.	Pachytylus danicus L. ♀	とのさまばつた
2.	Pachytylus migratorioides Reich. ♂	だいわんばつた
3.	Oedaleus marmoratus Thunb. ♀	くるまばつた
4.	Oedaleus infernalis Sauss. ♀	くるまばつたもどき
5.	Acridium consanguineus Serv. ♂	せすぢいなご
6.	Acridium succinctum L. ♀	つちいなご
7.	Acridium succinctum L. ♂	仝上
8.	Sphingonotus japonicus Sauss. ♀	かわらばつた
9.	Trilophidia annulata Thunb. ♀	いぼばつた
10.	Podisma pedestris L. ♂	ふきばつた
11.	Podisma mikado Boliv. ♀	みやまふきばつた
12.	Stenobothrus bicolor Charp. ♂	ひなばつた

第四圖 Pl. IV.

第五圖

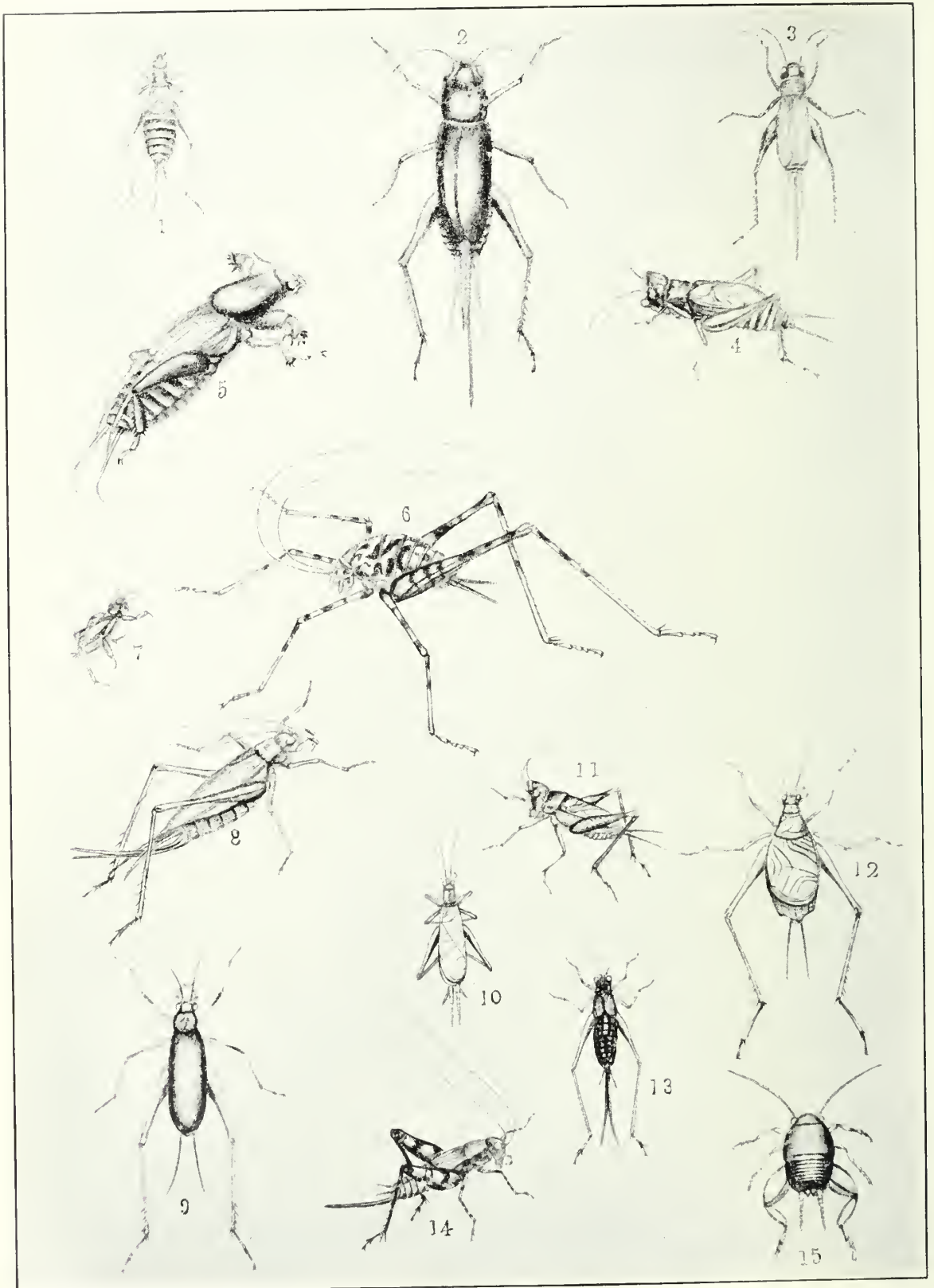
第五圖 (PLATE V.)

1. Gompsocleis mikado Burr. ♂ きりぎりす
2. Locusta japonica Brun. ♀ やぶきり
3. Platycleis Bonneti Boliv. ♂ こはねきりぎりす
4. Hexacentrus plantaris D.H. ♂ うまおひむし
5. Mecopoda niponensis D.H. ♂ くつわむし
6. Decticus japonicus Boliv. ♂ いぶきぎす
7. Ducetia japonica Thunb. ♂ せすぢつゆむし
8. Phaneroptera nigroantennata Brun. ♂ つゆむし
9. Meconema ablicorne Motsch. ♀ ひめつゆむし
10. Xiphidium Sasakiri Mats. ♀ こばねささきり
11. Xiphidium melananum D.H. ♂ ささきり
12. Holochlora brevifissa Brun. ♀ くだまきだまし
13. Lonchodes niponensis D.H. ♂ ななふし
14. Lonchodes stomphax West. ♂ えだななふし

第五圖　Pl. V.

第六圖

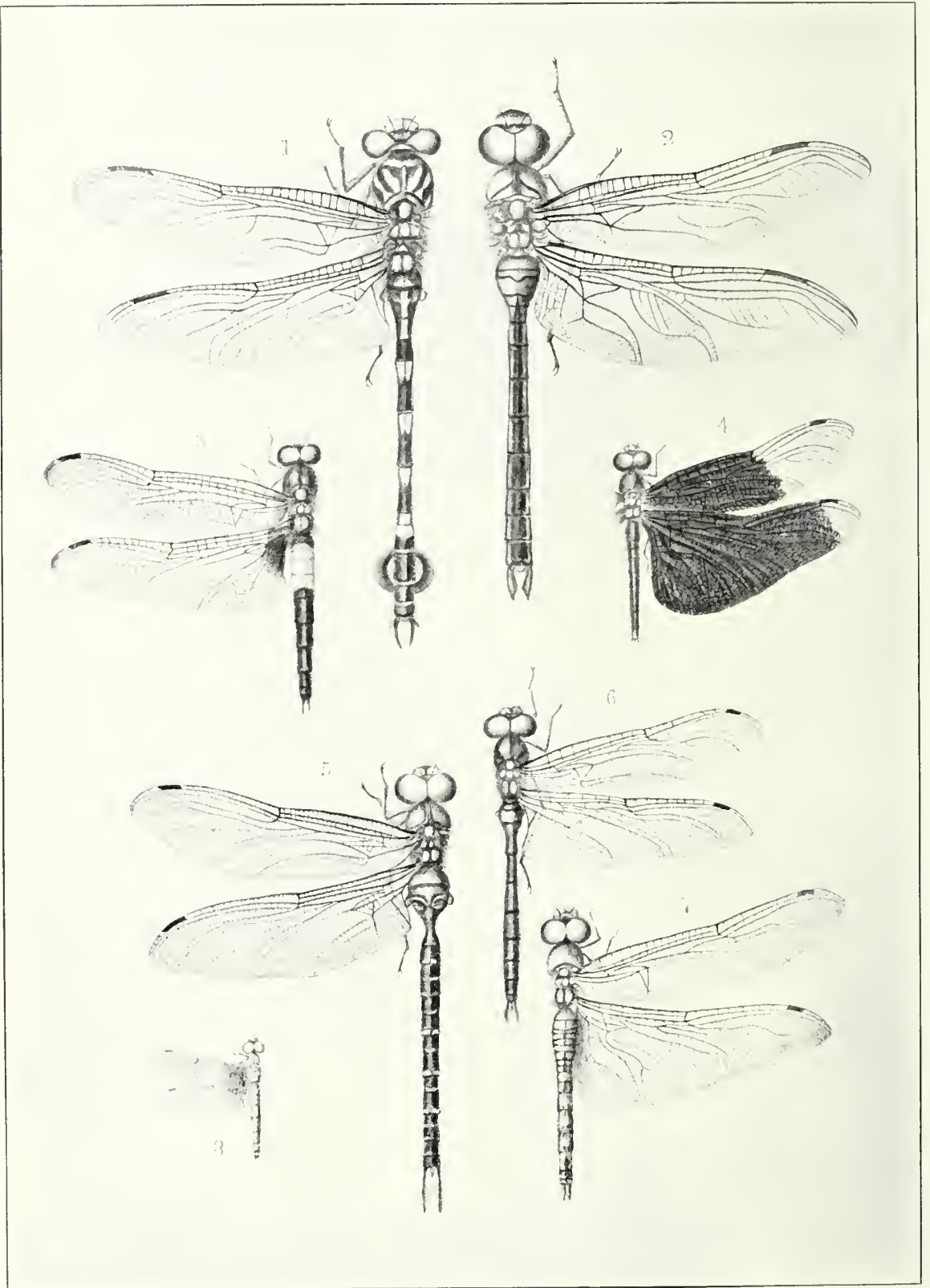
第六圖 (PLATE VI.)

1. Ectatoderus Kanetataki Mats. ♂ かねたたき
2. Gryllodes mitratus Burm. ♀ えんまこほろぎ
3. Gryllus conspersus Schin. ♀ ひめこほろぎ
4. Loxoblemmus Haanii Sauss. ♂ みつかどこほろぎ
5. Gryllotalpa africana Pal. ♀ けら
6. Diestrammena marmoratus D.H. ♂ まだらかまどうま
7. Tridactylus japonicus D.H. ♀ のみばつた
8. Calyptotryphus marmoratus D.H. ♀ まつむし
9. Homoeogryllus japonicus D.H. ♀ すずむし
10. Oecanthus longicauda Mats. ♂ かんたん
11. Loxoblemmus equestris Sauss. ♂ おかめこほろぎ
12. Homoeogryllus japonicus D.H. ♂ すずむし
13. Euscirtus hemelytris D.H. ♀ こばねささきりもどき
14. Nemobius nigrofasciatus Mats. ♀ まだらすず
15. Myrmecophilus japonicus Mats. ♂ ありつかこほろぎ

第六圖　Pl. VI.

第七圖

第七圖 (PLATE VII.)

1. Ictinus clavatus F. ♂	うちわとんぼ
2. Anax parthenope Selys. ♂	ぎんやんま
3. Pseudothemis zonata Burm. ♂	こしあきとんぼ
4. Rhyothemis fuliginosus Selys. ♀	てふとんぼ
5. Gnacantha hyalina Selys. ♂	かとりとんぼ
6 Somatochlora viridiaenea Uhl. ♂	ゑぞとんぼ
7. Pantela flavescenes F. ♂	うすばきとんぼ
8. Nannophya pygmaea Ramb. ♂	はつちようとんぼ

第七圖　Pl. VII.

第八圖

第 八 圖 (PLATE VIII.)

1. Anotogaster Sieboldii Selys. ♂ おにやんま

2. Epophthalmia amphigena Selys. ♂ こやまとんぼ

3. Hagenius japonicus Selys. ♂ こおにやんま

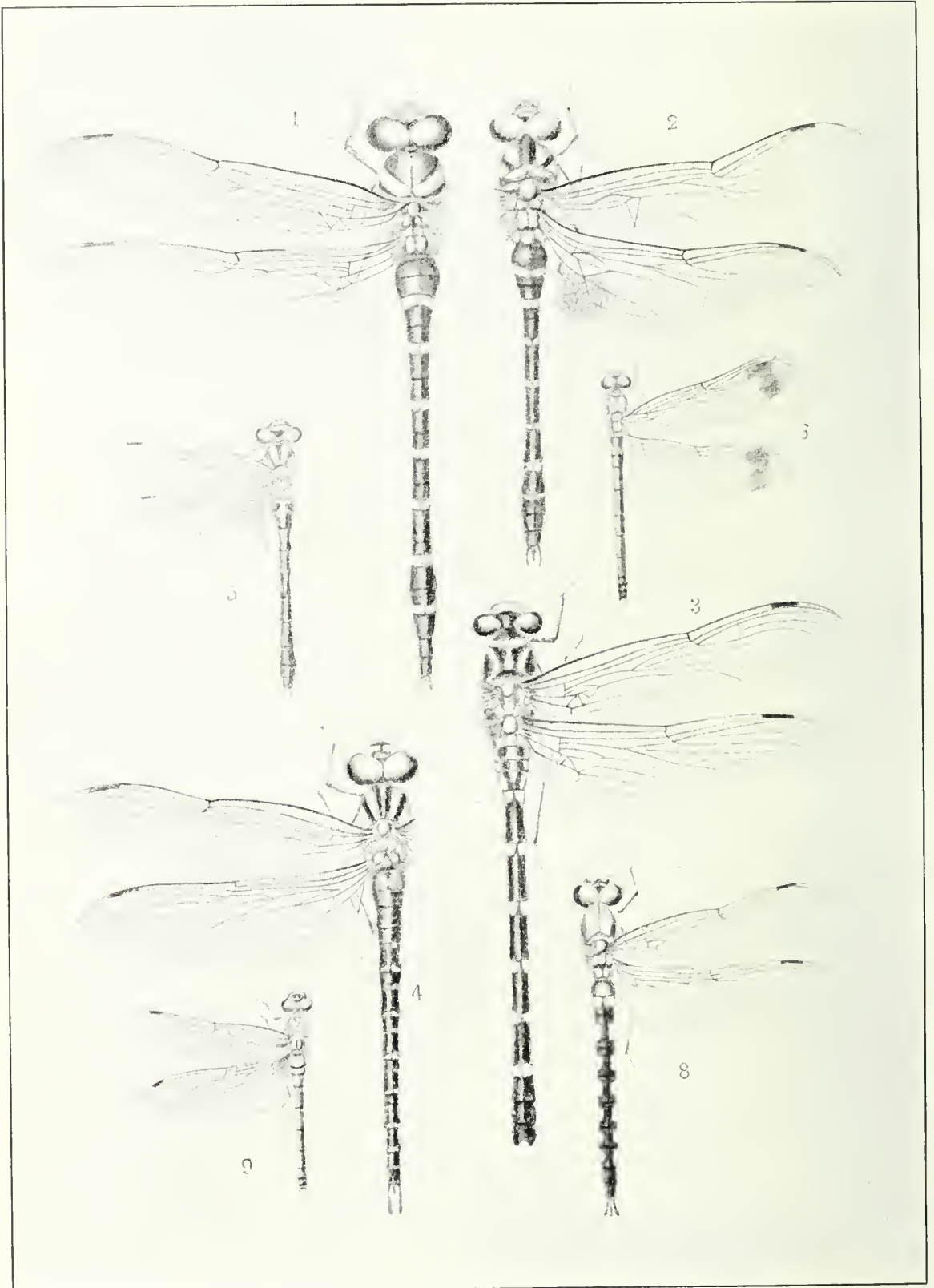
4. Aeschnophlebia optata Selys. ♂ よしとんぼ

5. Aeshna melampus Selys. ♂ さなへとんぼ

6. Sympetrum pedemontana Mull. ♂ みやまあかね

8. Somatochlora? marginata Selys. ♂ とらふとんぼ

9. Sympetrum sinensis Selys. ♂ なつあかね

1
2
6
5
3
4
8
9

第九圖

第九圖 (PLATE IX.)

1. Orthetrum melania Selys. ♂ おほしほからとんぼ

2. Libellula 4-maculata L. ♂ よつぼしとんぼ

3. Crocothemis servillia Drury. ♀ しやうじやうとんぼ

4. Leucorrhina fujisana Mats. ♀ ふじきとんぼ

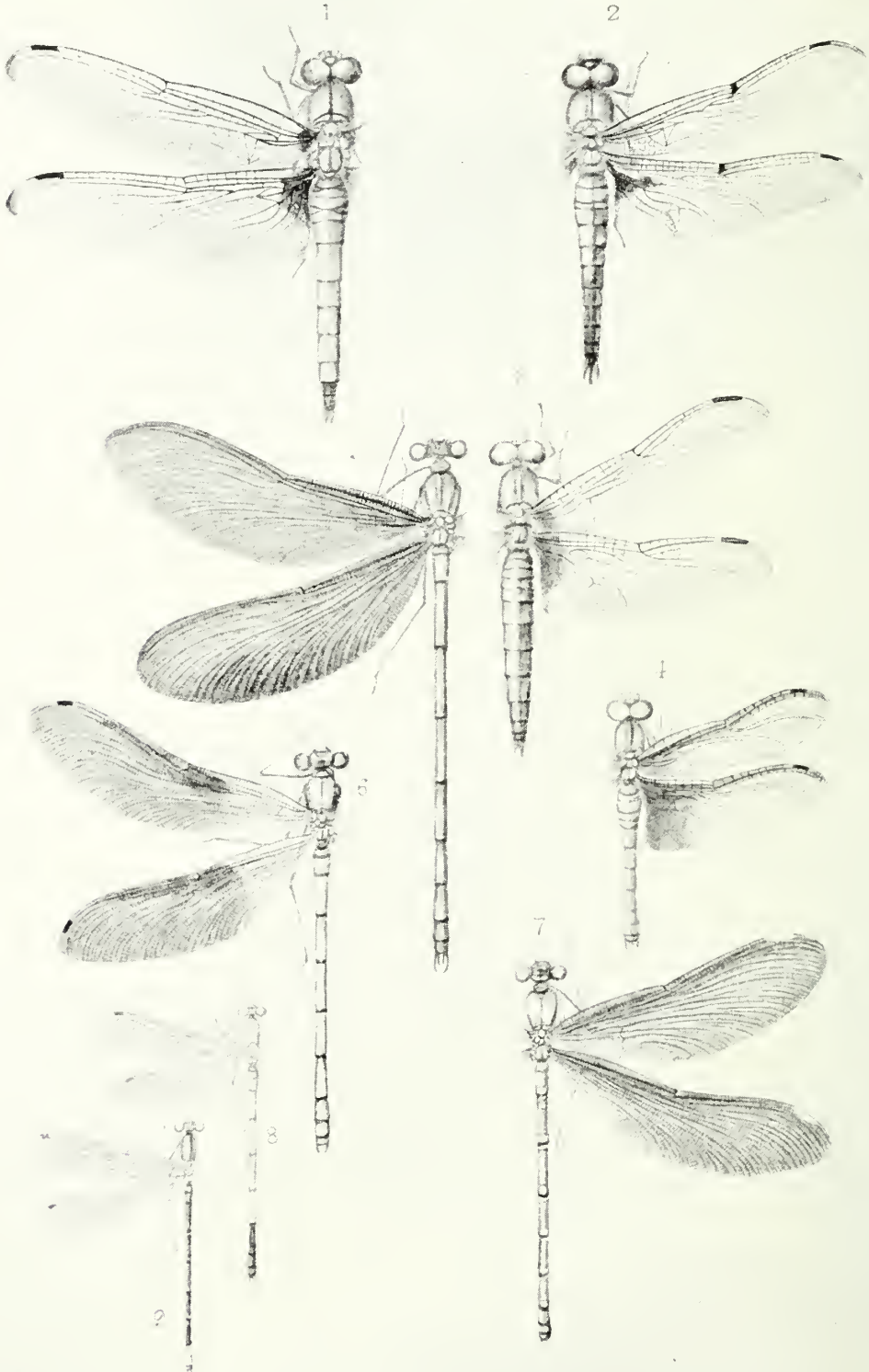
5. Calopteryx cornelia Selys. ♂ みやまかわとんぼ

6. Mnais pruinosa Selys. ♂ かわとんぼ

7. Calopteryx virgo L. var. japonica Selys. ♀ あをはだとんぼ

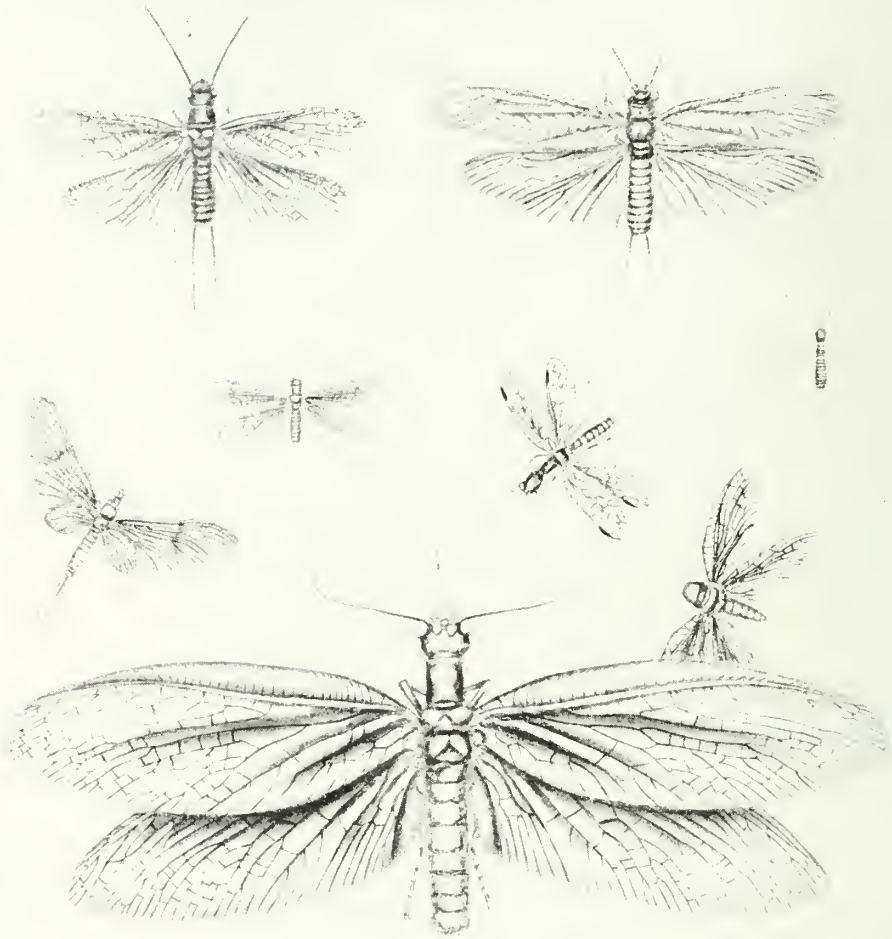
8. Ceragrion coromandelianum F. ♂ きいととんぼ

9. Agrion Sieboldii Selys. ♂ おほいととんぼ

第九圖 Pl. IX.

第
十圖

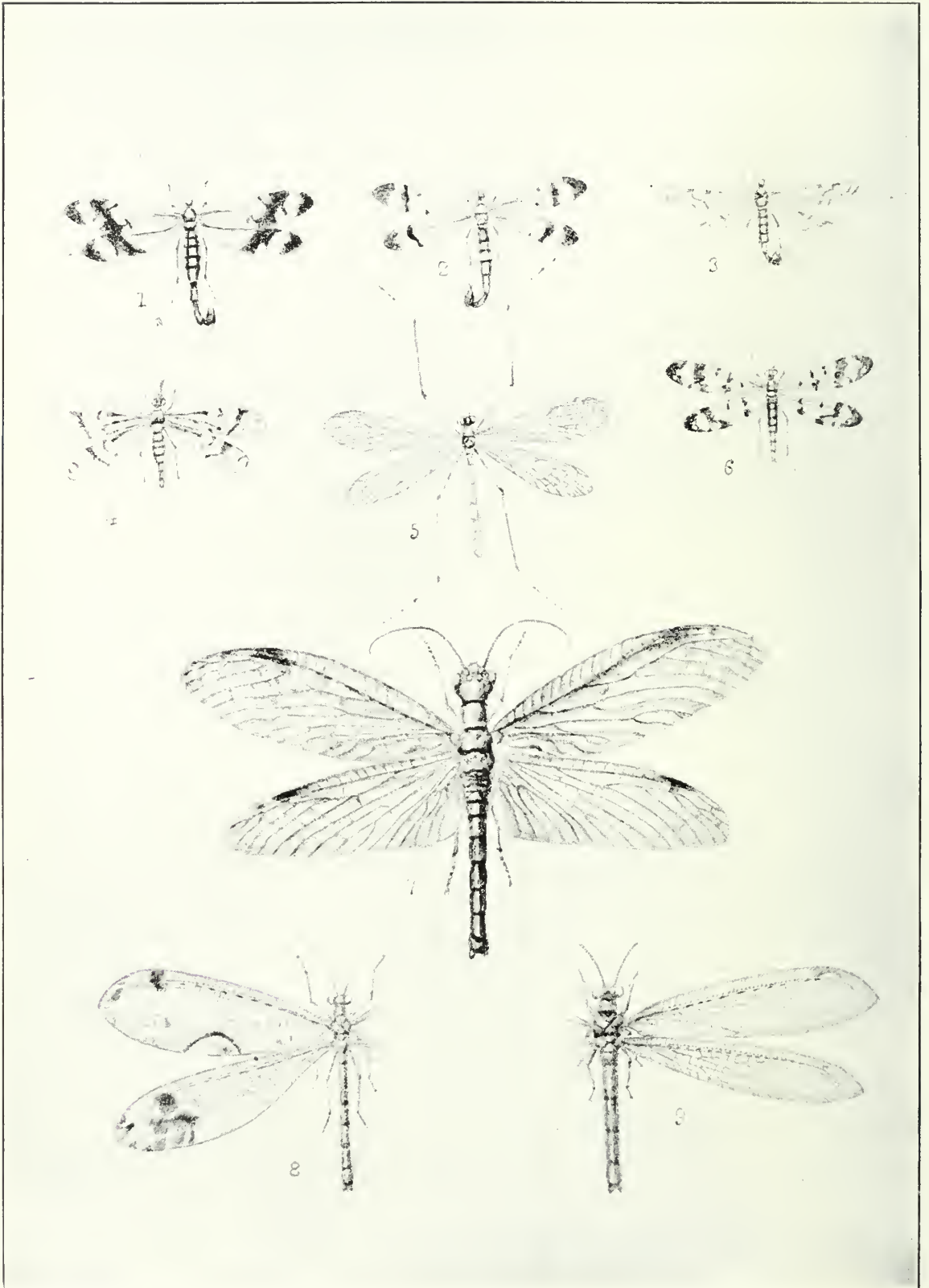
第十圖 (PLATE X.)

1.	Neuromus grandis Thunb. ♂	へびとんぼ
2.	Perla tinctipennis M'L ♂	おほかはげら
3.	Pteronarcys reticulata Burm. ♂	あみめかはげら
4.	Nemura japonica Mats.	をなしかはげら
5.	Inocellia crassicornis Schum. ♀	らくだむし
6.	Sialis sibiricus M'L.? ♂	せんぶり
7.	Termes speratus Kolb. ♂	しろあり
8.	Ephemera strigata Eat. ♂	もんかげろう
9.	Siphlurus sapporensis Mats. ♂	ふたをかげろう
10.	Baëtis binoculatus L. ♂	しろはらかげろう
11.	Cloëon dipterum L. ♀	ふたばかげろう
12.	Ephemera japanica M'L.	すかしばかげろう

第十圖　Pl. X.

第十一圖

第十一圖 (PLATE XI.)

1.	Panorpa japonica Thunb. ♂	しりあげむし
2.	Panorpa Klugi M'L. ♂	べつかふしりあげむし
3.	Panorpa leucoptera Uhl. ♂	ふたすぢしりあげむし
4.	Panorpa Pryeri M'L. ♀	ぷらいやしりあげむし
5.	Bittacus sinensis Walk. ♀	かもどきしりあげむし
6.	Panorpa communis L. ♀	まだらしりあけむし
7.	Chauliodes japonicus M'L. ♂	くろすぢかげろう
8.	Glenurus japonicus M'L. ♂	まだらうすばかげろう
9.	Myrmeleon contubernalis M.L. ♀	こかすりうすばかげろう

第十一圖　　Pl. XI.

第十二圖

第十二圖　(PLATE XII)

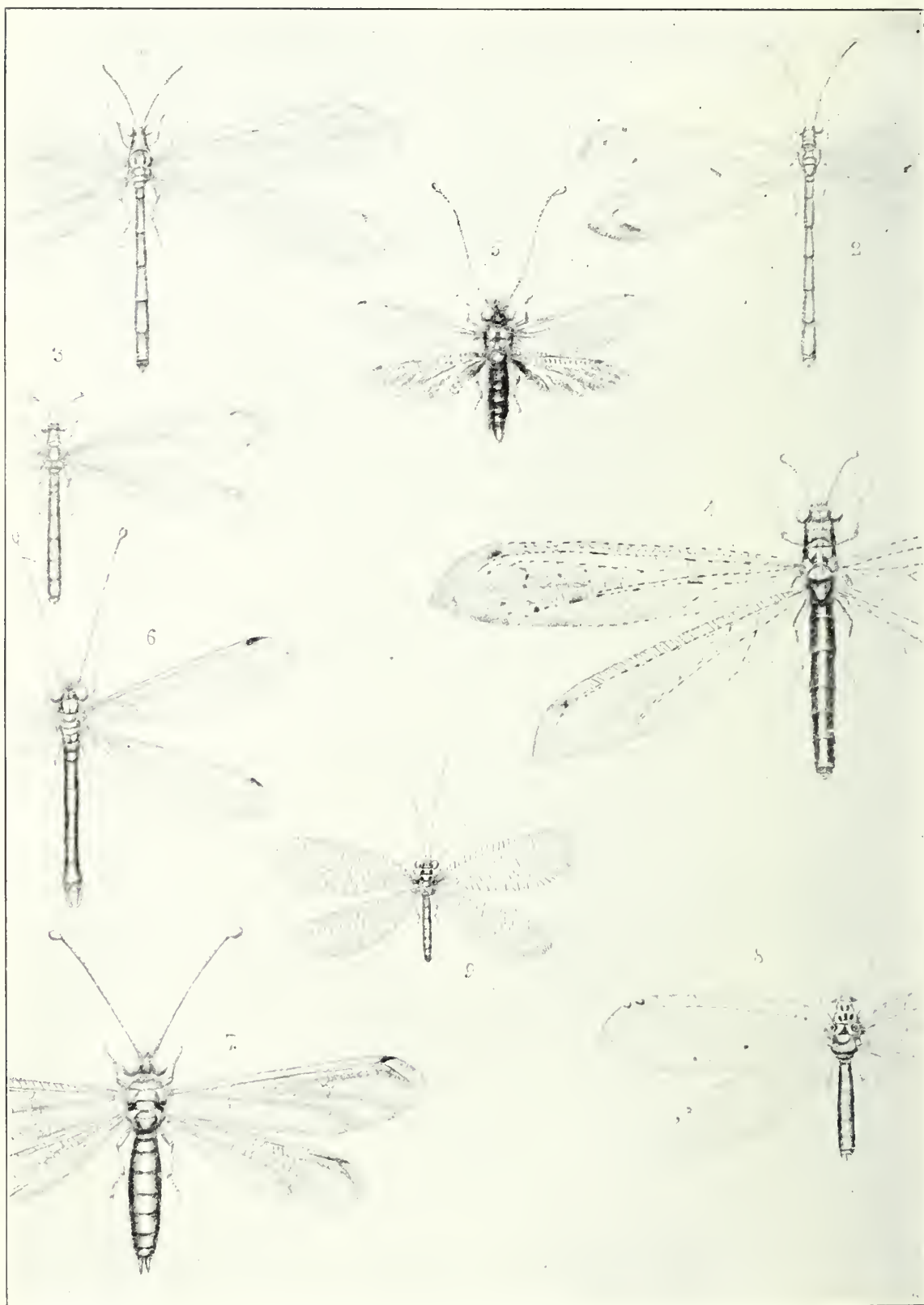
1.	Holostomis regina M'L. ♀	むらさきとびけら
2.	Holostomis melaleuca M'L. ♀	ごまだらとびけら
3.	Phryganea japonica M'L. ♂	つまぐろとびけら
4.	Glyphotaelius admorsus M'L. ♂	ゑぐりとびけら
5.	Perissoneura paradoxa M'L. ♂	よつめとびけら
6.	Stenopsyche griseipennis M'L. ♂	ひげながとびけら
7.	Grammotaurius brevilinea M'L. ♀	すぢとびけら
8.	Macronema radiatum M'L. ♀	しまとびけら
9.	Limnophilus affinis M'L. ♀	ひめもんとびけら
10.	Limnophilus correptus M'L. ♀	うすばきとびけら
11.	Neuronia apicalis Mats. ♂	ひめあみめとびけら
12.	Neuronia fluvipes Mats. ♀	あみめとびけら
13.	Limnophilus fuscovittatus Mats. ♂	せぐろとびけら

第十二圖 Pl. XII.

第十三圖

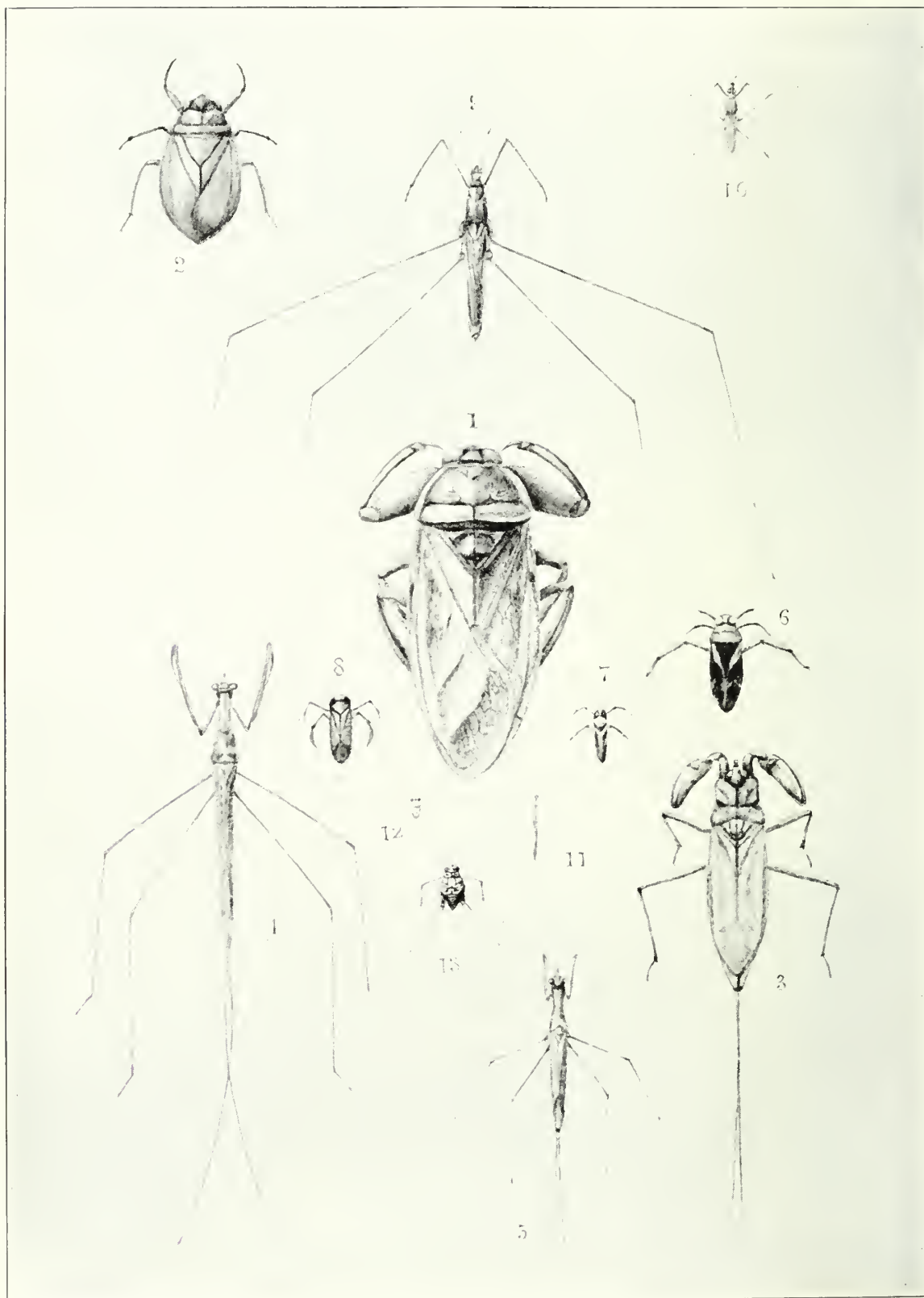
第十三圖 (PLATE XIII.)

1.	Myrmeleon micans M'L. ♀	うすばかげろう
2.	Glenurus pupillaris Gerst. ♀	ほしうすばかげろう
3.	Myrmeleon formicarius L. ♀	こうすばかげろう
4.	Acanthaclisis japonicus Hag. ♀	おほうすばかげろう
5.	Ascalaphus Ramburi M'L. ♂	きばねつのとんぼ
6.	Hybris subjacens Walk. ♂	つのとんぼ
7.	Idricerus japonicus M'L. ♀	おほつのとんぼ
8.	Osmylus flavicornis M'L. ♀	ひろばかげろう
9.	Chrysopa perla L. ♂	くさかげろう

2
3
6
7
9

第十四圖

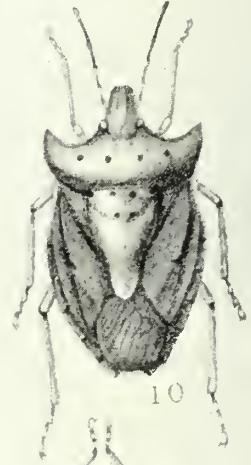
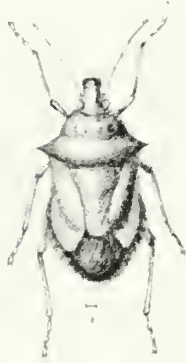
第 十 四 圖 (PLATE XIV.)

1.	Belostoma Deyrolii Vuill. ♂	たがめ
2.	Appasus japonicus Vuill. ♀	こおひむし
3.	Laccotrephes japonensis Scott. ♂	たいこうち
4.	Ranatra chinensis May. ♂	みづかまきり
5.	Ranatra brachyura Horv. ♀	ひめみづかまきり
6.	Notonecta triguttata Motsch. ♂	まつもむし
7.	Anisops scutellaris Bill. ♂	こまつもむし
8.	Corixa substriata Uhl. ♀	こみずむし
9.	Limnotrechus elongatus Uhl. ♀	おほかはぐも
10.	Hygrotrechus paludum F. ♂	ひめかはぐも
11.	Hydrometra vittata Stål. ♂	いとかはぐも
12.	Plea japonica Horv. ♀	まるみづむし
13.	Metrocoris histrio Buch. ♂	しまかはぐも

第十四圖 Pl. XIV.

第十五圖

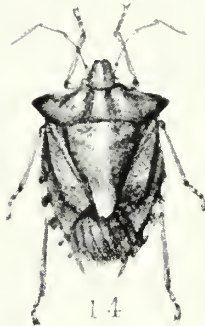
第 十 五 圖 (PLATE XV.)

1. Coptosoma biguttula Motsch. ♀ ひめまるかめむし
2. Coptosoma punctissimum Mont. ♂ まるかめむし
3. Eurygaster maurus L. ♀ ちやいろかめむし
4. Scotinophora lurida Burm. ♀ くろかめむし
5. Chrysocoris grandis Thunb. ♀ おほきんかめむし
6. Graphosoma rubrolineata West. ♀ あかすぢかめむし
7. Picromerus Lewisi Scott. ♀ くちぶとかめむし
8. Cydnus nigrita Fabr. ♀ こくろがいた
9. Gnathoconus triguttulus Motsch. ♀ みつぼしがいた
10. Lelia decempunctata Motsch. ♀ とほしかめむし
11. Gonopsis affinis Uhl. ♀ ゑびいろかめむし
12. Tropicoris japonicus Dist. ♀ つのあをかめむし
13. Aenaria assimulans Dist. ♂ しろへりかめむし
14. Carbula humerigera Uhl. ♀ とげかめむし
15. Aelia Lewisi Scott. ♀ うづらかめむし

第十五圖 Pl. XV.

第十六圖

第十六圖 (PLATE XVI.)

1.	Acanthosoma labiduroides Jak. ♂	はさみかめむし
2.	Elasmostethus Matsumurae Horv. ♂	べにもんかめむし
3.	Nezara antennata Scott. ♀	あをくさかめむし
4.	Eurydema rugosa Motsch. ♂	ながめ
5.	Bolbocoris reticulata Dall. ♂	はなだかかめむし
6.	Urochela luteovaria Dist. ♂	なしかめむし
7.	Urostylis Westwoodi Scott. ♂	くぬぎかめむし
8.	Dolycoris baccarum L. ♂	ぶちひげかめむし
9.	Palomena angulosa Motsch. ♀	ゑぞあをかめむし
10.	Megymenum tauriforme Dist. ♀	のこぎりかめむし
11.	Eusarcoris ventralis West. ♀	ゑらほゑかめむし
12.	Eusarcoris guttiger Thunb. ♀	まるしらほしかめむし
13.	Menida Scotti Jak. ♂	すこつとかめむし
14.	Carpocoris nigricornis F. ♀	むらさきかめむし
15.	Halyomorpha picus F. ♀	くさぎかめむし
16.	Carpocoris fuscispinis Boh. ♀	よつぼしかめむし

第十六圖 Pl. XVI.

第十七圖

第十七圖 (PLATE XVII.)

1.	Pomponia maculaticollis Motsch. ♂	みんみん
2.	Cryptotympana pustulata F. ♀	くまぜみ
3.	Graptopsaltria corolata Stål. ♂	あぶらぜみ
4.	Cosmopsaltria opalifera Wk. ♂	つくつくぼうし
5.	Terpnosia Pryeri Dist. ♂	はるぜみ
6.	Terpnosia nigricosta Motsch. ♂	ゑぞはるぜみ
7.	Cicada bihamata Motsch. ♂	こゑぞぜみ
8;	Cicada flammata Dist, ♂	ゑぞぜみ
9.	Leptopsaltria japonica Horv. ♂	ひぐらし
10.	Platypleura Kaempferi F. ♂	にいにいぜみ

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

和名索引

T

U

V

X

Y

Z

學名索引

明治三十七年九月十日印刷
明治三十七年九月十三日發行
明治三十八年九月十日再版
明治四十二年十月十一日三版

日本千蟲圖解卷之一奥付
正價金五圓

著者　理學博士 農學博士　松村松年

發行者　東京市京橋區尾張町二丁目十五番地　福永文之助

印刷者　横濱市太田町五丁目八十七番地　村岡平吉

發行所　東京市京橋區尾張町二丁目十五番地　警醒社書店　振替口座五五三（電話新橋一五八七）

印刷所　横濱市山下町八十一番地　福音印刷合資會社

札幌農科大學教授　理學博士　松村松年先生著

最近昆蟲學

此は著者が最近の昆蟲學界より最も正確なる事實を選び編纂したるものにして昆蟲の記載に必要なる局部及び學語は盡く之を説明し終に本邦産の昆蟲を最近の分類法によりて説明し之を補ふに鮮明なる圖畫數百を挿入せり初學者は之を讀で其幾分を知り得べく高等敎育を受けたる者は之によりて學説の變遷、新事實の富饒なるを知り得べし

全一册
上紙假綴壹圓五拾錢
極上紙本綴貳圓
小包料八錢

札幌農科大學教授　理學博士　松村松年先生著

日本昆蟲總目錄

第一卷　鱗翅目之部（蝶蛾）
第二卷　鞘翅目之部（甲蟲）未刊
第三卷　膜翅目其他（蜂其他殘部）未刊

本邦未だ一部の昆蟲目錄なきは著者の甚だ遺憾とせし處なり故に著者の海外に遊ぶや常に之れが材料を蒐集し其學名を有するもの既に約壹萬に達せり、第壹卷は二千餘の蝶蛾を最近の分類法により記載したるものにして之れに和名、シノニム、分布（北海道、四國、九州、琉球及び臺灣）記者の略字解、學名及び和名の索引並に參考書を添記せるを以て初學者と雖ども容易に其如何なる種類なりやを知り得べし

全三册
定價金貳圓
小包料八錢